

令和5年度  
ウェルビーイング県民意識調査  
結果報告書

令和5年12月

富山県



# < 目 次 >

I. 調査概要.....	1
II. 回答者の属性 .....	4
III. 調査結果.....	15
1. 生活での実感について .....	16
問 6. 普段のあなた自身の実感について.....	16
問 7. 家族との関係について .....	138
問 8. 友人との関係について .....	149
問 9. 在籍・参加している職場や学校、各種団体・グループ等について.....	154
問 10. お住まいの場所の近所や町内について .....	163
問 11. 富山県での暮らしに対するあなたの実感について .....	172
問 12. あなたの生活全体に対する実感について.....	189
問 13. 最も理想的な生活に対する評価 .....	195
2. その他の事項について .....	229
問 14. あなた自身の健康、余暇活動等について.....	229
問 15. 食について .....	250
問 16. 地域とのつながり、交流について.....	254
問 17. 地域や住まいの安全・安心について .....	263
問 18. 仕事について.....	272
問 19. 家族や親しい友人等への推薦度 .....	276
IV. 調査票（設問部分） .....	313

#### ■調査報告書の見方

- (1) 結果は百分比で表示し、百分比は少数点第2位を四捨五入している。  
したがって、百分比の合計が100%にならない場合がある。
- (2) 図表・数表中の「N」は、回答者数を示しており、百分比の基数である。
- (3) 複数回答の百分比の合計は100%を超える。
- (4) 本文中において、各選択肢を加算して割合（百分率）を表している場合、集計数を基に改めて計算を行っていることから、小数点以下第2位を四捨五入している図表や個々の選択肢の割合の合計とは必ずしも一致しない。
- (5) 本文中の選択肢表記、図表等は、見やすさに配慮するために、語句を簡略化している場合がある。
- (6) クロス分析において回答者数が30以下の場合は、サンプル数が少ないため分析には使用せず参考値としている。

# I . 調查概要

## I. 調査概要

### 1. 調査の目的

県民のウェルビーイング実感に関する意識調査を実施し、ウェルビーイングに関する現状を把握するとともに、調査結果を今後の県施策に活用するもの。

### 2. 調査項目

#### (1) 生活での実感について

- ・ 普段の回答者自身の実感について
- ・ 家族との関係について
- ・ 友人との関係について
- ・ 在籍・参加している職場や学校、各種団体・グループ等について
- ・ 住まいの場所の近所や町内について
- ・ 富山県での暮らしに対する実感について
- ・ 回答者自身の生活全体に対する実感について
- ・ 最も理想的な生活について

#### (2) その他の事項

- ・ 健康、余暇活動等について
- ・ 食について
- ・ 地域とのつながり、交流について
- ・ 地域や住まいの安全・安心について
- ・ 仕事について
- ・ 家族や親しい友人等への推奨度

### 3. 調査の方法

- (1) 調査地域 富山県全域
- (2) 調査対象 満 15 歳以上の男女
- (3) 標 本 数 5,500 人
- (4) 抽出方法 以下に示す各年齢層別の標本数を、県内 15 市町村の人口に応じて比例配分し、各市町村から無作為に抽出  
(各年齢層別の標本数)  
15～19 歳：850、20～29 歳：1,100、30～39 歳：850、40～49 歳：800、  
50～59 歳：700、60～69 歳：600、70 歳以上：600 (計：5,500)
- (5) 抽出台帳 住民基本台帳
- (6) 調査方法 郵送法（回収は、郵便返送及び WEB での回答を併用）

4. 調査時期

令和5年7月上旬～8月8日

5. 有効回答数

2,700 (有効回答率 49.1%)

## Ⅱ. 回答者の属性

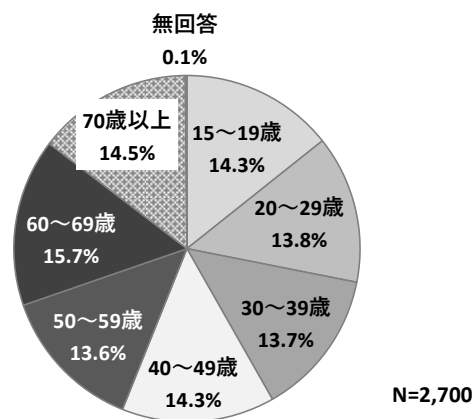


## Ⅱ. 回答者の属性

問1. あなたの年齢（満年齢）をお答えください。（※記入日現在）

「60～69歳」が15.7%と最も高く、次いで「70歳以上」（14.5%）、「15～19歳」と「40～49歳」（各14.3%）となっている。

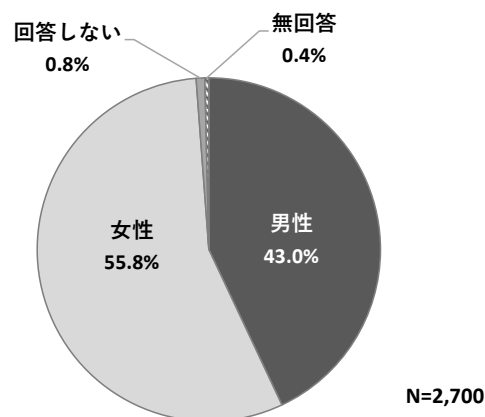
図表1 年齢



問2. あなたの性別をお答えください（※記入は任意です）。

「男性」が43.0%、「女性」が55.8%となっている。

図表2 性別



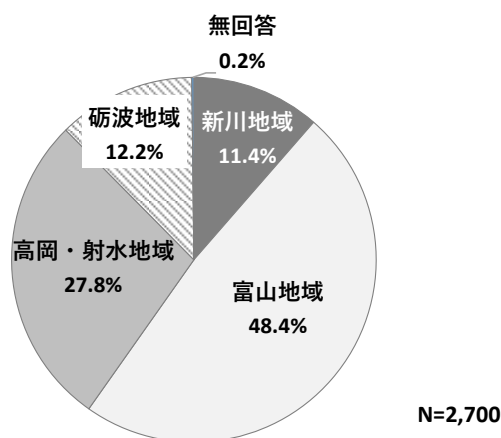
問3. お住まい等について

(1) 現在お住まいの市町村は、どちらですか。

「新川地域」が11.4%、「富山地域」が48.4%、「高岡・射水地域」が27.8%、「砺波地域」が12.2%となっている。「富山地域」と「高岡・射水地域」を合わせて76.2%を占めている。

内訳を見ると、「富山市」が40.9%と最も高く、次いで「高岡市」が15.6%、「射水市」が8.4%となり、上位3市で65.0%となっている。

図表 3-1-1 居住地



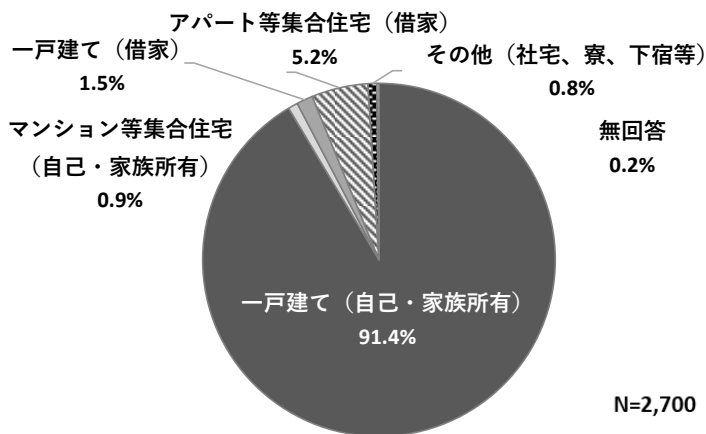
図表 3-1-2 居住地内訳

地域	市町村	人	%
新川地域	魚津市	103	3.8
	黒部市	108	4.0
	入善町	65	2.4
	朝日町	32	1.2
富山地域	富山市	1,105	40.9
	滑川市	85	3.1
	舟橋村	9	0.3
	上市町	51	1.9
	立山町	56	2.1
高岡・射水地域	高岡市	422	15.6
	氷見市	101	3.7
	射水市	228	8.4
砺波地域	砺波市	145	5.4
	小矢部市	76	2.8
	南砺市	109	4.0
	無回答	5	0.2
	全体	2,700	100.0

(2) 現在の住居の状況は、次のどれにあたりますか。

「一戸建て（自己・家族所有）」が 91.4%と最も高く、次いで「アパート等集合住宅（借家）」が 5.2%、「一戸建て（借家）」が 1.5%となっている。

図表 3-2 現在の住居の状況

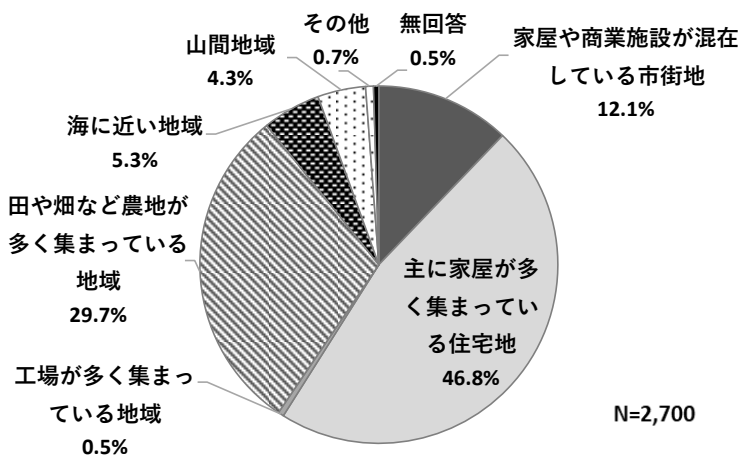


(3) 現在お住まいの地域の環境は、次のどれにあたりますか。

(ご自身の判断で、最もあてはまると思うものを1つ選択してください。)

「主に家屋が多く集まっている住宅地」が 46.8%と最も高く、次いで「田や畑など農地が多く集まっている地域」が 29.7%、「家屋や商業施設が混在している市街地」が 12.1%となっている。

図表 3-3 現在の居住地域の環境

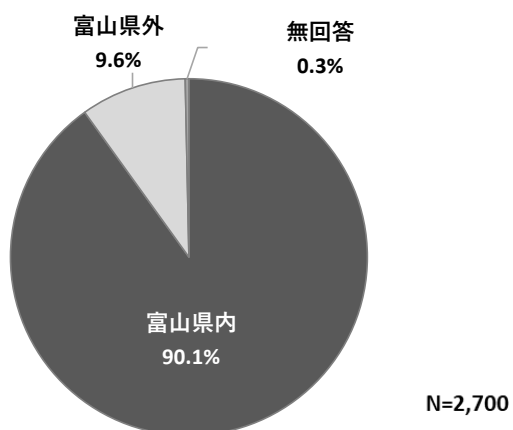


(4) あなたの出身地をお答えください。

※この設問では、出身地は「生まれてから18歳までの間で、最も長く暮らした地域」を目安としますが、ご自身の判断で構いません。あてはまると思うものをお選びください。

「富山県内」が90.1%、「富山県外」が9.6%となっている。

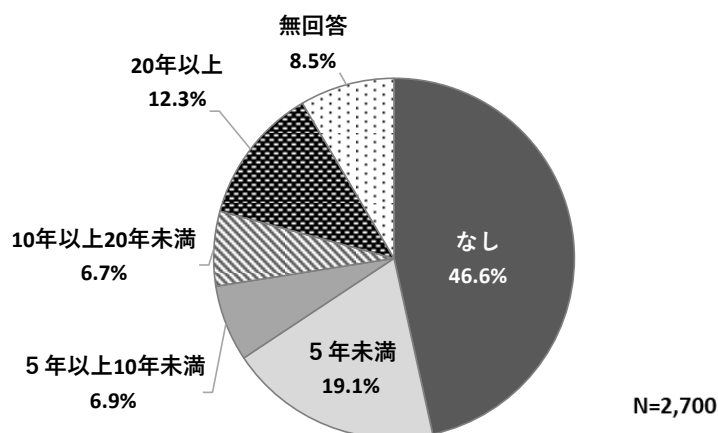
図表 3-4 出身地



(5) 富山県外でのあなたの居住年数（通算）について、1つ選んでください。

富山県外での居住年数は、「なし」が46.6%と最も高く、次いで「5年未満」が19.1%、「20年以上」が12.3%となっている。

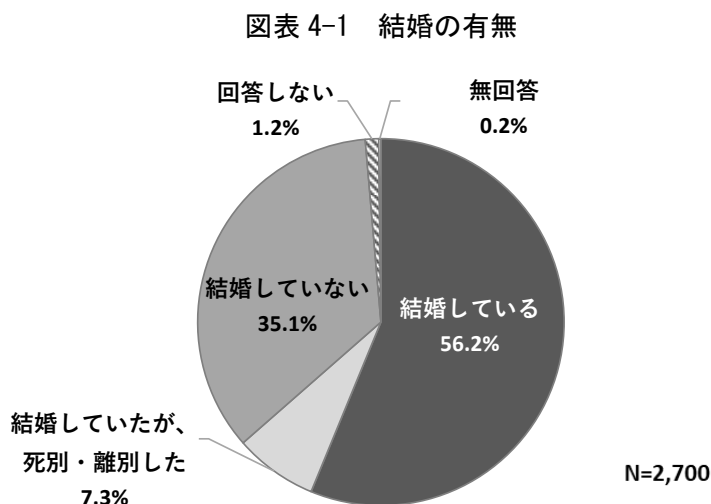
図表 3-5 富山県外での居住年数



問4. ご家族等について

(1) あなたは、現在結婚していらっしゃいますか。(※事実婚を含みます。)

「結婚している」が56.2%、「結婚していたが、死別・離別した」が7.3%、「結婚していない」が35.1%となっている。



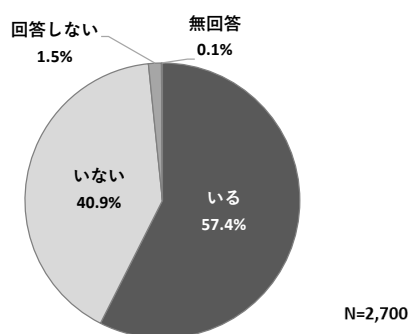
(2) あなたに、お子さんはいらっしゃいますか。

(※成人しているお子さんや別居しているお子さんも含めてお答えください。)

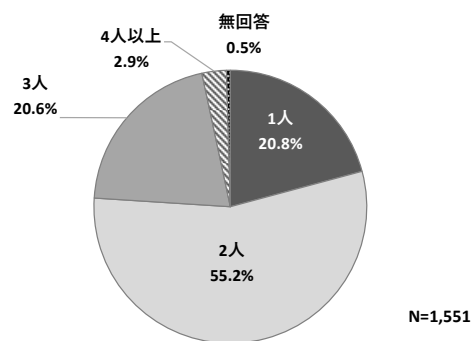
「いる」が57.4%、「いない」が40.9%となっている。

また、「いる」と回答した人の子どもの人数は、「1人」が20.8%、「2人」が55.2%、「3人」が20.6%「4人以上」が2.9%となっている。

図表 4-2-1 子どもの有無



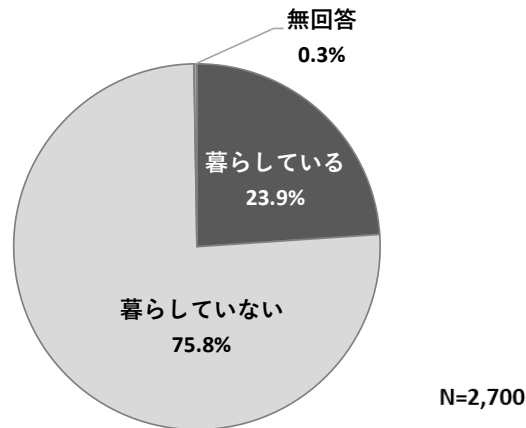
図表 4-2-2 子どもの人数



(3) あなたは、ペットと一緒に暮らしていますか。

「暮らしている」が23.9%、「暮らしていない」が75.8%となっている。

図表 4-3 ペットの有無



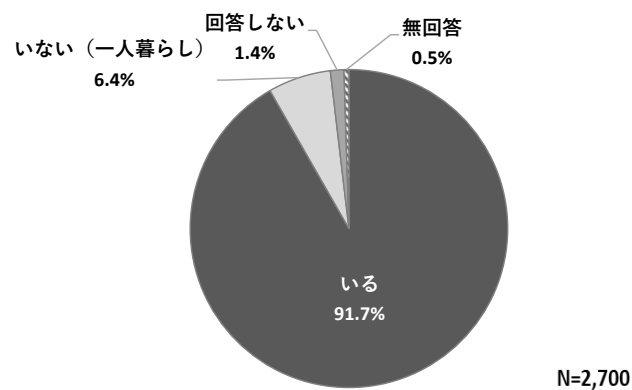
(4) あなたには、同居されている方はいますか。

また、「いる」場合は、同居されている方の構成もお答えください。

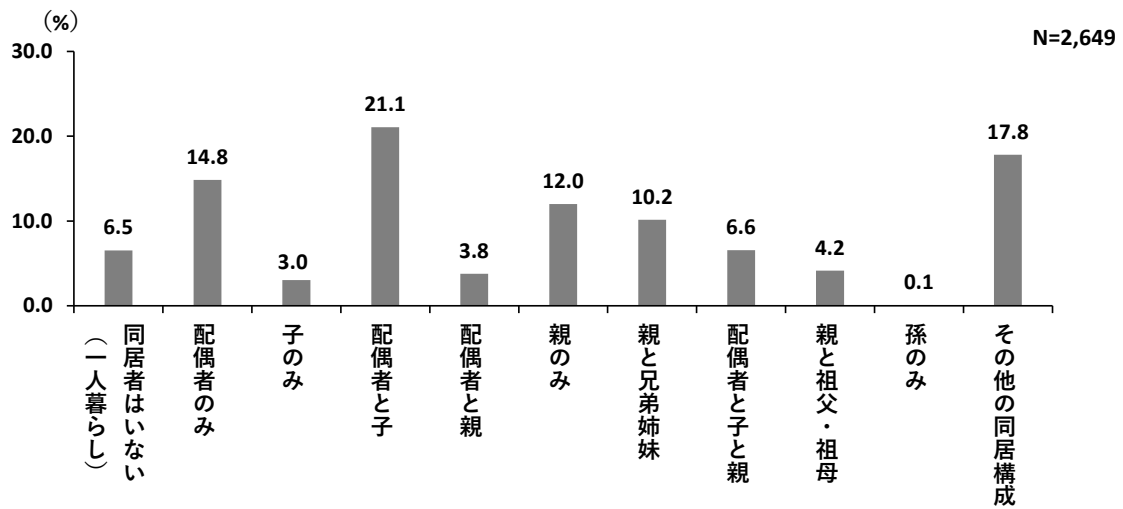
「いる」が91.7%、「いない（一人暮らし）」が6.4%となっている。

「配偶者と子」が21.1%と最も高く、次いで「その他の同居構成」が17.8%、「配偶者のみ」が14.8%、「親のみ」が12.0%となっている。

図表 4-4-1 同居の有無



図表 4-4-2 同居の家族構成



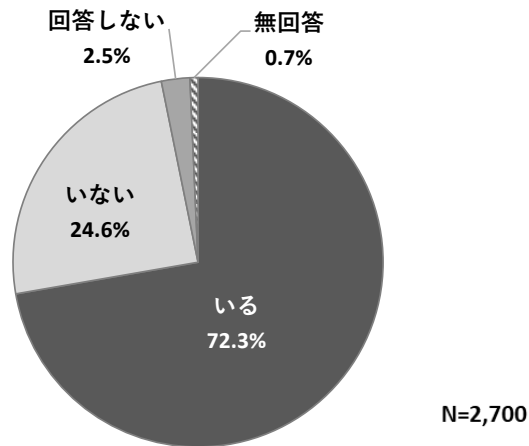
(5) あなたが普段行き来する、別居の親族(※)はいますか。

次の中からあてはまるものを1つお答えください。

※祖父母(配偶者の祖父母含む)、父母(配偶者の父母含む)、兄弟姉妹、子、孫など

「いる」が72.3%、「いない」が24.6%となっている。

図表 4-5 別居親族の有無

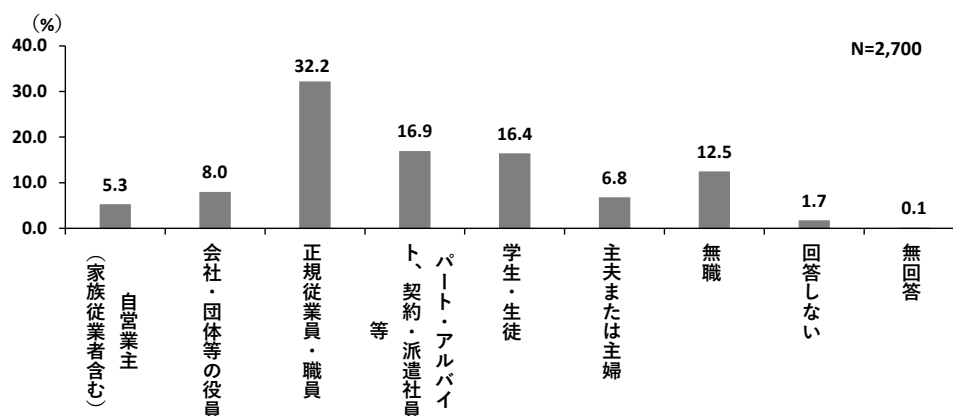


問5. ご職業・年収等について

(1) あなたの主なご職業等について、次の中から1つ選んでください。

「正規従業員・職員」が32.2%と最も高く、次いで「パート・アルバイト、契約・派遣社員等」が16.9%、「学生・生徒」が16.4%、「無職」が12.5%となっている。

図表 5-1 職業

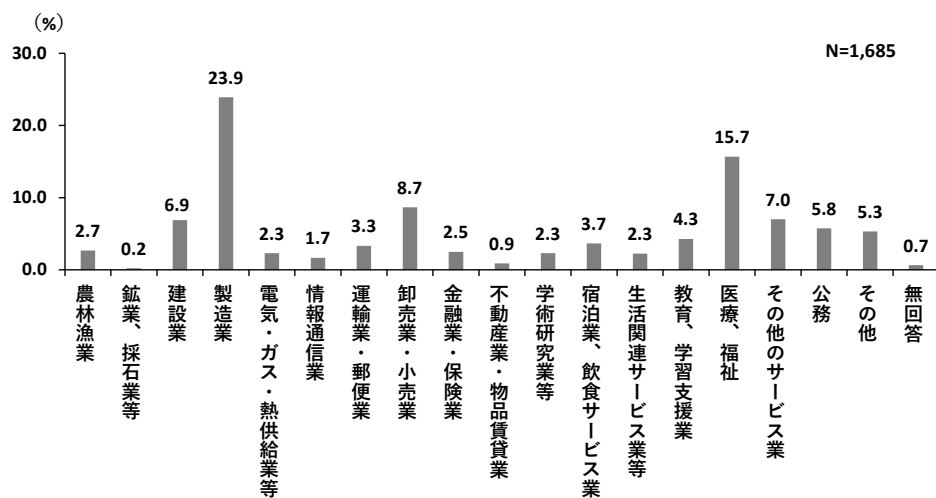


(2) (1) で1～4に○をつけられた方のみお答えください。

該当する職業分野について、あてはまる番号を1つ選んでください。

「製造業」が23.9%と最も高く、次いで「医療、福祉」が15.7%、「卸売業・小売業」が8.7%となっている。

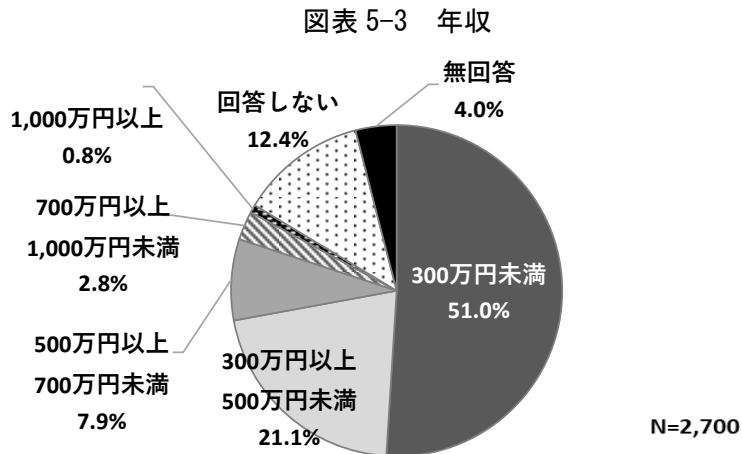
図表 5-2 職業分野





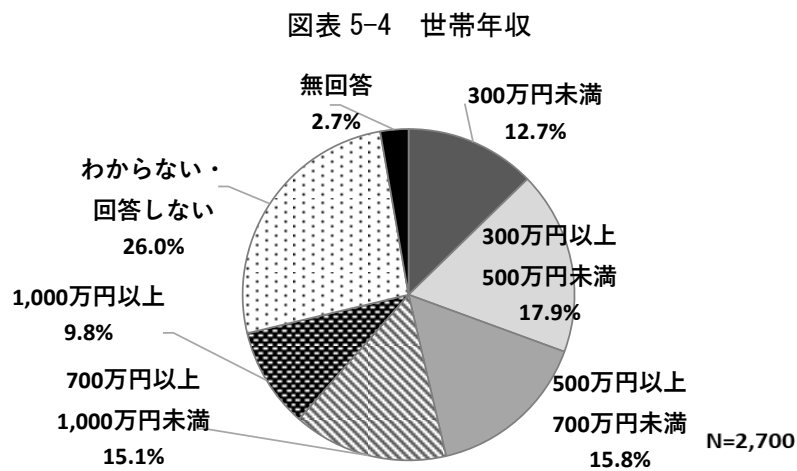
(3) あなた自身のおおよその年収（税・社会保険料込み）について、次の中から1つ選んでください。

「300万円未満」が51.0%と最も高く、次いで「300万円以上500万円未満」が21.1%、「500万円以上700万円未満」が7.9%となっている。



(4) あなたの世帯全体のおおよその年収（税・社会保険料込み）の合計額について、次の中から1つ選んでください。

「300万円以上500万円未満」が17.9%と最も高く、次いで「500万円以上700万円未満」が15.8%、「700万円以上1,000万円未満」が15.1%となっている。なお、「わからない・回答しない」は26.0%を占めている。





### Ⅲ. 調查結果

### Ⅲ. 調査結果

#### 1. 生活での実感について

問6. 普段のあなた自身の実感について、お気持ちをお聞きます。

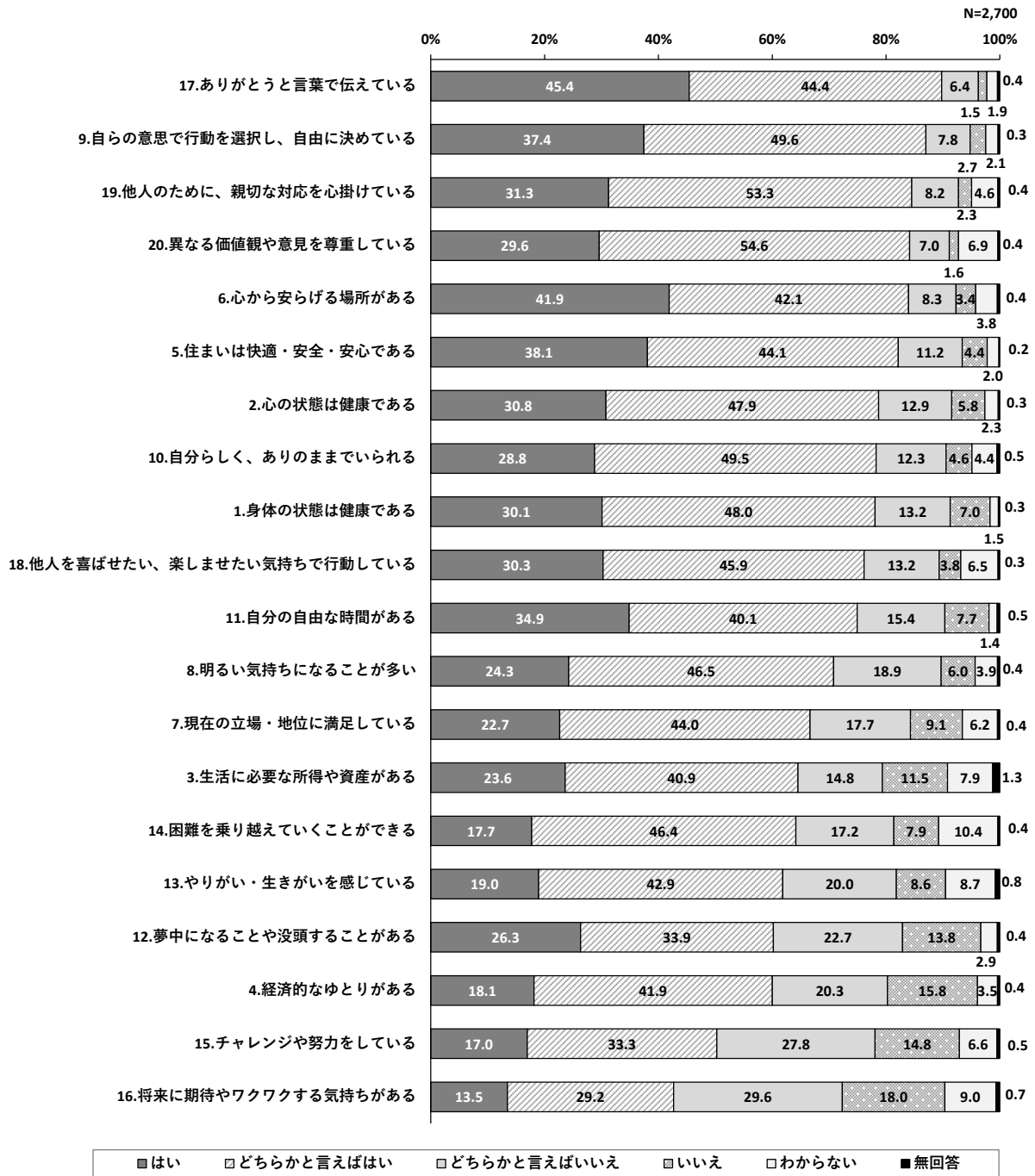
それぞれの設問について、あてはまる番号を1つ選んでください。

普段の回答者自身の実感として、『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が高かったのは、「17.ありがとうと言葉で伝えている」が89.8%と最も高く、次いで「9.自らの意思で行動を選択し、自由に決めている」が87.0%、「19. 他人のために、親切な対応を心がけている」が84.5%、「20.異なる価値観や意見を尊重している」が84.1%、「6. 心から安らげる場所がある」が84.0%であった。「17.ありがとうと言葉で伝えている」では、「はい」と回答した人も45.4%と高い割合を占めている。

一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が高かったのは、「16.将来に期待やワクワクする気持ちがある」が47.7%と最も高く、次いで「15.チャレンジや努力をしている」が42.6%、「12. 夢中になることや没頭することがある」が36.5%、「4.経済的なゆとりがある」が36.1%であった。なかでも、「16.将来に期待やワクワクする気持ちがある」では、「いいえ」が18.0%と比較的高い割合を占めている。

全体的に見て、多くの設問で『はい』が5割以上を占めているが、地域や社会のこと、将来的なこと、チャレンジすることといった社会とのつながりや未来に対する夢・希望に関して比較的割合が低い。

図表6 普段のあなた自身の実感について



問6-1 身体の状態は健康だと感じている。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が78.1%を占め、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は20.2%であった。

(2) 年齢別

59歳以下で『はい』が7割を超えている。「15～19歳」では「はい」は63.5%を占めている。また、「70歳以上」でも67.8%が『はい』であった。

(3) 性別

男女間で大きな差は見られないものの、「はい」は「女性」の方が「男性」よりも2.5ポイント高い。

(4) - 1 地域別

すべての地域で『はい』が7割を超えており、「高岡・射水地域」では80.3%と、他の地域よりも若干高い。

(4) - 2 現在の住居状況別

サンプル数が多い「一戸建て（自己・家族所有）」では『はい』が78.0%となっており、「アパート等集合住宅（借家）」では77.9%と、ほぼ同じであった。

(4) - 3 現在の居住地環境別

「海に近い地域」では「はい」が33.8%と、他の居住地環境と比較して若干高い。

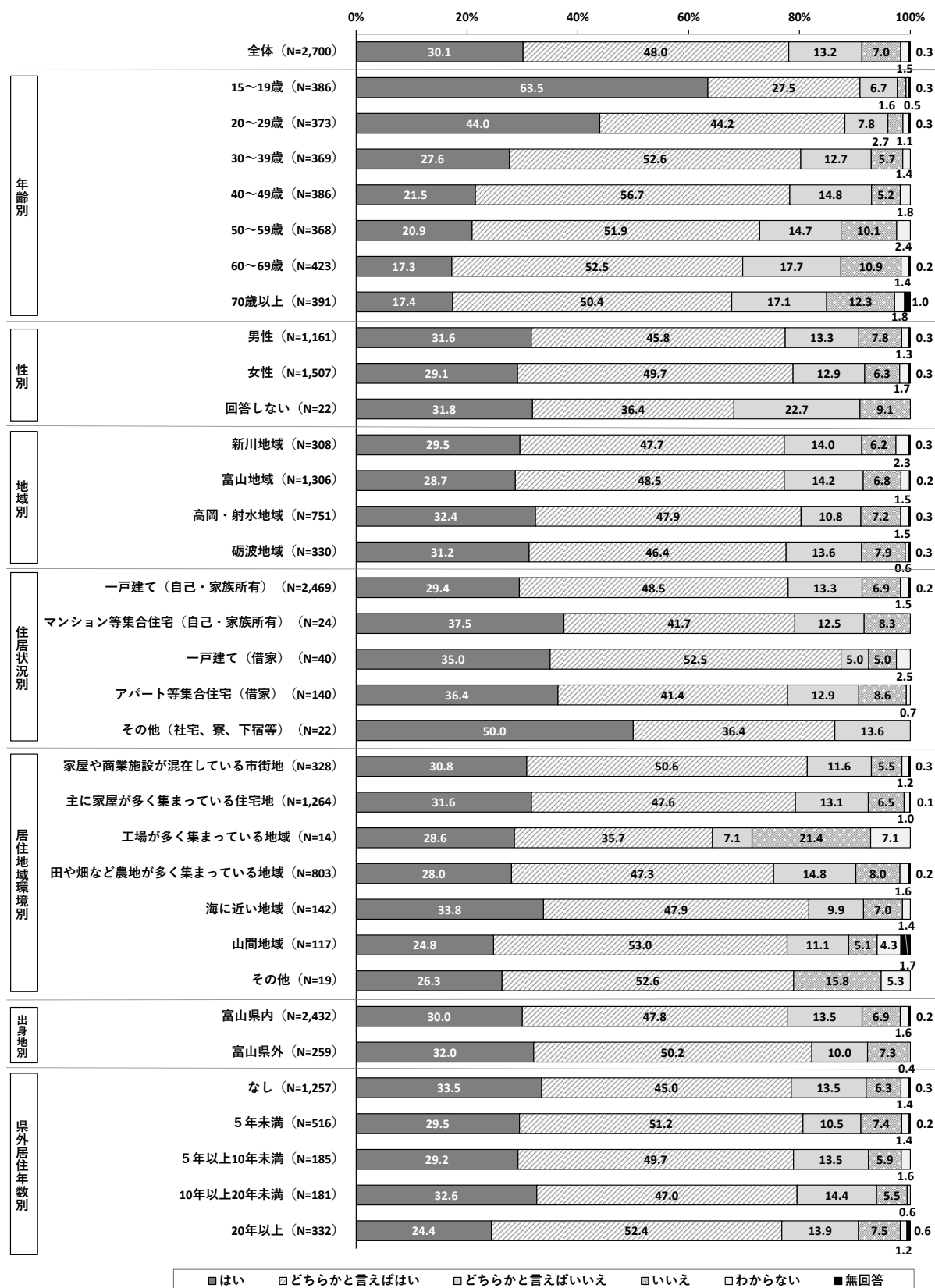
(4) - 4 出身地別

『はい』は、「富山県内」よりも「富山県外」の方が4.4ポイント高い。

(4) - 5 県外での居住年数別

どの居住年数でも『はい』が7割を超えており、「5年未満」では80.6%を占めている。

図表 6-1-1 身体の状態は健康だと感じている。



(5) - 1 結婚の有無別

「結婚していない」では『はい』が83.7%と、他と比較して高い。

(5) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では『はい』が82.5%と「いる」よりも7.4ポイント高い。

(5) - 3 ペットの有無別

ペットの有無で大きな差は見られない。

(5) - 4 同居家族の構成別

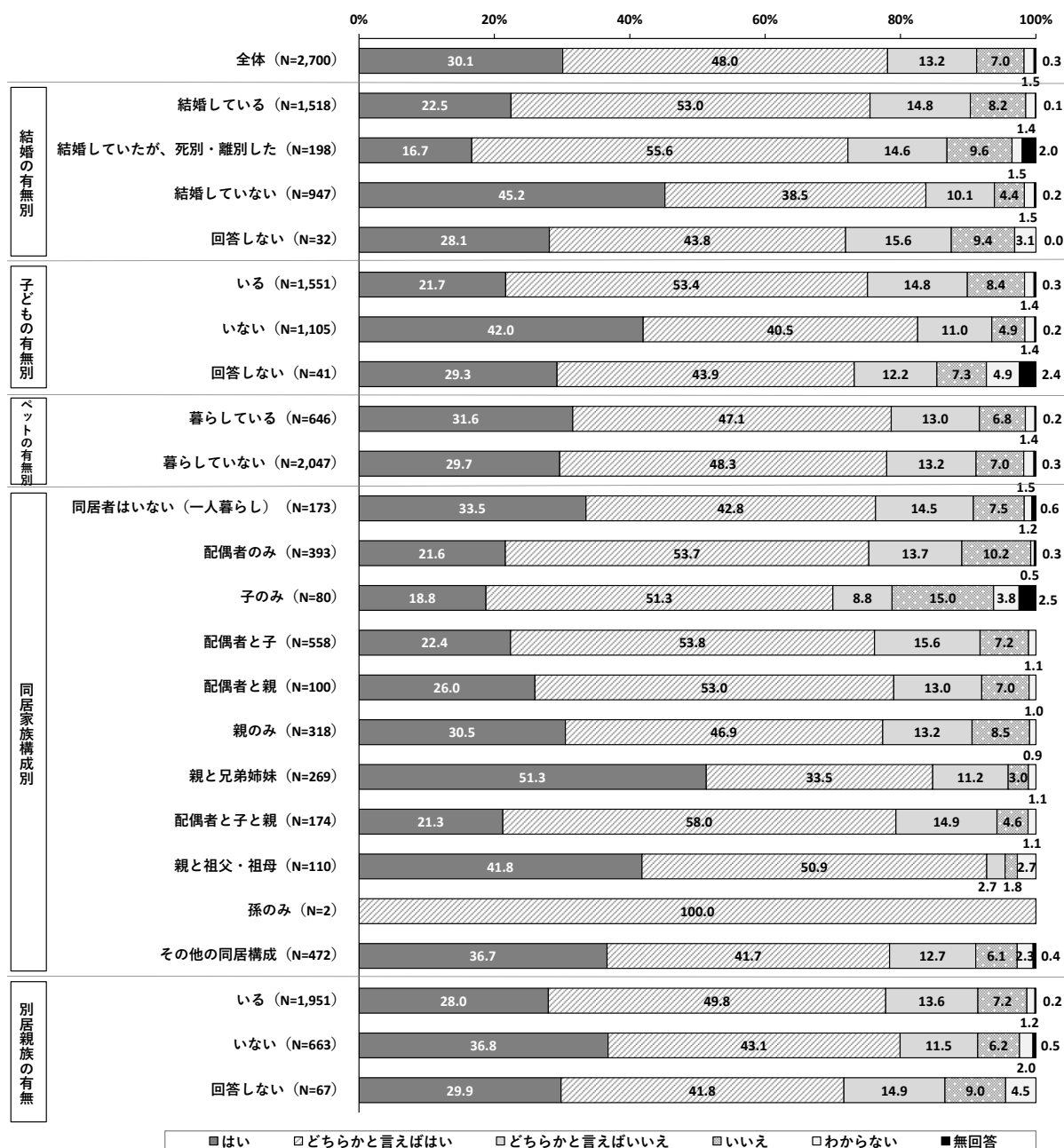
すべてで『はい』が7割を超えており、特に、「親と祖父・祖母」では92.7%と高い割合を占めている。

(5) - 5 別居親族の有無別

別居親族の「いる」「いない」ともに『はい』が7割を超えており、「いない」の方が2.1ポイント高い。



図表 6-1-2 身体の状態は健康だと感じている。(家族状況別)



#### (6) - 1 職業別

「学生」では『はい』が91.9%（うち「はい」が61.9%）と他の職業と比べて高い。一方、「無職」では『はい』が59.1%、『いいえ』が36.2%となっている。

#### (6) - 2 職業分野別

「学術研究、専門・技術サービス業」では『はい』が66.7%と、他の職業分野と比較して若干低くなっている。その他の職業分野で『はい』が7割を超え、「電気・ガス・熱供給・水道業」「金融業・保険業」「宿泊業、飲食サービス業」「教育、学習支援業」「その他サービス業」「公務」では8割台となっている。

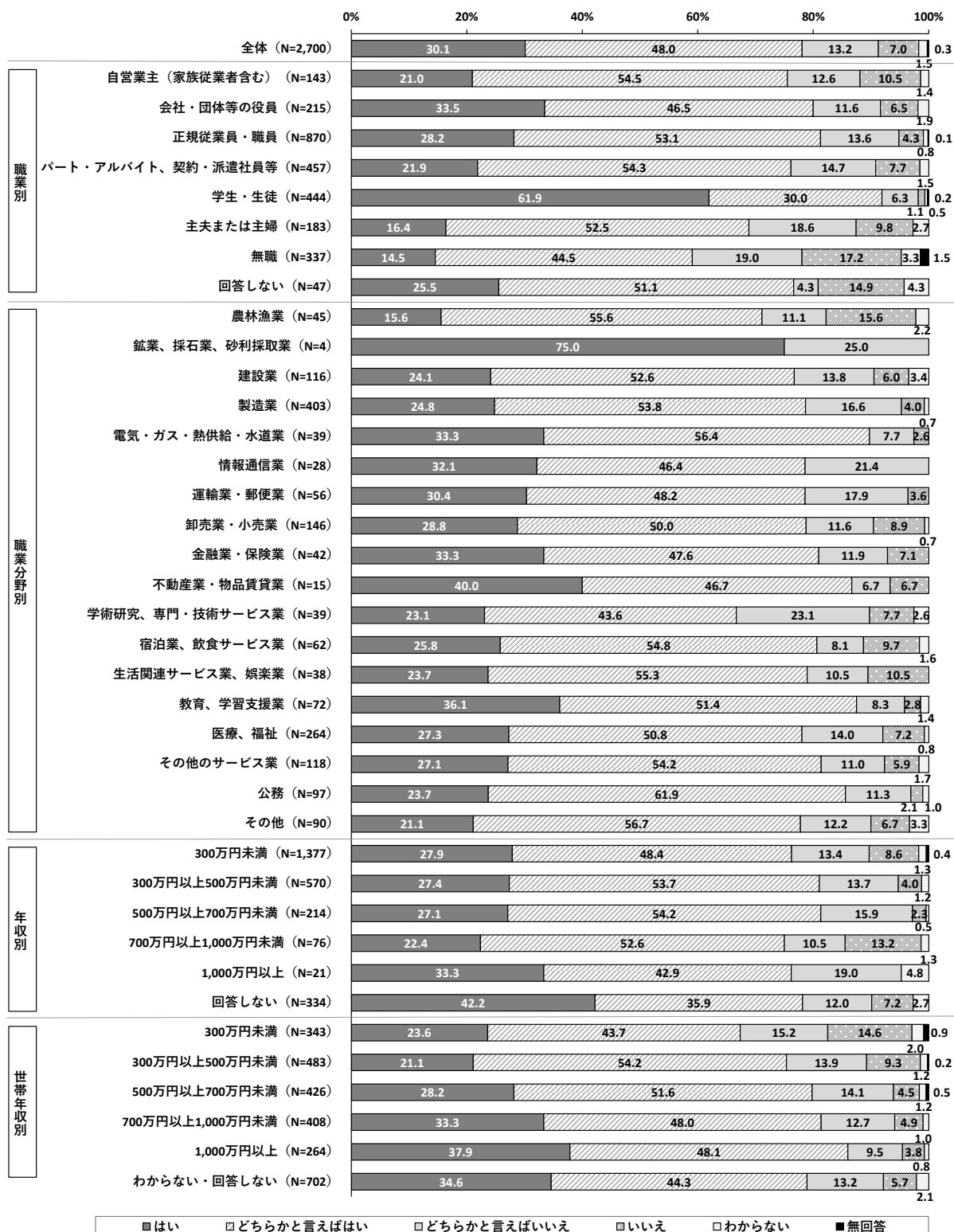
#### (6) - 3 年収別

すべての年収で『はい』が7割を超えている。「300万円以上500万円未満」と「500万円以上700万円未満」では『はい』が8割台となっている。

#### (6) - 4 世帯年収別

「300万円未満」では『はい』が67.3%と、他と比較して低い。

図表 6-1-3 身体の状態は健康だと感じている。(職業・年収別)



問6-2 心の状態は健康だと感じている。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が78.7%を占め、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は18.7%であった。

(2) 年齢別

すべての年代で『はい』が7割を超えている。「15～19歳」では「はい」は54.7%を占めている。また、「70歳以上」でも82.4%が『はい』であった。

(3) 性別

男女間で大きな差は見られないものの、「はい」は「女性」よりも「男性」の方が2.2ポイント高い。

(4) - 1 地域別

すべての地域で『はい』が7割を超えており、「高岡・射水地域」と「新川地域」では、他の地域よりも若干高い。

(4) - 2 現在の住居状況別

サンプル数が多い「一戸建て（自己・家族所有）」では『はい』が79.0%となっており、一方、「アパート等集合住宅（借家）」では75.0%であった。

(4) - 3 現在の居住地域環境別

「家屋や商業施設が混在している市街地」と「海に近い地域」では『はい』が8割を超えている。

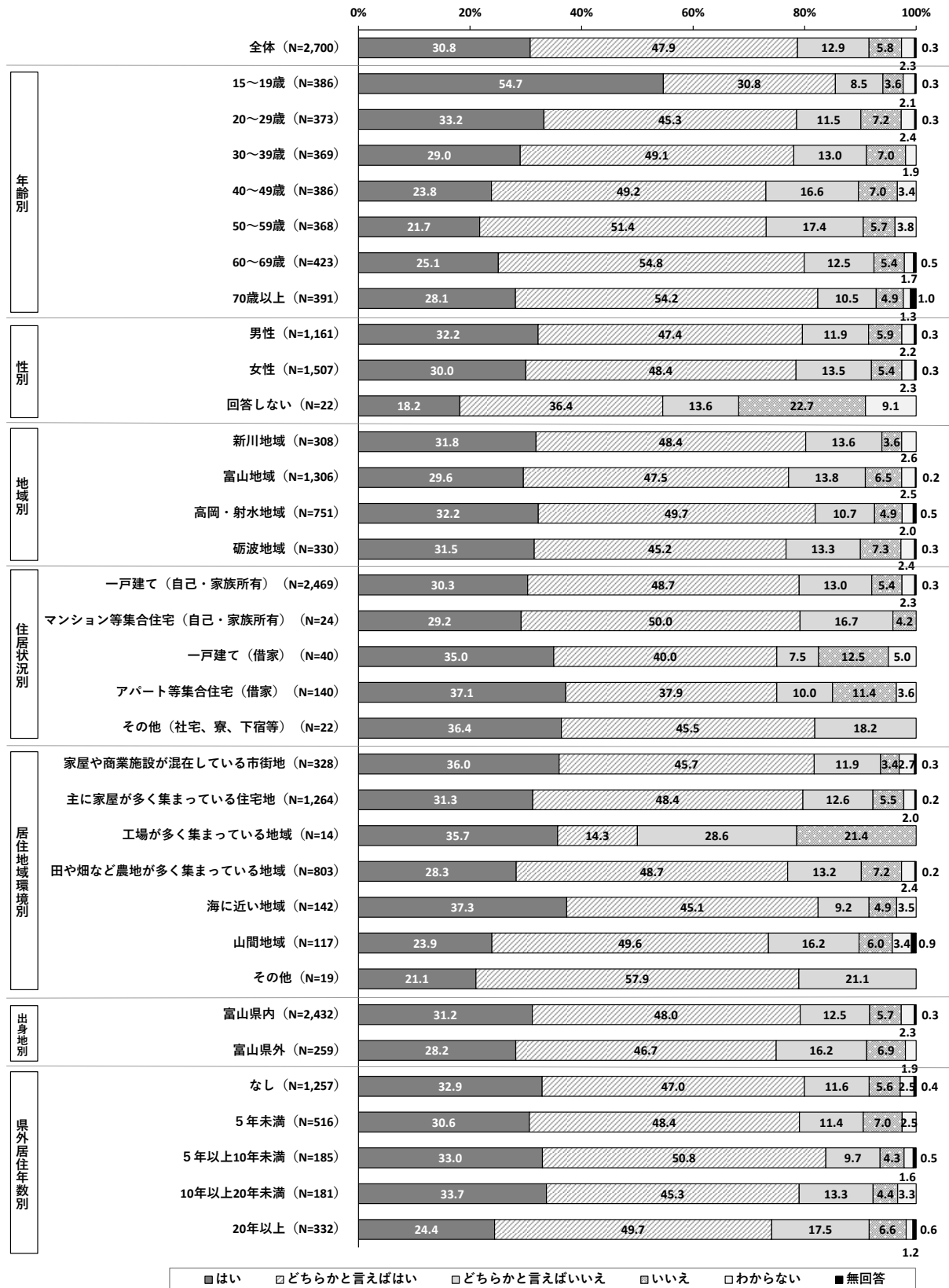
(4) - 4 出身地別

『はい』は、「富山県外」よりも「富山県内」の方が4.3ポイント高い。

(4) - 5 県外での居住年数別

どの居住年数でも『はい』が7割を超えており、「5年以上10年未満」では83.8%を占めている。

図表 6-2-1 心の状態は健康だと感じている。



(5) - 1 結婚の有無別

結婚の有無では大きな差は見られない。

(5) - 2 子どもの有無別

子どもの有無では大きな差は見られないが、『はい』は子どもが「いる」の方が2.2ポイント高い。一方、「はい」では、子どもが「いない」では36.3%と、子どもが「いる」よりも9.3ポイント高い。

(5) - 3 ペットの有無別

ペットが「いない」では『はい』が79.5%と、「いる」よりも3.3ポイント高い。

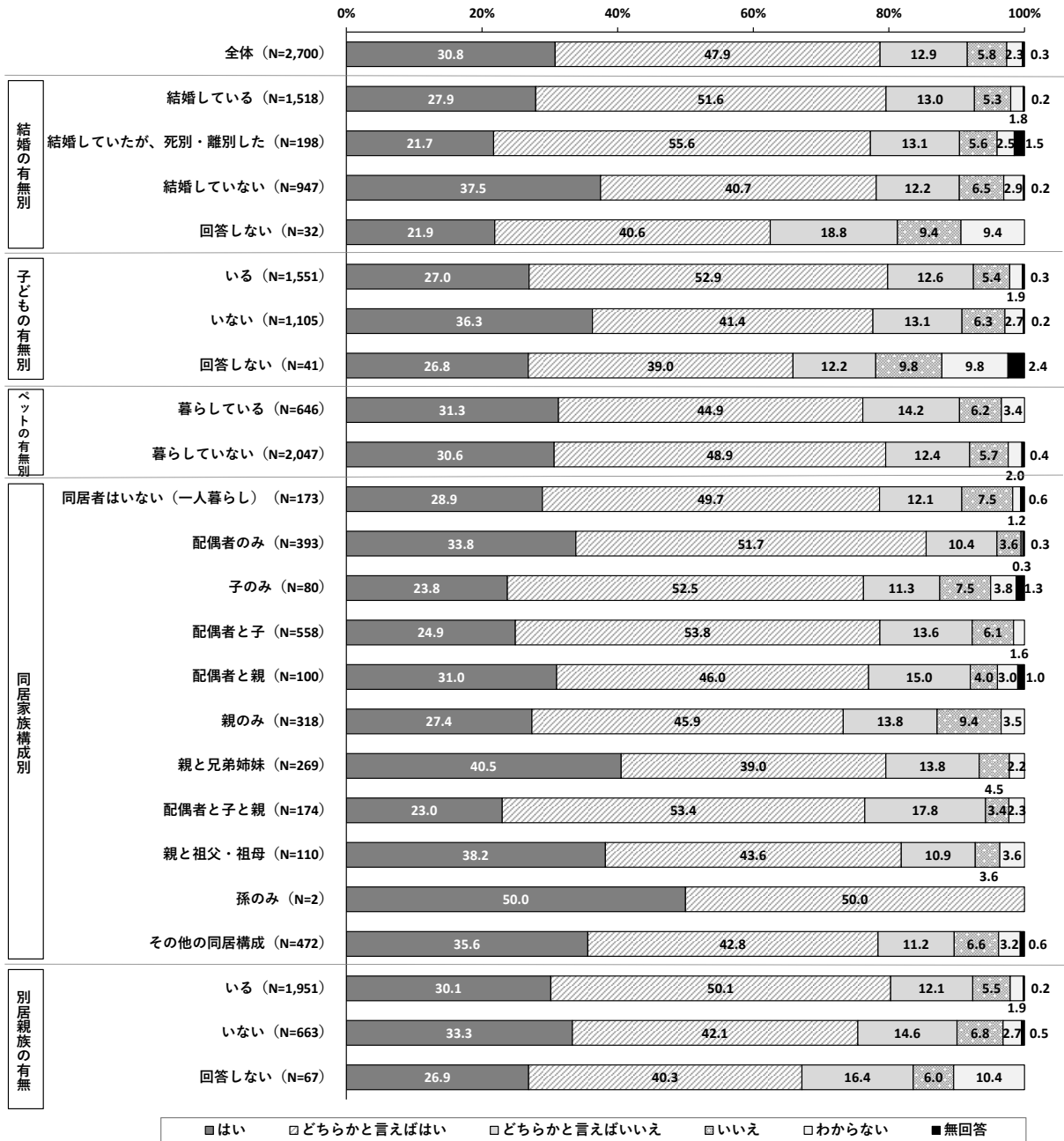
(5) - 4 同居家族の構成別

すべてで『はい』が7割を超えている。「親のみ」では『はい』が73.3%と、他よりも若干低い。

(5) - 5 別居親族の有無別

別居親族が「いる」では『はい』が80.3%と、「いない」よりも4.9ポイント高い。

図表 6-2-2 心の状態は健康だと感じている。(家族状況別)



#### (6) - 1 職業別

「学生」では『はい』が87.2%（うち「はい」が52.3%）と他の職業と比べて若干高い。一方、「無職」では『はい』が72.4と、他よりも若干低い。

#### (6) - 2 職業分野別

「卸売業・小売業」と「学術研究、専門・技術サービス業」では『はい』が6割台と、他の職業分野と比較して若干低くなっている。その他の職業分野で『はい』が7割を超え、「農林漁業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「運輸業・郵便業」「金融業・保険業」「宿泊業、飲食サービス業」「教育、学習支援業」「その他」では8割以上となっている。

#### (6) - 3 年収別

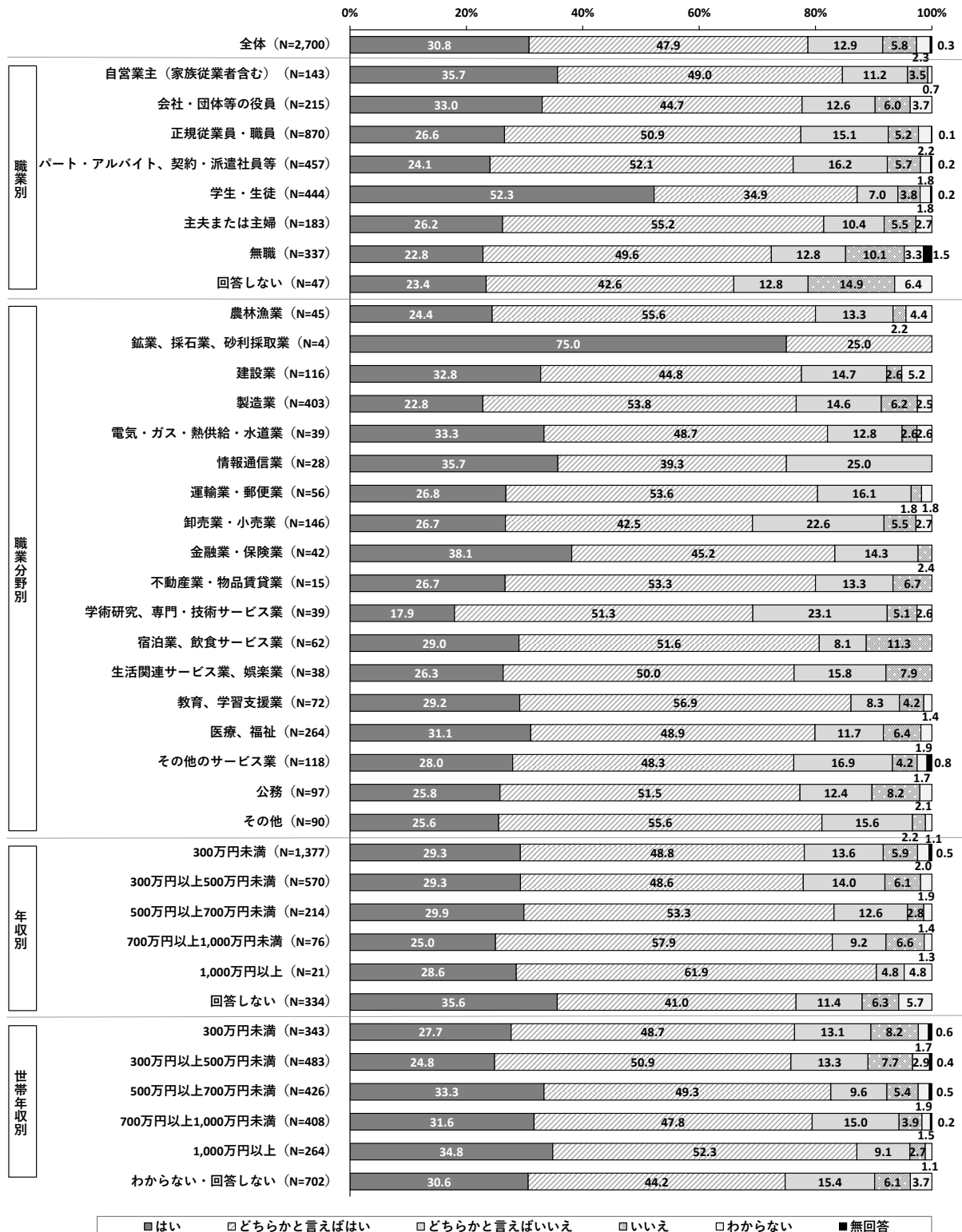
すべての年収で『はい』が7割を超えており、500万円以上では『はい』が8割を超えている。

#### (6) - 4 世帯年収別

「500万円以上700万円未満」と「1,000万円以上」では『はい』が8割台と、他と比較して若干高い。



図表 6-2-3 心の状態は健康だと感じている。(職業・年収別)



問6-3 生活に必要な所得や資産がある。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が64.5%を占め、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は26.3%であった。

(2) 年齢別

すべての年代で『はい』が6割以上であった。「15～19歳」では「はい」が40.2%を占めている。一方、「40～49歳」では『いいえ』が30.1%と、他の年代よりも若干高い割合を占めている。

(3) 性別

『はい』は「男性」よりも「女性」の方が5.1ポイント高い。

(4) - 1 地域別

すべての地域で『はい』が6割を超え、「新川地域」では他の地域よりも若干高い。

(4) - 2 現在の住居状況別

「一戸建て（自己・家族所有）」では『はい』が64.8%となっている。

(4) - 3 現在の居住地環境別

「家屋や商業施設が混在している市街地」では『はい』が68.6%と、他の地域環境よりも若干高い。

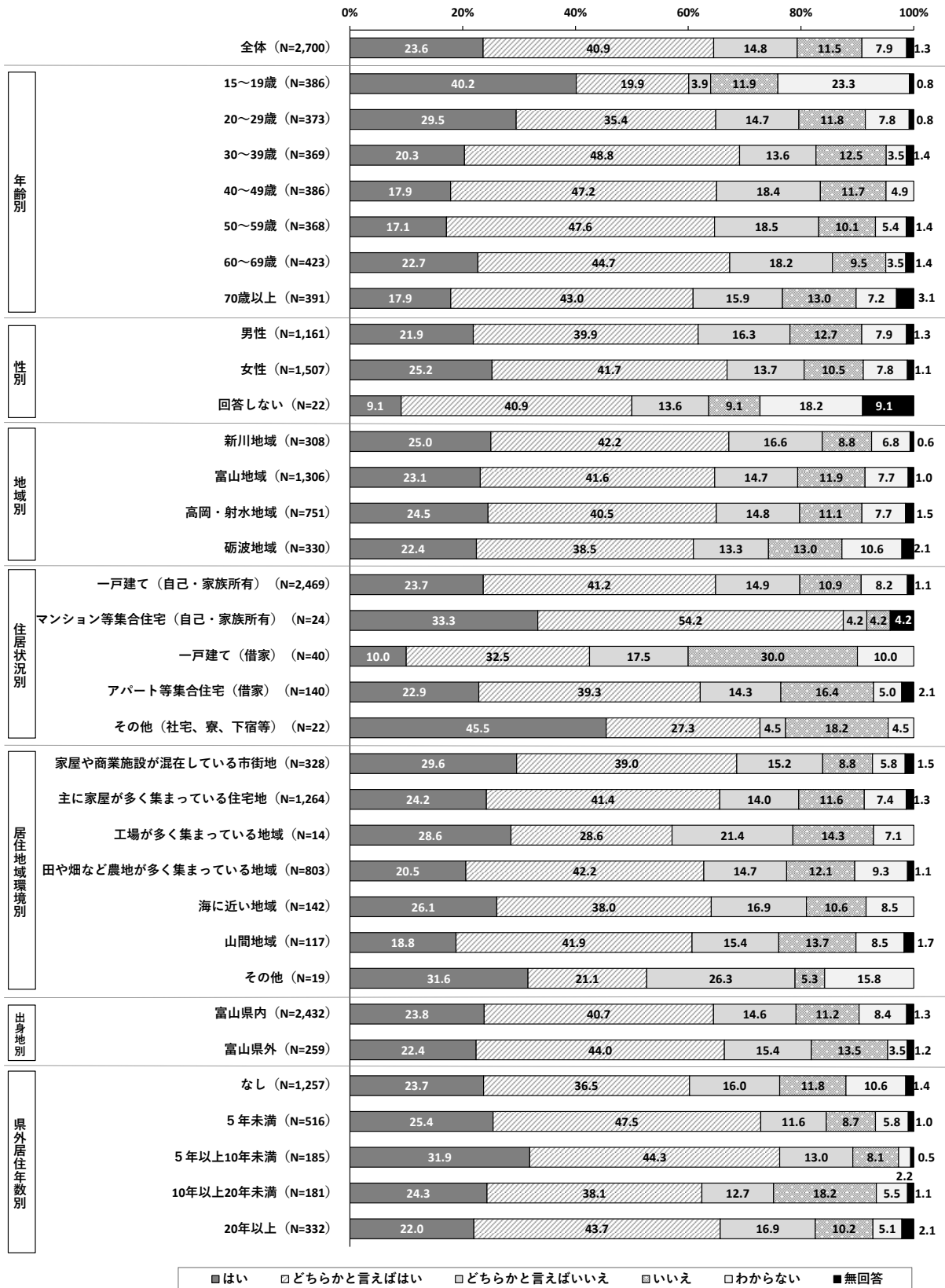
(4) - 4 出身地別

『はい』は「富山県外」の方が1.9ポイント高い。

(4) - 5 県外での居住年数別

「5年以上10年未満」では『はい』が76.2%と、他の居住年数よりも高い。

図表 6-3-1 生活に必要な所得や資産がある。



はい
  どちらかと言えばはい
  どちらかと言えはいいえ
  いいえ
  わからない
  無回答

(5) - 1 結婚の有無別

「結婚していたが、死別・離別した」では『はい』が57.6%と、他と比較して若干低い。

(5) - 2 子どもの有無別

子どもが「いる」では、「いない」よりも『はい』が4.9ポイント高い。

(5) - 3 ペットの有無別

ペットの有無で大きな差は見られないが、『はい』は「暮らしていない」の方が2.5ポイント高い。

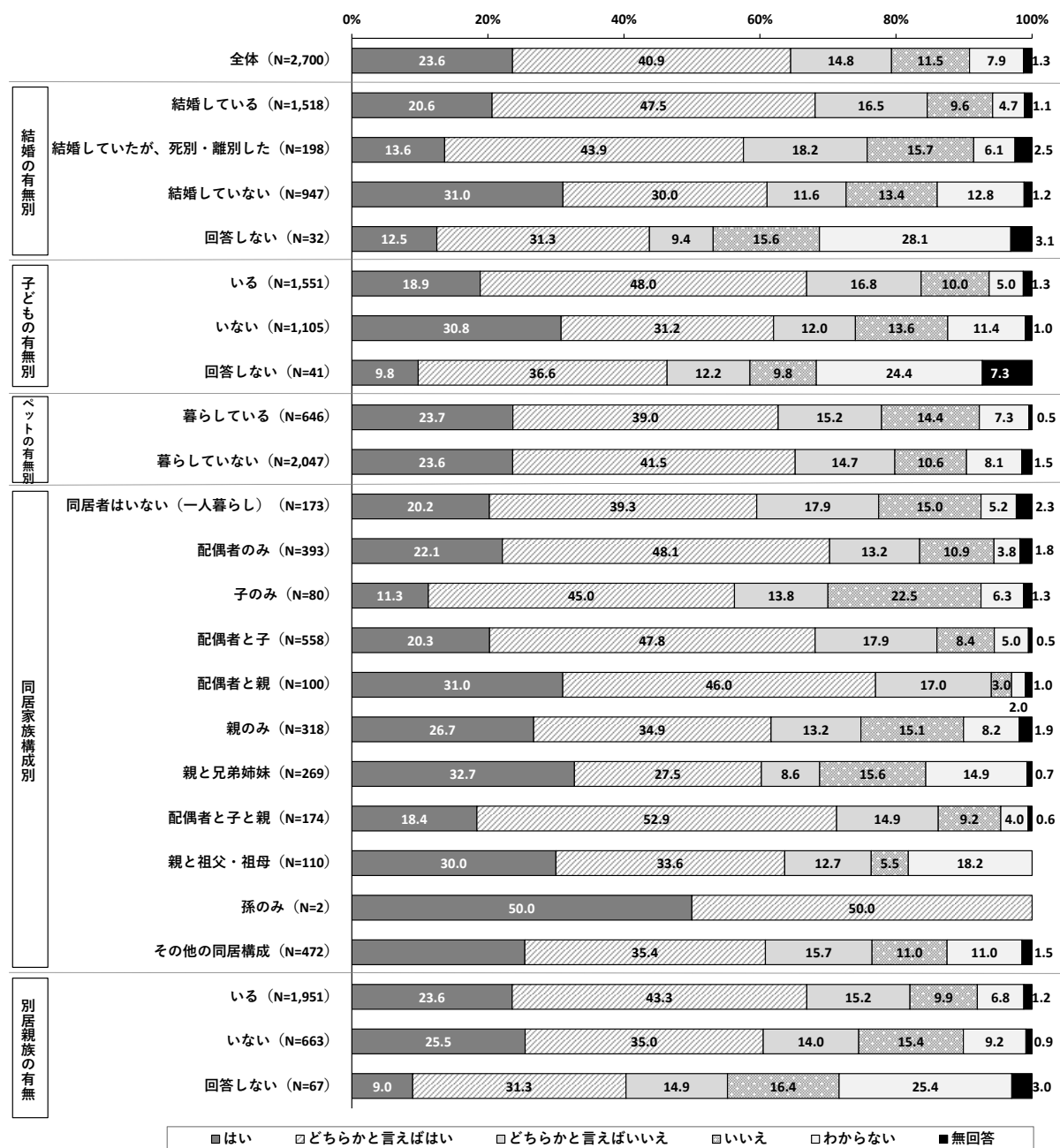
(5) - 4 同居家族の構成別

「配偶者のみ」「配偶者と親」「配偶者と子と親」では『はい』が7割台となっている。一方、「同居者はいない（一人暮らし）」と「子のみ」では『はい』が5割台と、他よりも若干低い。

(5) - 5 別居親族の有無別

別居親族が「いる」では『はい』が66.9%と、「いない」よりも6.4ポイント高い。

図表 6-3-2 生活に必要な所得や資産がある。(家族状況別)



#### (6) - 1 職業別

「自営業主（家族従業者含む）」と「正規従業員・職員」では『はい』が7割台となっている。一方、「無職」では『はい』が52.5%、『いいえ』が36.8%となっている。

#### (6) - 2 職業分野別

「金融業・保険業」「教育、学習支援業」「公務」では『はい』が8割台となっている。一方、「生活関連サービス業、娯楽業」と「その他サービス業」では『はい』が5割台と、他の職業分野よりも低い。

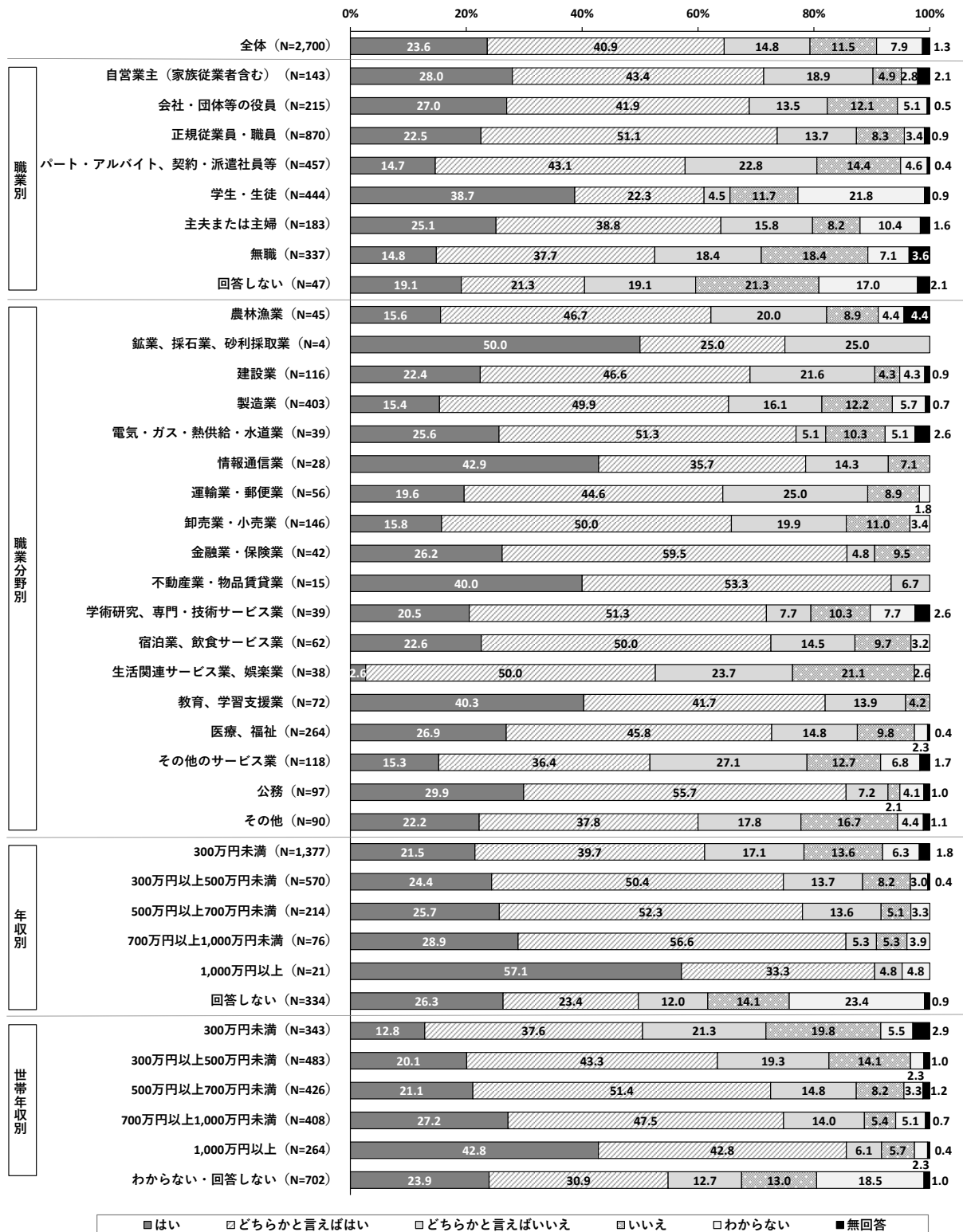
#### (6) - 3 年収別

年収が高くなるほど『はい』が高くなる傾向にあり、「700万円以上1,000万円未満」では85.5%を占めている。一方、「300万円未満」では『はい』が61.1%と、他と比較して低い。

#### (6) - 4 世帯年収別

世帯年収が高くなるほど『はい』が高くなる傾向にあり、「1,000万円以上」では85.6%を占めている。一方、「300万円未満」では『いいえ』が41.1%を占めている。

図表 6-3-3 生活に必要な所得や資産がある。(職業・年収別)



問6-4 自分のしたいことをする、または欲しい物が買える経済的なゆとりがある。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が60.0%、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が36.1%であった。

(2) 年齢別

29歳以下と50～69歳では『はい』が6割を超えており、「15～19歳」では72.3%を占めている。一方、「40～49歳」と「70歳以上」では、『いいえ』が4割を超えている。

(3) 性別

『はい』は「男性」よりも「女性」の方が7.8ポイント高い。

(4) - 1 地域別

「新川地域」と「砺波地域」では『はい』が6割を超えている。

(4) - 2 現在の住居状況別

「一戸建て（自己・家族所有）」では『はい』が60.7%となっている。一方、「一戸建て（借家）」では『いいえ』が50.0%となっている。

(4) - 3 現在の居住地環境別

「家屋や商業施設が混在している市街地」と「山間地域」では『はい』が、他の居住地環境よりも若干高い。

(4) - 4 出身地別

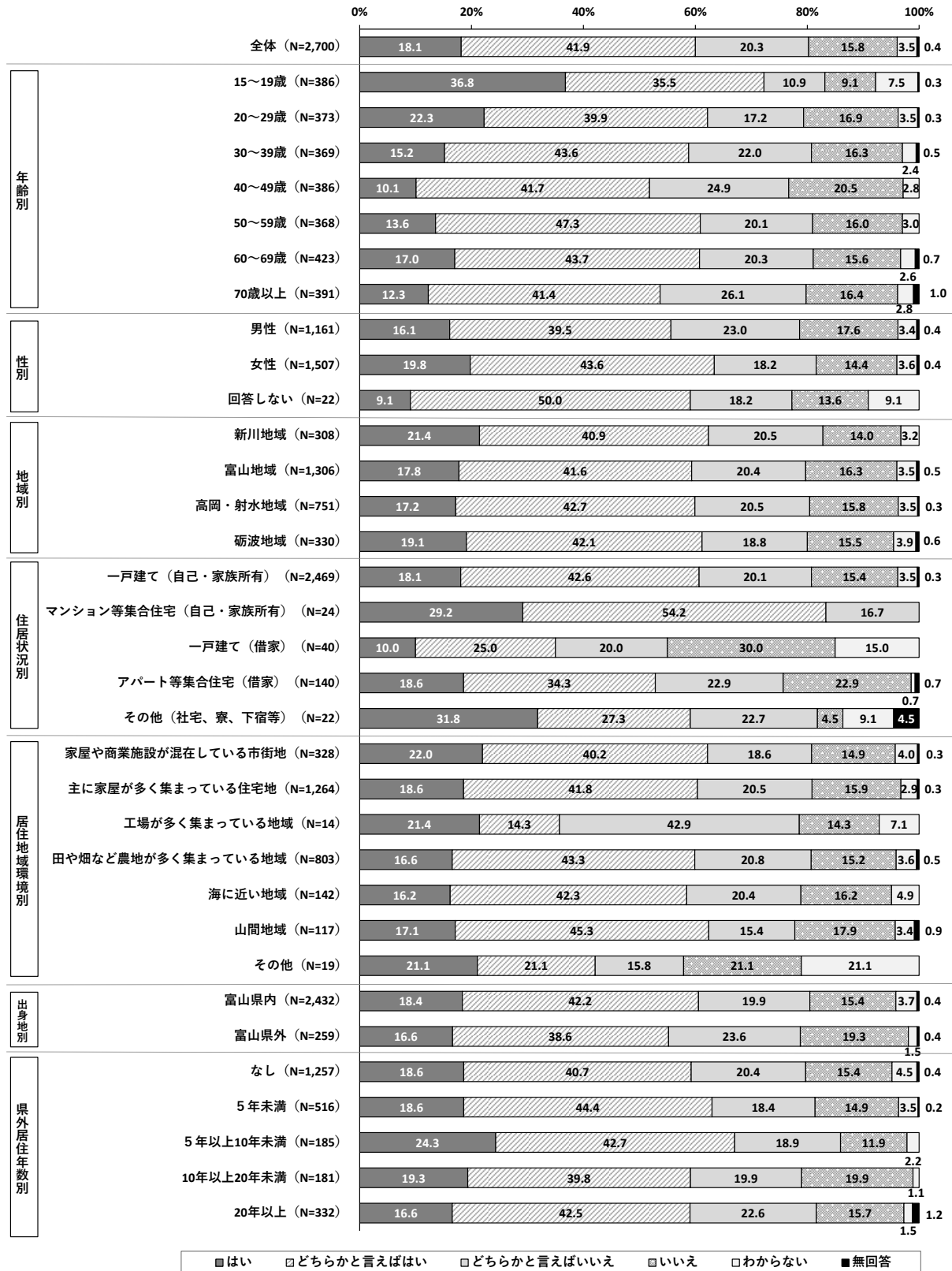
『はい』は「富山県内」の方が5.4ポイント高い。

(4) - 5 県外での居住年数別

「5年以上10年未満」では『はい』が67.0%と、他と比較して若干高い。



図表 6-4-1 自分のしたいことをする、または欲しい物が買える経済的なゆとりがある。



■はい □どちらかと言えば □どちらかと言えばいい □いい □わからない ■無回答

(5) - 1 結婚の有無別

「結婚していたが、死別・離別した」では『いいえ』が42.4%と他と比較して高い。

(5) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では『はい』が64.6%と、「いる」よりも7.5ポイント高い。

(5) - 3 ペットの有無別

ペットの有無で大きな差は見られない。

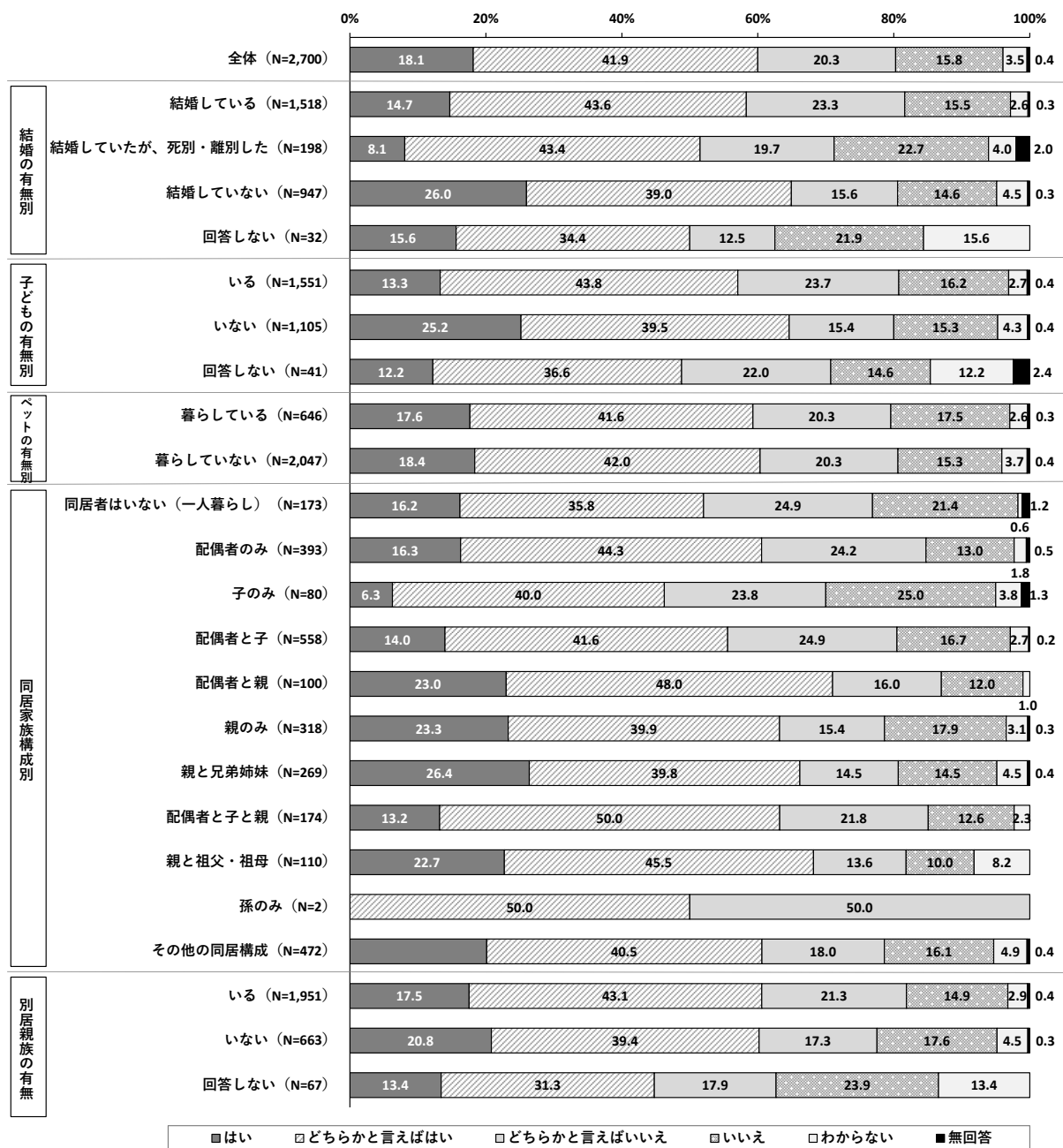
(5) - 4 同居家族の構成別

「配偶者と親」では『はい』が71.0%と、他と比較して若干高い。一方、「子のみ」では『はい』が46.3%と他よりも低く、『いいえ』(48.8%)の方が上回っている。

(5) - 5 別居親族の有無別

別居親族の有無で大きな差は見られない。

図表 6-4-2 自分のしたいことをする、または欲しい物が買える経済的なゆとりがある。  
(家族状況別)



#### (6) - 1 職業別

「学生」では『はい』が70.7%を占めている。一方、「パート・アルバイト、契約・派遣社員等」と「無職」では『いいえ』が46.0%を占めている。

#### (6) - 2 職業分野別

「教育、学習支援業」と「公務」では『はい』が7割台となっている。一方、「生活関連サービス業、娯楽業」「その他サービス業」では『はい』が他の職業分野よりも低くなっている。

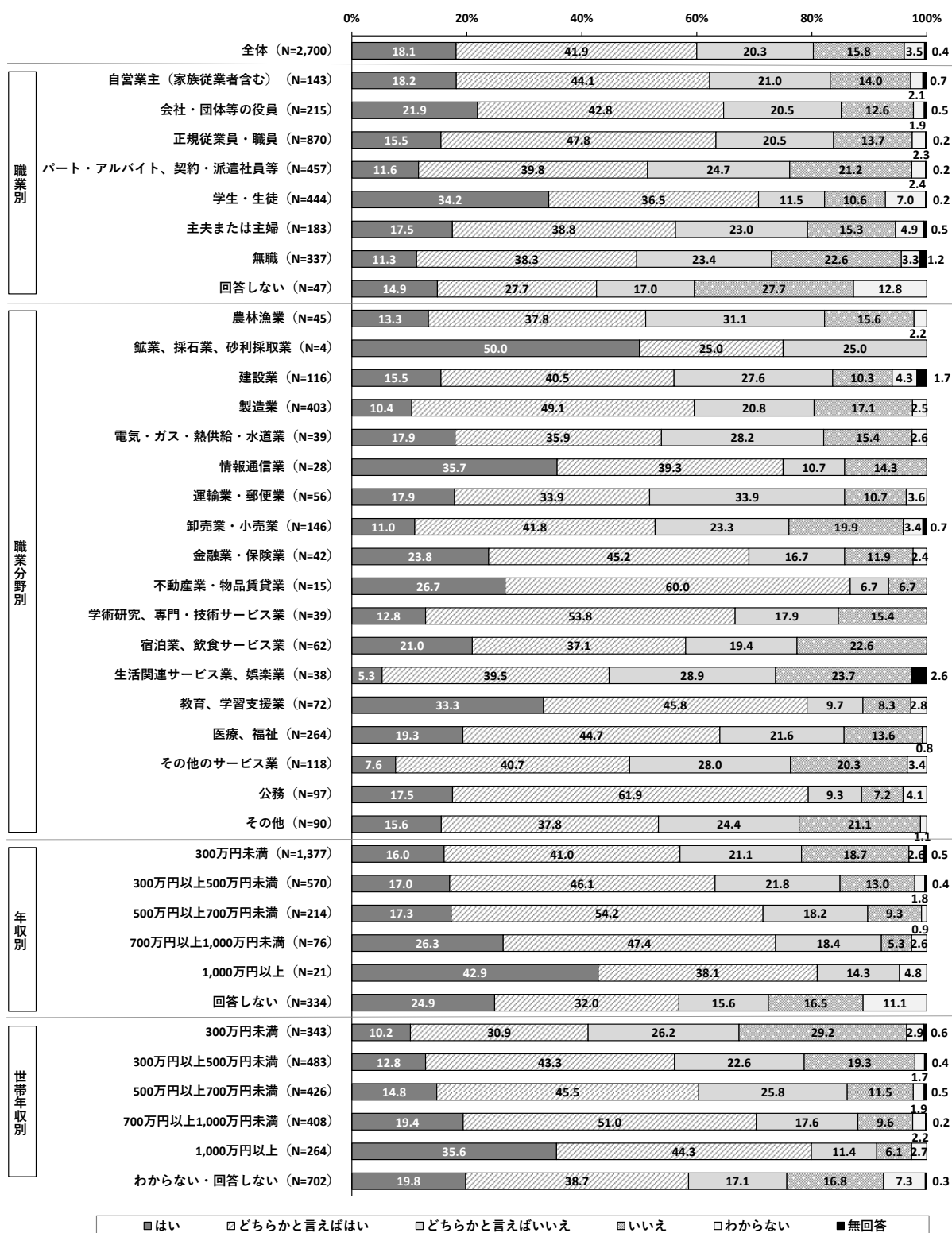
#### (6) - 3 年収別

年収が高くなるほど『はい』が高くなる傾向にあり、500万円以上では7割を超えている。

#### (6) - 4 世帯年収別

世帯年収が高くなるほど『はい』が高くなる傾向にあり、700万円以上では7割を超えている。一方、「300万円未満」では『いいえ』が55.4%を占めている。

図表 6-4-3 自分のしたいことをする、または欲しい物が買える経済的なゆとりがある。  
(職業・年収別)



■はい □どちらかと言えばいいえ □どちらかと言えばいいえ □いいえ □わからない ■無回答

問6-5 住まいは快適・安全・安心であると感じている。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が82.1%を占めている。一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は15.6%であった。

(2) 年齢別

すべての年代で『はい』が7割を超えている。また、「15～19歳」では「はい」が68.1%と高い割合を占めている。

(3) 性別

男女間で大きな差は見られない。

(4) - 1 地域別

すべての地域で『はい』が8割を超えており、「富山地域」では84.0%を占めている。

(4) - 2 現在の住居状況別

「一戸建て（自己・家族所有）」では『はい』が83.0%を占めている。

(4) - 3 現在の居住地環境別

「家屋や商業施設が混在している市街地」「主に家屋が多く集まっている住宅地」「田や畑など農地が多く集まっている地域」では『はい』が8割を超えている。

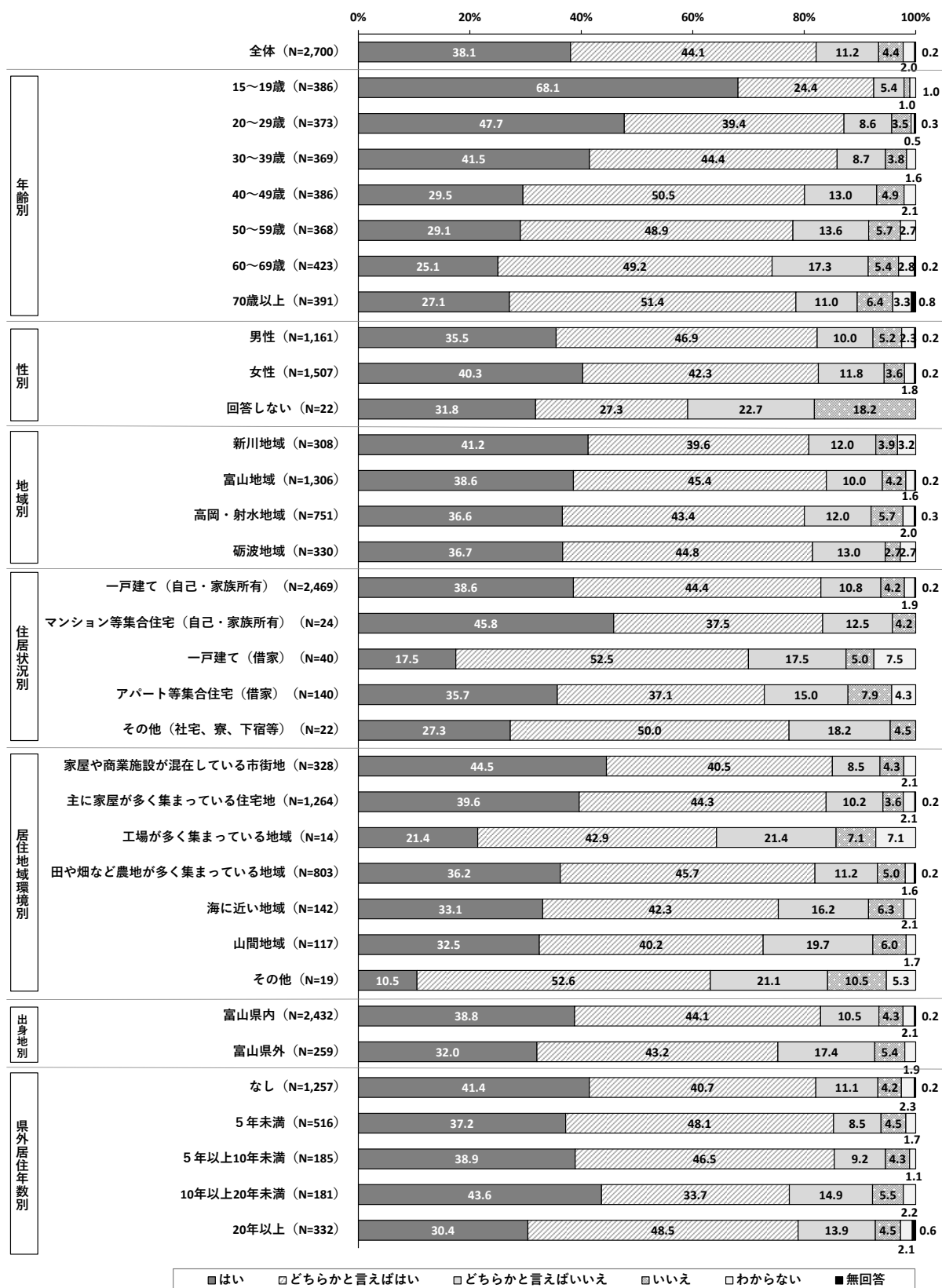
(4) - 4 出身地別

『はい』は「富山県内」の方が7.6ポイント高い。

(4) - 5 県外での居住年数別

「なし」「5年未満」「5年以上10年未満」では『はい』が8割を超えている。

図表 6-5-1 住まいは快適・安全・安心であると感じている。



#### (5) - 1 結婚の有無別

「結婚していない」では『はい』が85.6%（うち「はい」が49.9%）と、他よりも若干高い。一方、「結婚していたが、死別・離別した」では『いいえ』が21.7%と、他と比較して若干高い。

#### (5) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では『はい』が85.9%と、「いる」よりも6.0ポイント高い。

#### (5) - 3 ペットの有無別

ペットの有無で大きな差は見られない。

#### (5) - 4 同居家族の構成別

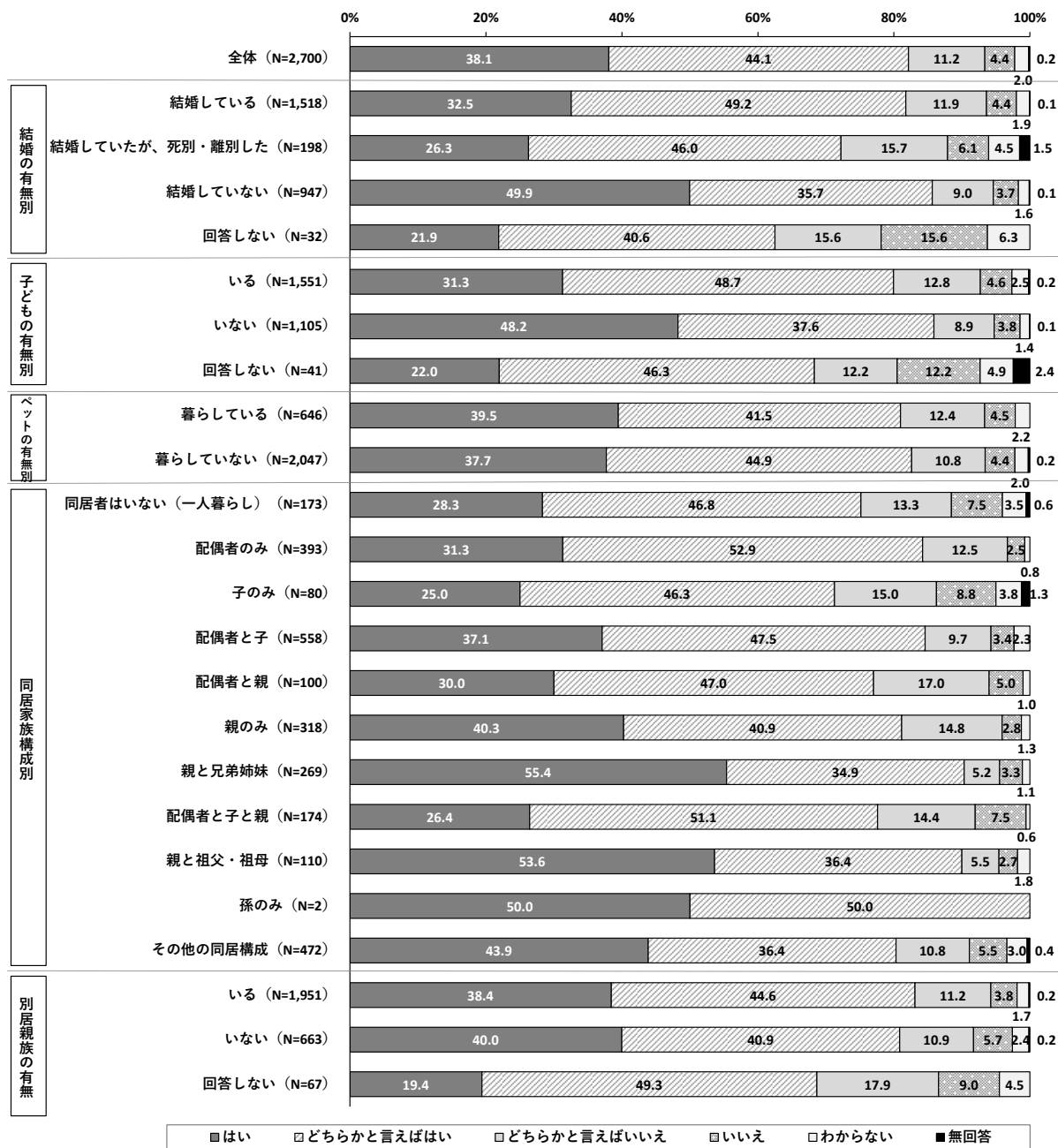
「親と兄弟姉妹」「親と祖父・祖母」では『はい』が9割台と、他と比較して若干高い。一方、「同居者はいない（一人暮らし）」「子のみ」「配偶者と親」「配偶者と子と親」では『はい』が7割台と、他よりも若干低い。

#### (5) - 5 別居親族の有無別

別居親族の「いる」「いない」ともに『はい』が8割台となっているが、「いる」の方が2.3ポイント高い。



図表 6-5-2 住まいは快適・安全・安心であると感じている。(家族状況別)



#### (6) - 1 職業別

「学生」では『はい』が92.6%（うち「はい」が65.3%）と高い割合を占めている。一方、「無職」では『はい』が74.2%、『いいえ』が20.2%となっている。

#### (6) - 2 職業分野別

「農林漁業」を除きすべての職業分野で『はい』が7割を超えている。「金融業・保険業」と「教育、学習支援業」では「はい」が5割以上と高い割合を占めている。一方、「農林漁業」では『はい』が66.7%と、他の職業分野よりも低い。

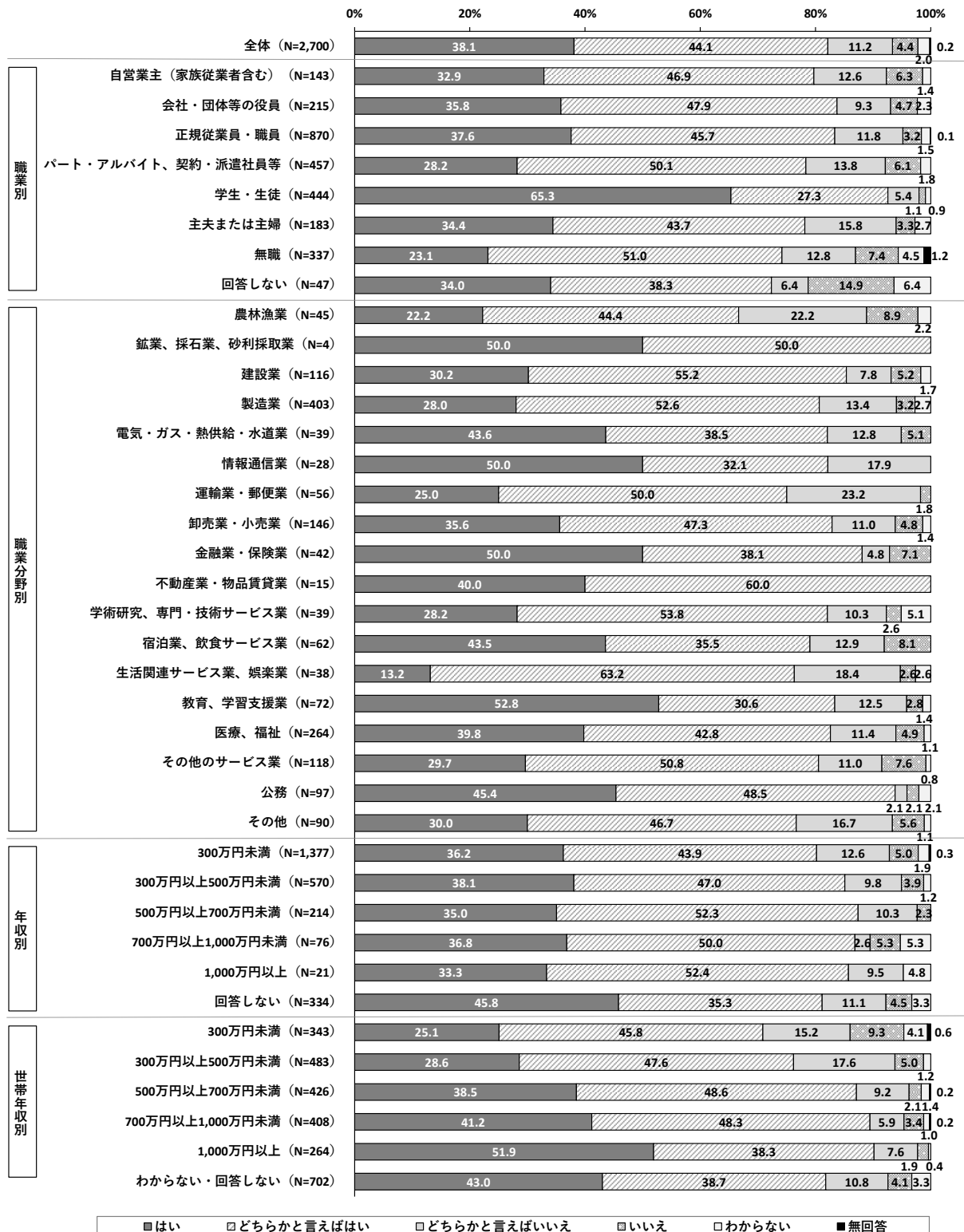
#### (6) - 3 年収別

すべての年収で『はい』が8割を超えている。

#### (6) - 4 世帯年収別

世帯年収が高くなるほど『はい』が高くなる傾向にあり、500万円以上では『はい』が8割を超え、「1,000万円以上」では90.2%と高い割合を占めている。

図表 6-5-3 住まいは快適・安全・安心であると感じている。(職業・年収別)



問6-6 自分を受け入れてくれて、心から安らげる場所がある。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が84.0%を占めている。一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は11.8%であった。

(2) 年齢別

すべての年代で『はい』が7割を超え、50歳代以下では8割を超えている。また、「15～19歳」では「はい」が66.1%と高い割合を占めている。

(3) 性別

「はい」は「女性」の方が9.4ポイント高い。

(4) - 1 地域別

すべての地域で『はい』が8割を超えている。

(4) - 2 現在の住居状況別

サンプル数が多い「一戸建て（自己・家族所有）」では『はい』が84.5%となっている。

(4) - 3 現在の居住地域環境別

「家屋や商業施設が混在している市街地」と「海に近い地域」では『はい』が約86%と、他の居住地域環境よりも若干高い。

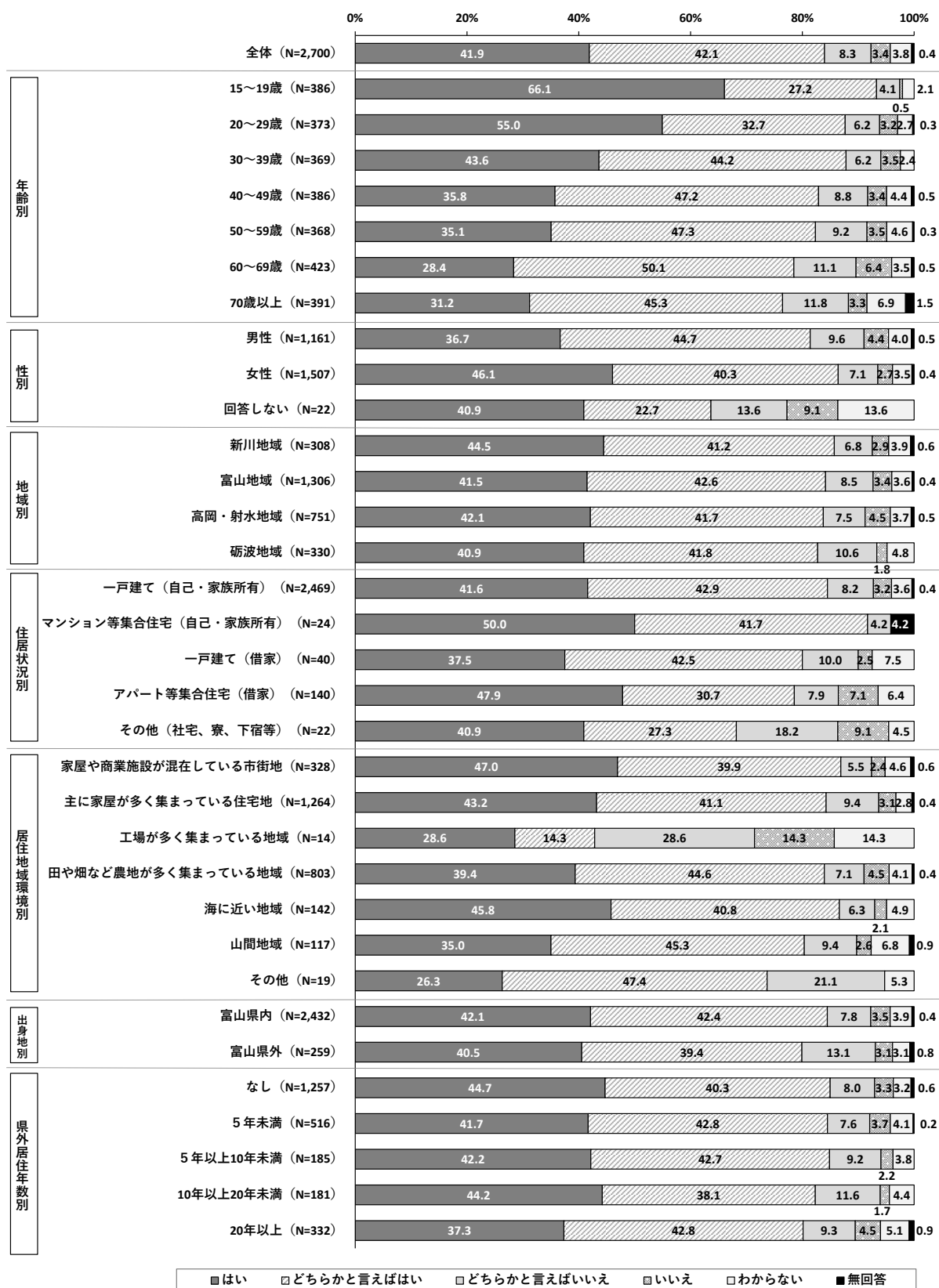
(4) - 4 出身地別

『はい』は「富山県内」の方が4.6ポイント高い。

(4) - 5 県外での居住年数別

どの居住年数でも『はい』が8割を超えている。

図表 6-6-1 自分を受け入れてくれて、心から安らげる場所がある。



■はい □どちらかと言えばはい □どちらかと言えいいえ □いいえ □わからない ■無回答

(5) - 1 結婚の有無別

「結婚していたが、死別・離別した」では『はい』が75.8%と、他と比較して若干低い。

(5) - 2 子どもの有無別

『はい』では、子どもの有無で大きな差は見られないが、「はい」では子どもが「いない」で、子どもが「いる」よりも12.5ポイント高い。

(5) - 3 ペットの有無別

ペットの有無で大きな差は見られないが、『はい』は「暮らしている」の方が2.1ポイント高い。

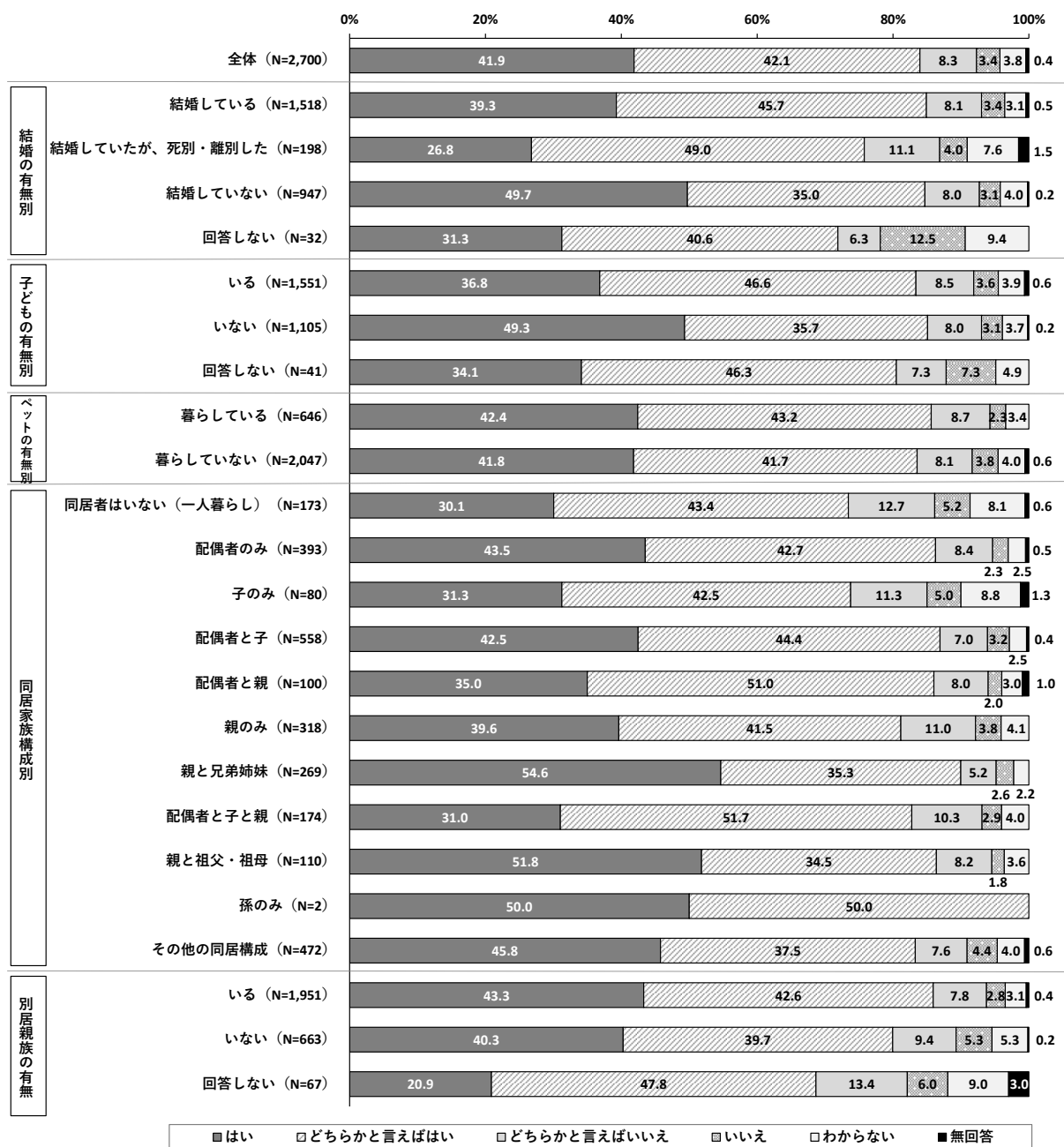
(5) - 4 同居家族の構成別

「親と兄弟姉妹」では『はい』が90.0%と、他と比較して若干高い。一方、「同居者はいない(一人暮らし)」と「子のみ」では『はい』が73%台と、他よりも低い。

(5) - 5 別居親族の有無別

別居親族が「いる」では『はい』が85.9%と、「いない」よりも6.0ポイント高い。

図表 6-6-2 自分を受け入れてくれて、心から安らげる場所がある。(家族状況別)



#### (6) - 1 職業別

「学生」では『はい』が94.4%（うち「はい」が65.3%）と高い割合を占めている。一方、「無職」では『はい』が71.8%、『いいえ』が19.3%となっている。

#### (6) - 2 職業分野別

すべての職業分野で『はい』が7割を超えている。「金融業・保険業」「宿泊業、飲食サービス業」「教育、学習支援業」では「はい」が5割を超え、他の職業分野よりも高い。

#### (6) - 3 年収別

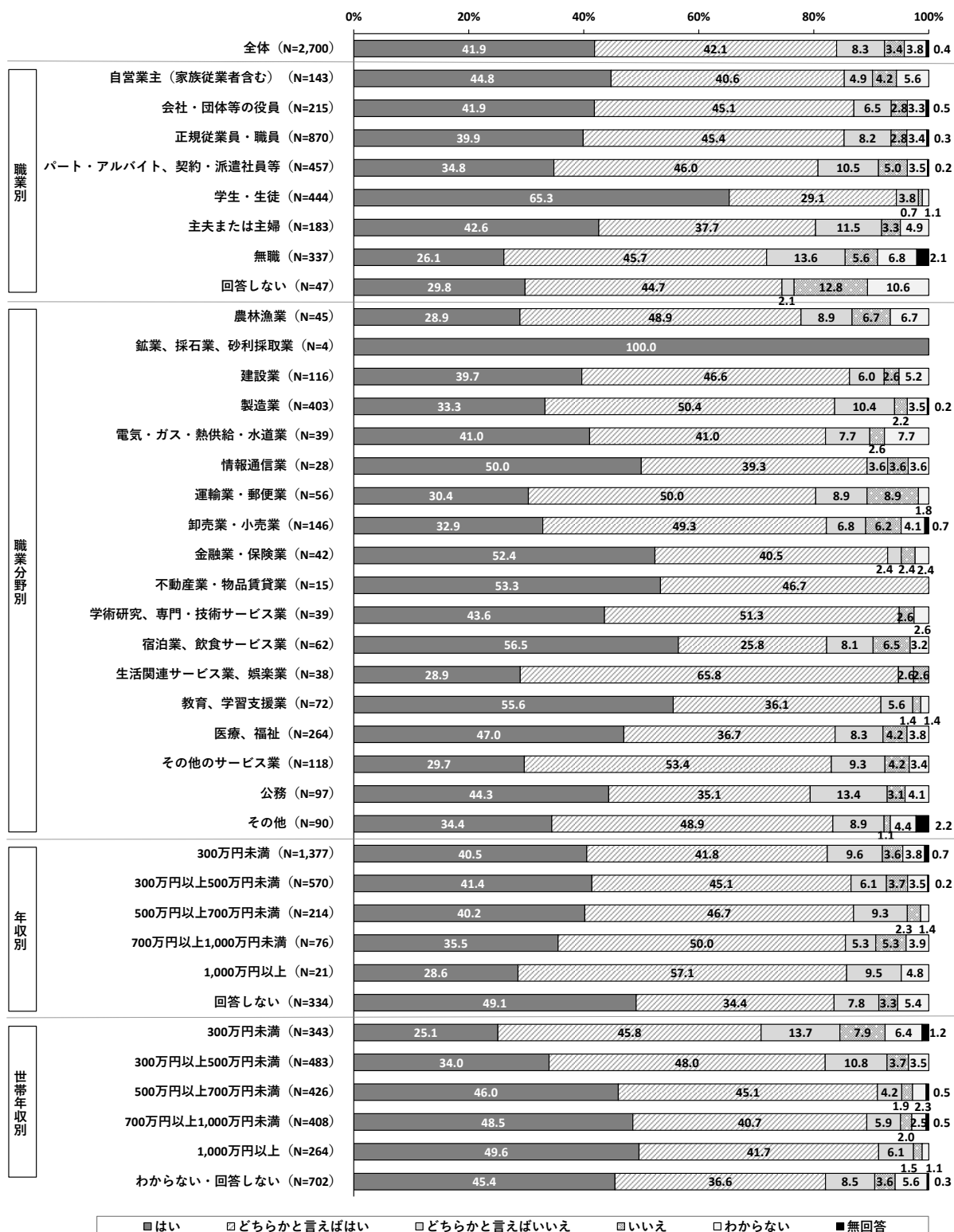
すべてで『はい』が8割を超えている。

#### (6) - 4 世帯年収別

「500万円以上700万円未満」と「1,000万円以上」では『はい』が9割台となっている。一方、「300万円未満」では『はい』が70.8%と、他よりも低い。



図表 6-6-3 自分を受け入れてくれて、心から安らげる場所がある。(職業・年収別)



問6-7 現在置かれている立場・地位に満足を感じている。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が66.6%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が26.8%となっている。

(2) 年齢別

「15～19歳」では『はい』が82.6%を占めている。一方、30～49歳では5割台となっており、他の年代よりも『はい』が低い。

(3) 性別

『はい』は「男性」より「女性」の方が5.6ポイント高い。

(4) - 1 地域別

すべての地域で『はい』が6割を超えており、「新川地域」では73.4%と、他の地域よりも高い。

(4) - 2 現在の住居状況別

「一戸建て（自己・家族所有）」では『はい』が67.1%、「アパート等集合住宅（借家）」では64.3%となっている。

(4) - 3 現在の居住地域環境別

「家屋や商業施設が混在している市街地」では『はい』が70.4%と、他の居住地域環境よりも高い。

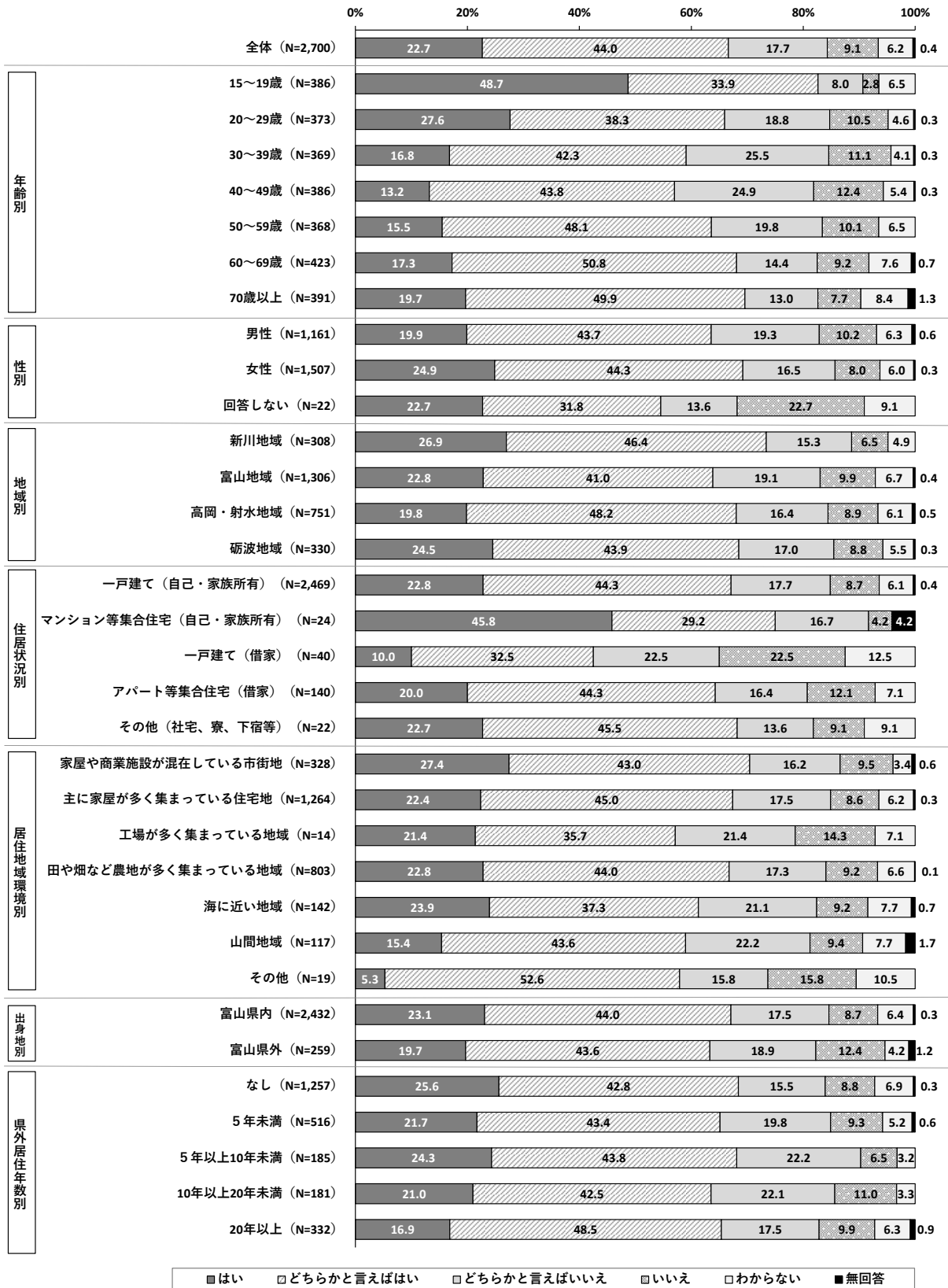
(4) - 4 出身地別

『はい』は「富山県内」の方が3.8ポイント高い。

(4) - 5 県外での居住年数別

どの居住年数でも『はい』が6割を超えている。

図表 6-7-1 現在置かれている立場・地位に満足を感じている。



■はい □どちらかと言えばはい □どちらかと言えばいいえ □いいえ □わからない ■無回答

(5) - 1 結婚の有無別

「結婚していたが、死別・離別した」では『はい』が62.1%と、他よりも若干低い。

(5) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では、「はい」が29.5%と、子どもが「いる」よりも11.6ポイント高い。

(5) - 3 ペットの有無別

ペットの有無で大きな差は見られない。

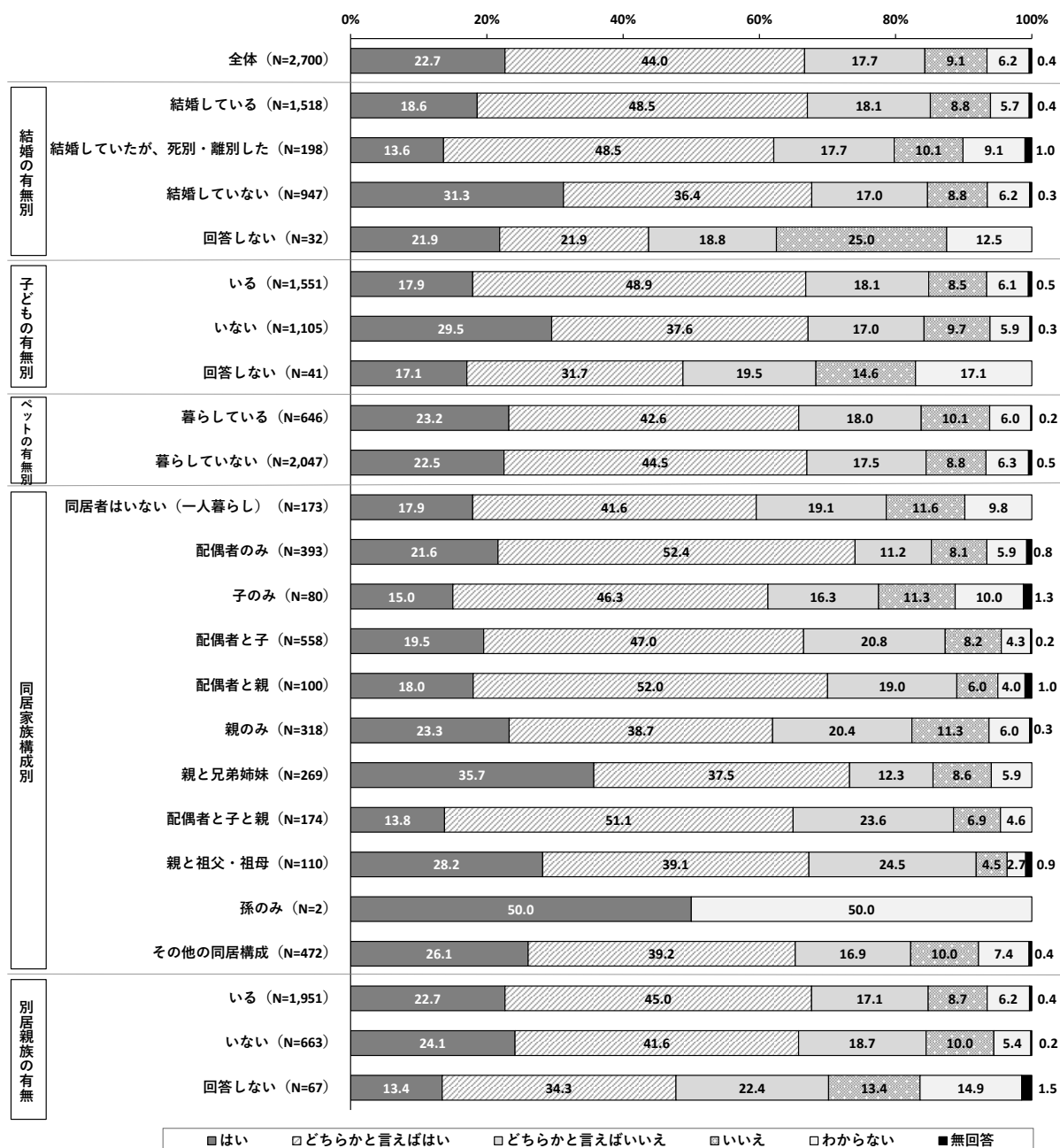
(5) - 4 同居家族の構成別

「配偶者のみ」「配偶者と親」「親と兄弟姉妹」では『はい』が7割台と、他と比較して若干高い。一方、「同居者はいない（一人暮らし）」では『はい』が59.5%と、他よりも低い。

(5) - 5 別居親族の有無別

別居親族の有無で大きな差は見られない。

図表 6-7-2 現在置かれている立場・地位に満足を感じている。(家族状況別)



#### (6) - 1 職業別

「学生」では『はい』が82.0%（うち「はい」が47.3%）と高い割合を占めている。一方、「無職」では『はい』が62.0%となっている。

#### (6) - 2 職業分野別

「運輸業・郵便業」「教育、学習支援業」「医療、福祉」では『はい』が7割台と、他の職業分野よりも比較的高い。

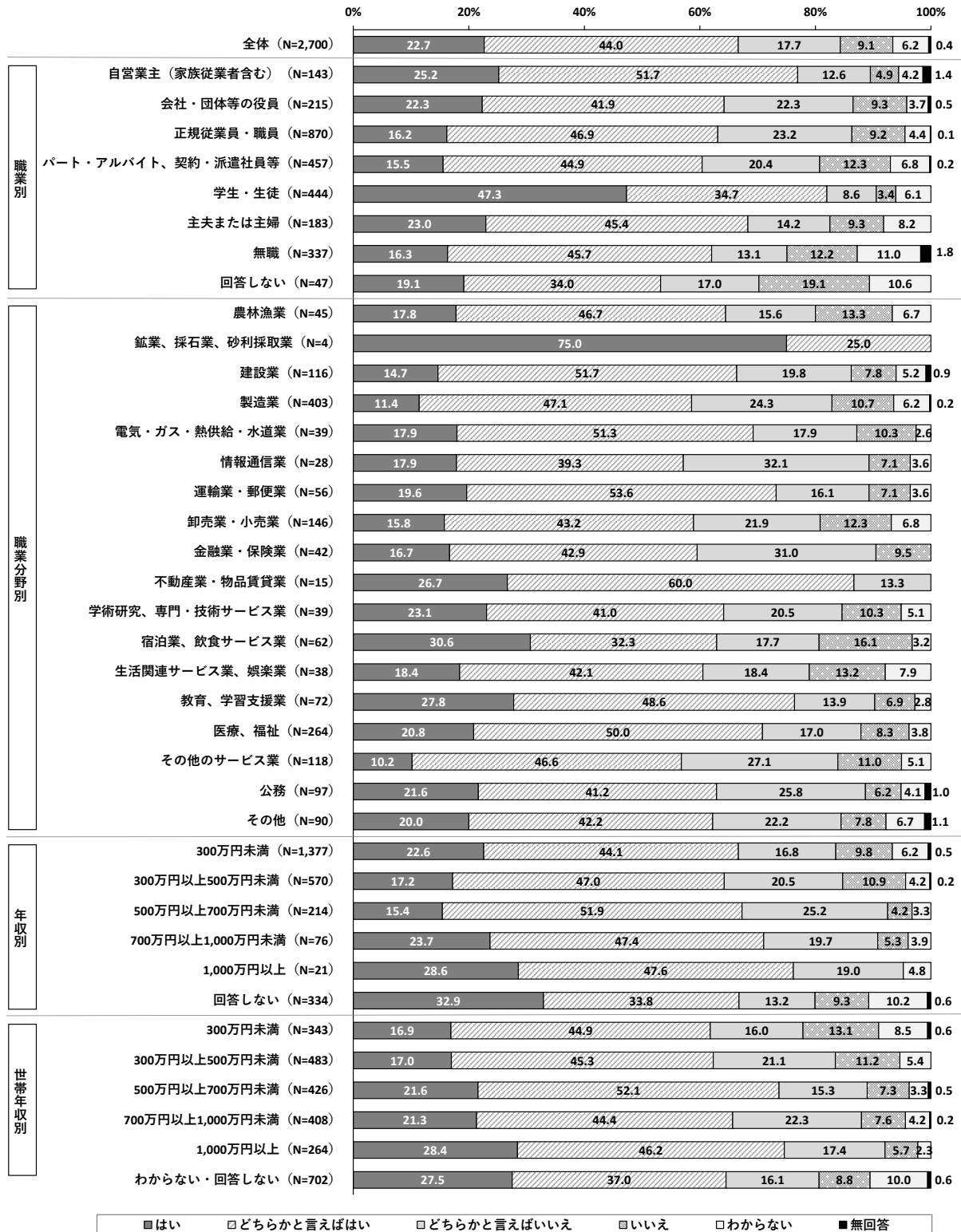
#### (6) - 3 年収別

年収が高くなるほど『はい』が高くなる傾向にあり、年収700万円以上では7割を超えている。

#### (6) - 4 世帯年収別

「500万円以上700万円未満」と「1,000万円以上」では『はい』が7割台となっている。

図表 6-7-3 現在置かれている立場・地位に満足を感じている。(職業・年収別)



問6-8 楽しい、嬉しい、面白いなど（ポジティブな）明るい気持ちになることが多い。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が70.8%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が24.9%となっている。

(2) 年齢別

「15～19歳」では『はい』が85.8%を占めている。

(3) 性別

『はい』は「男性」よりも「女性」の方が6.1ポイント高い。

(4) - 1 地域別

「高岡・射水地域」と「砺波地域」で『はい』が7割を超えている。

(4) - 2 現在の住居状況別

「一戸建て（自己・家族所有）」では『はい』が70.6%を占めている。

(4) - 3 現在の居住地域環境別

「家屋や商業施設が混在している市街地」「主に家屋が多く集まっている住宅地」「海に近い地域」では『はい』が7割を超えている。

(4) - 4 出身地別

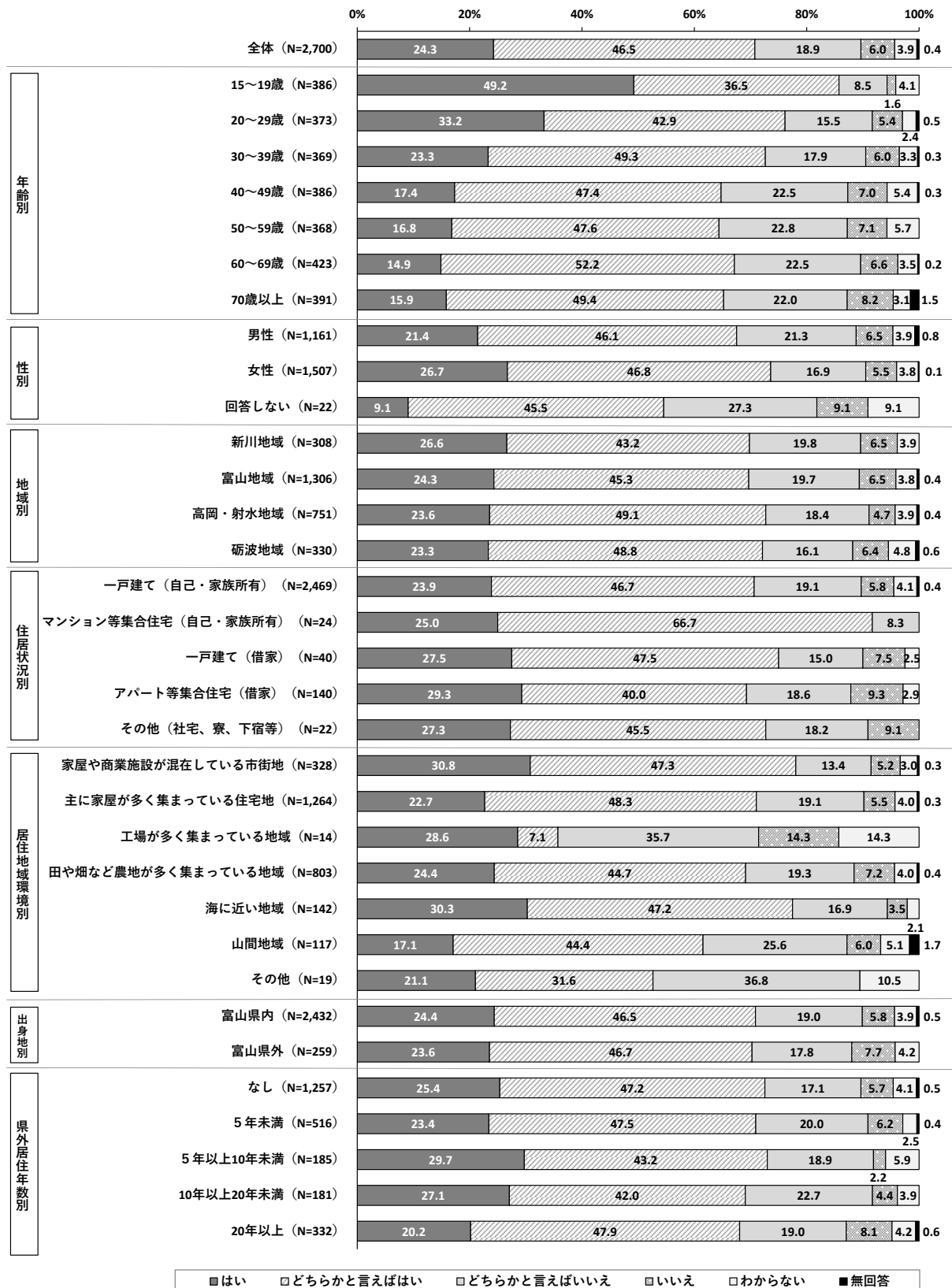
出身地で大きな差は見られない。

(4) - 5 県外での居住年数別

「なし」「5年未満」「5年以上10年未満」では『はい』が7割を超えている。



図表 6-8-1 楽しい、嬉しい、面白いなど（ポジティブな）明るい気持ちになることが多い。



(5) - 1 結婚の有無別

「結婚している」と「結婚していない」では『はい』が7割を超えている。「結婚していたが、死別・離別した」では65.2%と、他と比較して若干低い。

(5) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では、「はい」が32.1%と、子どもが「いる」よりも13.2ポイント高い。

(5) - 3 ペットの有無別

ペットの有無で大きな差は見られない。

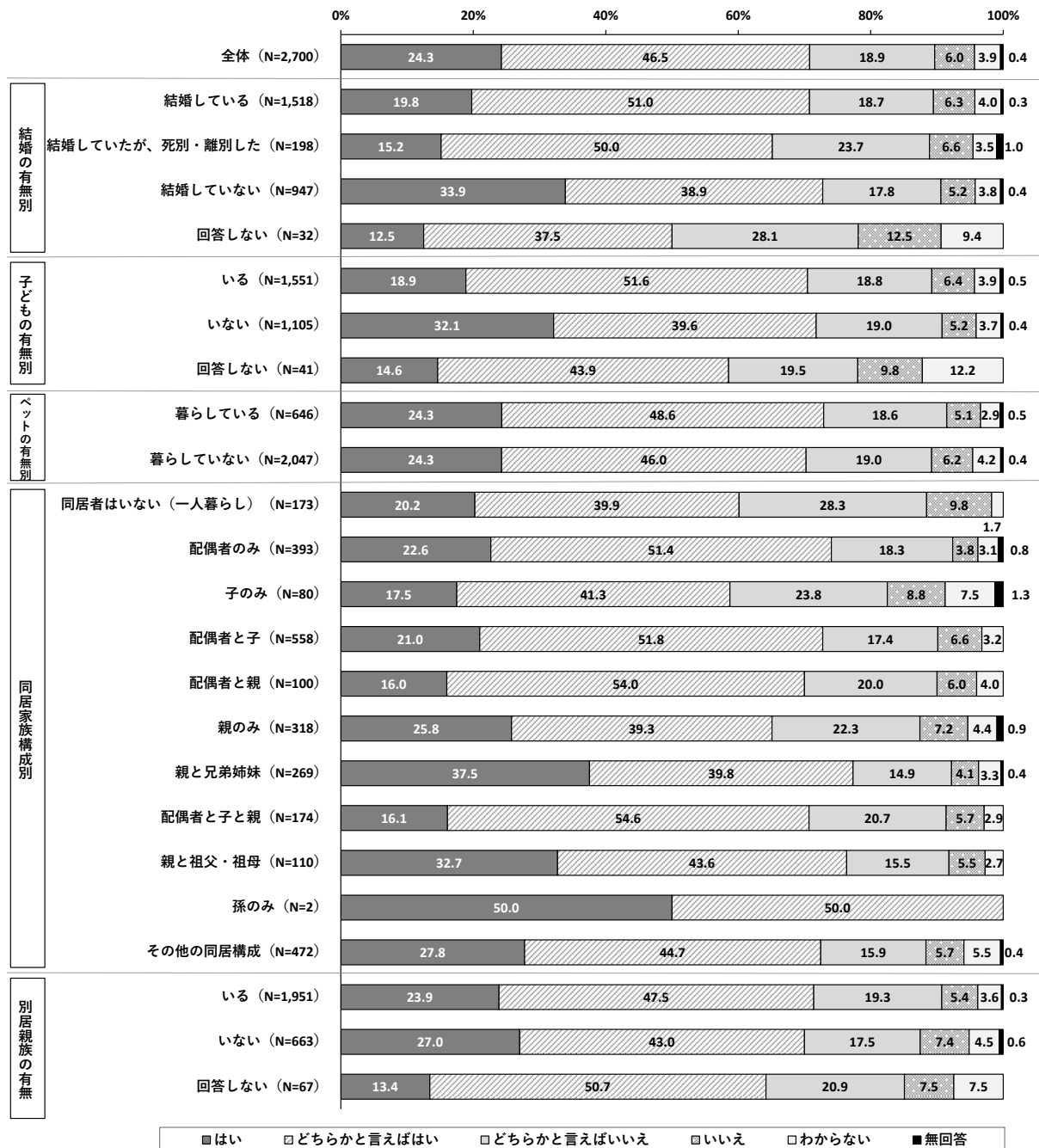
(5) - 4 同居家族の構成別

「親と兄弟姉妹」では『はい』が77.3%と、他よりも若干高い。一方、「子のみ」では『はい』が58.8%と、他よりも低い。

(5) - 5 別居親族の有無別

別居親族の有無で大きな差は見られない。

図表 6-8-2 楽しい、嬉しい、面白いなど（ポジティブな）明るい気持ちになることが多い。  
（家族状況別）



#### (6) - 1 職業別

「学生」では『はい』が84.5%（うち「はい」が46.8%）と比較的高い割合を占めている。一方、「無職」では『はい』が57.6%、『いいえ』が36.5%を占めている。

#### (6) - 2 職業分野別

「金融業・保険業」と「教育、学習支援業」では『はい』が8割台と、他の職業分野と比較して高い。

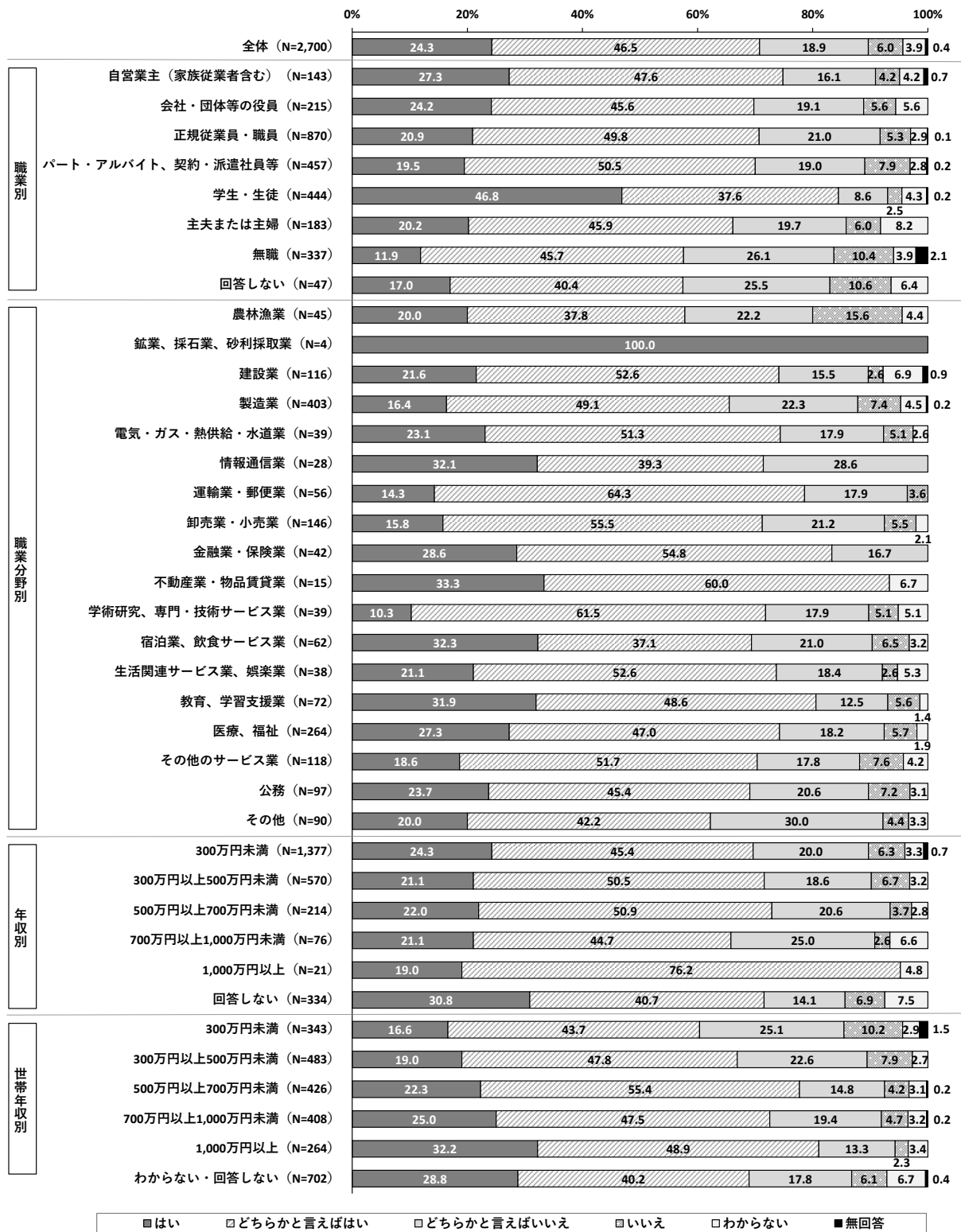
#### (6) - 3 年収別

「300万円以上500万円」と「500万円以上700万円未満」では『はい』が7割台と、他よりも若干高い。

#### (6) - 4 世帯年収別

500万円以上では7割を超え、「1,000万円以上」では81.1%と高い割合を占めている。

図表 6-8-3 楽しい、嬉しい、面白いなど（ポジティブな）明るい気持ちになることが多い。  
（職業・年収別）



問6-9 自分の選択や行動は、自らの意思で自由に決めている。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が87.0%を占めている。一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は10.5%であった。

(2) 年齢別

すべての年代で『はい』が8割を超えている。「20～29歳」では『はい』が91.4%と高い割合を占めている。

(3) 性別

男女間で大きな差は見られないが、『はい』は「女性」の方が2.7ポイント高い。

(4) - 1 地域別

すべての地域で『はい』が8割を超えている。

(4) - 2 現在の住居状況別

すべての住居状況で『はい』が8割を超えている。

(4) - 3 現在の居住地環境別

すべての居住地環境で『はい』が8割を超えている。

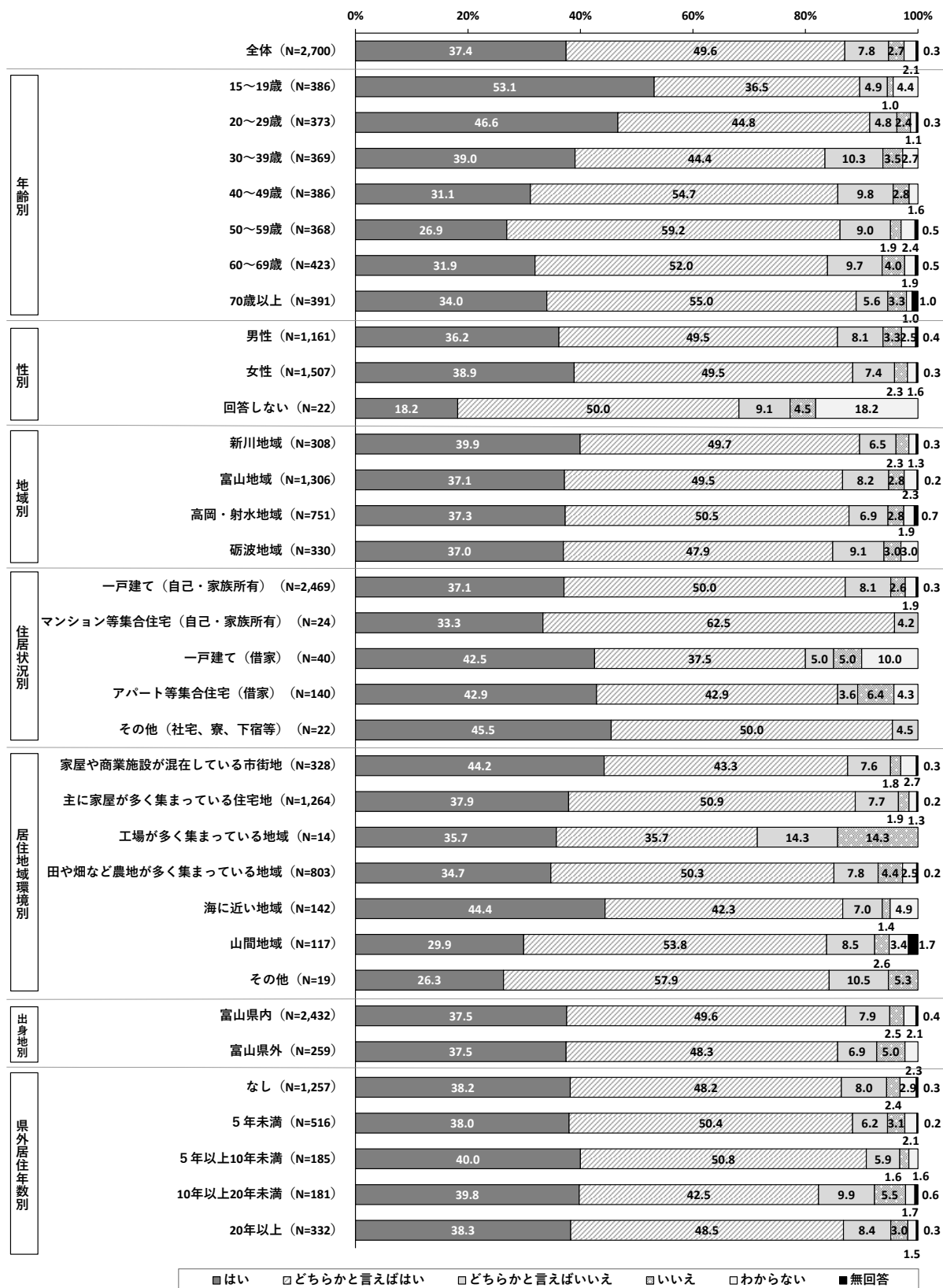
(4) - 4 出身地別

出身地による大きな差は見られない。

(4) - 5 県外での居住年数別

どの居住年数でも『はい』が8割を超えており、「5年以上10年未満」では90.8%と、他よりも高い。

図表 6-9-1 自分の選択や行動は、自らの意思で自由に決めている。



(5) - 1 結婚の有無別

「結婚していたが、死別・離別した」では『はい』が90.9%と、他よりも若干高い。

(5) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では「はい」が45.1%と、子どもが「いる」よりも12.9ポイント高い。

(5) - 3 ペットの有無別

ペットの有無で大きな差は見られない。

(5) - 4 同居家族の構成別

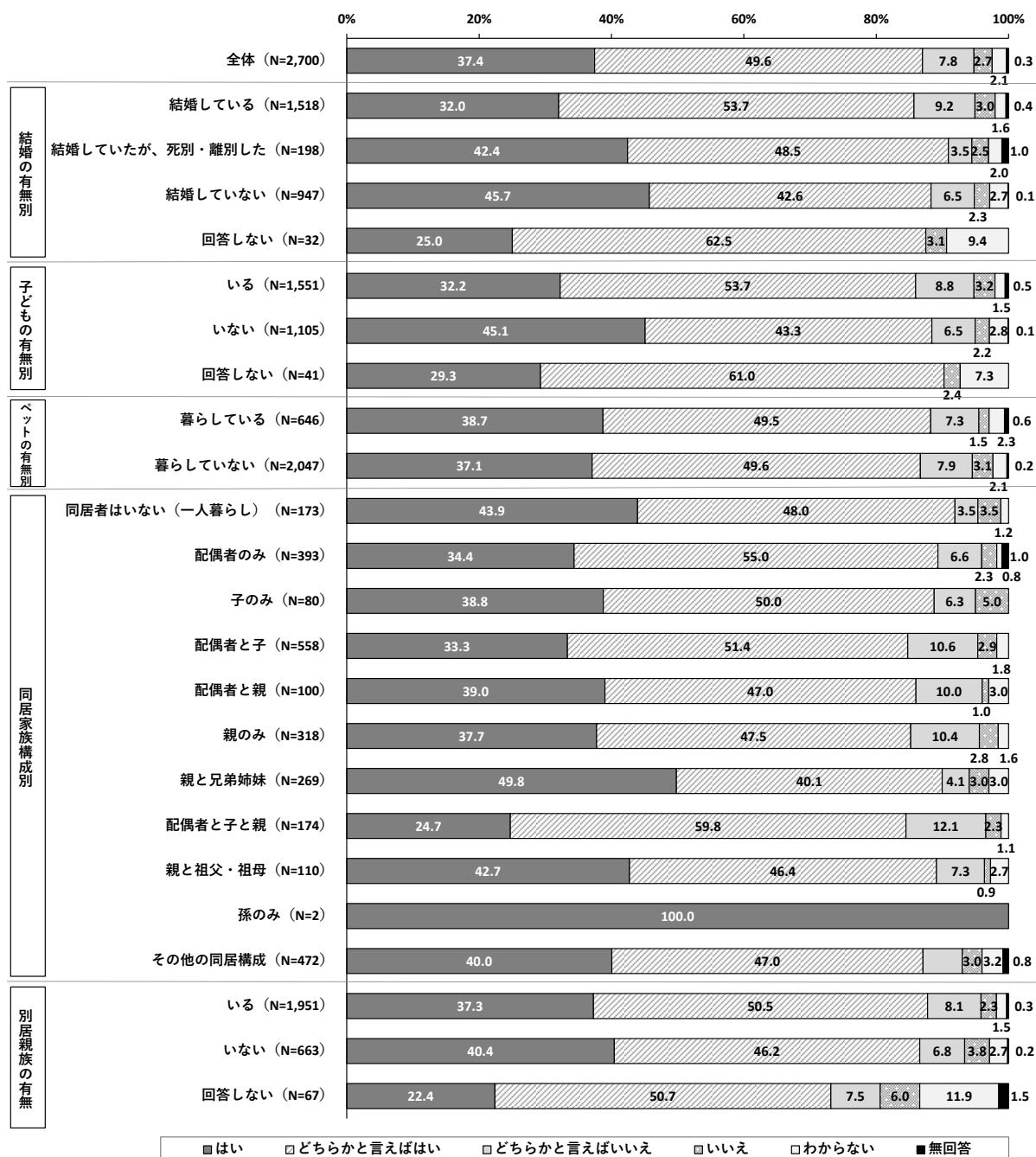
すべてで『はい』が8割を超えており、「同居者はいない（一人暮らし）」「親と兄弟姉妹」では『はい』が9割台と、他よりも若干高い。

(5) - 5 別居親族の有無別

別居親族の有無で大きな差は見られない。



図表 6-9-2 自分の選択や行動は、自らの意思で自由に決めている。(家族状況別)



#### (6) - 1 職業別

『はい』を見ると、「自営業主（家族従業者含む）」では90.2%（うち「はい」が46.2%）、「学生」では90.1%（うち「はい」が51.4%）と高い割合を占めている。

#### (6) - 2 職業分野別

「電気・ガス・熱供給・水道業」「金融業・保険業」「生活関連サービス業、娯楽業」では『はい』が9割台と、他の職業分野よりも若干高くなっている。

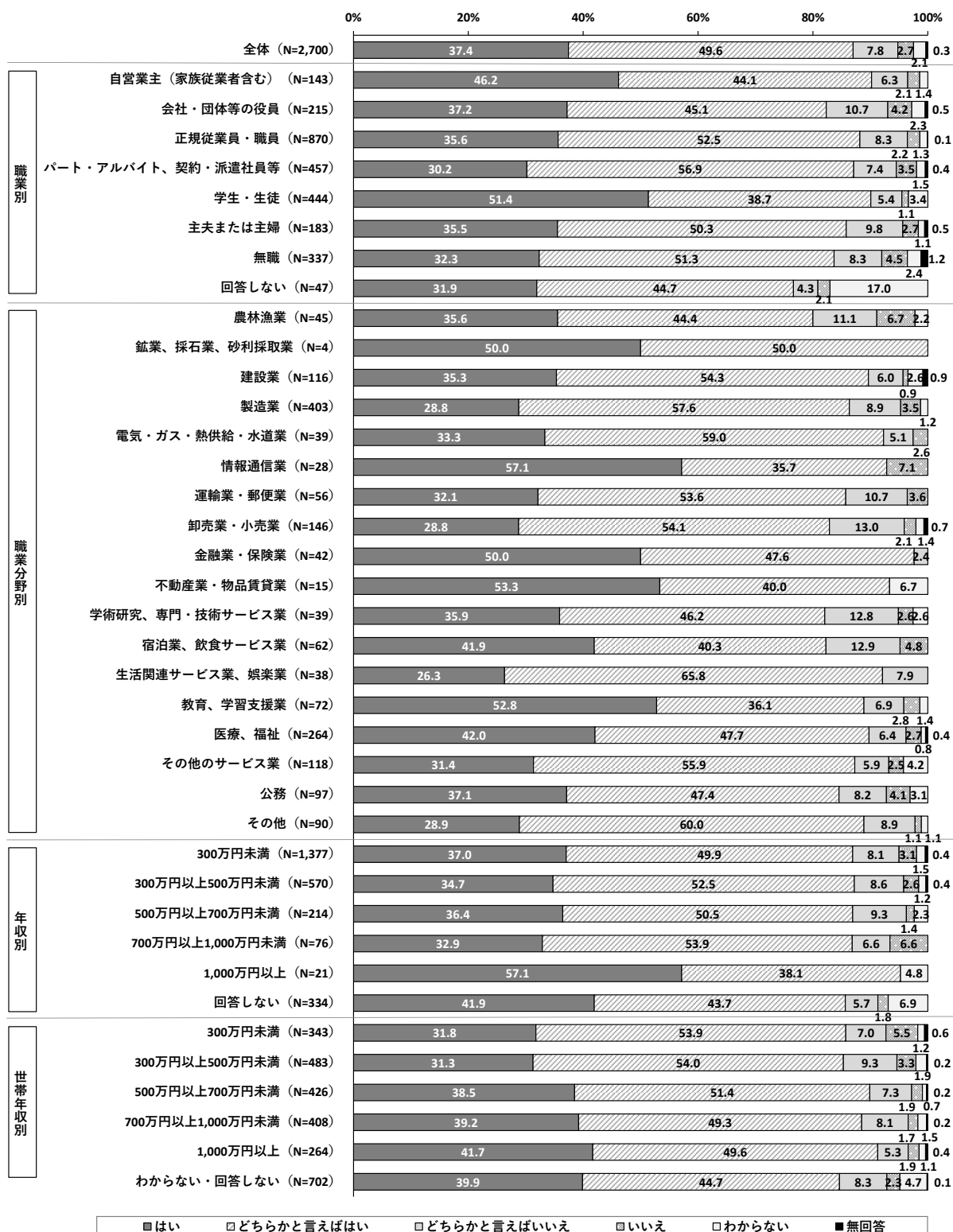
#### (6) - 3 年収別

すべての年収で『はい』が8割を超えている。

#### (6) - 4 世帯年収別

すべての年収で『はい』が8割を超えており、「1,000万円以上」では91.3%と高い割合を占めている。

図表 6-9-3 自分の選択や行動は、自らの意思で自由に決めている。(職業・年収別)



問6-10 自分らしく、ありのままでいられている。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が78.3%を占め、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は16.9%であった。

(2) 年齢別

「15～19歳」「20～29歳」「70歳以上」では『はい』が8割を超えている。「15～19歳」では「はい」が53.1%を占め、他の年代よりも高い。

(3) 性別

『はい』は「女性」の方が3.4ポイント高い。

(4) - 1 地域別

すべての地域で『はい』が7割を超え、「新川地域」では80.5%と、他の地域と比べて若干高い。

(4) - 2 現在の住居状況別

「一戸建て（自己・家族）」では『はい』が78.5%を占めている。

(4) - 3 現在の居住地環境別

「家屋や商業施設が混在している市街地」「主に家屋が多く集まっている住宅地」では『はい』が8割以上となっている。

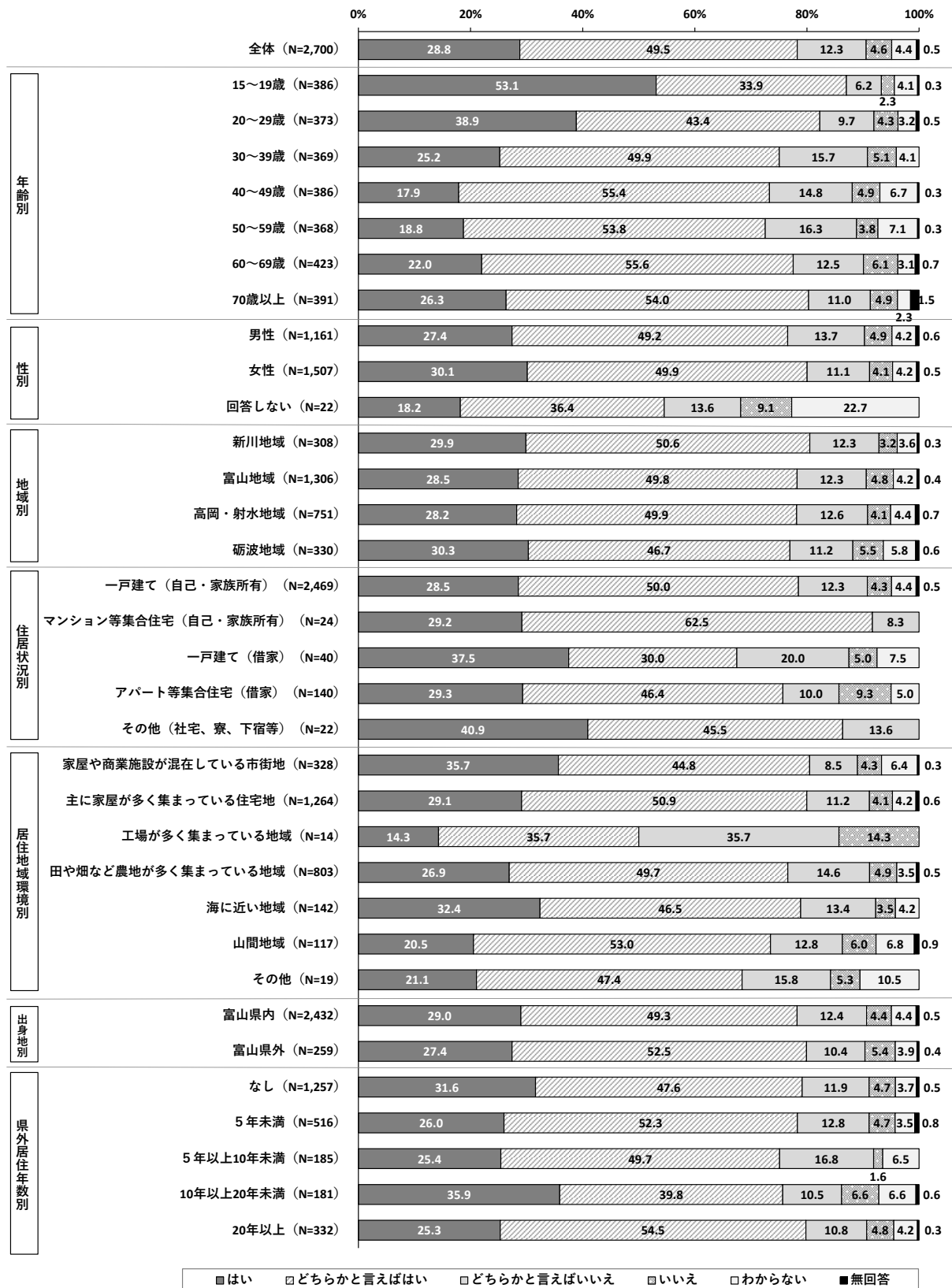
(4) - 4 出身地別

出身地による大きな差は見られない。

(4) - 5 県外での居住年数別

すべての居住年数で『はい』が7割を超えている。

図表 6-10-1 自分らしく、ありのままでいられている。



■はい □どちらかと言えばはい □どちらかと言えいいえ □いいえ □わからない ■無回答

(5) - 1 結婚の有無別

結婚の有無で大きな差は見られない。

(5) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では「はい」が37.4%と、子どもが「いる」よりも14.6ポイント高い。

(5) - 3 ペットの有無別

ペットの有無で大きな差は見られない。

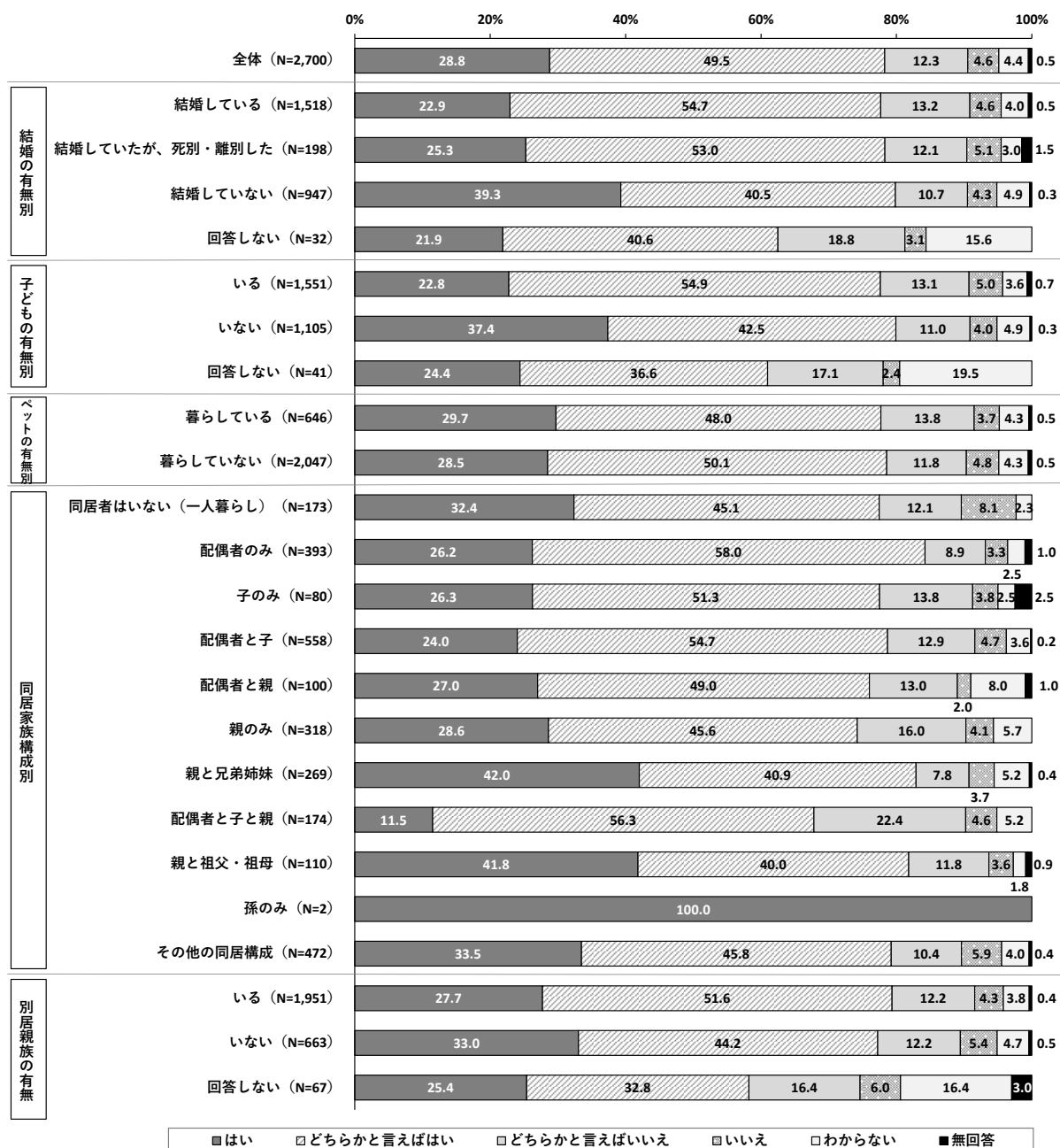
(5) - 3 同居家族の構成別

「配偶者と子と親」を除くすべてで『はい』が7割を超えている。「配偶者と子と親」では67.8%と、他よりも若干低い。

(5) - 4 別居親族の有無別

別居親族の有無で大きな差は見られない。

図表 6-10-2 自分らしく、ありのままでいられている。(家族状況別)



#### (6) - 1 職業別

「学生」では『はい』が86.9%（うち「はい」が51.1%）と高い割合を占めている。

#### (6) - 2 職業分野別

「建設業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「金融業・保険業」「学術研究、専門・技術サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援業」では『はい』が8割台と、他の職業分野よりも若干高い。

#### (6) - 3 年収別

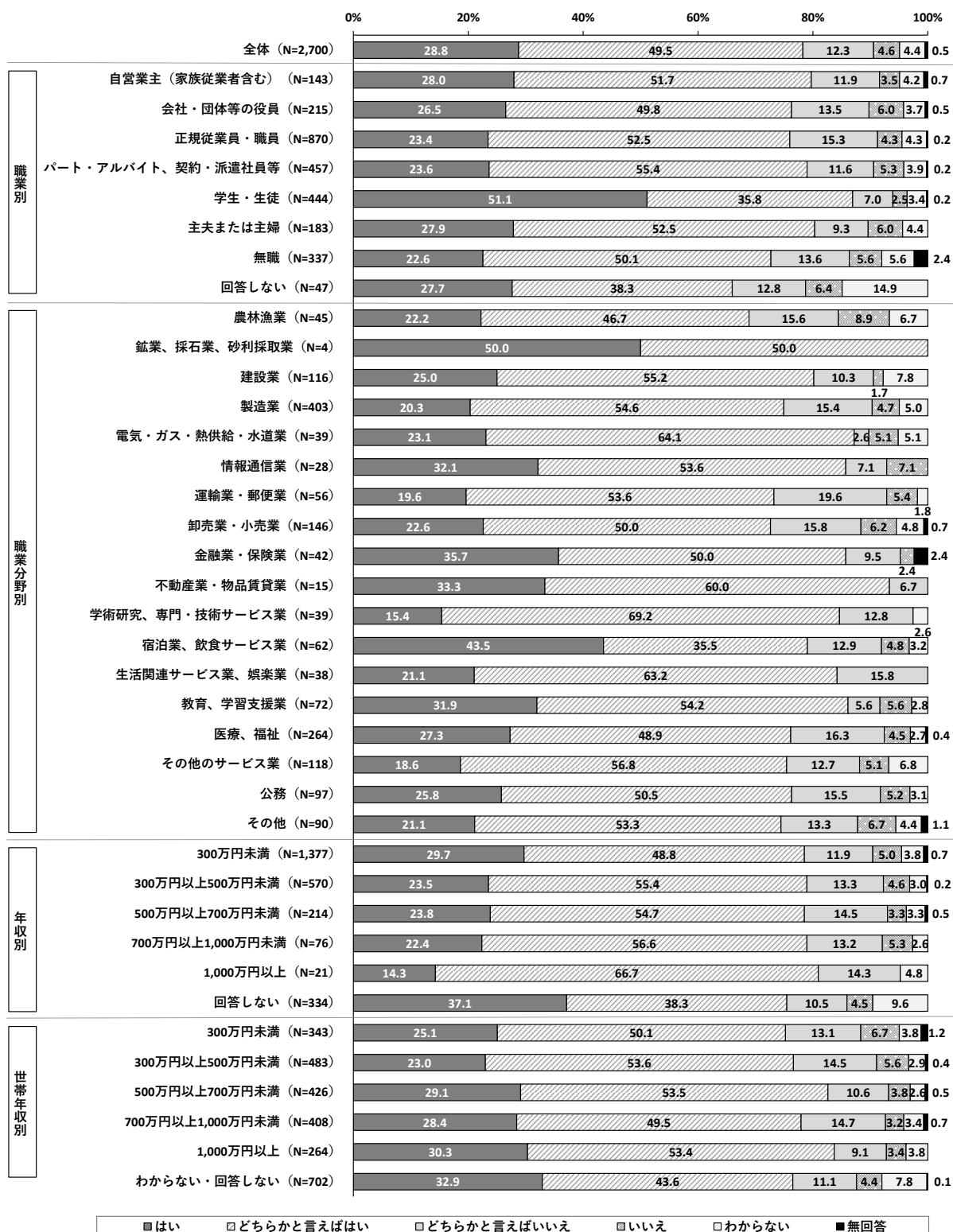
年収で大きな差は見られない。

#### (6) - 4 世帯年収別

「500万円以上700万円未満」と「1,000万円以上」では『はい』が8割台となっている。



図表 6-10-3 自分らしく、ありのままでいられている。(職業・年収別)



問6-11 娯楽や趣味、学びを行うための、自分の自由な時間がある。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が74.9%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が23.1%となっている。

(2) 年齢別

「15～19歳」では『はい』が93.5%（うち「はい」が67.6%）と高い割合を占めている。30～59歳では『はい』が6割台となっている。

(3) 性別

男女間で大きな差は見られないが、『はい』は「女性」よりも「男性」の方が2.4ポイント高い。

(4) - 1 地域別

「新川地域」では『はい』が81.2%と、他の地域よりも高くなっている。

(4) - 2 現在の住居状況別

「一戸建て（自己・家族所有）」では『はい』が75.0%となっている。

(4) - 3 現在の居住地域環境別

「海に近い地域」では『はい』が8割を超え、他の居住地域環境よりも高い。

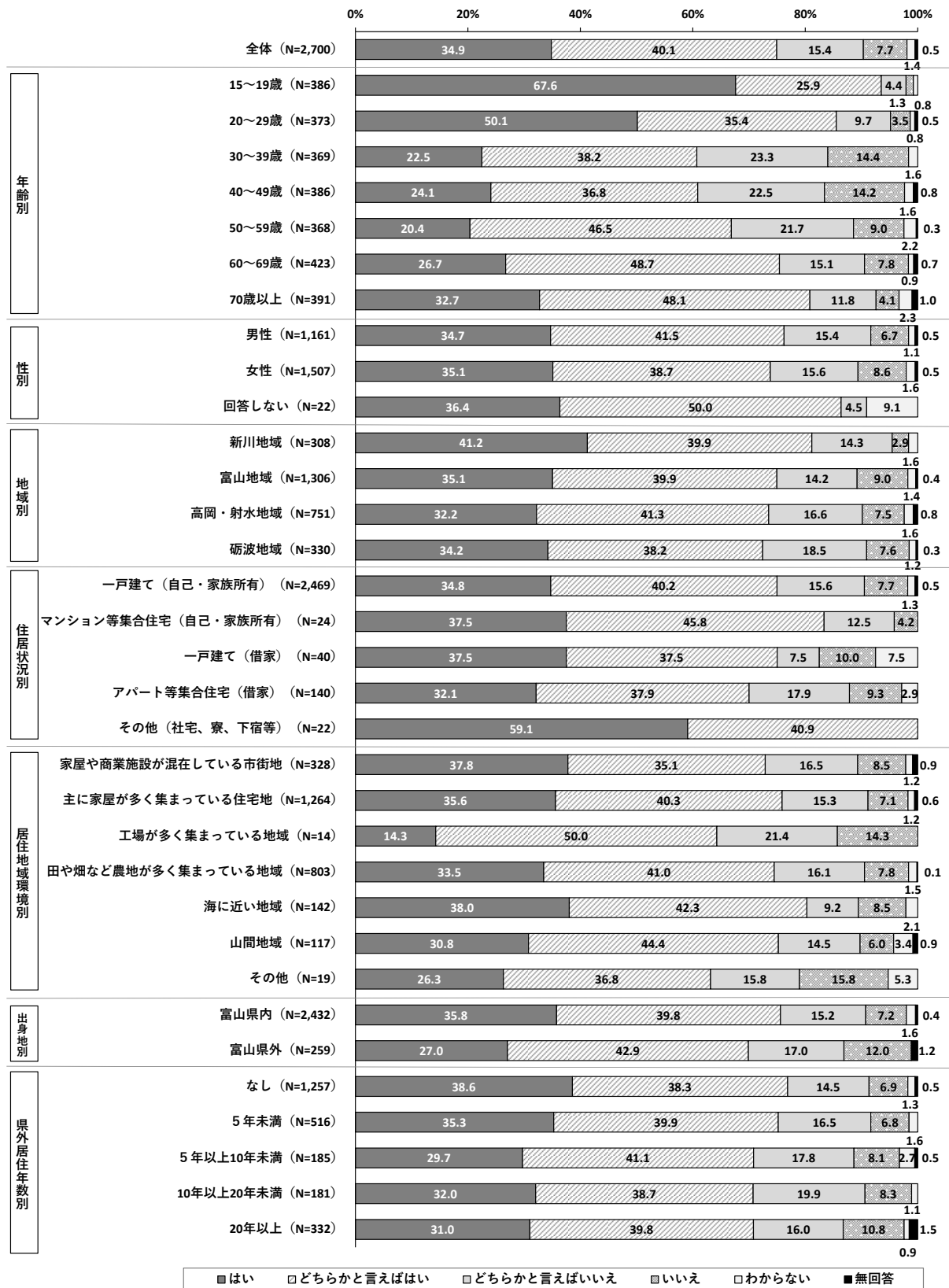
(4) - 4 出身地別

『はい』は「富山県内」の方が5.7ポイント高い。

(4) - 5 県外での居住年数別

すべての居住年数で『はい』が7割を超えている。

図表 6-11-1 娯楽や趣味、学びを行うための、自分の自由な時間がある。



(5) - 1 結婚の有無別

「結婚していない」では『はい』が87.5%と、他と比較して高い。

(5) - 2 子どもの有無別

子どもが「いる」よりも「いない」の方が『はい』が19.0ポイント高い。

(5) - 3 ペットの有無別

ペットの有無で大きな差は見られないが、『はい』は「暮らしている」の方が2.4ポイント高い。

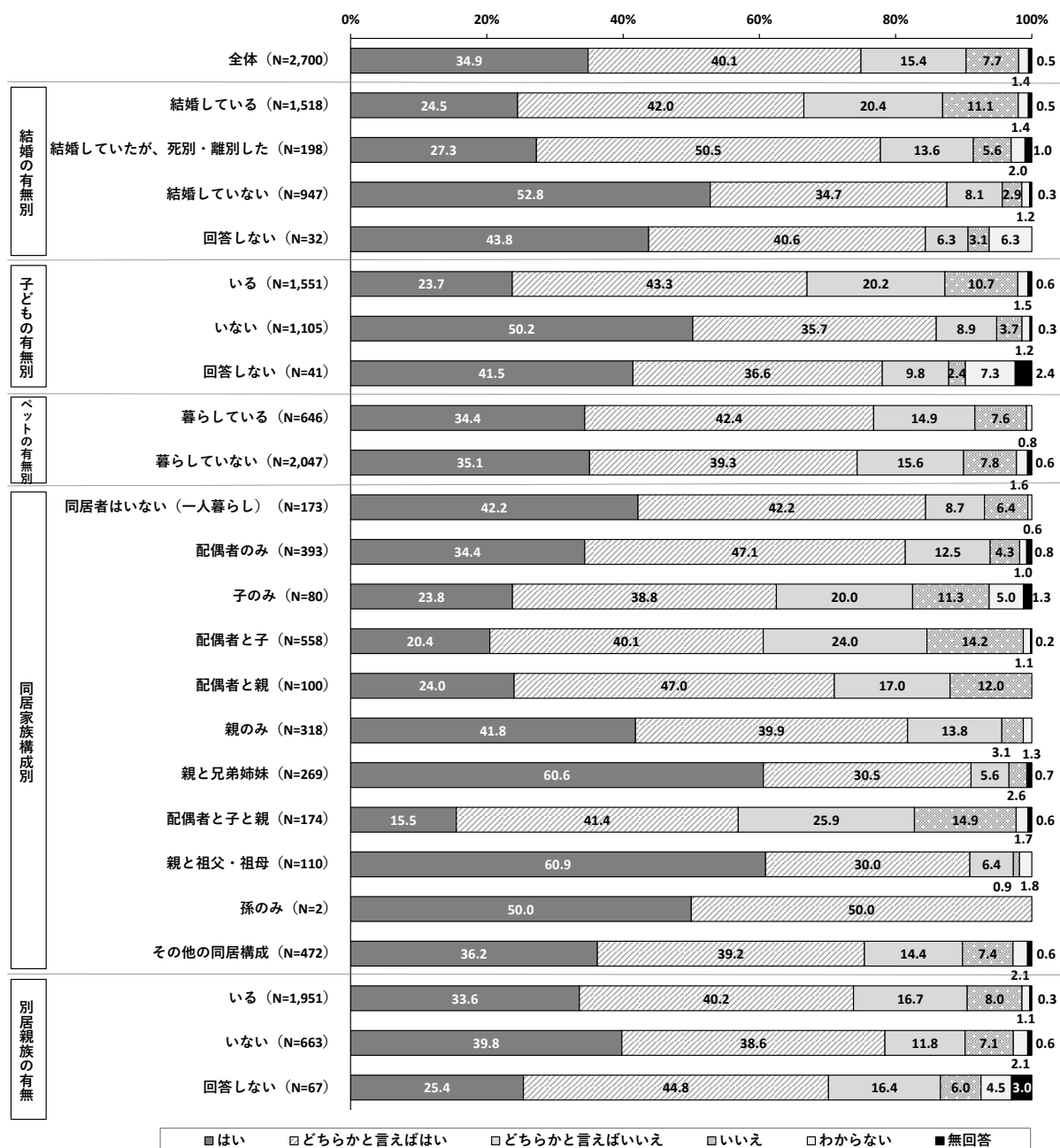
(5) - 4 同居家族の構成別

「親と兄弟姉妹」と「親と祖父・祖母」では『はい』が9割台（うち「はい」は6割台）と、比較的高い割合を占めている。一方、「配偶者と子と親」では『はい』が56.9%と他よりも低くなっている。

(5) - 5 別居の親族の住居への移動時間別

別居親族が「いない」では『はい』が78.4%と、「いる」よりも4.6ポイント高い。

図表 6-11-2 娯楽や趣味、学びを行うための、自分の自由な時間がある。(家族状況別)



#### (6) - 1 職業別

「学生」では『はい』が92.8%（うち「はい」が66.2%）と高い割合を占めている。一方、「正規従業員・職員」では『はい』が66.7%、『いいえ』が31.7%を占めている。

#### (6) - 2 職業分野別

「電気・ガス・熱供給・水道業」「運輸業・郵便業」「金融業・保険業」「公務」では、『はい』が7割台と、他の職業分野よりも高い割合を占めている。一方、「生活関連サービス業、娯楽業」では『はい』が57.9%と、他の職業分野よりも低い。

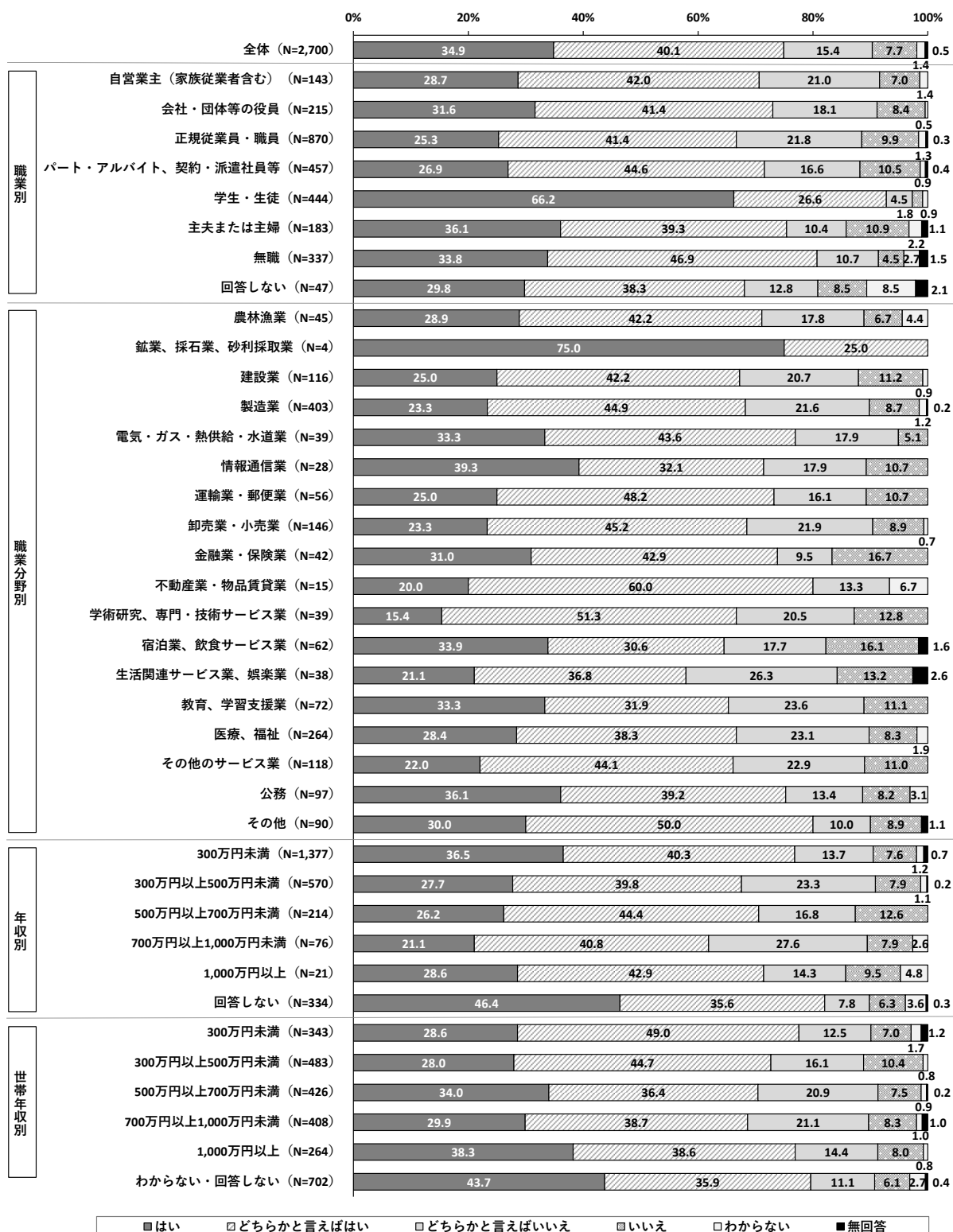
#### (6) - 3 年収別

「300万円未満」では『はい』が76.8%（うち「はい」が36.5%）と比較的高い割合を占めている。

#### (6) - 4 世帯年収別

「700万円以上1,000万円未満」では『はい』が68.6%と、他と比べて若干低い。

図表 6-11-3 娯楽や趣味、学びを行うための、自分の自由な時間がある。(職業・年収別)



問6-12 時間を忘れて夢中になることや没頭することがある。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が60.2%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が36.5%であった。

(2) 年齢別

「15～19歳」では『はい』が88.6%（うち「はい」が60.6%）を占め、他の年代と比べ高い割合を占めている。一方、40～59歳では『はい』が4割台であり、40～59歳では『いいえ』が約48%を占めている。

(3) 性別

『はい』は「男性」が61.9%となっており、「女性」より3.0ポイント高い。

(4) - 1 地域別

「富山地域」と「新川地域」では『はい』が6割を超えている。

(4) - 2 現在の住居状況別

「一戸建て（自己・家族所有）」では『はい』が60.3%となっている。

(4) - 3 現在の居住地環境別

「家屋や商業施設が混在している市街地」では『はい』が64.3%と、他の居住地環境よりも若干高い。

(4) - 4 出身地別

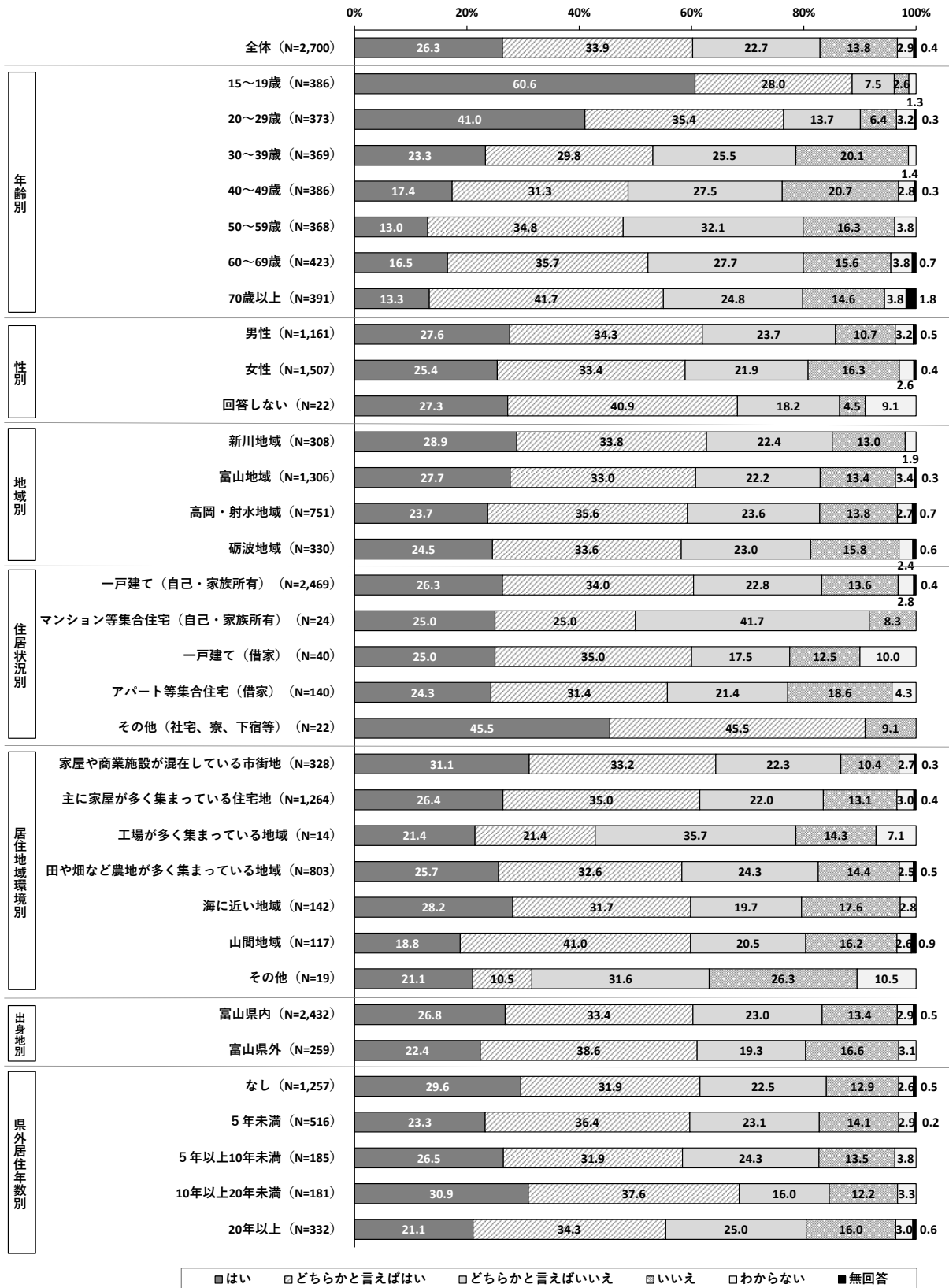
出身地による大きな差は見られず、「富山県内」「富山県外」とともに『はい』が6割を超えている。

(4) - 5 県外での居住年数別

「10年以上20年未満」では『はい』が68.5%と、他の居住年数よりも高い。



図表 6-12-1 時間を忘れて夢中になることや没頭することがある。



■はい □どちらかと言えばはい □どちらかと言えいいえ □いいえ □わからない ■無回答

(5) - 1 結婚の有無別

「結婚していない」では『はい』が77.5%と、他と比較して高い。

(5) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では『はい』が74.9%となっている。一方、子どもが「いる」では『いいえ』が46.5%となっている。

(5) - 3 ペットの有無別

ペットの有無で大きな差は見られない。

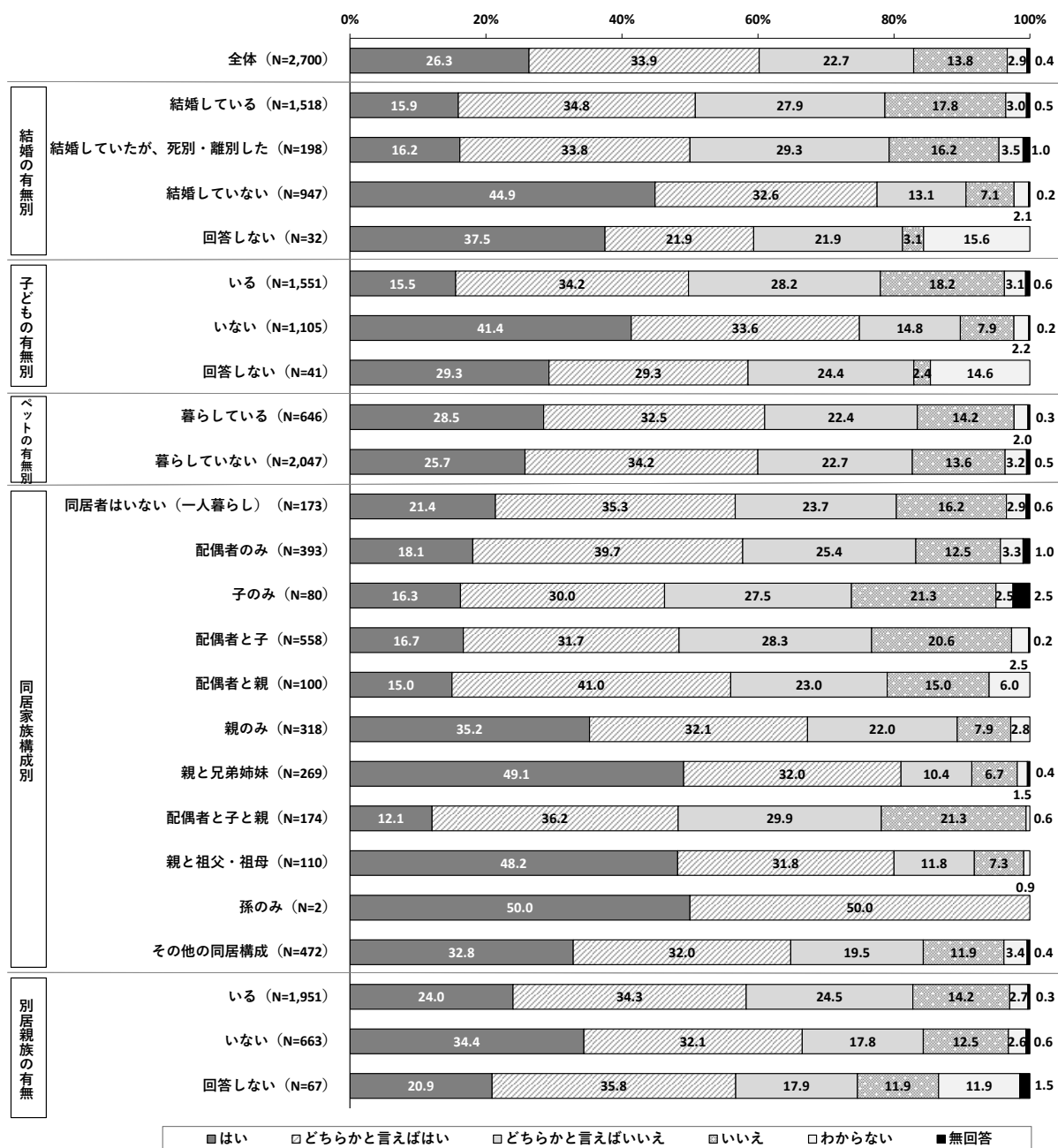
(5) - 4 同居家族の構成別

「親と兄弟姉妹」と「親と祖父・祖母」では『はい』が8割台と、他よりも高い。一方、「配偶者と子と親」では『いいえ』が51.1%を占めている。

(5) - 5 別居親族の有無別

別居親族が「いない」では『はい』が66.5%と、「いる」よりも8.2ポイント高い。

図表 6-12-2 時間を忘れて夢中になることや没頭することがある。(家族状況別)



(6) - 1 職業別

「学生」では『はい』が87.6%（うち「はい」が59.2%）と高い割合を占めている。「パート・アルバイト、契約・派遣社員等」では、『いいえ』が44.9%を占めている。

(6) - 2 職業分野別

「運輸業・郵便業」では『いいえ』が50.0%と、他の職業分野よりも若干高い。

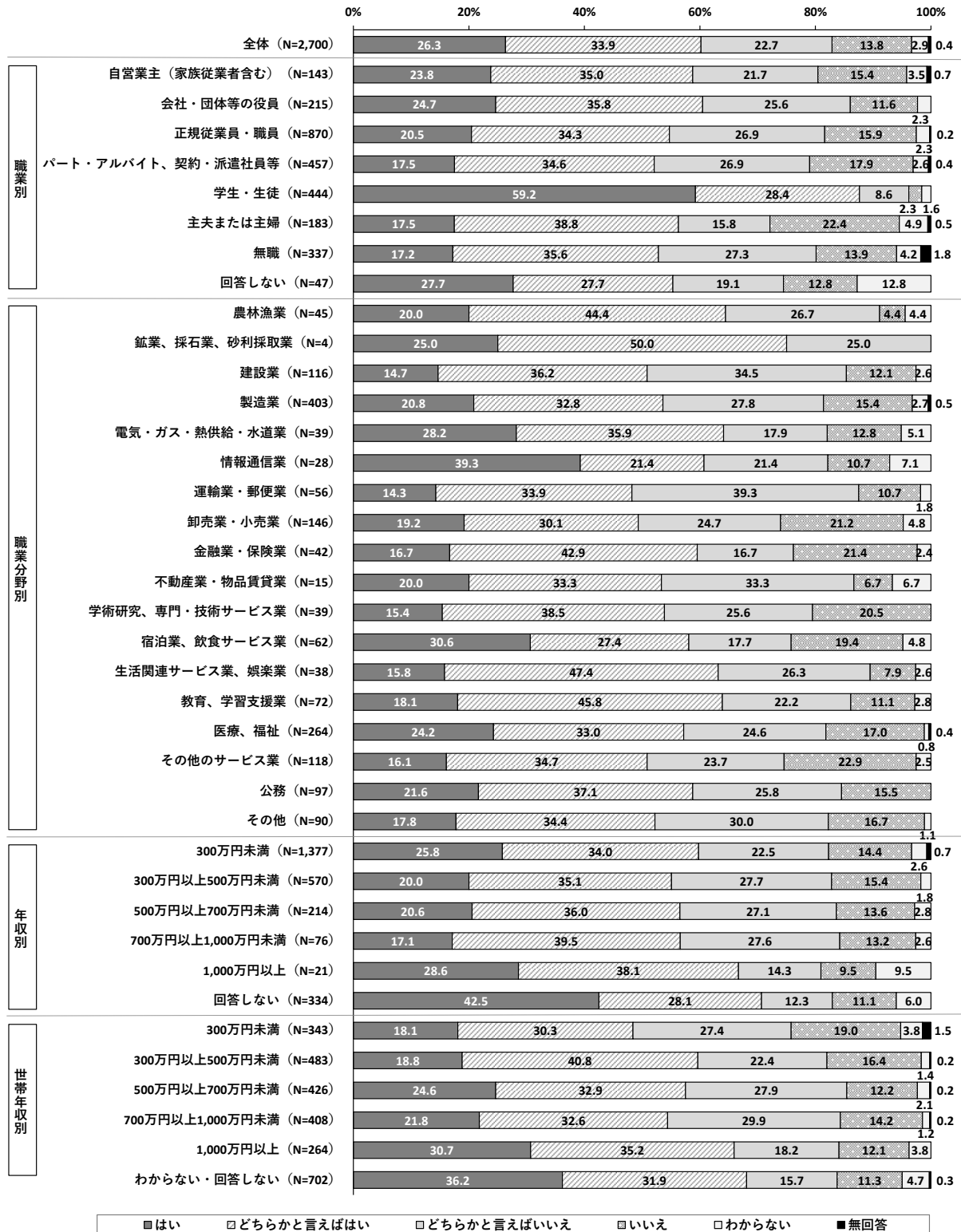
(6) - 3 年収別

「300万円未満」では『はい』が59.8%を占め、他と比較して若干高い。

(6) - 4 世帯年収別

「300万円未満」では『いいえ』が46.4%を占めており、他よりも若干高くなっている。

図表 6-12-3 時間を忘れて夢中になることや没頭することがある。(職業・年収別)



問6-13 自分が行っていることに、やりがい・生きがいを感じている。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が61.9%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が28.6%となっている。

(2) 年齢別

「15～19歳」では『はい』が80.1%を占めている一方で、30歳以上では5割台となっている。

(3) 性別

男女間での差はあまりないものの、『はい』は「男性」よりも「女性」の方が2.0ポイント高い。

(4) - 1 地域別

すべての地域で『はい』が6割台となっているが、「砺波地域」が他の地域よりも若干高い。

(4) - 2 現在の住居状況別

「一戸建て（自己・家族所有）」では『はい』が62.1%となっている。

(4) - 3 現在の居住地域環境別

「家屋や商業施設が混在している市街地」「主に家屋が多く集まっている住宅地」「田や畑など農地が多く集まっている地域」「海に近い地域」では『はい』が6割を超えており、他の居住地域環境よりも高い。

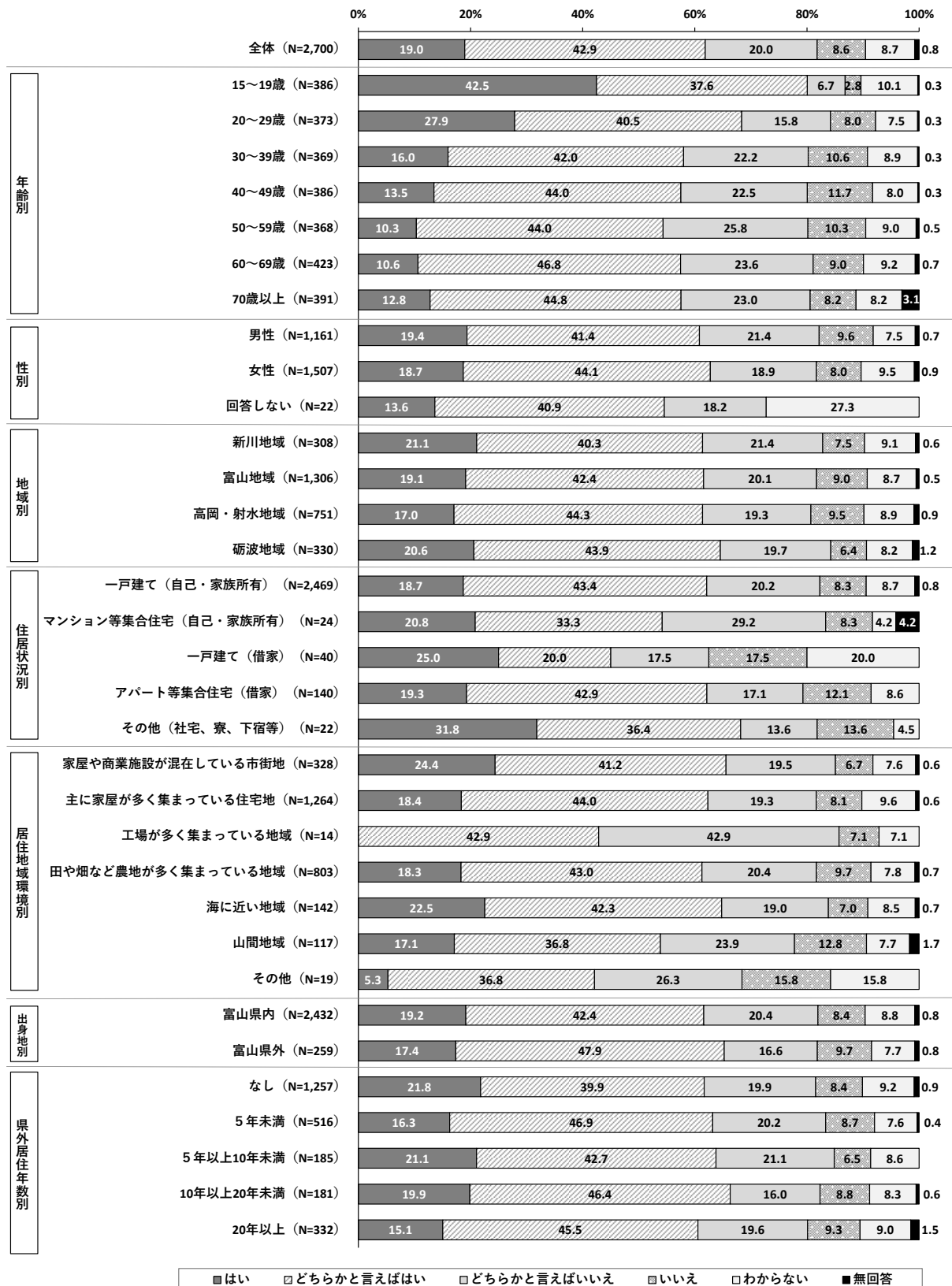
(4) - 4 出身地別

『はい』は「富山県内」よりも「富山県外」の方が3.7ポイント高い。

(4) - 5 - ② 県外での居住年数別

すべての居住年数で『はい』が6割を超えている。

図表 6-13-1 自分が行っていることに、やりがい・生きがいを感じている。



(5) - 1 結婚の有無別

「結婚していない」では『はい』が67.3%と、他と比較して高い。

(5) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では『はい』が65.5%と、「いる」よりも6.1ポイント高い。

(5) - 3 ペットの有無別

『はい』は「暮らしている」よりも「暮らしていない」の方が3.6ポイント高い。

(5) - 3 同居家族の構成別

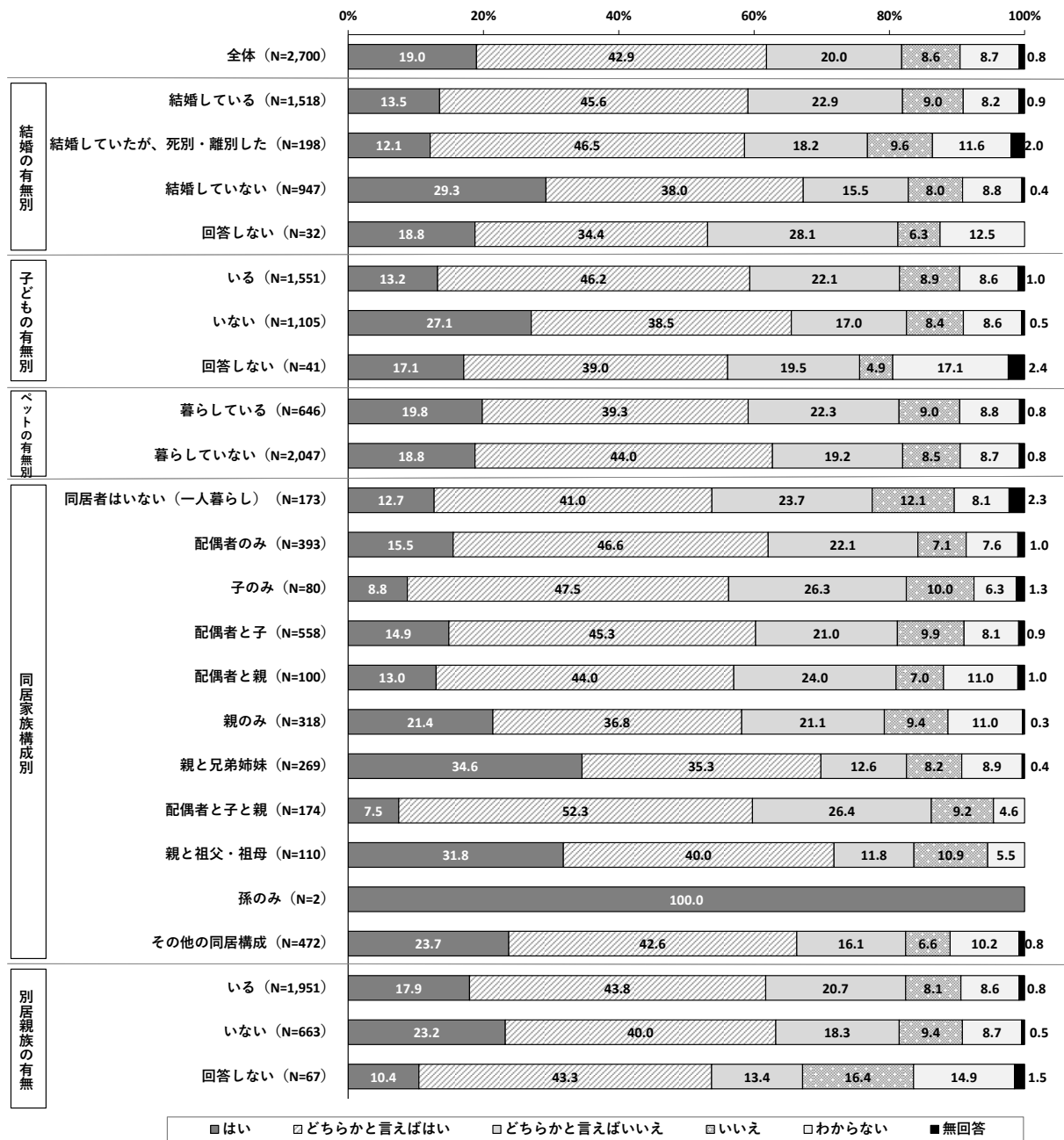
「親と祖父・祖母」では『はい』が71.8%と、他よりも若干高い。一方、「同居者はいない（一人暮らし）」では『はい』が53.8%と、他と比較して若干低い。

(5) - 4 別居親族の有無別

別居親族が「いない」では「はい」が23.2%と、別居親族が「いる」よりも5.3ポイント高い。



図表 6-13-2 自分が行っていることに、やりがい・生きがいを感じている。(家族状況別)



#### (6) - 1 職業別

「学生」では『はい』が79.3%（うち「はい」は41.2%）と、他の職業と比較して高い。一方、「無職」では『はい』が48.1%、『いいえ』が38.3%となっている。

#### (6) - 2 職業分野別

「宿泊業、飲食サービス業」と「教育、学習支援業」では『はい』が7割台と、他の職業分野よりも高い。

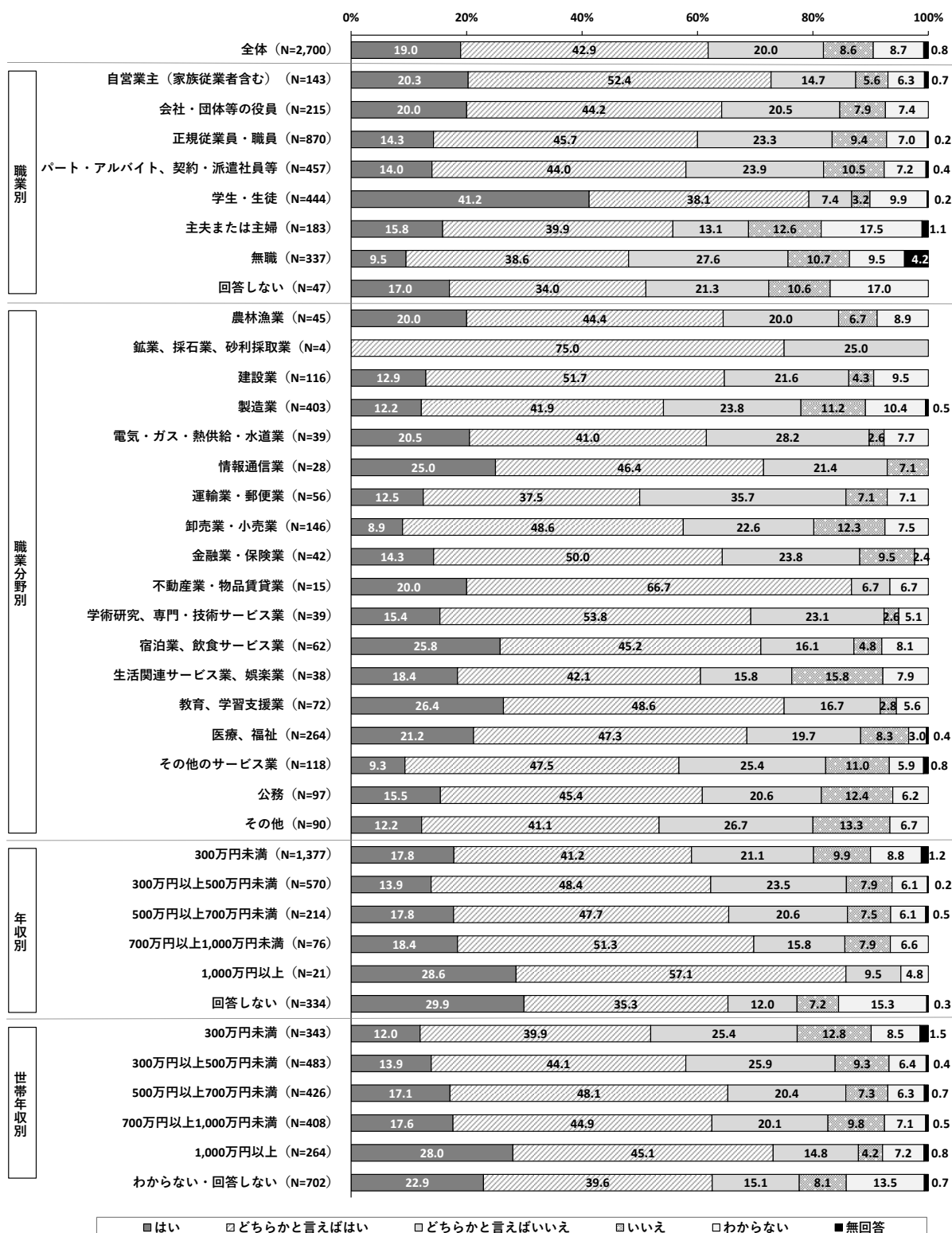
#### (6) - 3 年収別

年収が高くなるほど『はい』が高くなる傾向にあり、「700万円以上1,000万円未満」では69.7%を占めている。

#### (6) - 4 世帯年収別

「1,000万円以上」では『はい』が73.1%を占めている。一方、「300万円未満」では『はい』が51.9%と、他よりも低い。

図表 6-13-3 自分が行っていることに、やりがい・生きがいを感じている。(職業・年収別)



問6-14 様々な困難があっても、乗り越えていくことができると感じている。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が64.1%を占め、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は25.1%であった。

(2) 年齢別

「15～19歳」では『はい』が79.0%を占めており、他の年代よりも高い。

(3) 性別

男女間で大きな差は見られないが、『はい』は「女性」の方が3.6ポイント高い。

(4) - 1 地域別

すべての地域で『はい』が6割を超えている。

(4) - 2 現在の住居状況別

サンプル数が多い「一戸建て（自己・家族所有）」では『はい』が64.2%となっている。

(4) - 3 現在の居住地環境別

「山間地域」では『はい』が54.7%と、他の居住地環境と比較して若干低い。

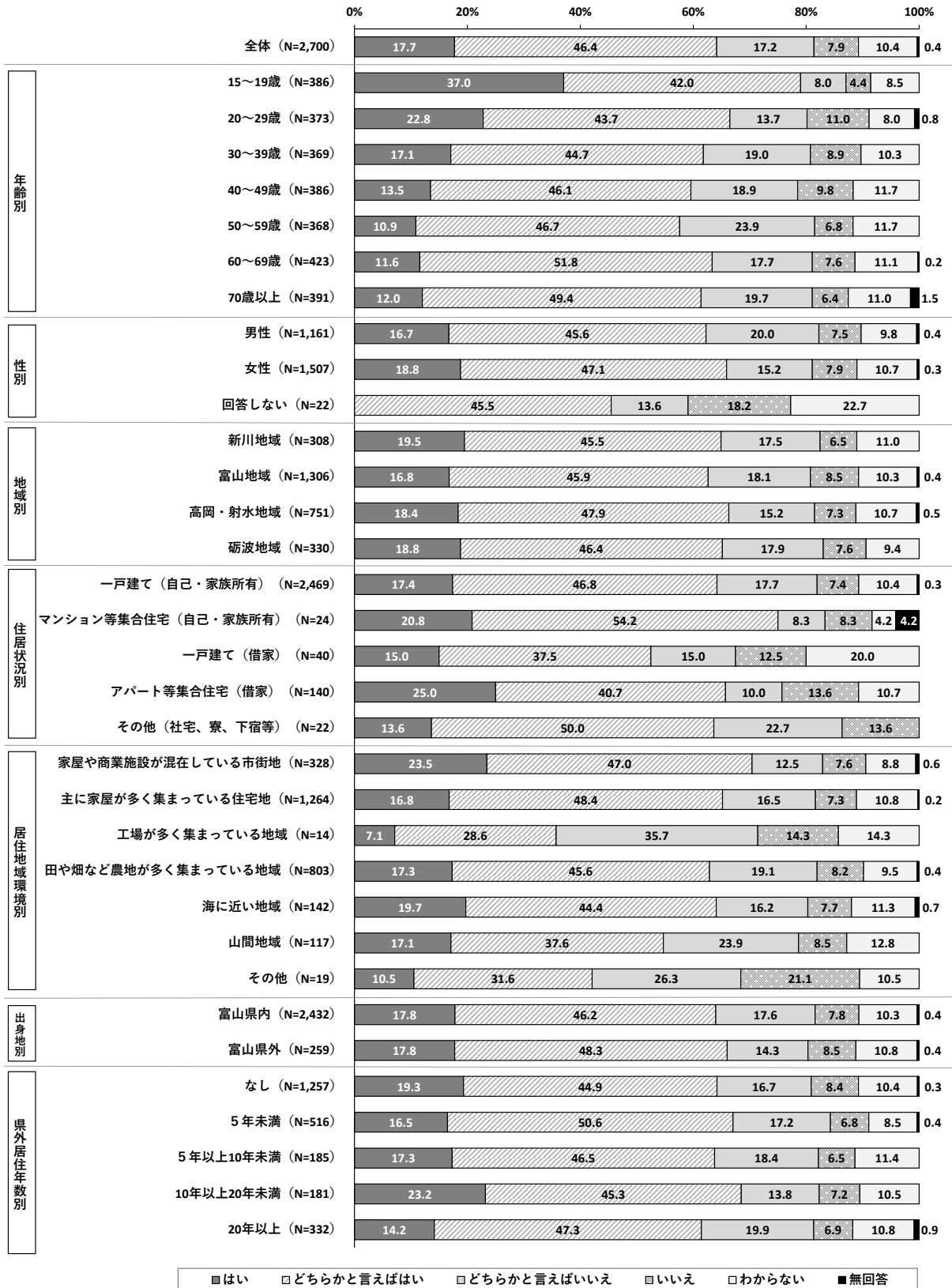
(4) - 4 出身地別

出身地による大きな差は見られないが、『はい』は「富山県外」の方が2.0ポイント高い。

(4) - 5 - ② 県外での居住年数別

すべての居住年数で『はい』が6割を超えている。

図表 6-14-1 様々な困難があっても、乗り越えていくことができていると感じている。



■はい □どちらかと言えばはい □どちらかと言えはいいえ □いいえ □わからない ■無回答

(5) - 1 結婚の有無別

「結婚していない」では「はい」が24.9%と、他よりも10ポイント程度高い。

(5) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では「はい」が23.2%と、子どもが「いる」よりも9.3ポイント高い。

(5) - 3 ペットの有無別

ペットの有無で大きな差は見られない。

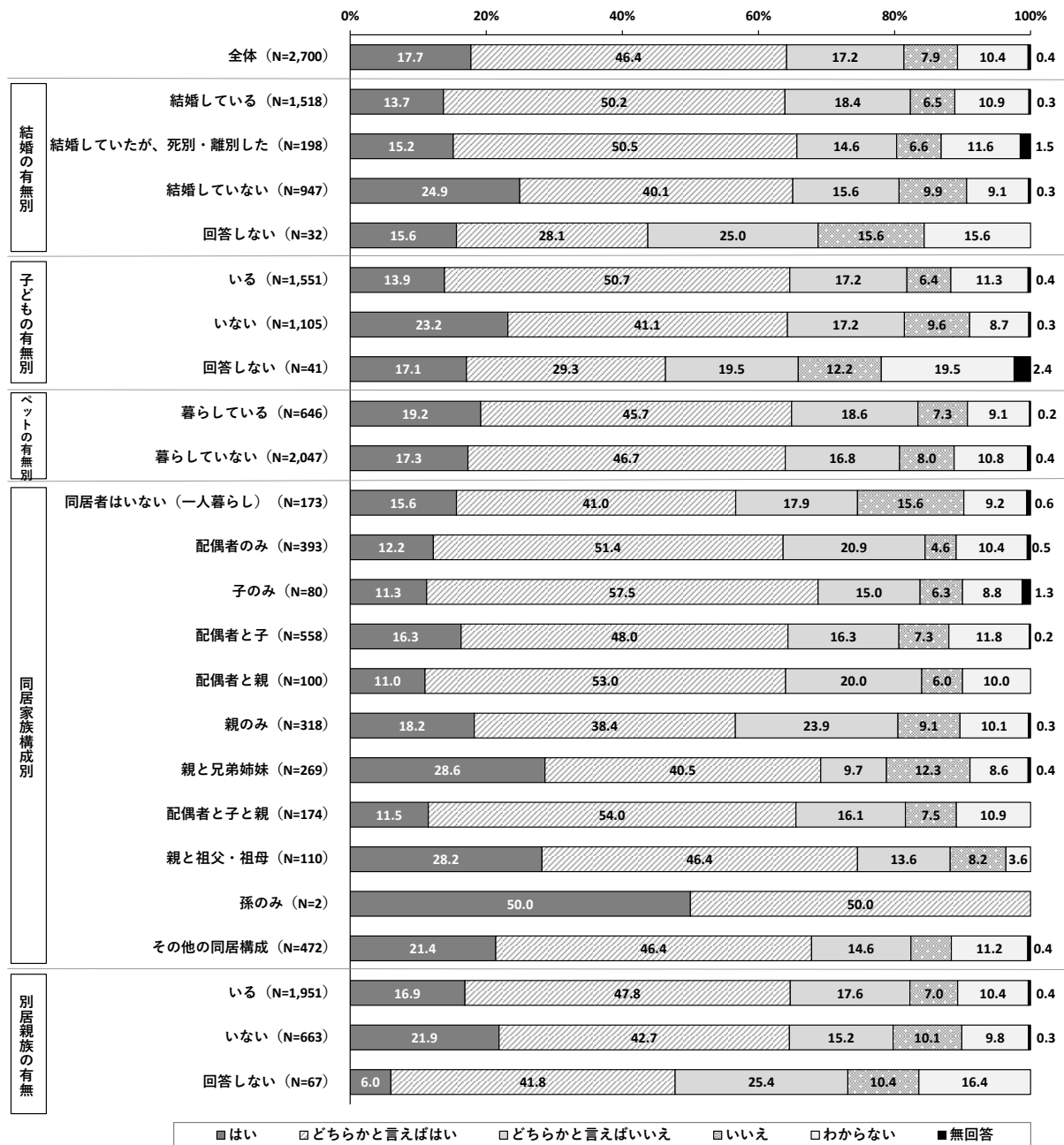
(5) - 4 同居家族の構成別

「親と祖父・祖母」では『はい』が74.5%と、他よりも若干高い。一方、「同居者はいない（一人暮らし）」と「親のみ」では各56.6%と、他と比較して若干低い。

(5) - 5 別居親族の有無別

別居親族が「いない」では「はい」が21.9%と、別居親族が「いる」よりも5.0ポイント高い。

図表 6-14-2 様々な困難があっても、乗り越えていくことができていると感じている。(家族状況別)



#### (6) - 1 職業別

「学生」では『はい』が77.5%（うち「はい」が36.9%）を占め、他の職業と比較して若干高い割合を占めている。一方、「無職」では『はい』が51.3%と、他の職業と比べて低い。

#### (6) - 2 職業分野別

「教育、学習支援業」では『はい』が80.6%と、他の職業分野と比べて高い。

#### (6) - 3 年収別

年収が高くなるほど『はい』が概ね高くなる傾向にある。

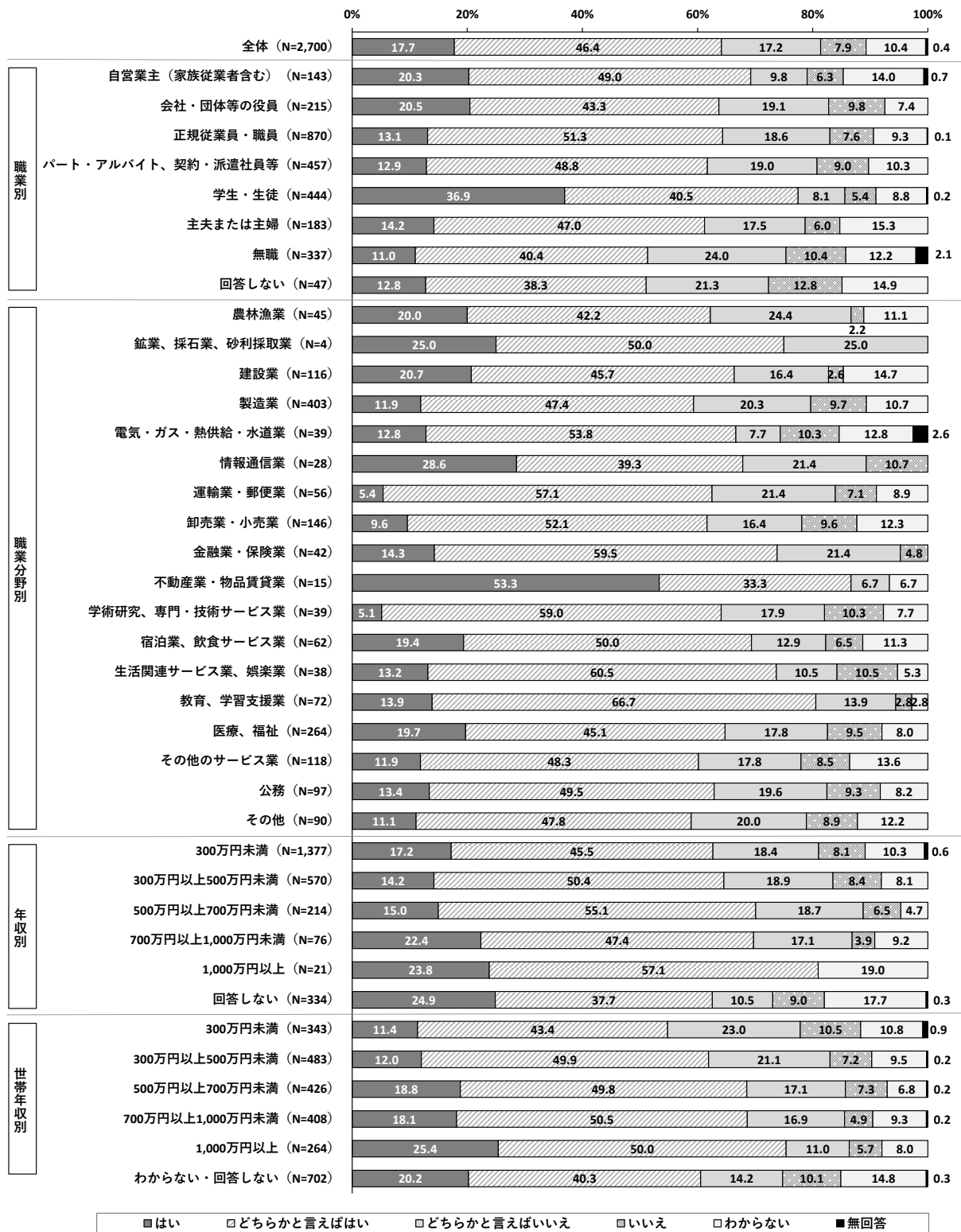
#### (6) - 4 世帯年収別

世帯年収が高くなるほど『はい』が高くなる傾向にあり、「1,000万円以上」では75.4%となっている。



図表 6-14-3 様々な困難があっても、乗り越えていくことができていると感じている。

(職業・年収別)



問6-15 夢や目標に向かって、チャレンジや努力をしている。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が50.3%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が42.6%となっている。

(2) 年齢別

「15～19歳」では『はい』が78.8%と高い割合を占めているが、「50～59歳」では4割を下回っている。

(3) 性別

「男性」では『はい』が52.7%と、「女性」よりも4.1ポイント高い。

(4) - 1 地域別

どの地域でも『はい』が50%程度となっており、地域による大きな差は見られない。

(4) - 2 現在の住居状況別

サンプル数が多い「一戸建て（自己・家族所有）」では『はい』が50.3%となっている。

(4) - 3 現在の居住地域環境別

「家屋や商業施設が混在している市街地」では『はい』が56.7%と、他の居住地域環境よりも高くなっている。

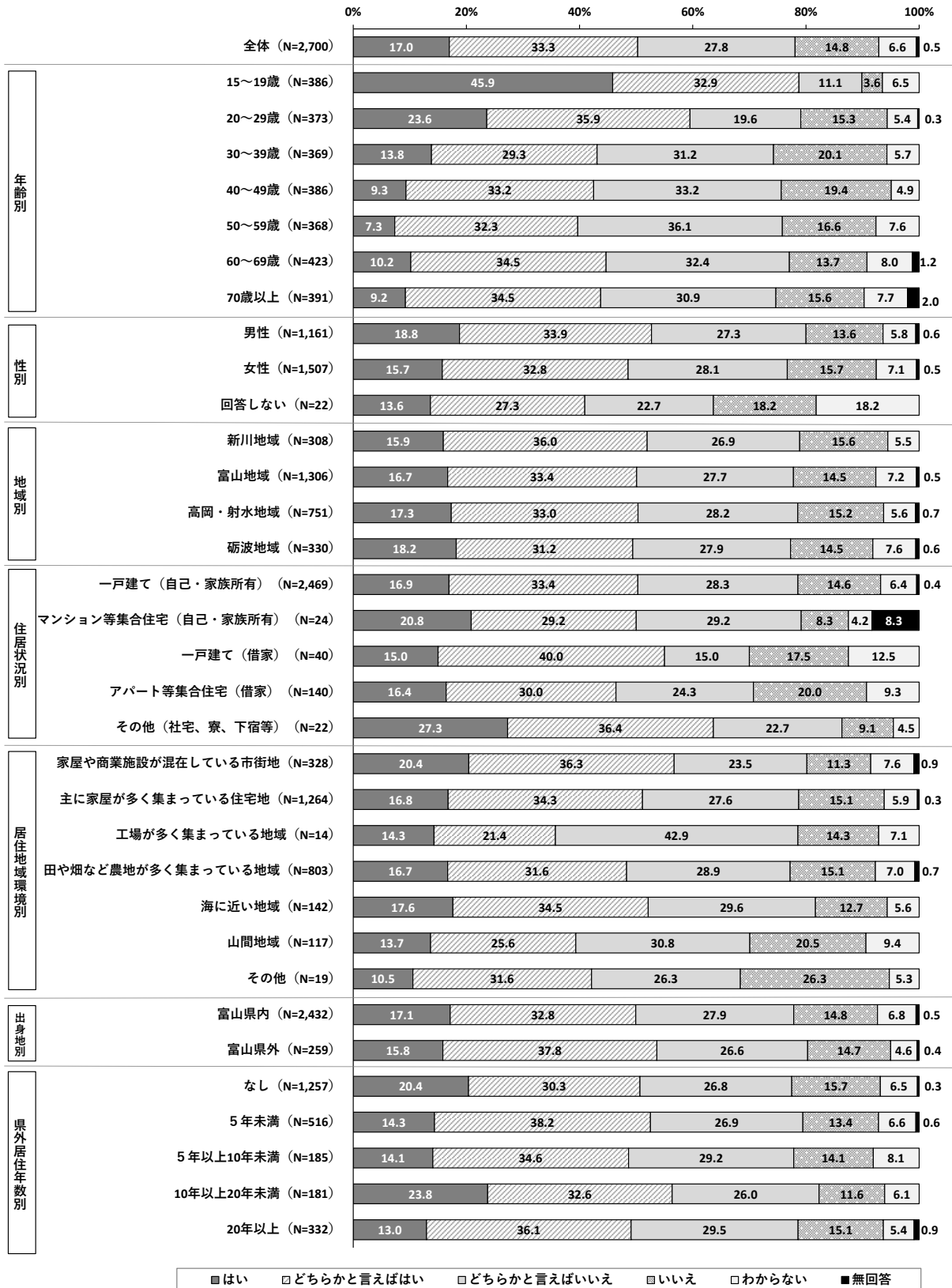
(4) - 4 出身地別

「富山県外」では『はい』が53.7%と、「富山県内」よりも3.8ポイント高い。

(4) - 5 県外での居住年数別

「10年以上20年未満」では『はい』が56.4%と、他と比べて若干高い。

図表 6-15-1 夢や目標に向かって、チャレンジや努力をしている。



(5) - 1 結婚の有無別

「結婚していない」では『はい』が61.4%と、他と比較して高い。

(5) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では『はい』が58.9%を占め、「いる」より14.7ポイント高い。

(5) - 3 ペットの有無別

ペットの有無で大きな差は見られない。

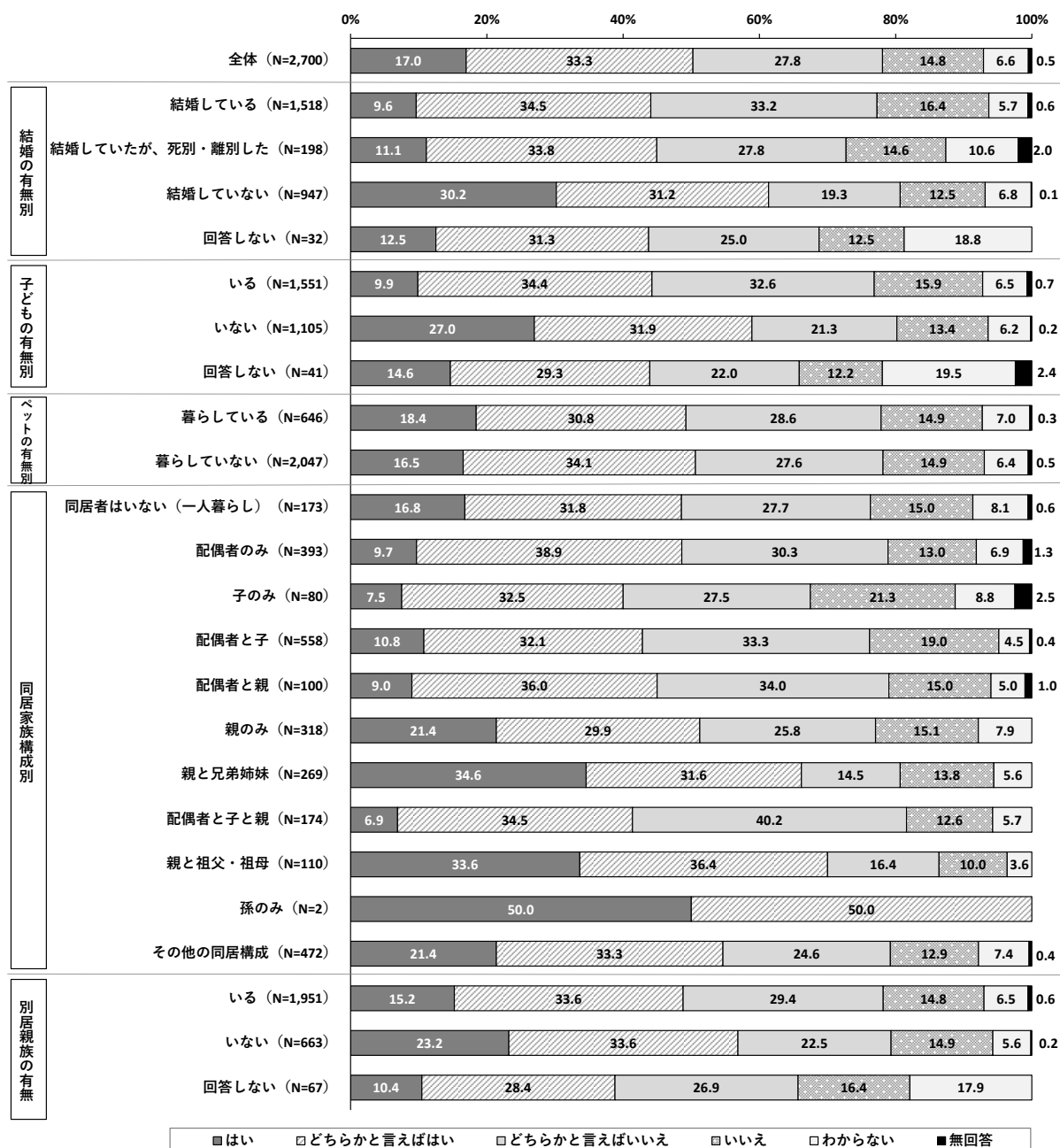
(5) - 4 同居家族の構成別

「親と祖父・祖母」では『はい』が70.0%と、他と比較して高い。一方、「配偶者と子」と「配偶者と子と親」では『いいえ』が5割台と、他と比較して高い割合を占めている。

(5) - 5 別居親族の有無別

別居親族が「いない」では『はい』が56.9%と、「いる」よりも8.1ポイント高い。

図表 6-15-2 夢や目標に向かって、チャレンジや努力をしている。(家族状況別)



#### (6) - 1 職業別

「学生」では『はい』が80.4%（うち「はい」が45.5%）を占めている。一方、「パート・アルバイト、契約・派遣社員等」「主夫または主婦」「無職」では『いいえ』が5割台となっている。

#### (6) - 2 職業分野別

「金融業・保険業」では『はい』が61.9%と、他の職業分野よりも高い。一方、「製造業」「運輸業・郵便業」「その他」では『はい』が3割台となっている。

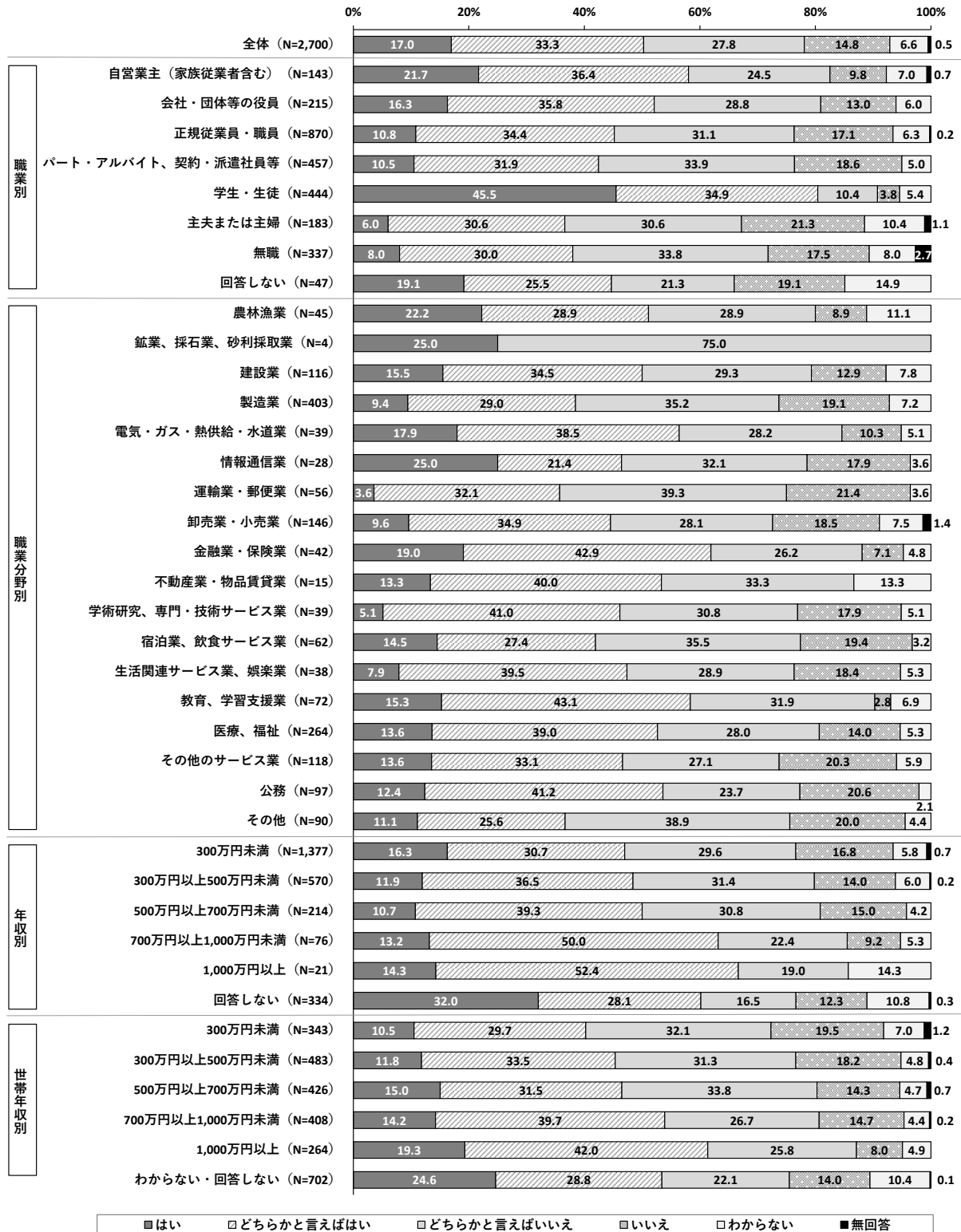
#### (6) - 3 年収別

高くなるほど『はい』が高くなる傾向にあり、「700万円以上1,000万円未満」では『はい』が63.2%となっている。

#### (6) - 4 世帯年収別

世帯年収が高くなるほど『はい』が高くなる傾向にあり、「1,000万円以上」では61.4%を占めている。

図表 6-15-3 夢や目標に向かって、チャレンジや努力をしている。(職業・年収別)



問6-16 将来に、期待や楽しみ、ワクワクする気持ちを感じている。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が42.7%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が47.7%と、『いいえ』の方が5.0ポイント上回っている。

(2) 年齢別

「15～19歳」では『はい』が70.5%であるものの、30歳代以上では5割を下回っている。

(3) 性別

『いいえ』は「女性」よりも「男性」の方が5.1ポイント高い。

(4) - 1 地域別

すべての地域で『いいえ』が4割を超えている。

(4) - 2 現在の住居状況別

「一戸建て（自己・家族所有）」では『いいえ』が47.9%を占めている。

(4) - 3 現在の居住地環境別

「山間地域」では『いいえ』が57.3%と、他の居住地環境よりも高くなっている。

(4) - 4 出身地別

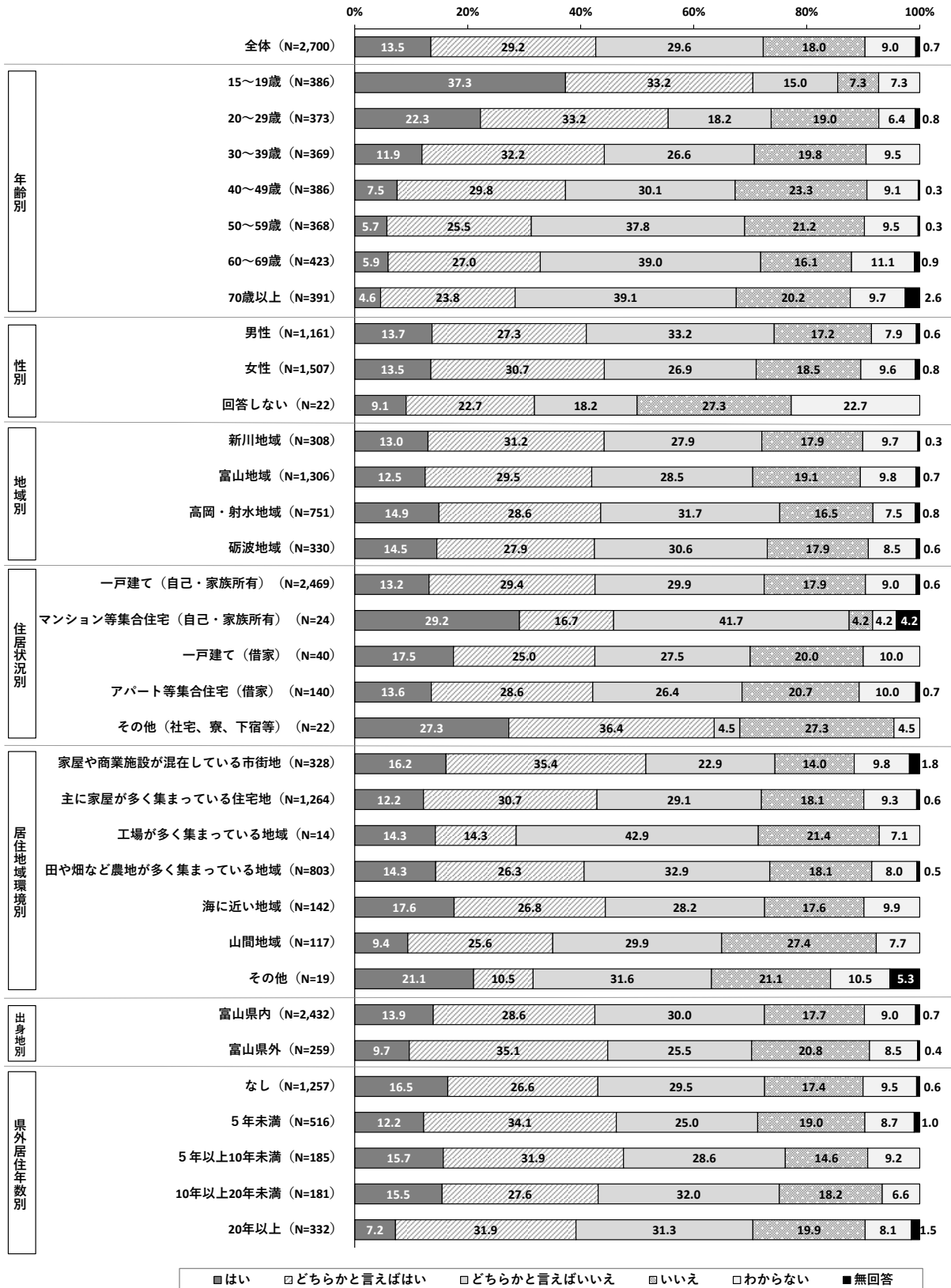
『はい』は「富山県内」よりも「富山県外」の方が2.3ポイント高い。

(4) - 5 県外での居住年数別

「20年以上」では『はい』が39.2%と、他の居住年数よりも若干低い。



図表 6-16-1 将来に、期待や楽しみ、ワクワクする気持ちを感じている。



はい
  どちらかと言えばはい
  どちらかと言えばいいえ
  いいえ
  わからない
  無回答

(5) - 1 結婚の有無別

「結婚していたが、死別・離別した」では『いいえ』が59.6%と、他と比較して高い。

(5) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では『はい』が49.3%と、「いる」よりも11.1ポイント高い。

(5) - 3 ペットの有無別

ペットの有無で大きな差は見られない。

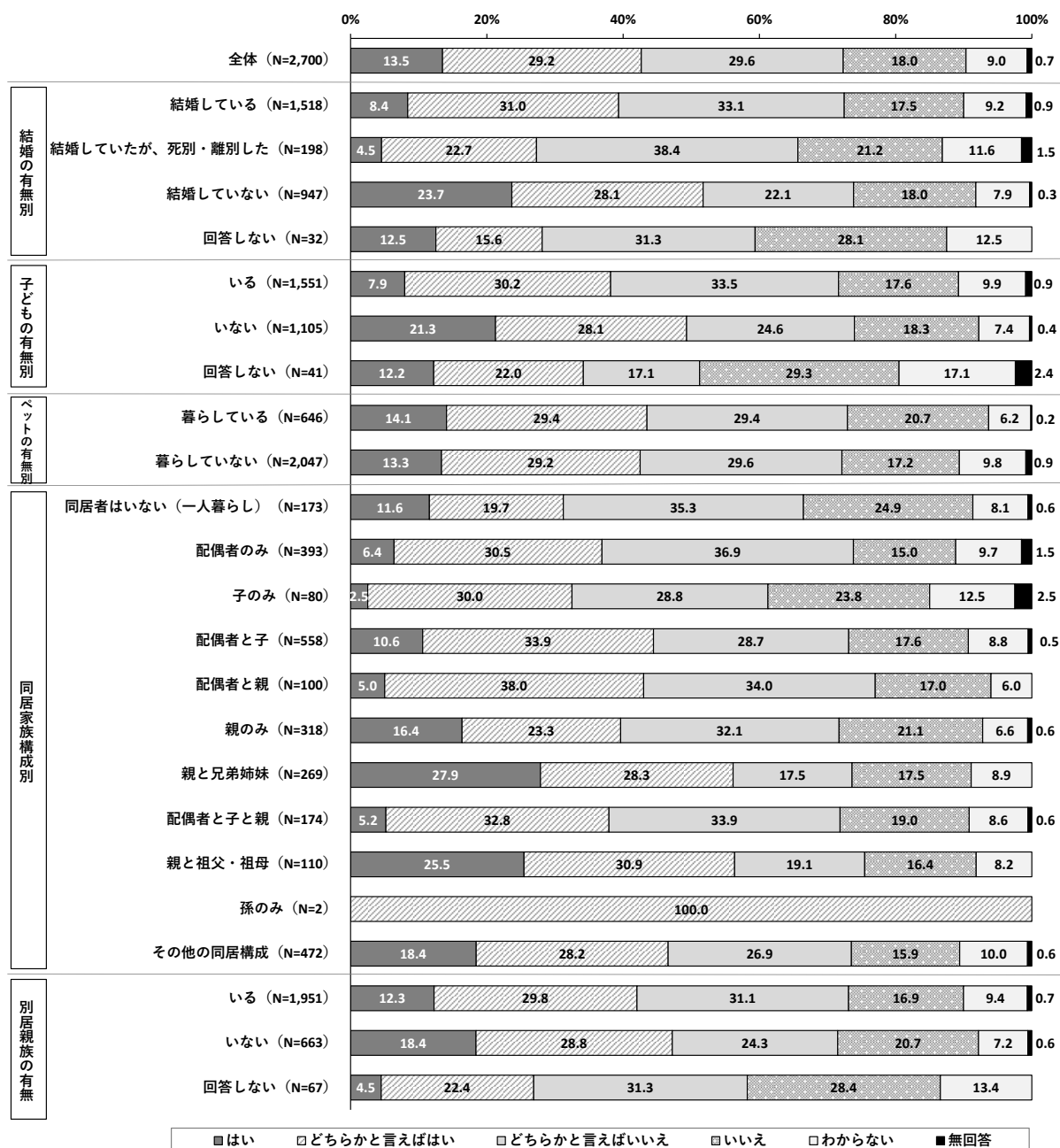
(5) - 4 同居家族の構成別

「親と兄弟姉妹」と「親と祖父・祖母」では『はい』が5割台と、他よりも若干高い。一方、「同居者はいない（一人暮らし）」では『いいえ』が60.1%と、他よりも高くなっている。

(5) - 5 別居親族の有無別

別居親族が「いない」では『はい』が47.2と、「いる」よりも5.2ポイント高い。

図表 6-16-2 将来に、期待や楽しみ、ワクワクする気持ちを感じている。(家族状況別)



#### (6) - 1 職業別

「学生」では『はい』が69.1%を占めている。一方、「無職」では『いいえ』が58.8%となっている。

#### (6) - 2 職業分野別

「金融業・保険業」と「教育、学習支援業」では『はい』が5割台となっている。一方、「運輸業・郵便業」と「その他」では『いいえ』が6割台となっている。

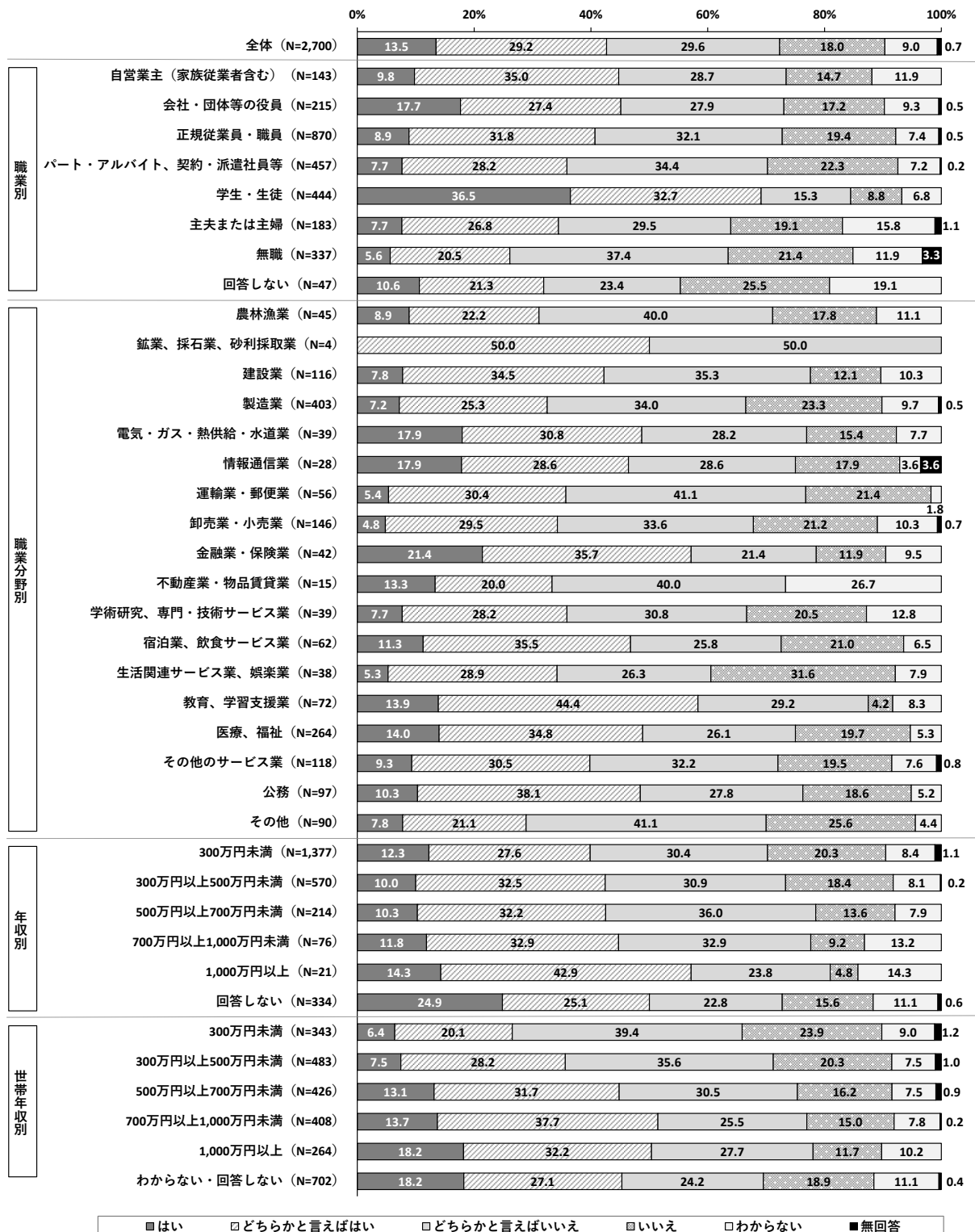
#### (6) - 3 年収別

「300万円未満」では『いいえ』が50.6%を占めている。

#### (6) - 4 世帯年収別

世帯年収が低くなるほど『いいえ』が高くなる傾向にあり、「300万円未満」では63.3%となっている。

図表 6-16-3 将来に、期待や楽しみ、ワクワクする気持ちを感じている。(職業・年収別)



問6-17 他の人に対して感謝の心を持ち、「ありがとう」と言葉で伝えている。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が89.8%を占めている。一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は7.9%であった。

(2) 年齢別

すべての年代で『はい』が8割を超えている。特に、30歳代以下では9割を超えている。

(3) 性別

「女性」では「はい」が51.9%と高い割合を占めている。『はい』は「男性」よりも「女性」の方が9.9ポイント高い。

(4) - 1 地域別

すべての地域で『はい』が8割を超えており、「富山地域」と「新川地域」では9割以上となっている。

(4) - 2 現在の住居状況別

「一戸建て（自己・家族所有）」では『はい』が89.5%を占めている。

(4) - 3 現在の居住地環境別

どの地域環境でも『はい』が8割を超えている。「家屋や商業施設が混在している市街地」では「はい」が52.1%と、他の地域環境よりも高い割合を占めている。

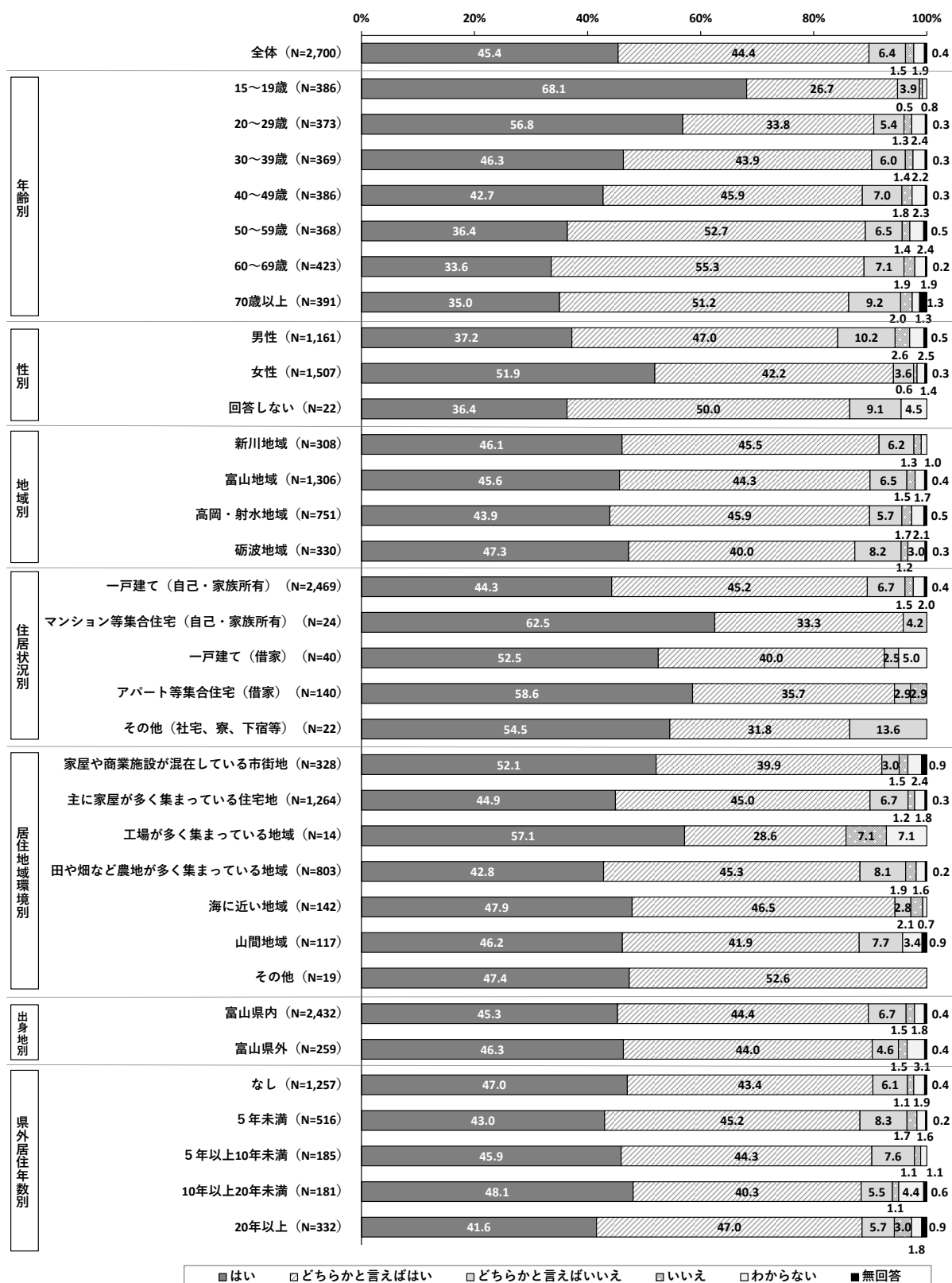
(4) - 4 出身地別

出身地による大きな差は見られない。

(4) - 5 県外での居住年数別

どの居住年数でも『はい』が8割を超えており、「なし」と「5年以上10年未満」では9割を超えている。

図表 6-17-1 他の人に対して感謝の心を持ち、「ありがとう」と言葉で伝えている。



(5) - 1 結婚の有無別

「結婚していたが、死別・離別した」では『はい』が93.9%と、他よりも若干高い。

(5) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では「はい」が53.3%と、「いる」よりも13.3ポイント高い。

(5) - 3 ペットの有無別

ペットの有無で大きな差は見られない。

(5) - 4 同居家族の構成別

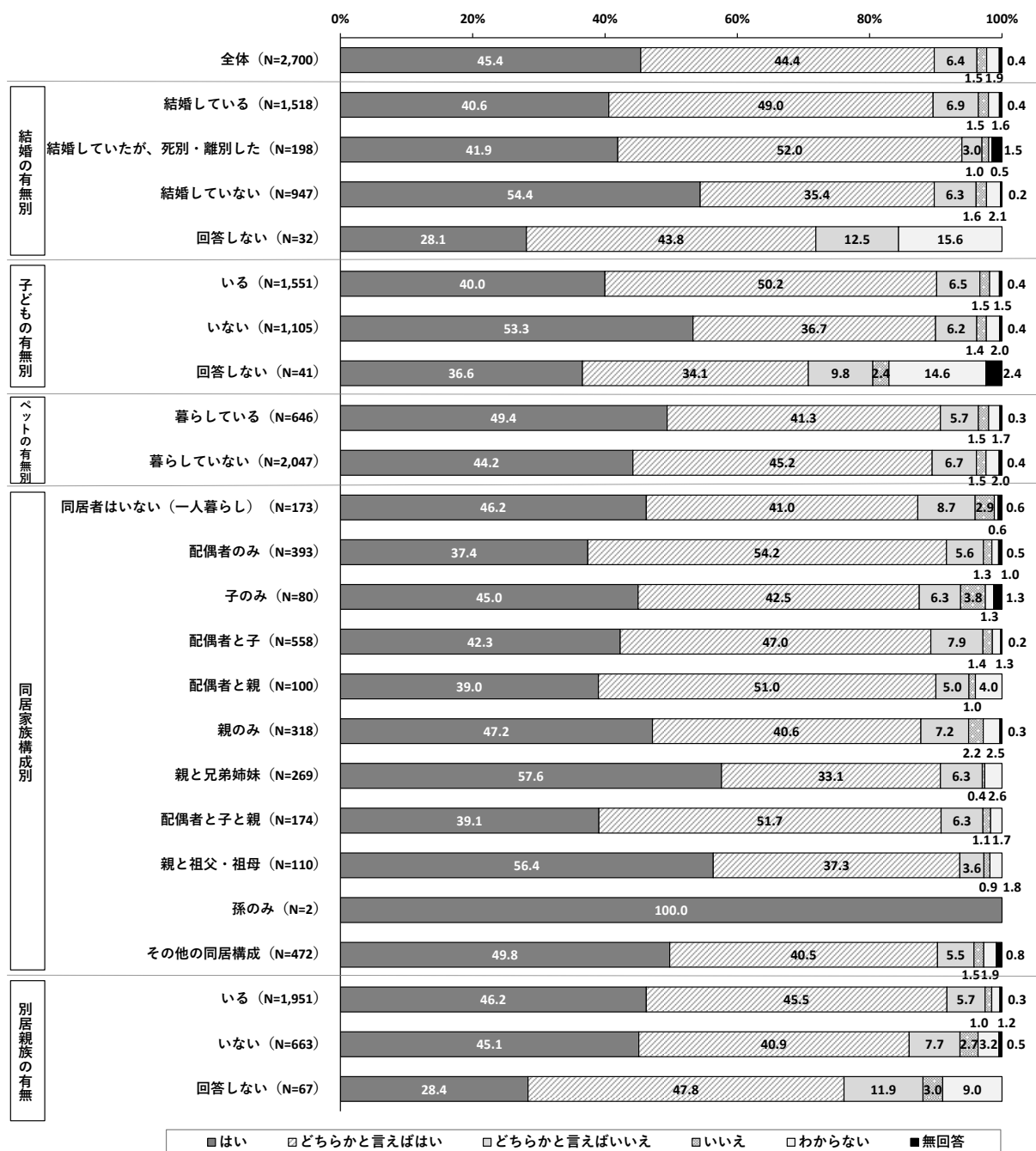
すべてで『はい』が8割を超えている。なかでも「配偶者のみ」「配偶者と親」「親と兄弟姉妹」「配偶者と子と親」「親と祖父・祖母」「その他の同居構成」では9割以上となっている。

(5) - 5 別居親族の有無別

別居親族が「いる」では『はい』が91.7%と、「いない」よりも5.7ポイント高い。



図表 6-17-2 他の人に対して感謝の心を持ち、「ありがとう」と言葉で伝えている。(家族状況別)



#### (6) - 1 職業別

「自営業主（家族従業者含む）」「パート・アルバイト、契約・派遣社員等」「学生」「主夫または主婦」では『はい』が9割台となっている。一方、「無職」では『はい』が81.6%と、他の職業よりも低い。

#### (6) - 2 職業分野別

すべての職業分野で『はい』が8割を超えており、「教育、学習支援業」では94.4%を占めている。

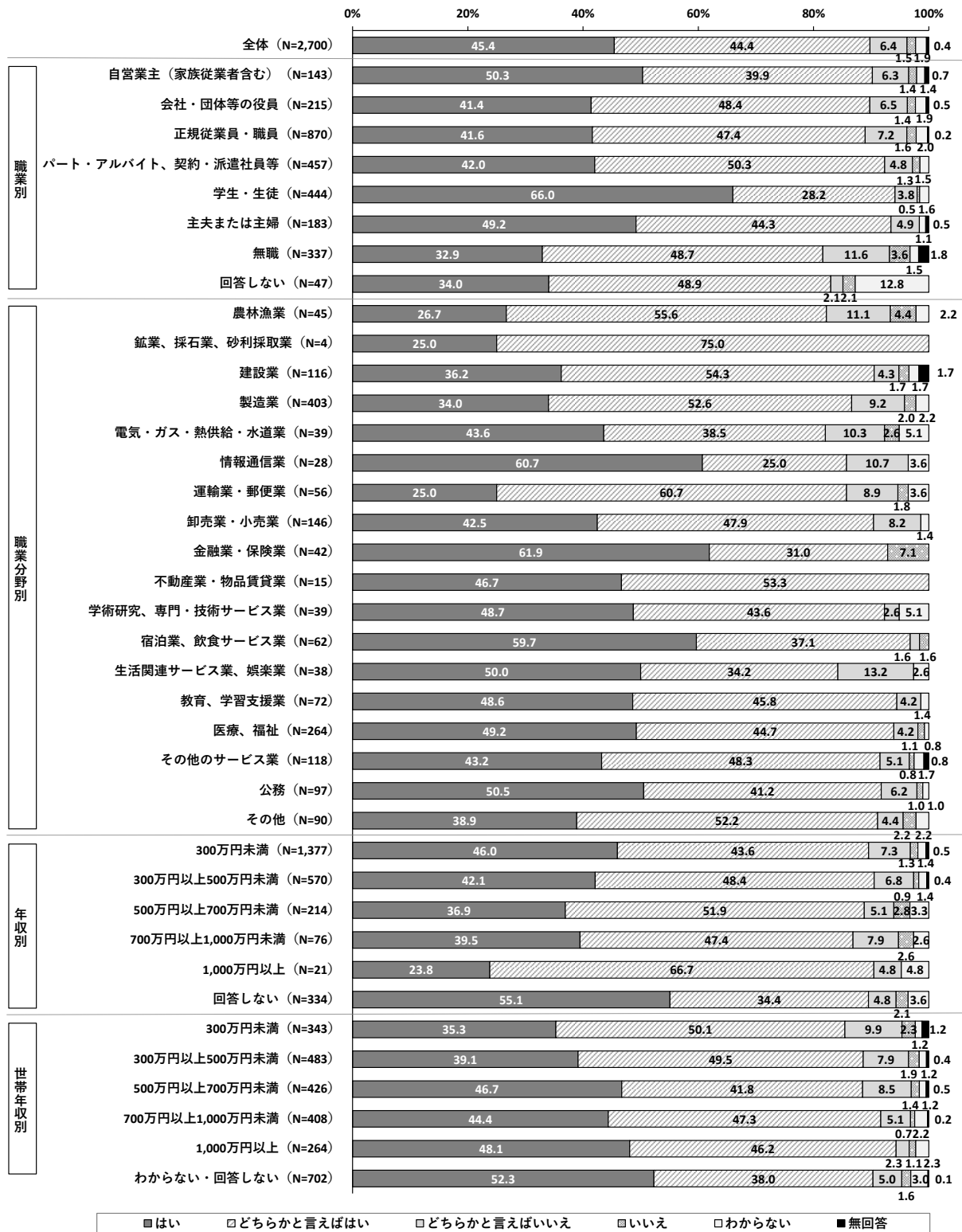
#### (6) - 3 年収別

すべての年収で『はい』が8割を超えており、「300万円以上 500万円未満」では90.5%と高い割合を占めている。

#### (6) - 4 世帯年収別

すべての世帯年収で『はい』が8割を超えており、700万円以上では9割台となっている。

図表 6-17-3 他の人に対して感謝の心を持ち、「ありがとう」と言葉で伝えている。  
(職業・年収別)



問6-18 他の人を喜ばせたい、楽しませたいという気持ちを持って行動している。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が76.1%を占め、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は17.0%であった。

(2) 年齢別

「15～19歳」と「20～29歳」では『はい』が8割を超えている。特に、「15～19歳」では「はい」が55.2%と高い割合を占めている。

(3) 性別

「女性」では『はい』が79.5%と、「男性」よりも7.4ポイント高い。

(4) - 1 地域別

すべての地域で『はい』が7割を超えている。

(4) - 2 現在の住居状況別

「一戸建て（自己・家族所有）」では『はい』が76.2%となっている。

(4) - 3 現在の居住地環境別

「海に近い地域」では『はい』が8割を超えている。

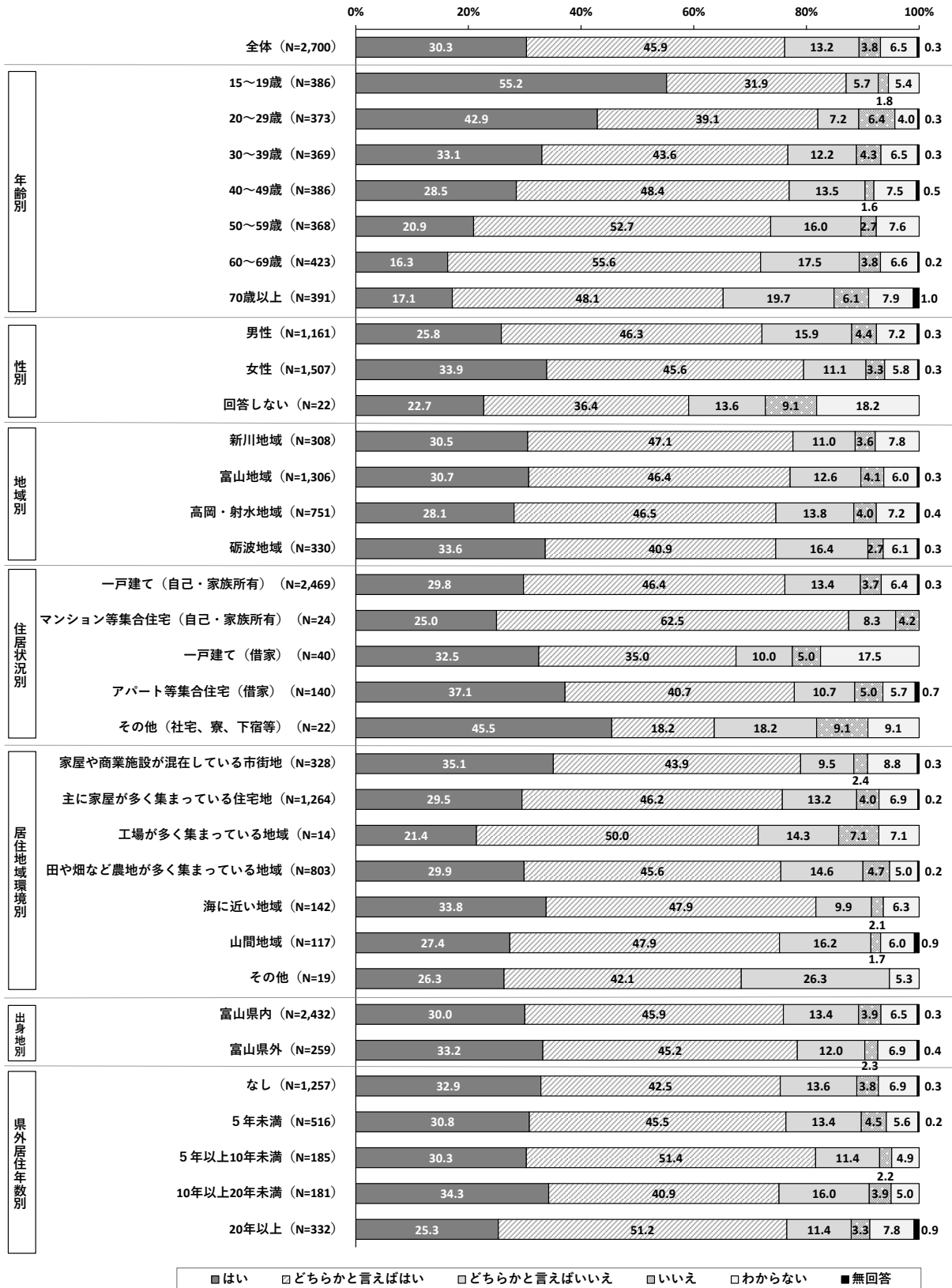
(4) - 4 出身地別

出身地による大きな差は見られないが、『はい』は「富山県内」よりも「富山県外」の方が2.5ポイント高い。

(4) - 5 県外での居住年数別

「5年以上10年未満」では『はい』が81.6%を占めている。

図表 6-18-1 他の人を喜ばせたい、楽しませたいという気持ちを持って行動している。



(5) - 1 結婚の有無別

「結婚している」では『はい』が75.2%と、他よりも若干低い。

(5) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では「はい」が39.6%と、「いる」よりも15.7ポイント高い。

(5) - 3 ペットの有無別

ペットの有無で大きな差は見られないが、「暮らしている」では『はい』が77.6%と、「暮らしていない」よりも2.0ポイント高い。

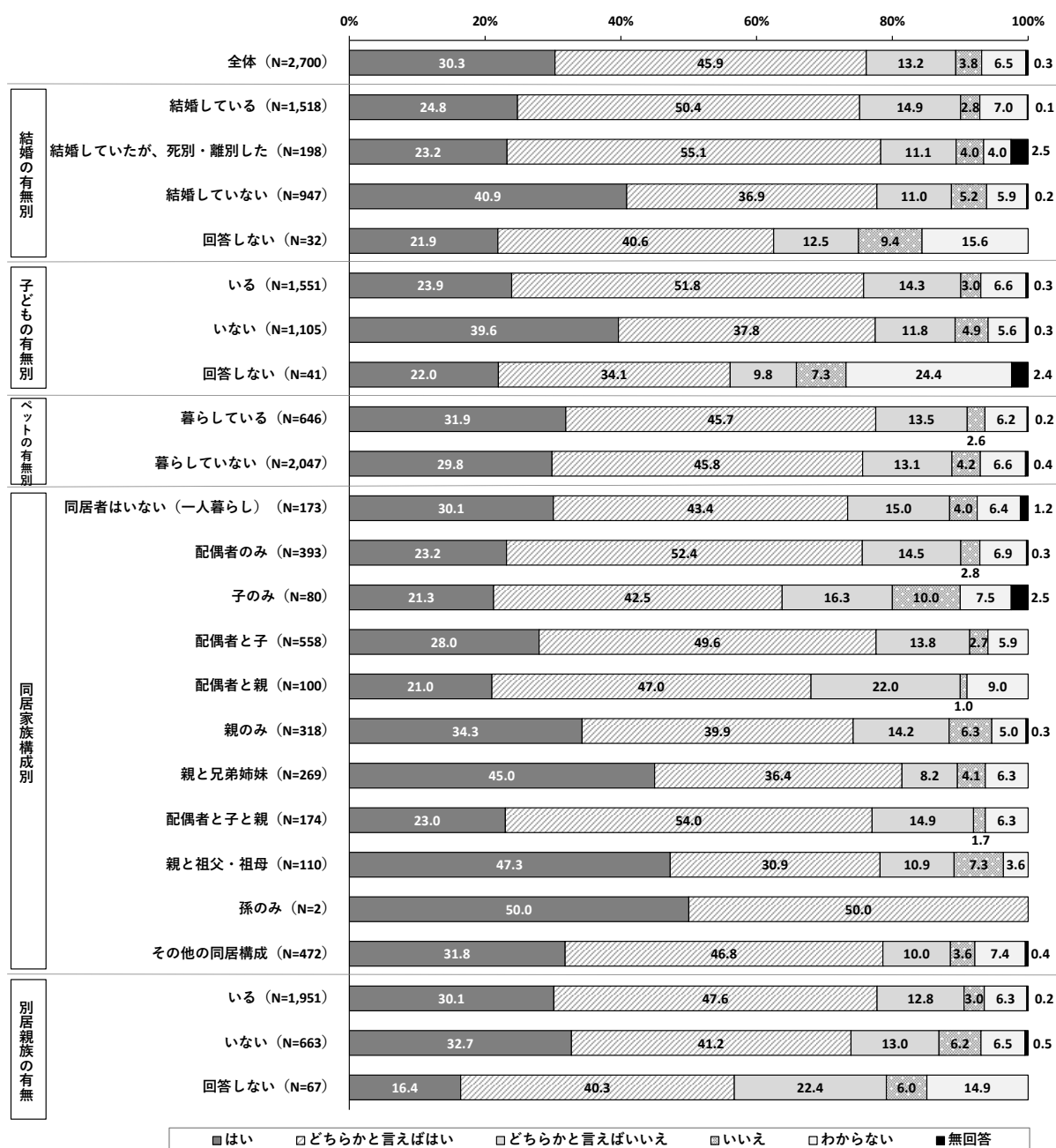
(5) - 4 同居家族の構成別

「親と兄弟姉妹」では『はい』が81.4%と、他よりも若干高い。一方、「子のみ」では『はい』が63.8%と、他と比べて低い。

(5) - 5 別居親族の有無別

別居親族が「いる」では『はい』が77.8%と、「いない」よりも3.9ポイント高い。

図表 6-18-2 他の人を喜ばせたい、楽しませたいという気持ちを持って行動している。  
(家族状況別)



#### (6) - 1 職業別

「学生」では『はい』が86.3%（うち「はい」が53.2%）と高い割合を占めている。一方、「無職」では『はい』が62.0%、『いいえ』が28.5%となっている。

#### (6) - 2 職業分野別

「金融業・保険業」では『はい』が97.6%と、他の職業分野よりも高い割合を占めている。

#### (6) - 3 年収別

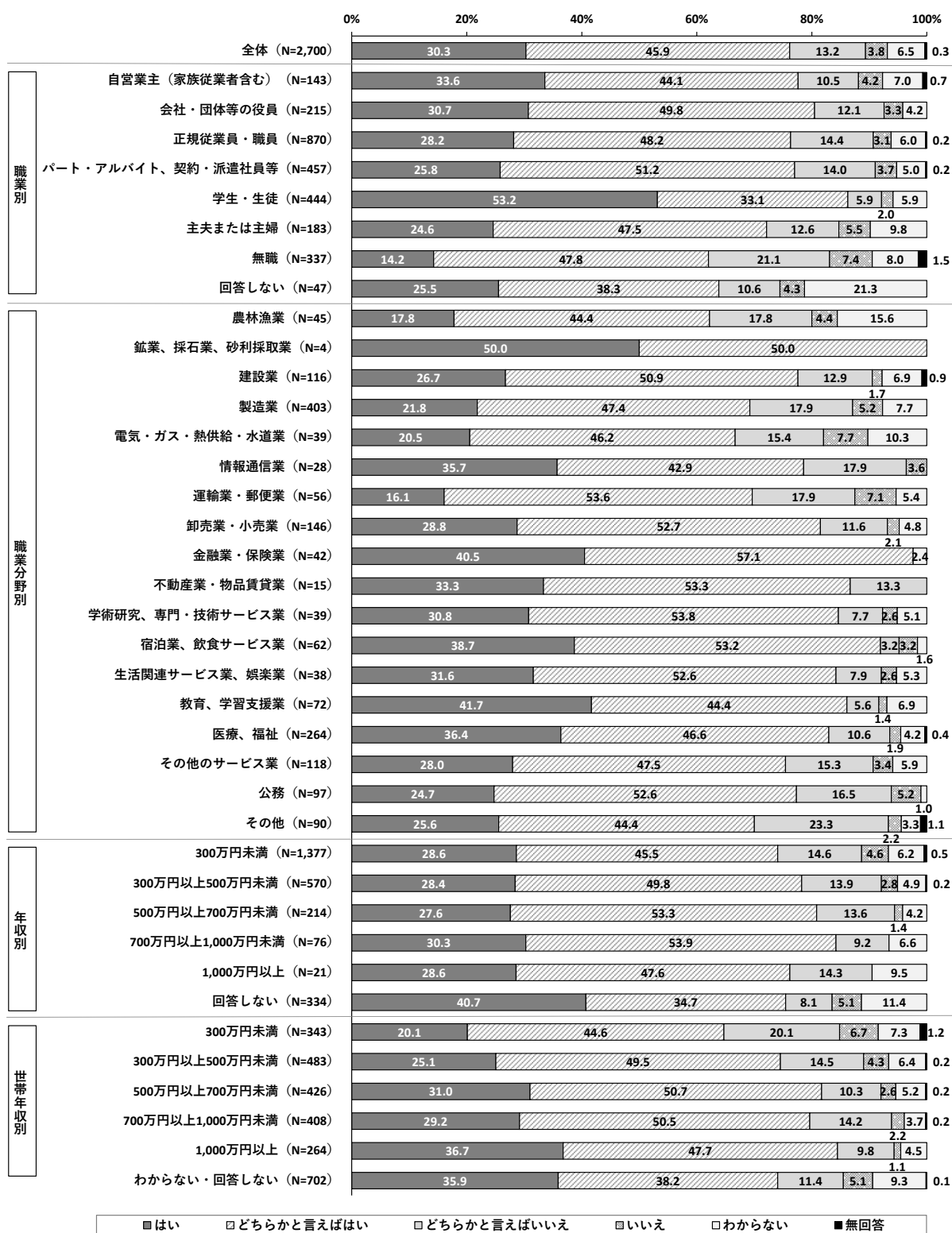
年収が高くなるほど『はい』が高くなる傾向にあり、「700万円以上1,000万円未満」では84.2%を占めている。

#### (6) - 4 世帯年収別

世帯年収が高くなるほど概ね『はい』が高くなる傾向にあり、「1,000万円以上」では84.5%と高い割合を占めている。



図表 6-18-3 他の人を喜ばせたい、楽しませたいという気持ちを持って行動している。  
(職業・年収別)



問6-19 他の人のために、親切な対応や手助けをするよう心がけている。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が84.5%を占め、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は10.5%であった。

(2) 年齢別

「15～19歳」では『はい』が91.5%と高い割合を占めている。

(3) 性別

「女性」では『はい』が88.0%と、「男性」よりも8.0ポイント高い。

(4) - 1 地域別

すべての地域で『はい』が8割を超えている。

(4) - 2 現在の住居状況別

「アパート等集合住宅（借家）」では『はい』が86.4%を占めている。

(4) - 3 現在の居住地環境別

「海に近い地域」では『はい』が89.4%と、他の地域環境よりも高い。

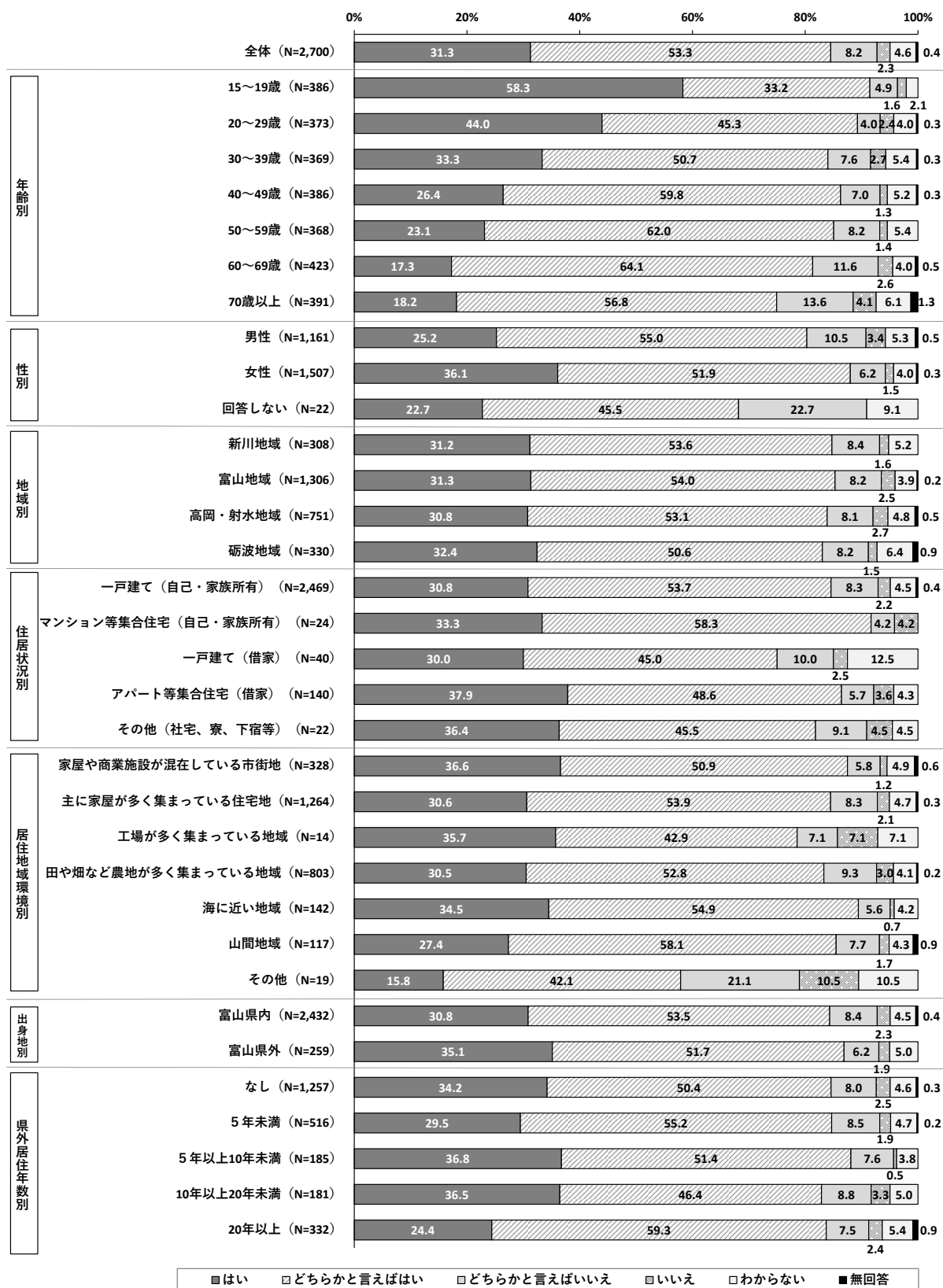
(4) - 4 出身地別

出身地による大きな差は見られないが、『はい』は「富山県内」よりも「富山県外」の方が2.6ポイント高い。

(4) - 5 県外での居住年数別

どの居住年数でも『はい』が8割を超えており、「5年以上10年未満」では88.1%を占めている。

図表 6-19-1 他の人のために、親切な対応や手助けをするよう心がけている。



(5) - 1 結婚の有無別

「結婚している」では『はい』が83.3%と、他よりも若干低い。「結婚していない」では「はい」が43.3%と、他よりも高い。

(5) - 2 子どもの有無別

『はい』で大きな差は見られないが、子どもが「いない」では「はい」が41.2%と、「いる」よりも16.8ポイント高い。

(5) - 3 ペットの有無別

「暮らしている」では『はい』が87.6%と、「暮らしていない」よりも4.1ポイント高い。

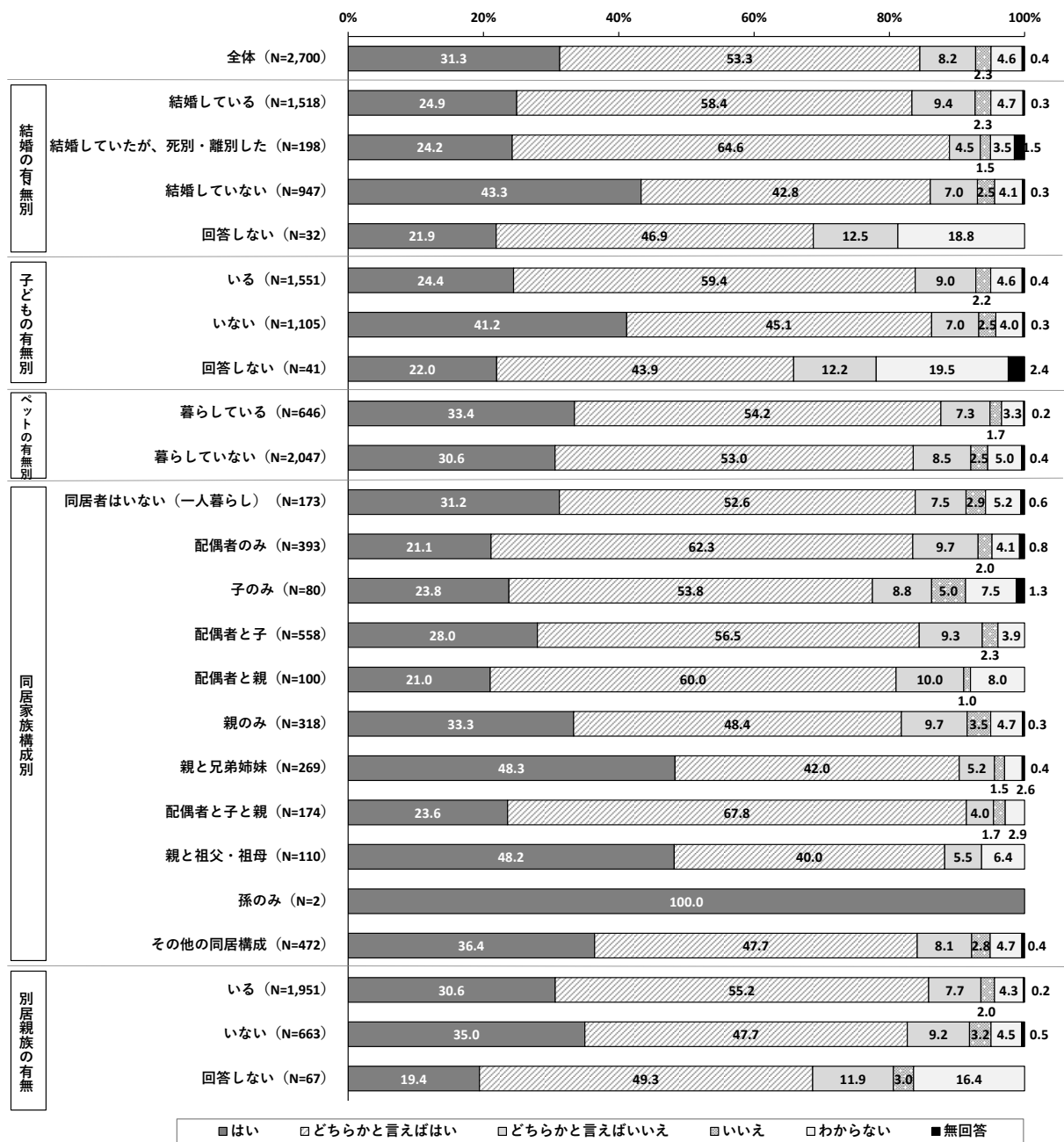
(5) - 4 同居家族の構成別

「子のみ」を除くすべてで『はい』が8割を超えており、特に、「親と兄弟姉妹」と「配偶者と子と親」では9割台となっている。一方、「子のみ」では『はい』が77.5%と、他よりも若干低い。

(5) - 5 別居親族の有無別

別居親族が「いる」では『はい』が85.8%と、「いない」よりも3.1ポイント高い。

図表 6-19-2 他の人のために、親切な対応や手助けをするよう心がけている。(家族状況別)



#### (6) - 1 職業別

「学生」では『はい』が91.0%（うち「はい」が56.1%）と高い割合を占めている。一方、「無職」では『はい』が71.8%と、他の職業と比べて低い。

#### (6) - 2 職業分野別

「卸売業・小売業」「金融業・保険業」「学研究、専門・技術サービス業」「宿泊業、飲食サービス業」「教育、学習支援業」「医療、福祉」「公務」では『はい』が9割以上と、他の職業分野と比べて若干高い。なお、「金融業・保険業」は100%となっている。

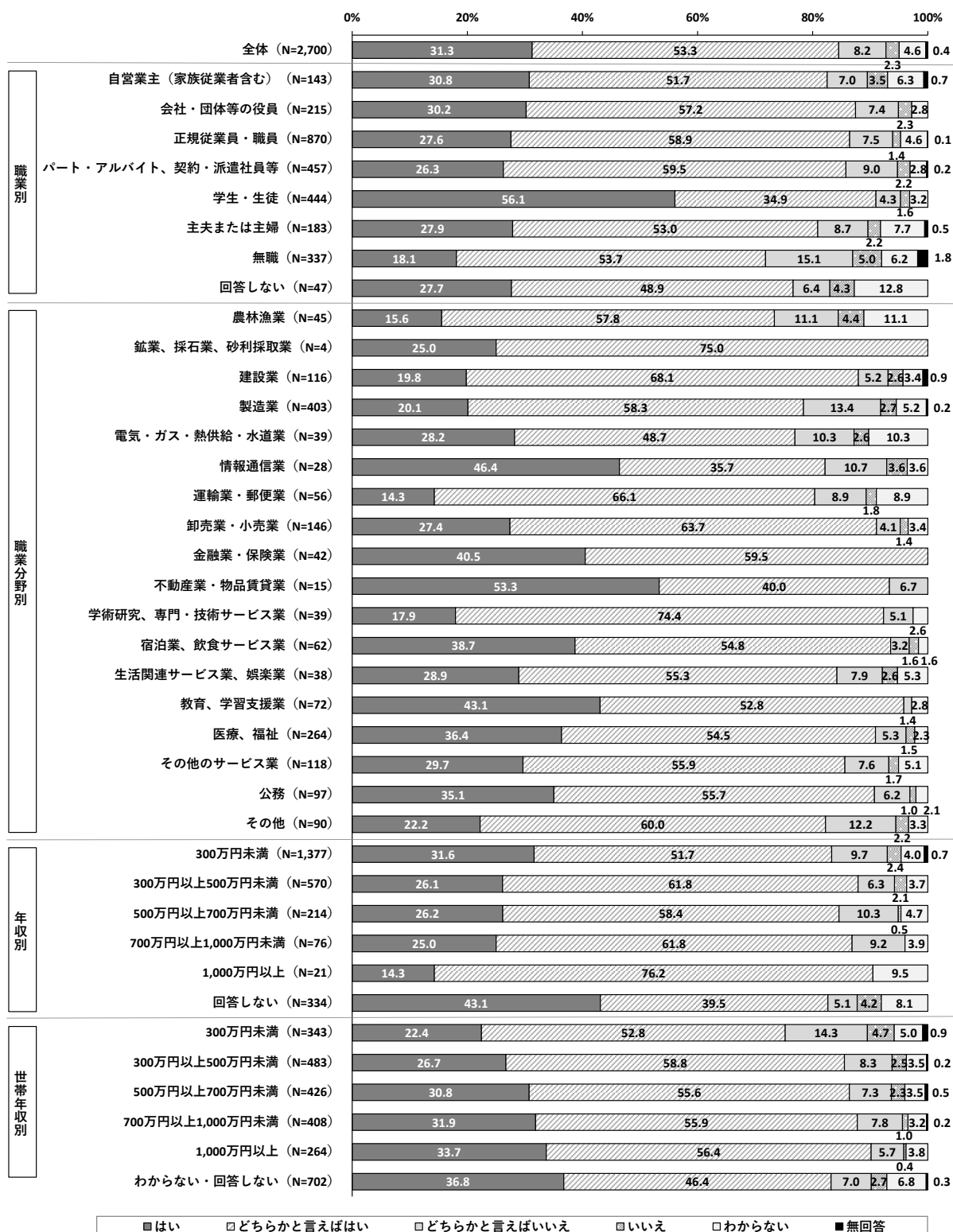
#### (6) - 3 年収別

すべてで『はい』が8割を超えている。

#### (6) - 4 世帯年収別

世帯年収が高くなるほど『はい』が高くなる傾向にあり、「1,000万円以上」では『はい』が90.2%を占めている。

図表 6-19-3 他の人のために、親切な対応や手助けをするよう心がけている。(職業・年収別)



問6-20 他の人が自分と異なる価値観や意見を持っていても、それを尊重している。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が84.1%を占めている。一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は8.6%であった。

(2) 年齢別

「15～19歳」では『はい』が92.0%（うち「はい」が57.3%）と高い割合を占めている。年齢が高くなるほど低くなる傾向にあり、「70歳以上」では『はい』が77.7%となっている。

(3) 性別

「女性」では『はい』が86.1%となっており、「男性」よりも4.3ポイント高い。

(4) - 1 地域別

すべての地域で『はい』が8割を超えているが、「高岡・射水地域」は他の地域よりも若干低い。

(4) - 2 現在の住居状況別

「一戸建て（自己・家族所有）」では『はい』が84.3%を占めている。

(4) - 3 現在の居住地域環境別

「家屋や商業施設が混在している市街地」「主に家屋が多く集まっている住宅地」「田や畑など農地が多く集まっている地域」「海に近い地域」「山間地域」では『はい』が8割を超えている。

(4) - 4 出身地別

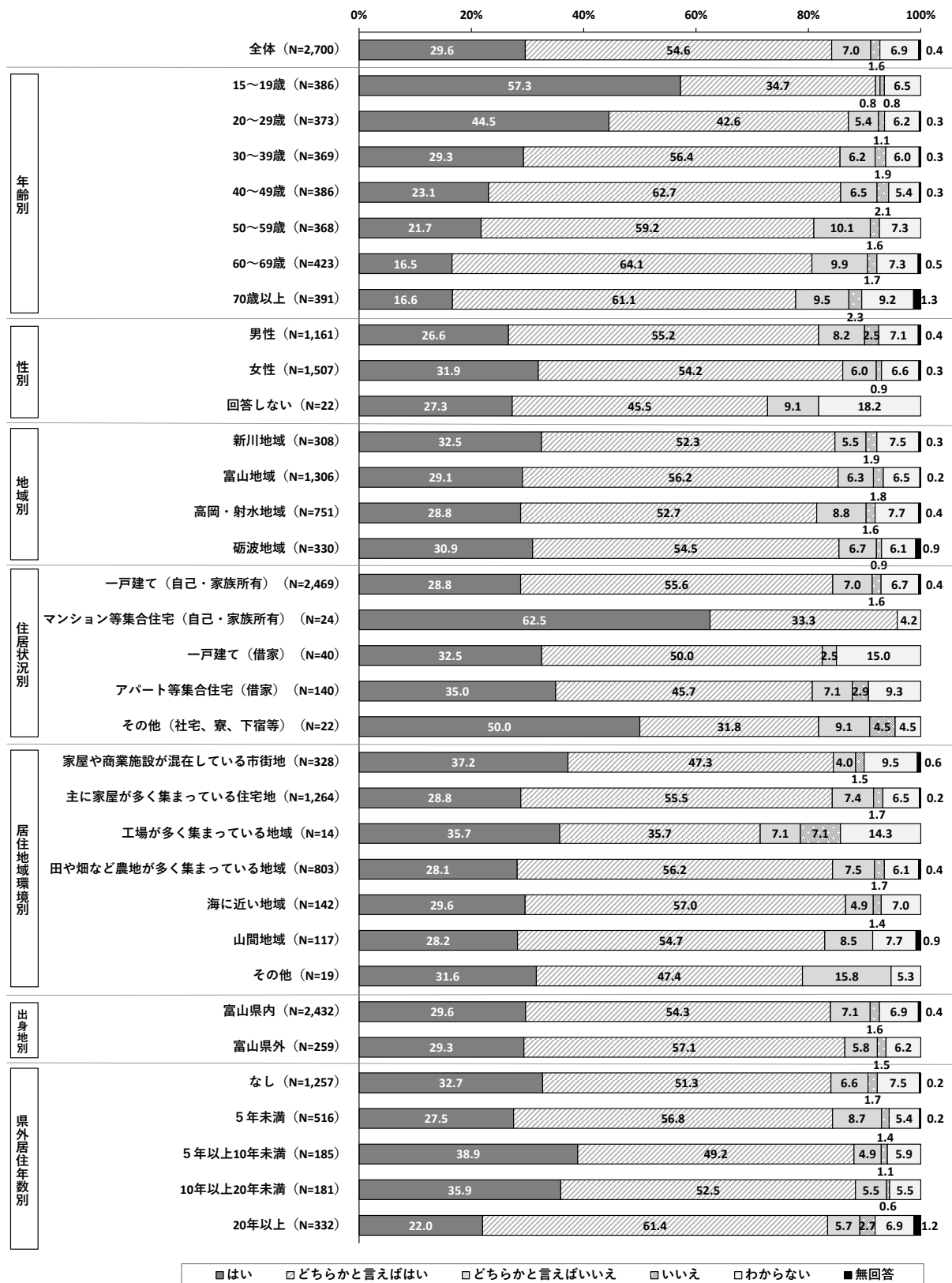
「富山県外」では『はい』が86.5%を占め、「富山県内」よりも2.6ポイント高い。

(4) - 5 県外での居住年数別

すべての居住年数で『はい』が8割を超えている。



図表 6-20-1 他の人が自分と異なる価値観や意見を持っていても、それを尊重している。



#### (5) - 1 結婚の有無別

「結婚していない」では『はい』が87.5%を占めている。「はい」も43.7%を占め、他よりも20ポイント以上高い。

#### (5) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では『はい』が87.0%と、「いる」よりも4.2ポイント高い。「はい」も子どもが「いない」方が20.1ポイント高い。

#### (5) - 3 ペットの有無別

ペットの有無で大きな差は見られない。

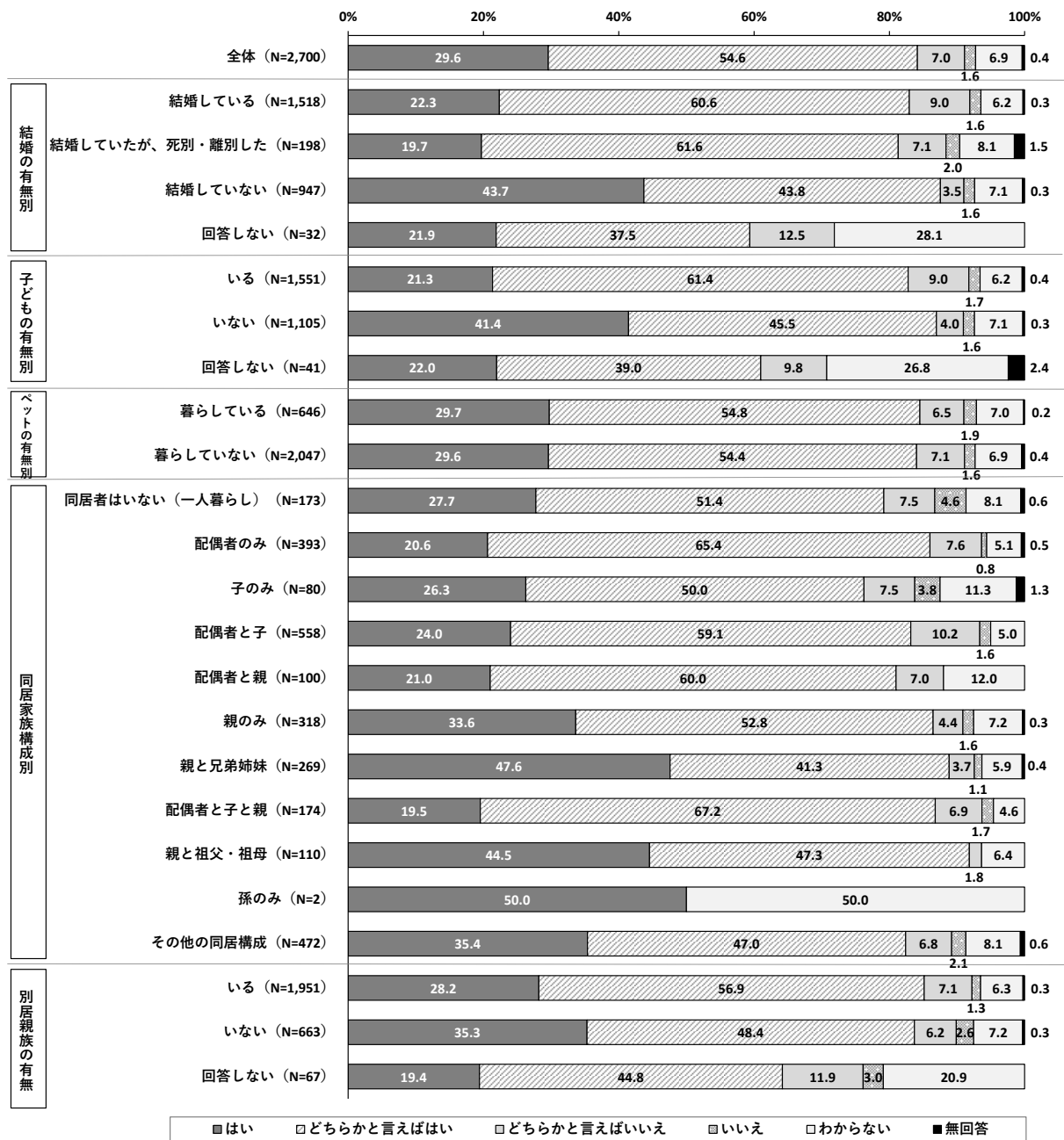
#### (5) - 4 同居家族の構成別

「親と祖父・祖母」では『はい』が91.8%と高い割合を占めている。特に、「親と兄弟姉妹」と「親と祖父・祖母」では「はい」が4割台と、他と比べて高い。一方、「同居者はいない（一人暮らし）」と「子のみ」では『はい』が7割台となっている。

#### (5) - 5 別居の親族の住居への移動時間別

『はい』は別居親族の有無で大きな差は見られないが、「はい」では別居親族が「いない」の方が「いる」よりも7.1ポイント高い。

図表 6-20-2 他の人が自分と異なる価値観や意見を持っていても、それを尊重している。  
(家族状況別)



#### (6) - 1 職業別

「学生」では『はい』が91.4%（うち「はい」が56.3%）と高い割合を占めている。一方、「無職」では『はい』が75.4%と、他の職業と比べて若干低い。

#### (6) - 2 職業分野別

「宿泊業、飲食サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援業」では『はい』が9割台となっている。

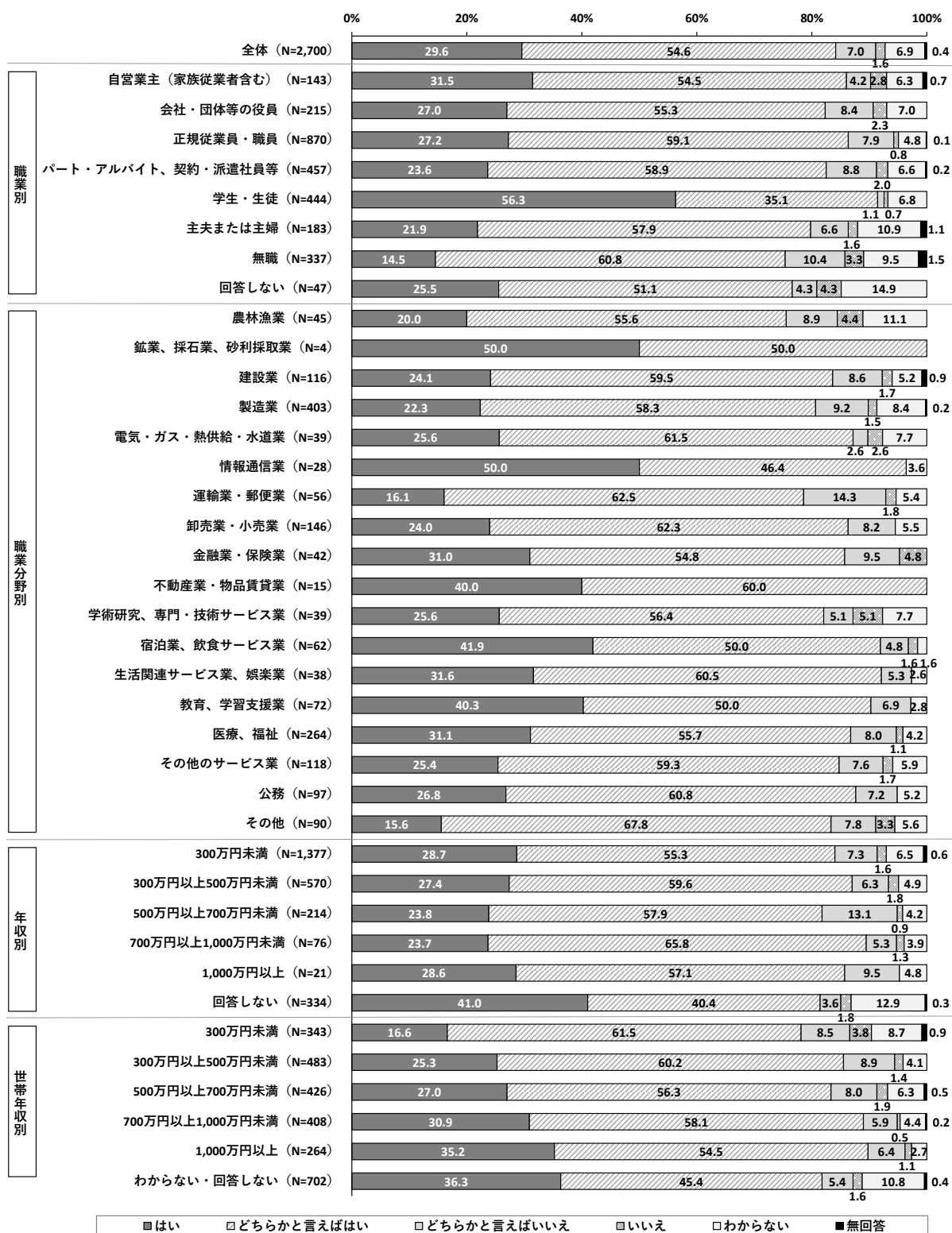
#### (6) - 3 年収別

すべてで『はい』が8割台となっている。

#### (6) - 4 世帯年収別

世帯年収が高くなるほど概ね『はい』が高くなる傾向にあり、「1,000万円以上」では『はい』が89.8%を占めている。

図表 6-20-3 他の人が自分と異なる価値観や意見を持っていても、それを尊重している。  
(職業・年収別)



問7. 家族との関係について、お気持ちをお聞きします。

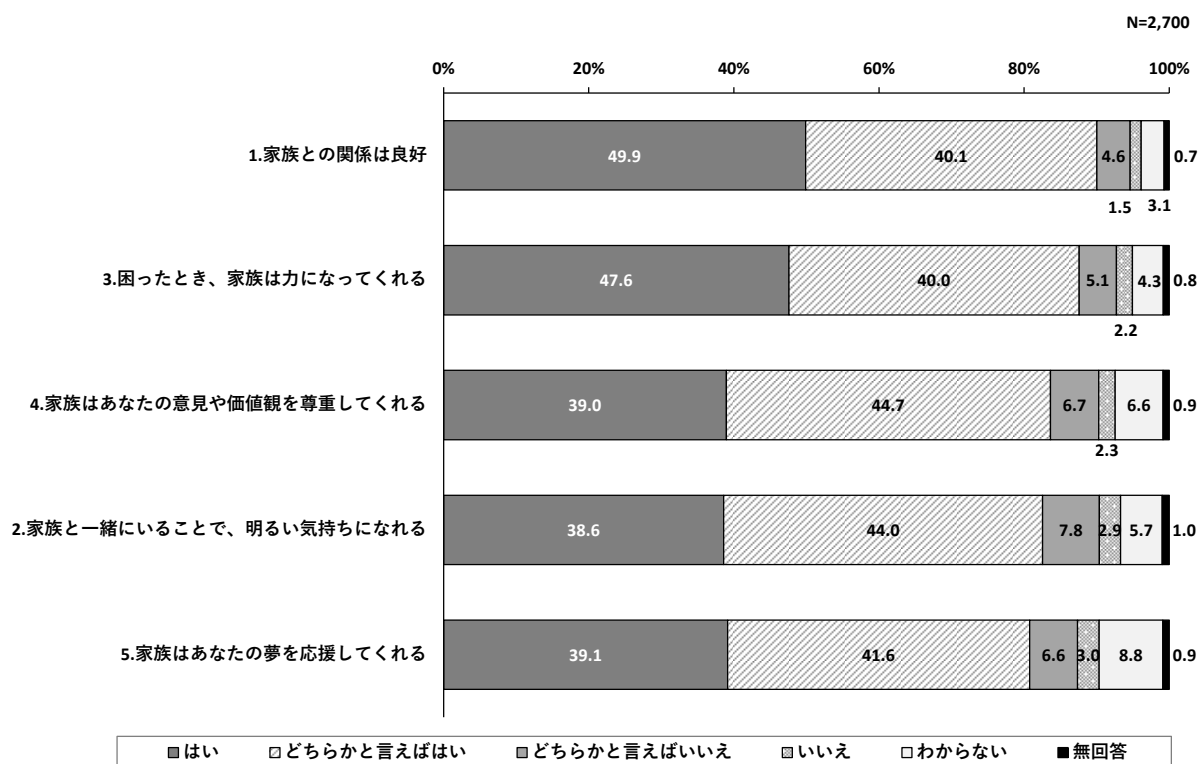
それぞれの設問について、あてはまる番号を1つ選んでください。

家族との関係について、『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が高かったのは、「1.家族との関係は良好」が90.0%と最も高く、次いで「2.困ったとき、家族は力になってくれる」が87.6%、「4.家族はあなたの意見や価値観を尊重してくれる」が83.6%であった。「1.家族との関係は良好」「2.困ったとき、家族は力になってくれる」では「はい」が4割を超えている。

一方、『はい』が低かったのは、「5.家族はあなたの夢を応援してくれる」が80.8%と最も低く、次いで「2. 家族と一緒にいることで、明るい気持ちになれる」が82.6%であった。

全体的に見て、『はい』が8割を超えており、全般的に家族との関係は良好であると考えられる。

図表7 家族との関係について



問7-1 家族との関係は良好である。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が90.0%（うち「はい」が49.9%）を占めている。一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は6.1%であった。

(2) 年齢別

すべての年代で『はい』が8割を超えている。「15～19歳」では『はい』が96.6%（うち「はい」が71.8%）と高い割合を占めている。

(3) 性別

男女間で大きな差は見られない。

(4) 地域別

「砺波地域」では『はい』が87.9と、他の地域よりも若干低くなっている。

(5) - 1 結婚の有無別

「結婚している」では『はい』が91.0%と、他と比較して若干高い。「結婚していない」では「はい」が56.7%と高い割合を占めている。

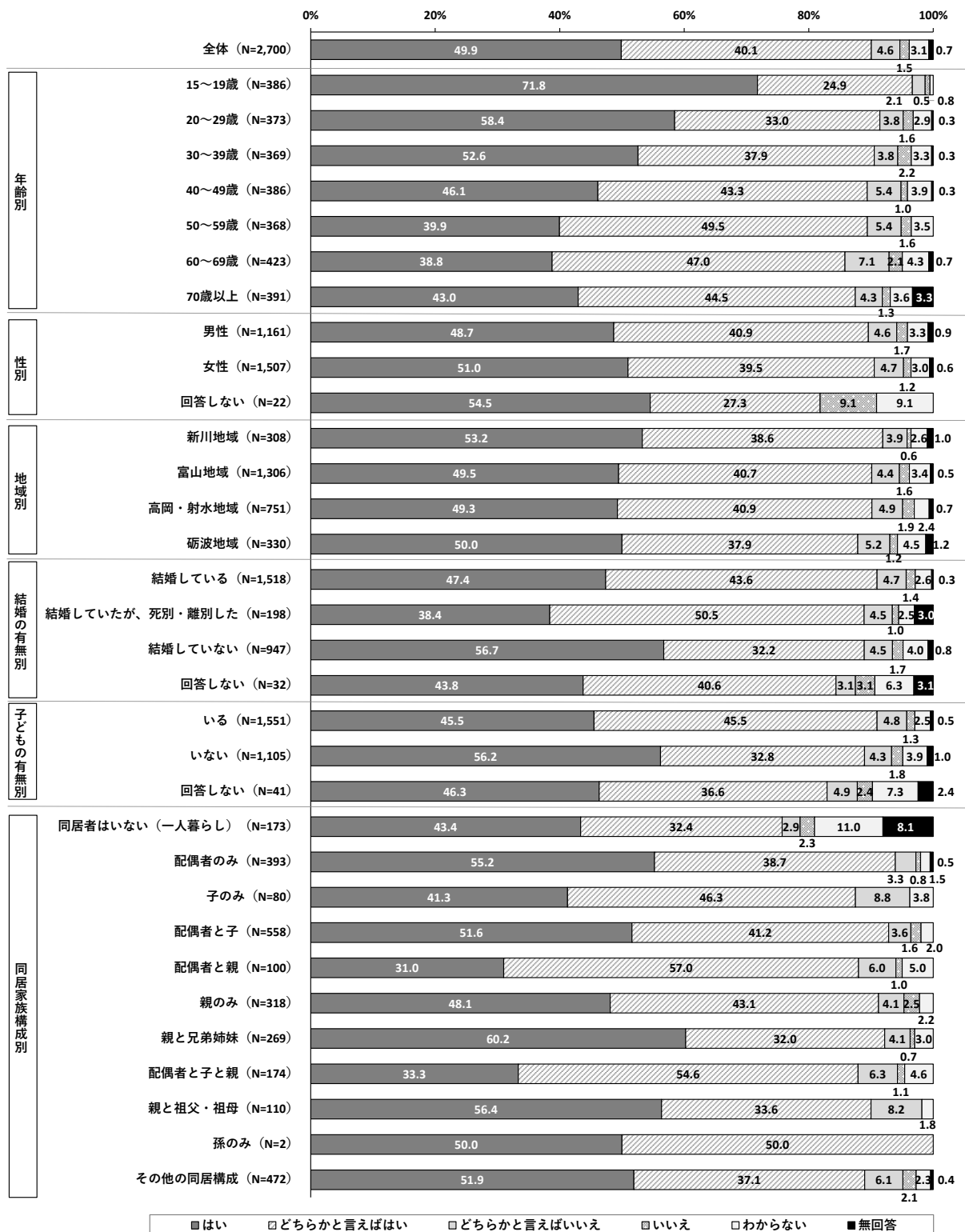
(5) - 2 子どもの有無別

子どもの有無で大きな差は見られないものの、「はい」では子どもが「いる」よりも「いない」の方が10.7ポイント高い。

(5) - 3 同居家族の構成別

「同居者はいない（一人暮らし）」を除くすべての家族構成で『はい』が8割を超えている。「同居者はいない（一人暮らし）」では75.7%と、他と比べて低い。

図表 7-1 家族との関係は良好である。





問7-2 家族と一緒にいることで、嬉しい、楽しいなど（ポジティブな）明るい気持ちになることが多くある。

（1）全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が82.6%を占めている。一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は10.7%であった。

（2）年齢別

「15～19歳」では『はい』が90.4%（うち「はい」が57.5%）と高い割合を占めている。年齢が高くなるほど『はい』が低くなる傾向があり、「70歳以上」では77.2%となっている。

（3）性別

男女間で大きな差は見られないが、『はい』は「女性」の方が2.4ポイント高い。

（4）地域別

「砺波地域」では『はい』が79.7%と、他の地域よりも若干低い。

（5）-1 結婚の有無別

「結婚している」では『はい』が85.2%と、他と比較して高い割合を占めている。

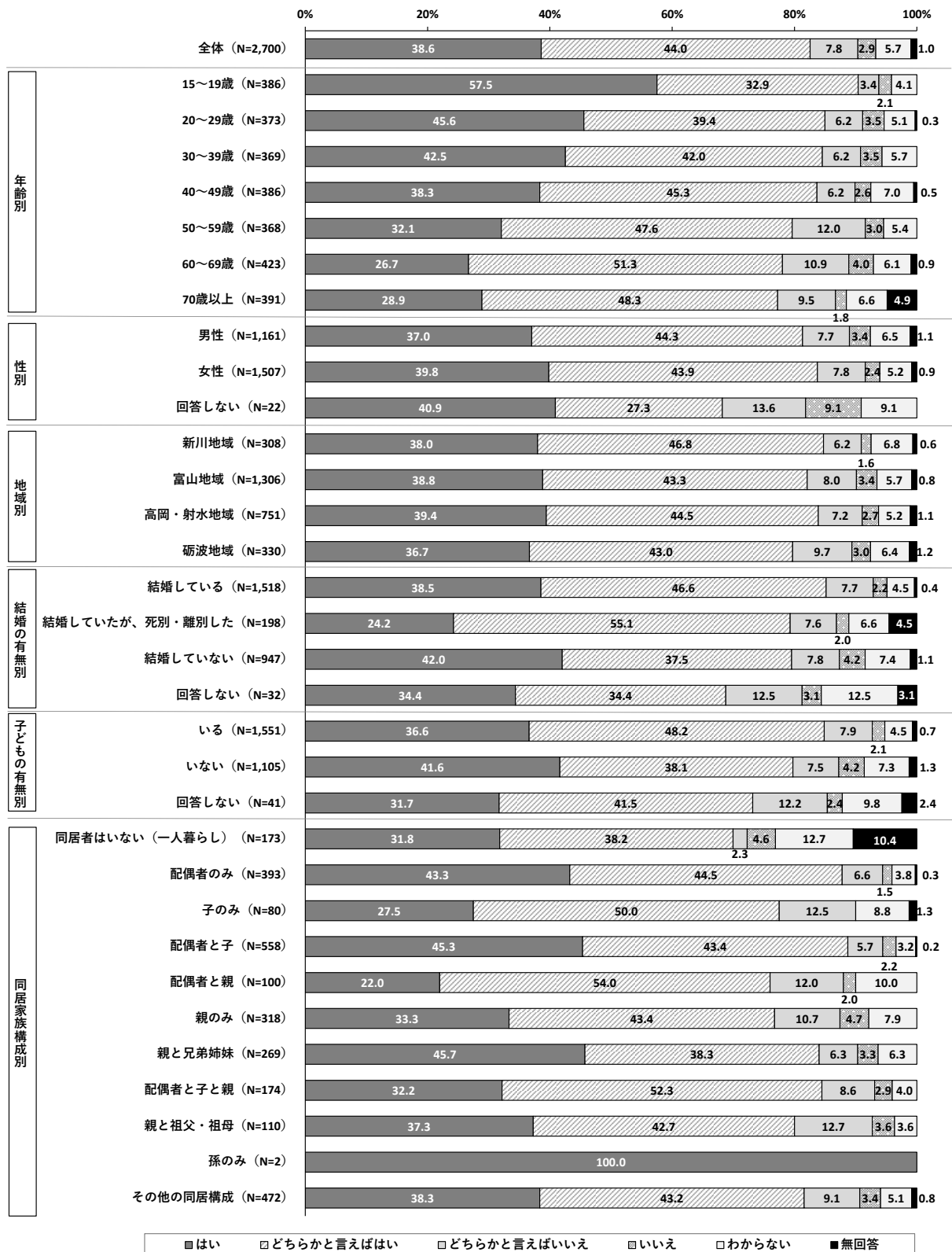
（5）-2 子どもの有無別

子どもが「いる」では『はい』が84.8%と、「いない」よりも5.1ポイント高い。

（5）-3 同居家族の構成別

「配偶者のみ」「配偶者と子」では『はい』が9割台となっている。一方、「同居者はいない（一人暮らし）」では『はい』が70.0%と、他と比べて低い。

図表 7-2 家族と一緒にいることで、嬉しい、楽しいなど（ポジティブな）明るい気持ちになることが多くある。



問7-3 困った時や苦しい時に、家族は力になってくれると感じている。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が87.6%（うち「はい」が47.6%）を占めている。一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は7.3%であった。

(2) 年齢別

30歳代以下では『はい』が9割台と、他の年代よりも若干高い。「15～19歳」では『はい』が93.5%（うち「はい」が64.0%）と高い割合を占めている。

(3) 性別

男女間で大きな差はないものの、「はい」は「女性」の方が7.5ポイント高い。

(4) 地域別

すべての地域で『はい』が8割台となっている。「新川地域」と「高岡・射水地域」では『はい』が89%台と、他の地域よりも若干高い。

(5) - 1 結婚の有無別

「結婚していたが、死別・離別した」では『はい』が85.9%と、他と比較して若干低い。

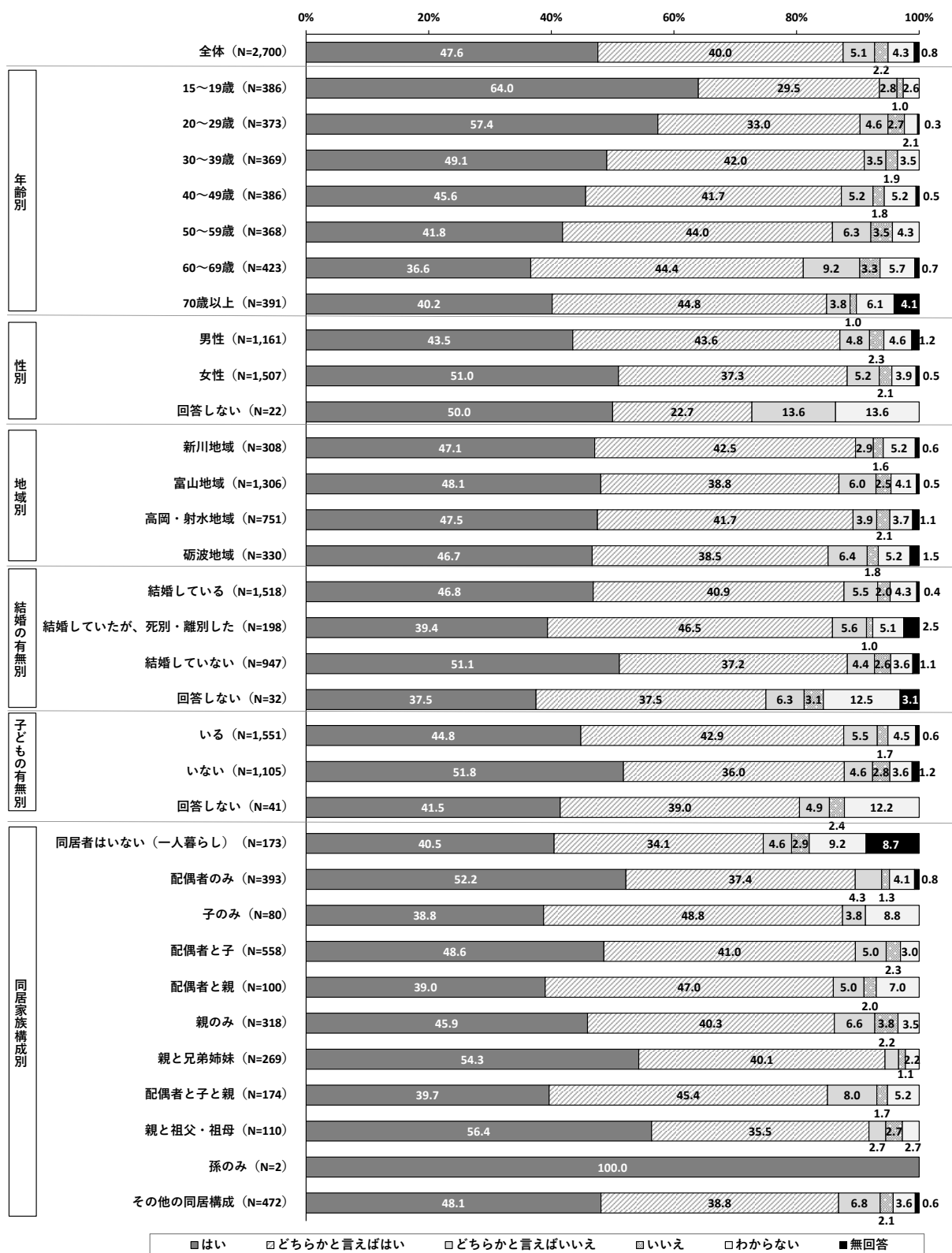
(5) - 2 子どもの有無別

子どもの有無で大きな差は見られないものの、「はい」では子どもが「いる」よりも「いない」の方が7.0ポイント高い。

(5) - 3 同居家族の構成別

「親と兄弟姉妹」「親と祖父・祖母」では『はい』が9割台と高い割合を占め、他よりも若干高くなっている。一方、「同居者はいない（一人暮らし）」では74.6%と、他と比べて低い。

図表 7-3 困った時や苦しい時に、家族は力になってくれると感じている。



問7-4 家族は、あなたの意見や価値観を理解・尊重してくれている。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が83.6%を占めている。一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は8.9%であった。

(2) 年齢別

「15～19歳」では『はい』が91.5%（うち「はい」が60.9%）と高い割合を占めている。一方、60歳以上では『はい』が7割台となっている。

(3) 性別

男女間で大きな差は見られないものの、「はい」は「女性」の方が5.7ポイント高い。

(4) 地域別

すべての地域で『はい』が83%程度となっており、大きな差は見られない。

(5) - 1 結婚の有無別

結婚の有無で大きな差は見られないものの、「はい」は「結婚していない」で47.3%と、他よりも高い。

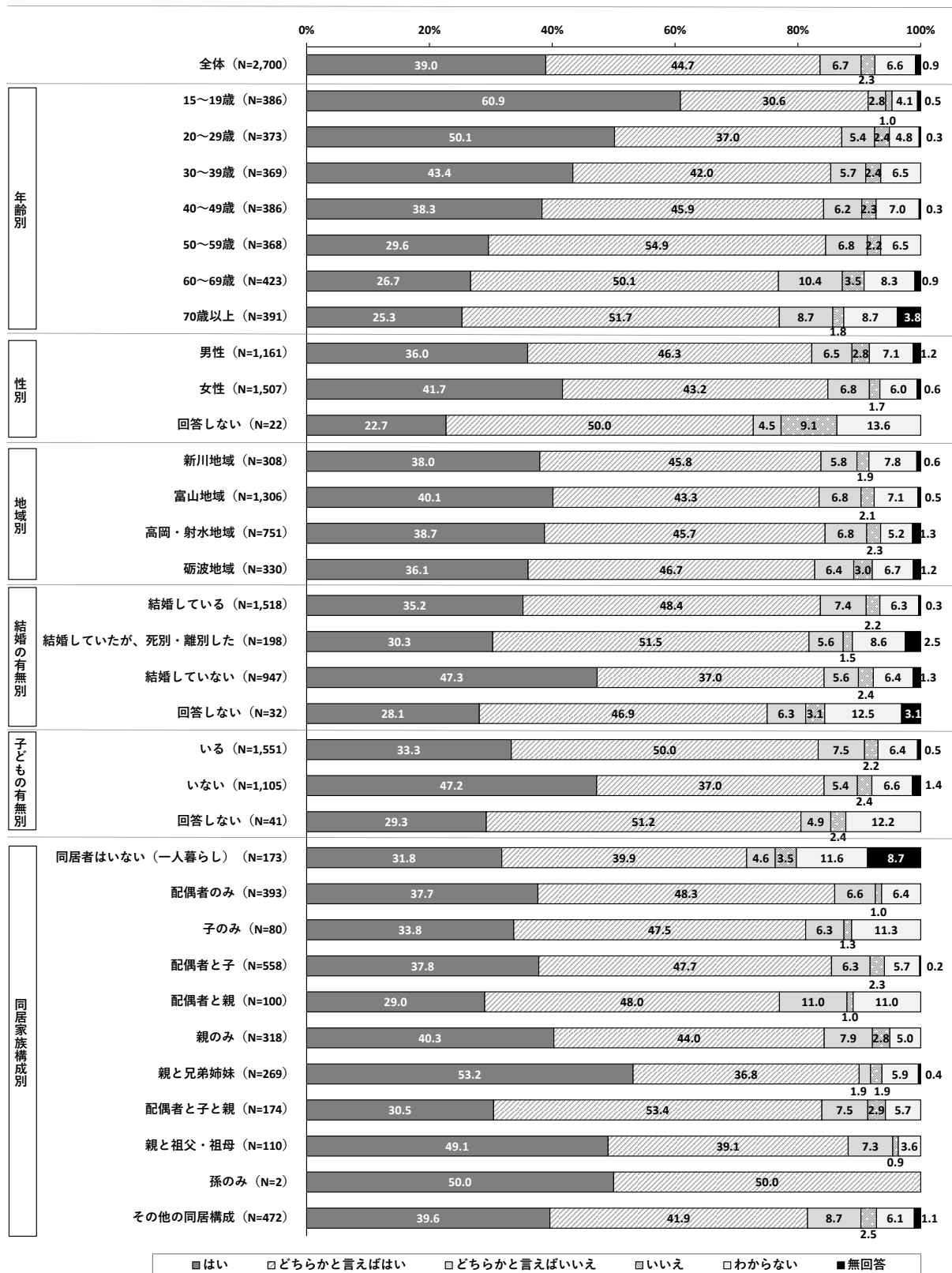
(5) - 2 子どもの有無別

子どもの有無では大きな差は見られないものの、「はい」は子どもが「いる」よりも「いない」の方が13.9ポイント高い。

(5) - 3 同居家族の構成別

「親と兄弟姉妹」では『はい』が90.0%と、他と比べて若干高い。一方、「同居者はいない（一人暮らし）」では71.7%と、他と比べて低い。

図表 7-4 家族は、あなたの意見や価値観を理解・尊重してくれている。



問7-5 家族はあなたの夢や目標達成のため、応援・協力してくれている。(または、応援・協力してくれると感じている。)

(1) 全体

『はい』(「はい」+「どちらかと言えばはい」)が80.8%を占め、一方、『いいえ』(「どちらかと言えばいいえ」+「いいえ」)は9.6%であった。

(2) 年齢別

「15～19歳」では『はい』が96.1%(うち「はい」が70.7%)と高い割合を占めている。

(3) 性別

男女間で大きな差は見られないものの、「はい」は「女性」の方が5.8ポイント高い。

(4) 地域別

すべての地域で『はい』が81%前後となっており、大きな差は見られない。

(5) - 1 結婚の有無別

「結婚していたが、死別・離別した」では『はい』が75.8%と、他と比較して若干低い。「結婚していない」では「はい」が51.8%と、他よりも高い。

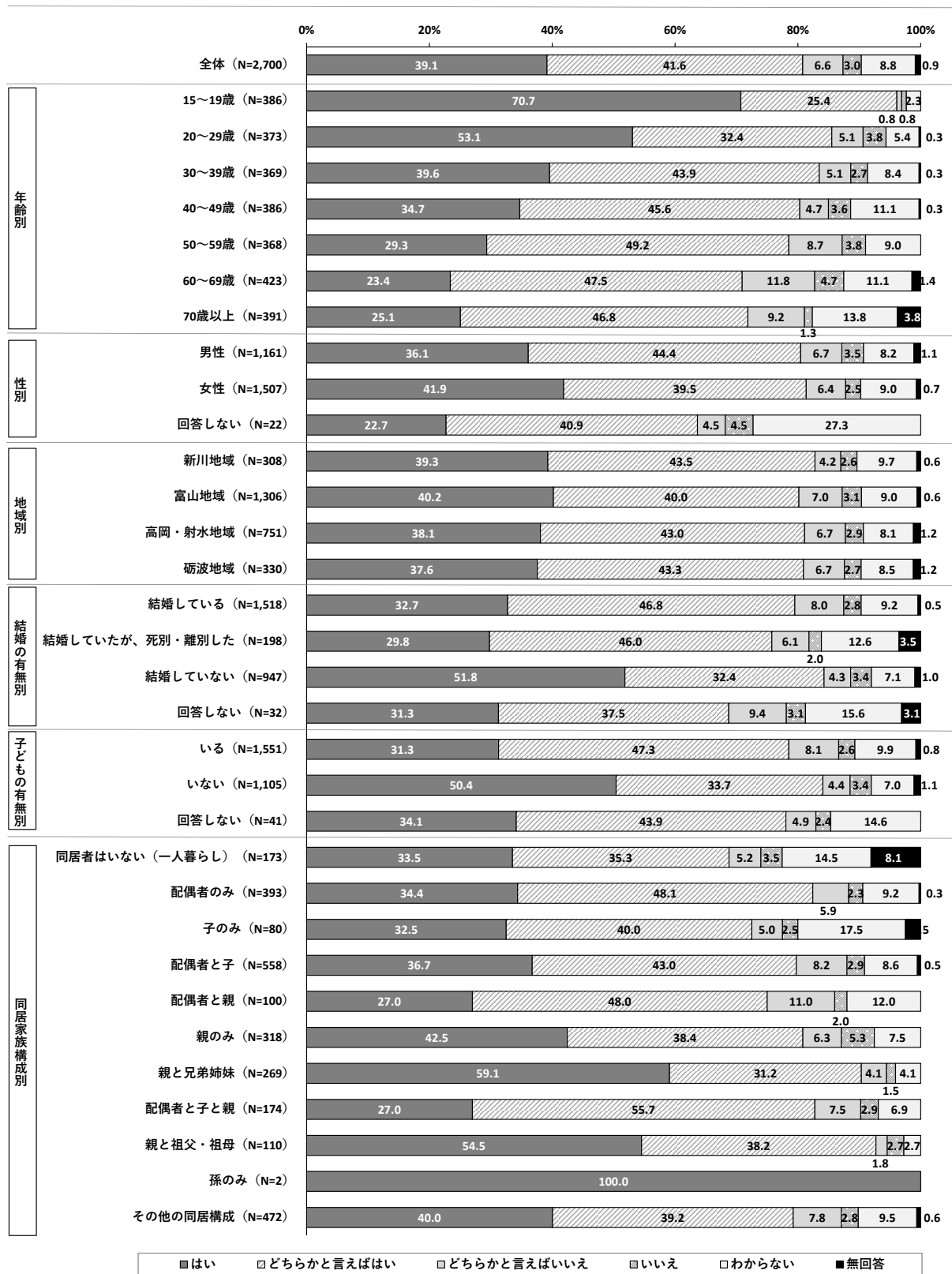
(5) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では『はい』が84.1%と、「いる」よりも5.6ポイント高い。

(5) - 3 同居家族の構成別

「親と兄弟姉妹」と「親と祖父・祖母」では『はい』が9割台となっている。「同居者はいない(一人暮らし)」では『はい』が68.8%と、他と比べて低い。

図表 7-5 家族はあなたの夢や目標達成のため、応援・協力してくれている。





問8. 友人との関係について、お気持ちをお聞きします。

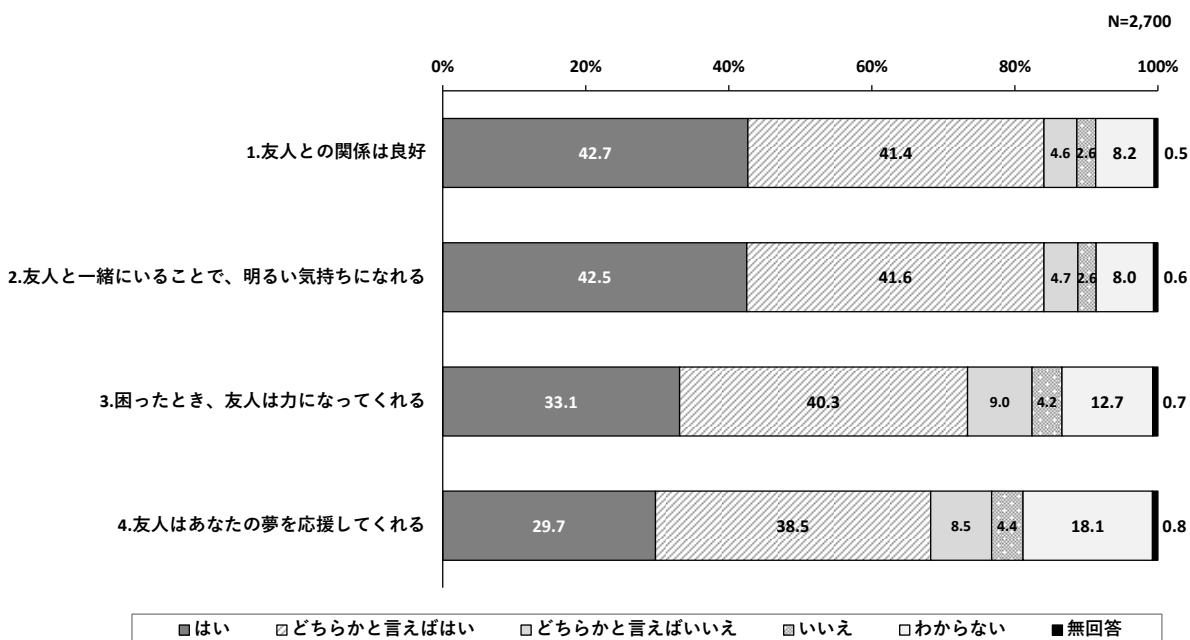
それぞれの設問について、あてはまる番号を1つ選んでください。

友人との関係について、『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が高かったのは、「1.友人との関係は良好」と「2.友人と一緒にいることで、明るい気持ちになれる」がそれぞれ84.1%と最も高く、次いで「3.困ったとき、友人は力になってくれる」が73.4%であった。

一方、『はい』が最も低かったのは、「4.友人はあなたの夢を応援してくれる」が68.2%であった。

全体的に見て、『はい』が6割を超えており、家族との関係と同様に友人との関係も全般的に良好であると考えられる。

図表8 友人との関係について



問8-1 友人との関係は良好である。

(1) 全体

『はい』(「はい」+「どちらかと言えばはい」)が84.1%を占めている。一方、『いいえ』(「どちらかと言えばいいえ」+「いいえ」)は7.2%であった。

(2) 年齢別

「15～19歳」では『はい』が96.6% (うち「はい」が72.3%)と高い割合を占めている。

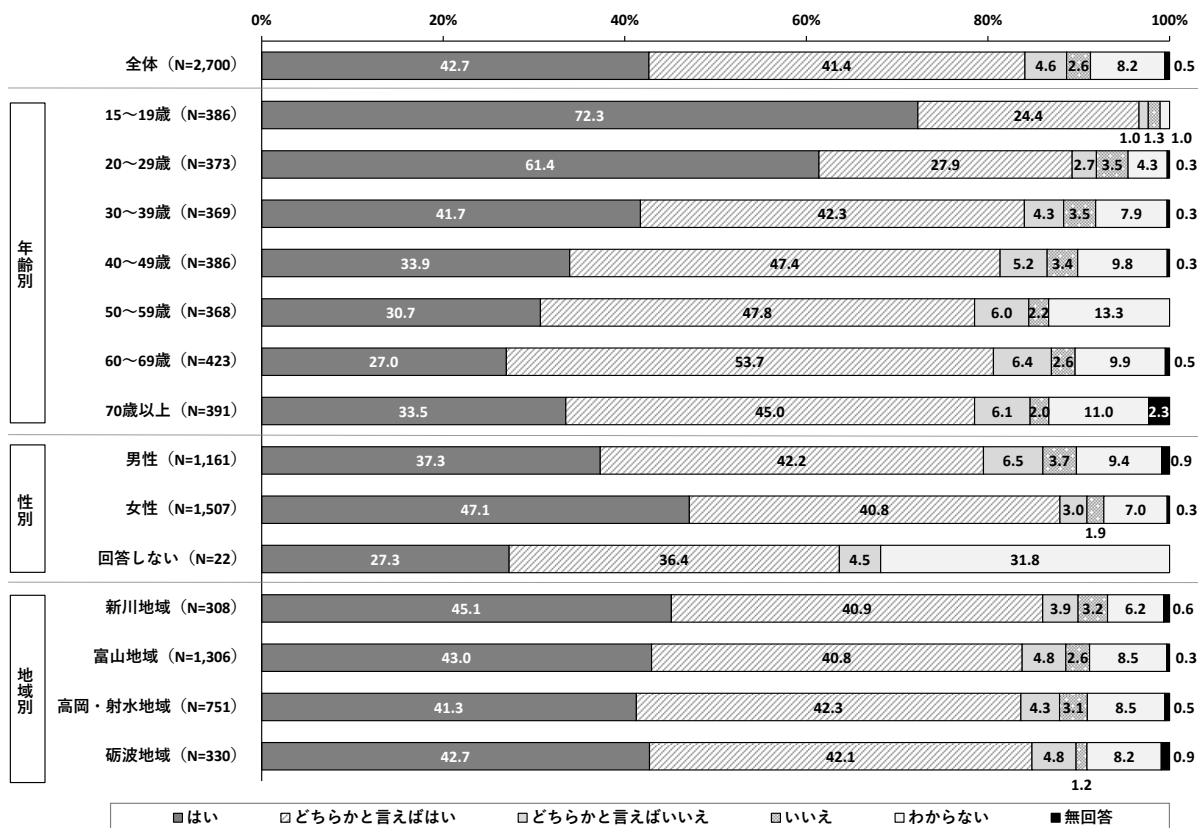
(3) 性別

男女ともに『はい』が7割を超えている。「はい」は「女性」の方が9.8ポイント高い。

(4) 地域別

すべての地域で『はい』が8割を超えている。「新川地域」では「はい」が45.1%と、他の地域よりも若干高い。

図表8-1 友人との関係は良好である。



問8-2 友人と一緒にいることで、楽しい、嬉しいなど（ポジティブな）明るい気持ちになることが多くある。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が84.1%を占めている。一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は7.3%であった。

(2) 年齢別

20歳代以下では『はい』が9割を超えている。特に「15～19歳」では95.3%（うち「はい」が72.5%）と高い割合を占めている。

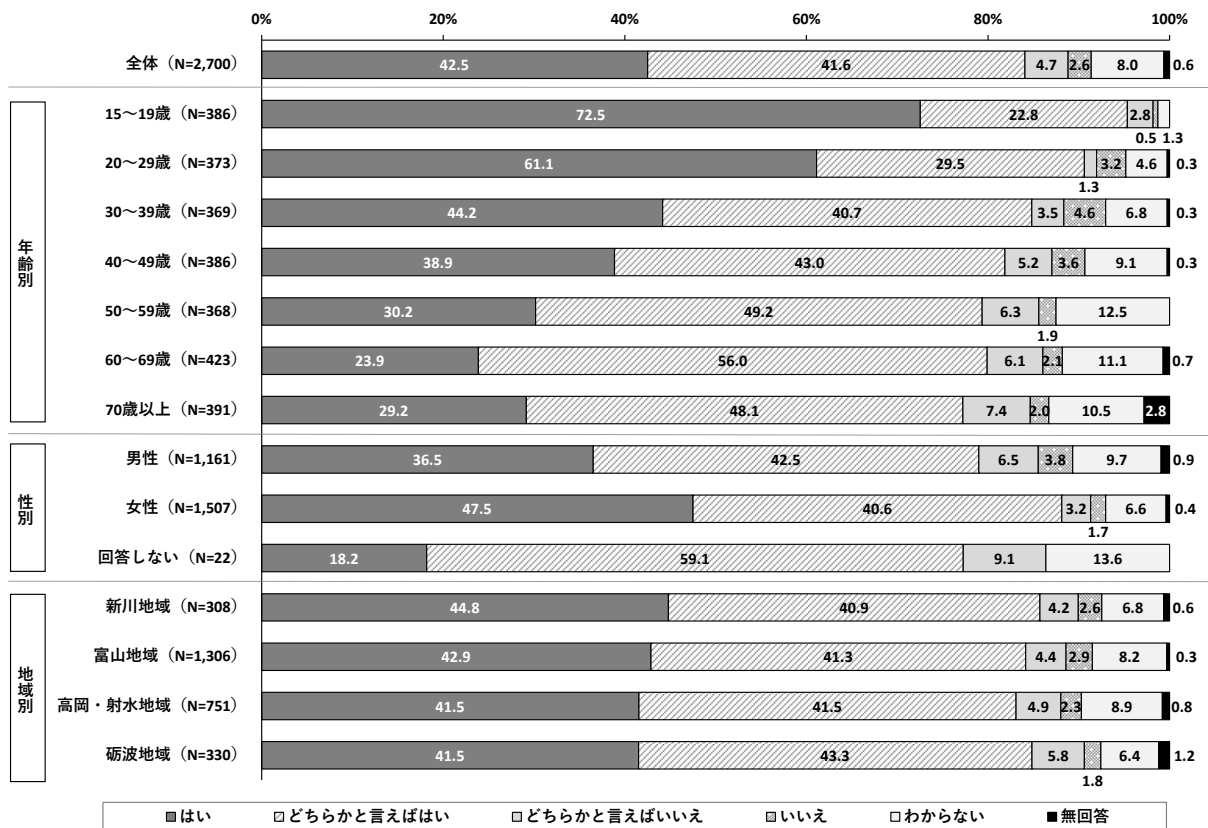
(3) 性別

「はい」は「女性」が47.5%と、「男性」よりも11.0ポイント高い。

(4) 地域別

地域間で大きな差は見られず、すべての地域で『はい』が8割を超えている。

図表 8-2 友人と一緒にいることで、楽しい、嬉しいなど（ポジティブな）明るい気持ちになることが多くある。



問 8-3 困った時や苦しい時に、友人は力になってくれると感じている。

(1) 全体

『はい』(「はい」+「どちらかと言えばはい」)が73.4%を占めており、一方、『いいえ』(「どちらかと言えばいいえ」+「いいえ」)は13.2%であった。

(2) 年齢別

年代が低くなるほど概ね『はい』が高くなる傾向にあり、20歳代以下では8割を超えている。特に、「15～19歳」では『はい』が90.2%（うち「はい」が62.4%）と高い割合を占めている。

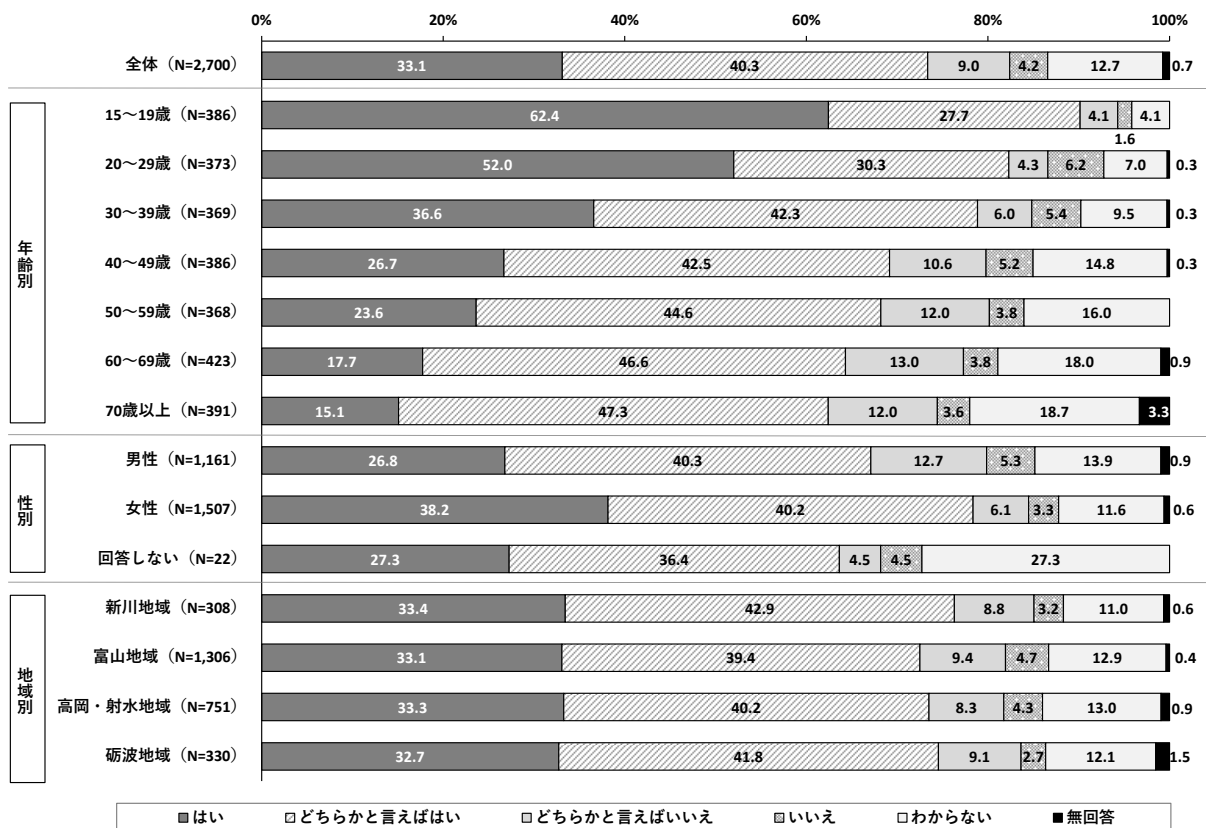
(3) 性別

「女性」では『はい』が78.4%と、「男性」よりも11.3ポイント高い。

(4) 地域別

すべての地域で『はい』が7割を超えている。

図表 8-3 困った時や苦しい時に、友人は力になってくれると感じている。



問8-4 友人は、あなたの夢や目標達成のため、応援・協力してくれている。(または、応援・協力してくれると感じている。)

(1) 全体

『はい』(「はい」+「どちらかと言えばはい」)が68.2%を占めており、一方、『いいえ』(「どちらかと言えばいいえ」+「いいえ」)は12.9%であった。

(2) 年齢別

20歳代以下では『はい』が8割を超えているものの、40～59歳では6割台、60歳以上では5割台と、年齢が高くなるほど概ね低くなる傾向にある。

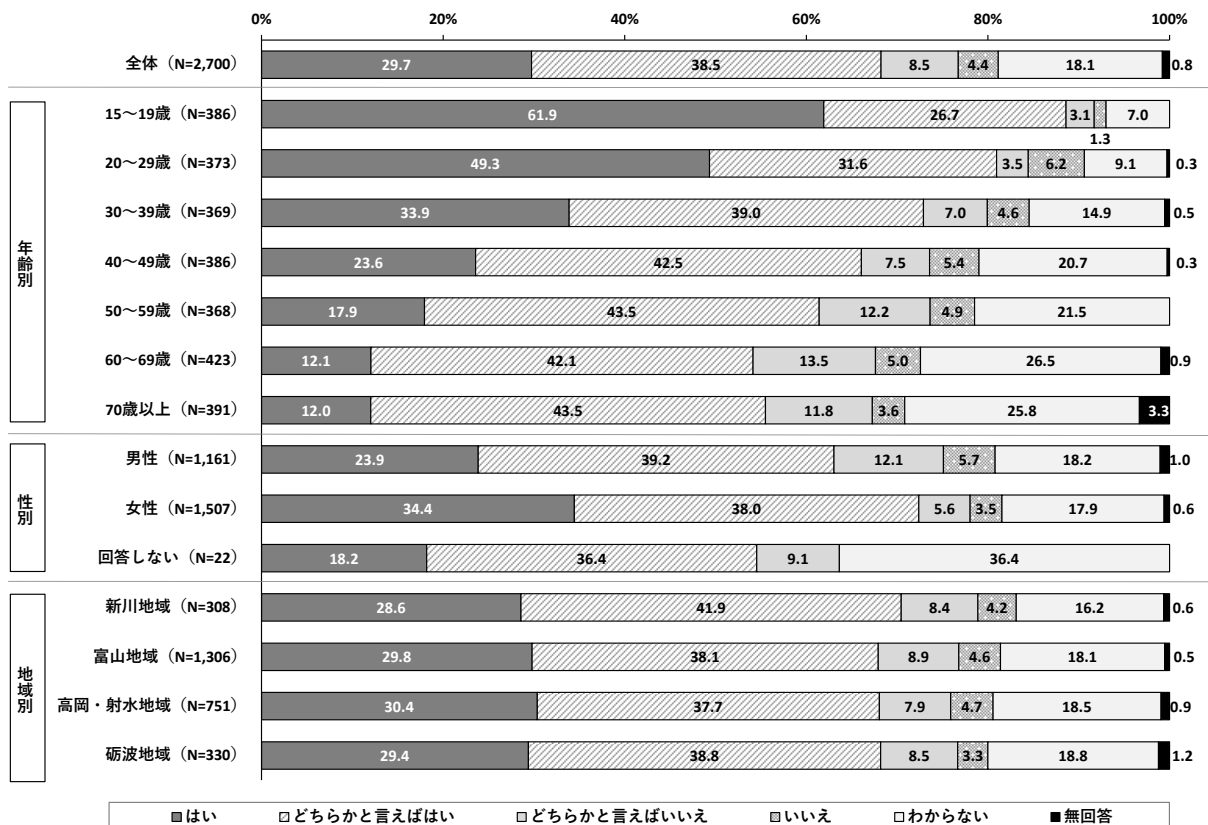
(3) 性別

「女性」では『はい』が72.4%と、「男性」よりも9.4ポイント高い。

(4) 地域別

すべての地域で『はい』が6割を超えている。「新川地域」では70.5%と、他の地域よりも若干高い。

図表8-4 友人は、あなたの夢や目標達成のため、応援・協力してくれている。



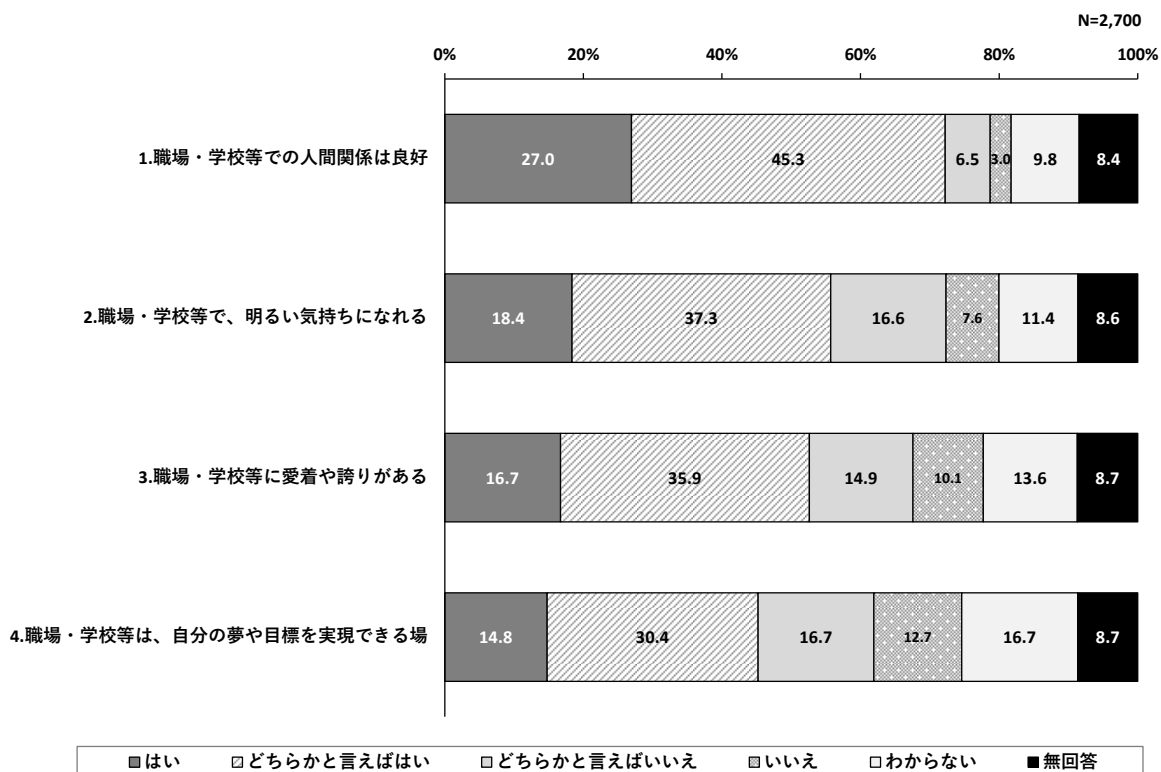
問9. 在籍・参加している職場や学校、各種団体・グループ等（「職場・学校等」）について、お気持ちをお聞きします。  
それぞれの設問について、あてはまる番号を1つ選んでください。

職場・学校等について、『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が高かったのは、「1.職場・学校等での人間関係は良好」が72.2%と最も高く、次いで「2.職場・学校等で、明るい気持ちになれる」が55.7%、「3. 職場・学校等に愛着や誇りがある」が52.6%であった。

一方、『はい』が最も低かったのは、「4.職場・学校等は、自分の夢や目標を実現できる場」が45.2%であった。

全体的に見て、職場・学校等での関係性は良好であるものの、自己実現の場と捉えている人は比較的少ないことがうかがえる。

図表9 在籍・参加している職場や学校、各種団体・グループ等について



問9-1 職場・学校等での人間関係は良好である。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が72.2%を占めている。一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は9.5%であった。

(2) 年齢別

20歳代以下では『はい』が8割を超えており、特に「15～19歳」では92.2%（うち「はい」は60.4%）と、他の年代よりも高い割合を占めている。

(3) 性別

男女間で大きな差は見られないものの、「はい」では「女性」の方が4.6ポイント高い。

(4) 地域別

地域間で大きな差は見られない。

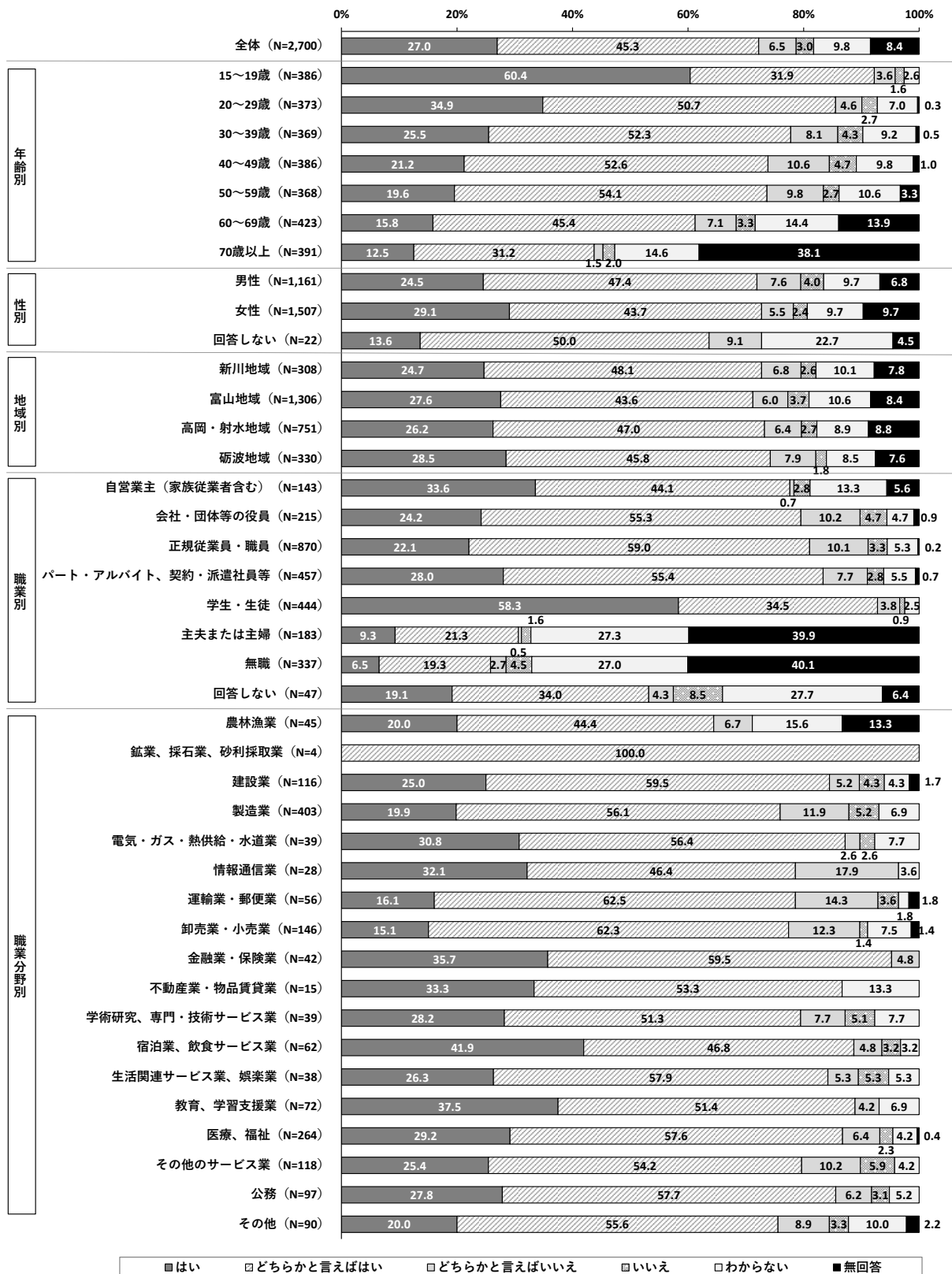
(5) - 1 職業別

「正規従業員・職員」「パート・アルバイト、契約・派遣社員等」「学生・生徒」では『はい』が8割を超えている。特に「学生・生徒」では『はい』が92.8%（うち「はい」が58.3%）と高い割合を占めている。

(5) - 2 職業分野別

「金融業・保険業」では『はい』が9割を超え、他の職業分野と比較して高い割合を占めている。

図表 9-1 職場・学校等での人間関係は良好である。





問9-2 職場・学校等で楽しい、嬉しいなど（ポジティブな）明るい気持ちになることが多いある。

**(1) 全体**

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が55.7%で、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は24.3%となっている。

**(2) 年齢別**

『はい』は「15～19歳」で84.5%となっているものの、年齢が高くなるほど下がる傾向にある。

**(3) 性別**

『はい』は「男性」よりも「女性」の方が3.1ポイント高い。

**(4) 地域別**

すべての地域で『はい』が5割を超えており、「砺波地域」では58.8%と、他の地域よりも若干高い。

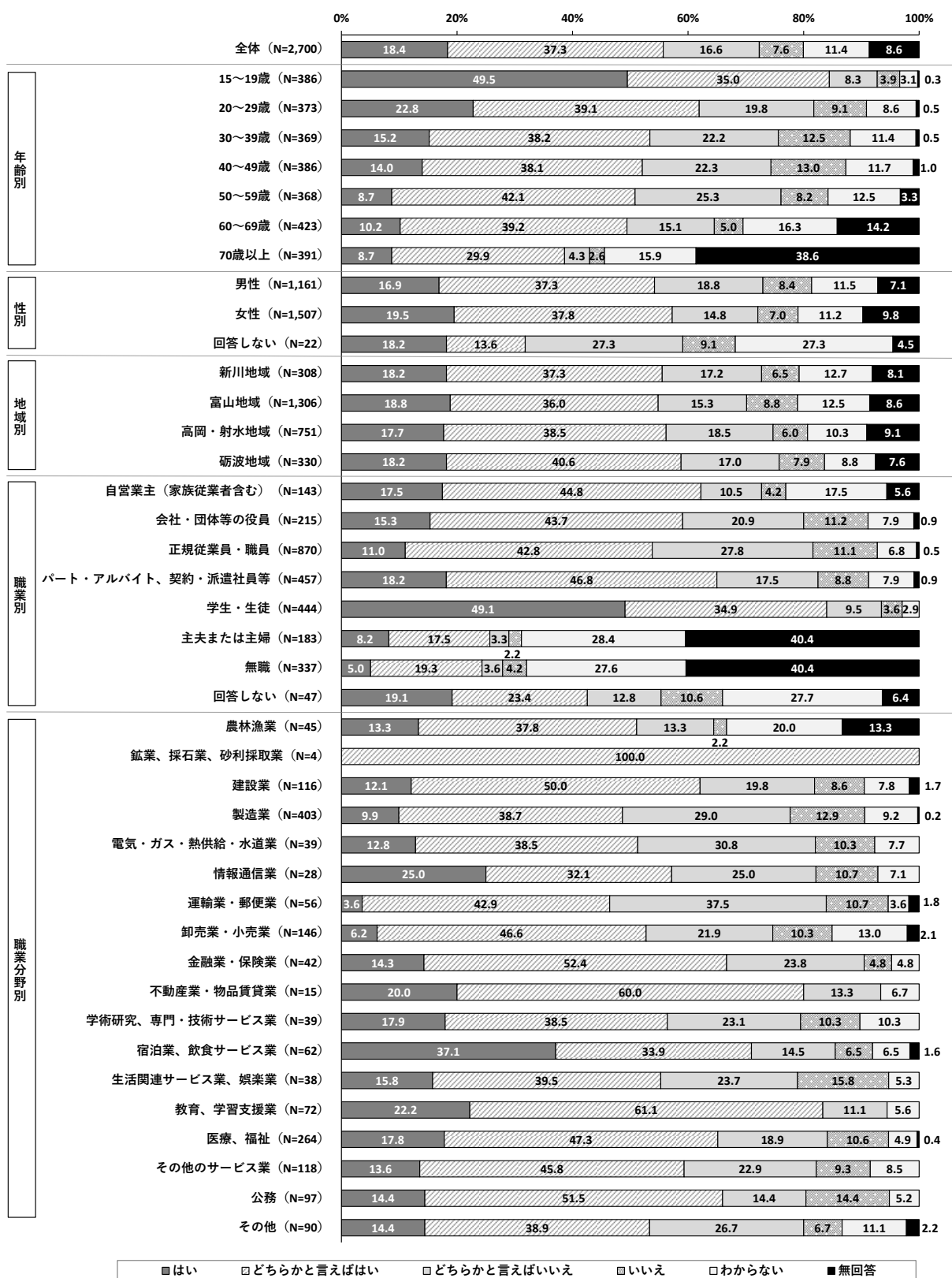
**(5) - 1 職業別**

「学生・生徒」では『はい』が84.0%と、他の職業よりも高くなっている。「正規従業員・職員」では『はい』が53.8%となっているものの、『いいえ』も39.0%と比較的高い割合を占めている。

**(5) - 2 職業分野別**

「教育、学習支援業」では『はい』が83.3%と、他の職業分野と比較して高い。一方、「製造業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「運輸業・郵便業」では『いいえ』が4割を超えている。

図表 9-2 職場・学校等で楽しい、嬉しいなど前向き（ポジティブ）な気持ちになることが多い。



問9-3 職場・学校等に愛着や誇りがある。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が52.6%で、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は25.1%となっている。

(2) 年齢別

『はい』は、「15～19歳」で72.0%と比較的高く、20～69歳では50%前後となっている。一方、『いいえ』は20～49歳で3割を超えている。

(3) 性別

男女間で大きな差は見られない。

(4) 地域別

すべての地域で『はい』が5割を超えている。「砺波地域」では57.0%と、他の地域よりも若干高い。

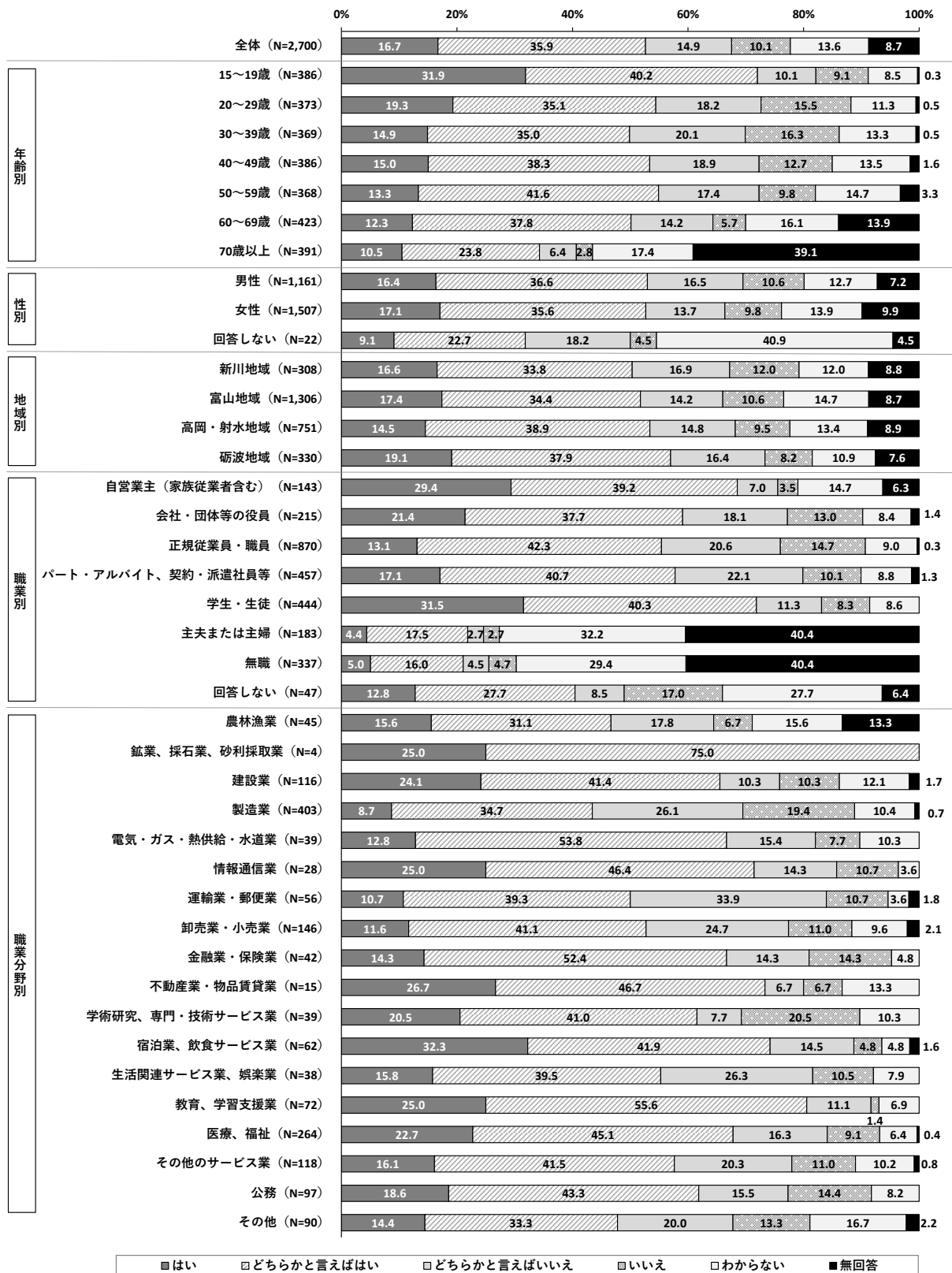
(5) - 1 職業別

『はい』は、「学生・生徒」が71.8%と他の職業よりも高い割合を占めている。また、「自営業主（家族従業者を含む）」「会社・団体等の役員」「正規従業員・職員」「パート・アルバイト、契約・派遣社員等」でも5割を超えている。一方、『いいえ』では「会社・団体等の役員」「正規従業員・職員」「パート・アルバイト、契約・派遣社員等」で3割を超えている。

(5) - 2 職業分野別

「教育、学習支援業」では『はい』が80.6%と、他の職業分野よりも高い。一方、「製造業」と「運輸業・郵便業」では、『いいえ』が4割を超えており、比較的愛着度が低い。

図表 9-3 職場・学校等に愛着や誇りがある。



問9-4 職場・学校等は、自分の夢や目標を実現できる場である。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が45.2%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が29.4%となっている。

(2) 年齢別

『はい』は、「15～19歳」で82.4%を占めるものの、「20～29歳」では52.8%、30～69歳では3割台と低くなっている。

(3) 性別

男女間の大きな差は見られない。

(4) 地域別

すべての地域で『はい』が4割台となっている。「富山地域」と「新川地域」で『はい』が43%台と、他の地域よりも若干低くなっている。

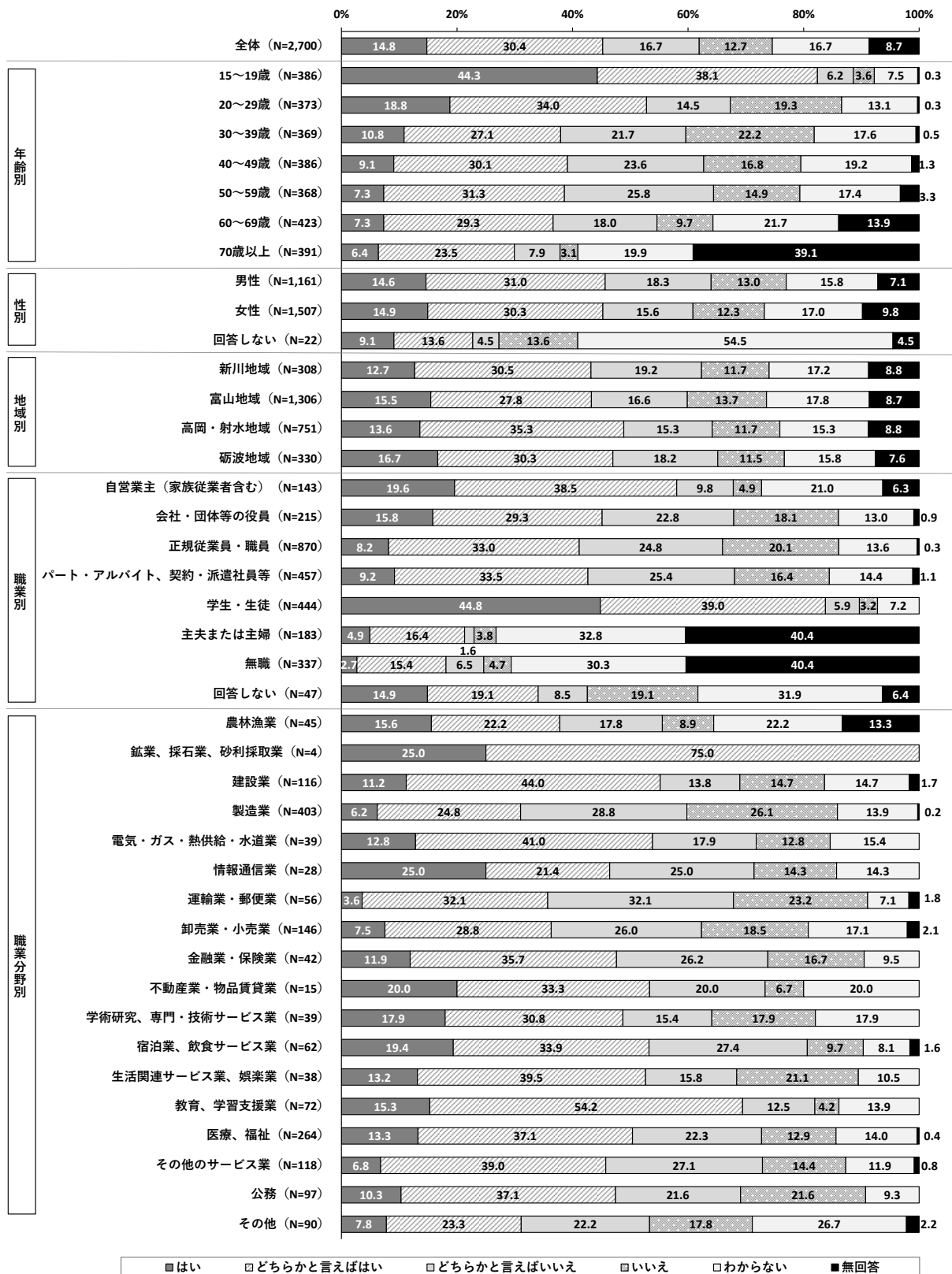
(5) - 1 職業別

『はい』では、「学生」が83.8%と高い割合を占めている。また、「自営業主（家族従業者を含む）」でも58.0%となっている。一方、『いいえ』は「会社・団体等の役員」「正規従業員・職員」「パート・アルバイト、契約・派遣社員等」で4割を超えている。

(5) - 2 職業分野別

「教育、学習支援業」では『はい』が69.4%を占め、他の職業分野よりも若干高くなっている。一方、「製造業」では『はい』が31.0%、『いいえ』が54.8%となっており、『いいえ』の方が23.8ポイントと、大きく上回っている。

図表 9-4 職場・学校等は、自分の夢や目標を実現できる場である。



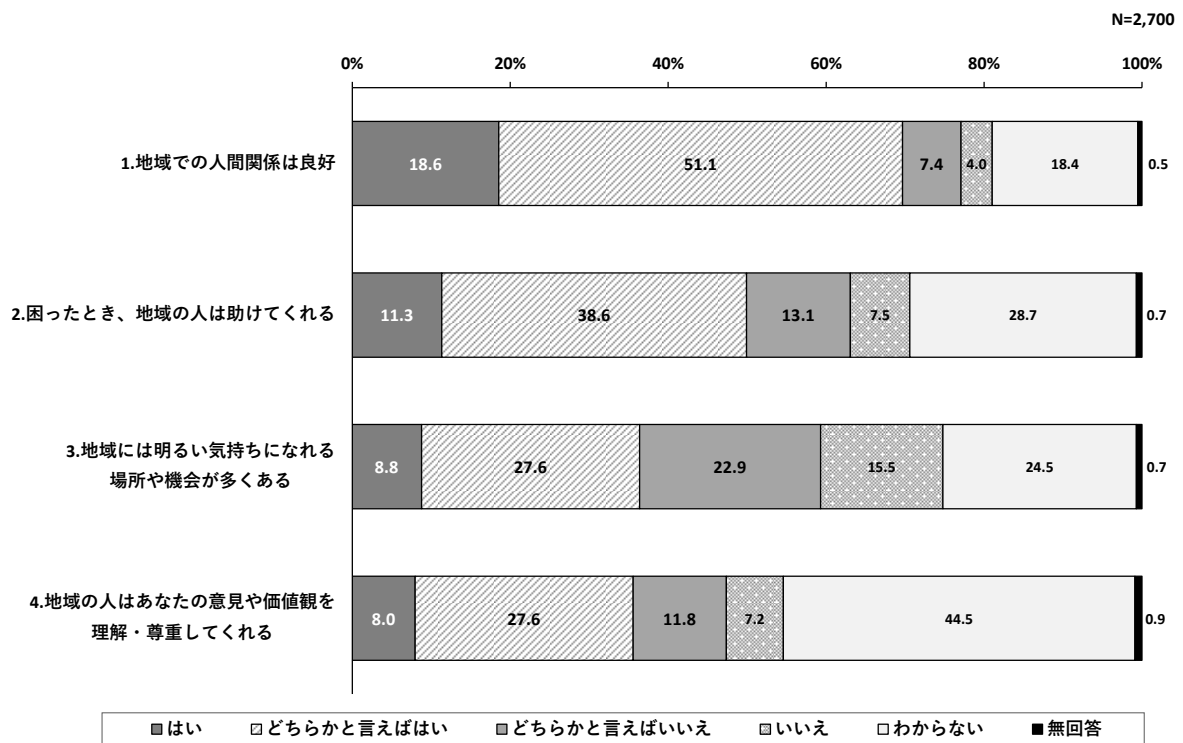
問 10. お住まいの場所の近所や町内（「地域」）について、お気持ちをお聞きします。  
 それぞれの設問について、あてはまる番号を1つ選んでください。

地域について、『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が高かったのは、「1.地域での人間関係は良好」が69.7%と最も高く、次いで「2. 困ったとき、地域の人は助けてくれる」が49.9%であった。

一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が高かったのは、「3.地域には明るい気持ちになれる場所や機会が多くある」が38.4%と最も高く、次いで「2.困ったとき、地域の人は助けてくれる」が20.7%であった。

全体的に見て、地域については、人間関係は良好なもの、未来に対する希望が少ない環境と捉えられていることがうかがえる。なお、「4.地域の人はあなたの意見や価値観を理解・尊重してくれる」では、「わからない」が44.5%を占めている。

図表 10 お住まいの場所の近所や町内について



問 10－1 地域での人間関係は良好である。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 69.7%を占め、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は 11.4%であった。

(2) 年齢別

「15～19 歳」では「はい」が 32.4%を占め、他の年代よりも高くなっている。「20～29 歳」では『はい』が 55.2%と、他の年代よりも低い。

(3) 性別

男女間で大きな差はないものの、『はい』は「女性」の方が 3.4 ポイント高い。

(4)－1 地域別

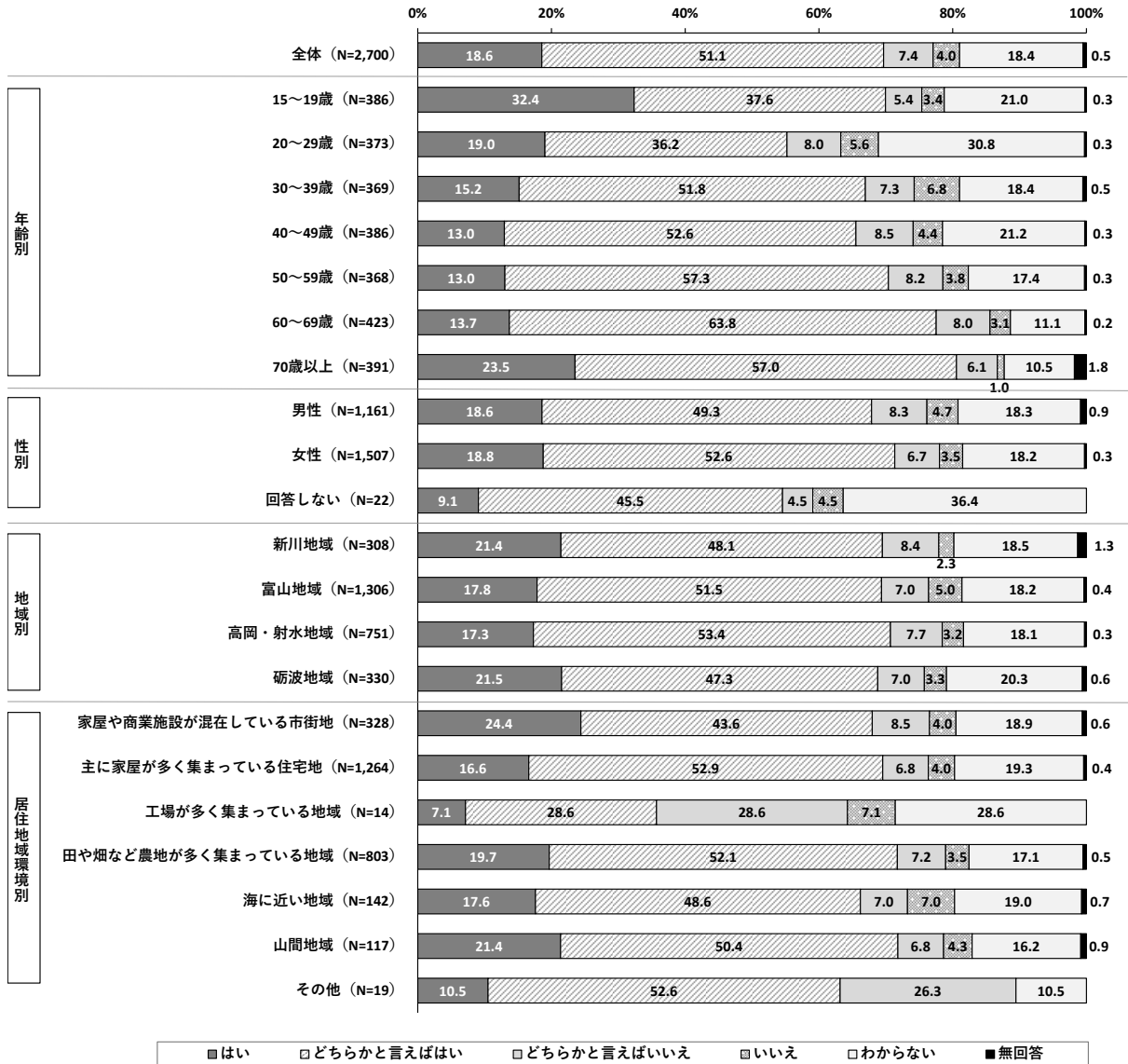
すべての地域で『はい』が 70%前後となっており、大きな差は見られない。

(4)－2 現在の居住地域環境別

「田や畑など農地が多く集まっている地域」と「山間地域」では『はい』が 71%台と、他の居住地域環境よりも若干高くなっている。



図表 10-1 地域での人間関係は良好である。



■はい □どちらかと言えばはい □どちらかと言えいいえ □いいえ □わからない ■無回答

問 10-2 困った時や苦しい時に、地域の人は助けてくれると感じている。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 49.9%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が 20.7%となっている。

(2) 年齢別

「15～19 歳」では『はい』が 60.9%（うち「はい」が 26.4%）を占め、他の年代よりも高くなっている。一方、20～49 歳では『はい』が 4 割台以下と低く、「20～29 歳」では 38.9%となっている。

(3) 性別

男女間で大きな差は見られない。

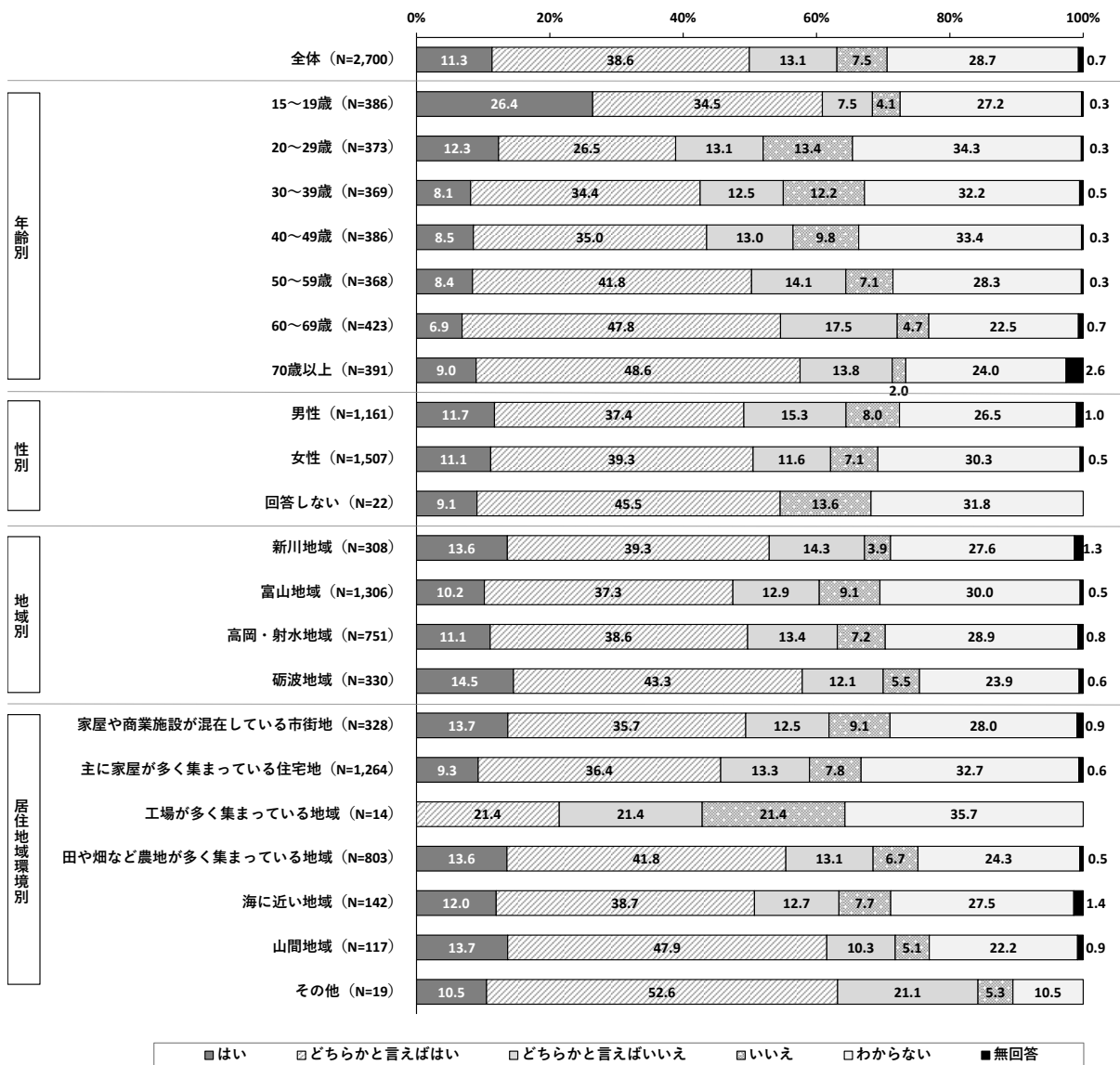
(4) - 1 地域別

「砺波地域」では『はい』が 57.9%と、他の地域よりも高い。

(4) - 2 現在の居住地環境別

「山間地域」では『はい』が 61.5%と、他の居住地環境よりも高くなっている。一方、「家屋や商業施設が混在している市街地」と「主に家屋が集まっている住宅地」では『はい』が 4 割台となっている。

図表 10-2 困った時や苦しい時に、地域の人は助けてくれると感じている。



問 10-3 地域には、楽しい、嬉しい、感動するなど（ポジティブな）明るい気持ちになることができる場所や機会が多くある。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 36.4%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が 38.4%と、『いいえ』の方が 2.0 ポイント上回っている。

(2) 年齢別

「15～19 歳」では『はい』が 52.8%となっている。他の年代では、「70 歳以上」を除き 3 割台以下となっており、『いいえ』の方が上回っている。特に、「50～59 歳」では『はい』が 28.5%、『いいえ』が 46.2%と、『いいえ』の方が 17.7 ポイント高い。

(3) 性別

『はい』は男女間で大きな差は見られないものの、『いいえ』は「男性」の方が 3.8 ポイント高い。

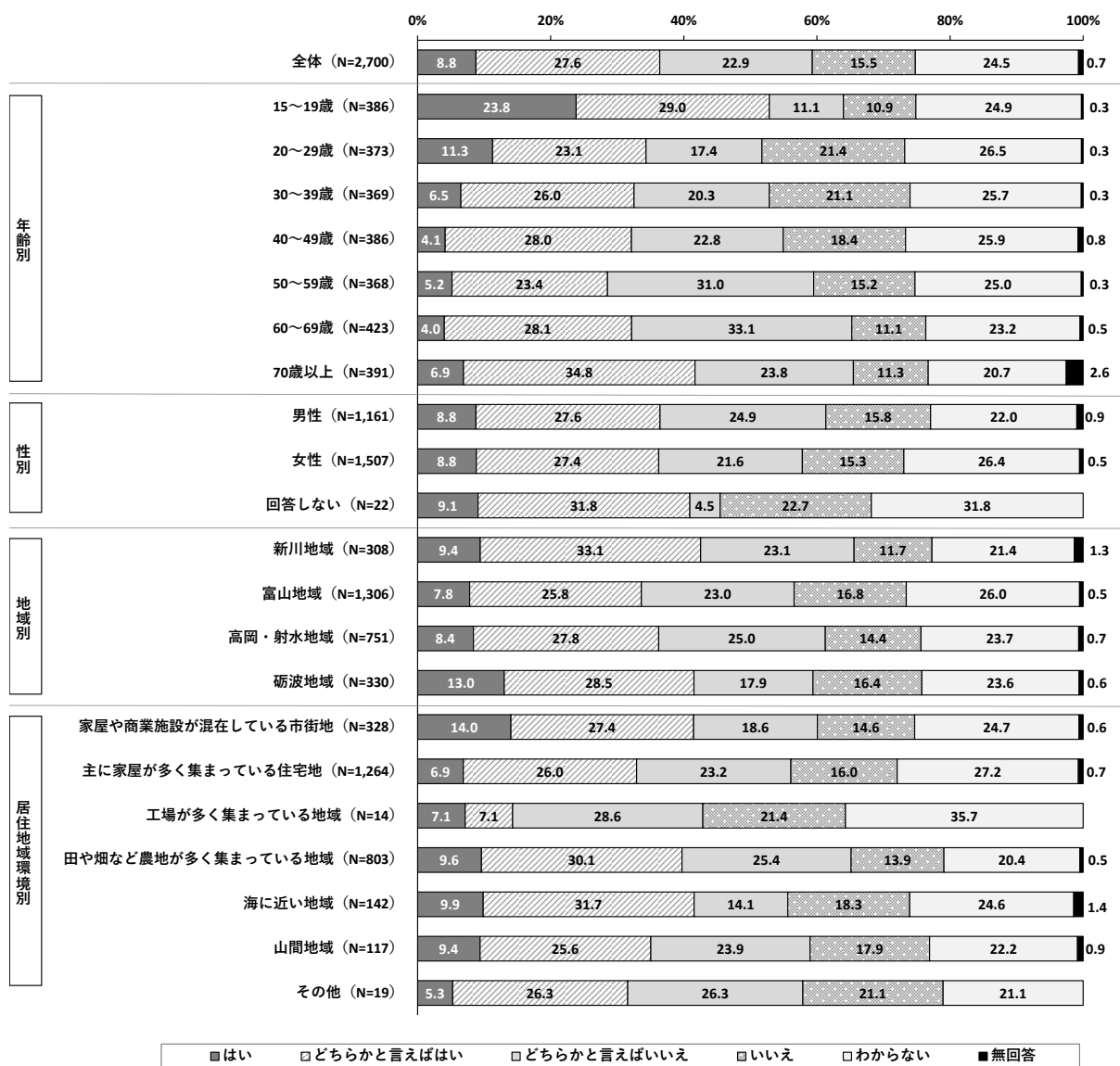
(4) - 1 地域別

「新川地域」と「砺波地域」では『はい』が 4 割台と、他の地域よりも高い。

(4) - 2 現在の居住地環境別

「家屋や商業施設が混在している市街地」と「海に近い地域」では『はい』がそれぞれ 41.5%と、他の居住地環境よりも若干高くなっている。

図表 10-3 地域には、楽しい、嬉しい、感動するなど（ポジティブな）明るい気持ちになることができる場所や機会が多くある。



問 10－4 地域の方は、あなたの意見や価値観を理解・尊重してくれる。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 35.6%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が 19.0%となっている。なお、「わからない」が 44.5%を占めている。

(2) 年齢別

「15～19 歳」では『はい』が 46.4%を占めており、他の年代よりも高くなっている。一方、「20～29 歳」と「40～49 歳」では 2 割台と、他の年代よりも若干低くなっている。

(3) 性別

『はい』は「男性」の方が 5.0 ポイント高い。

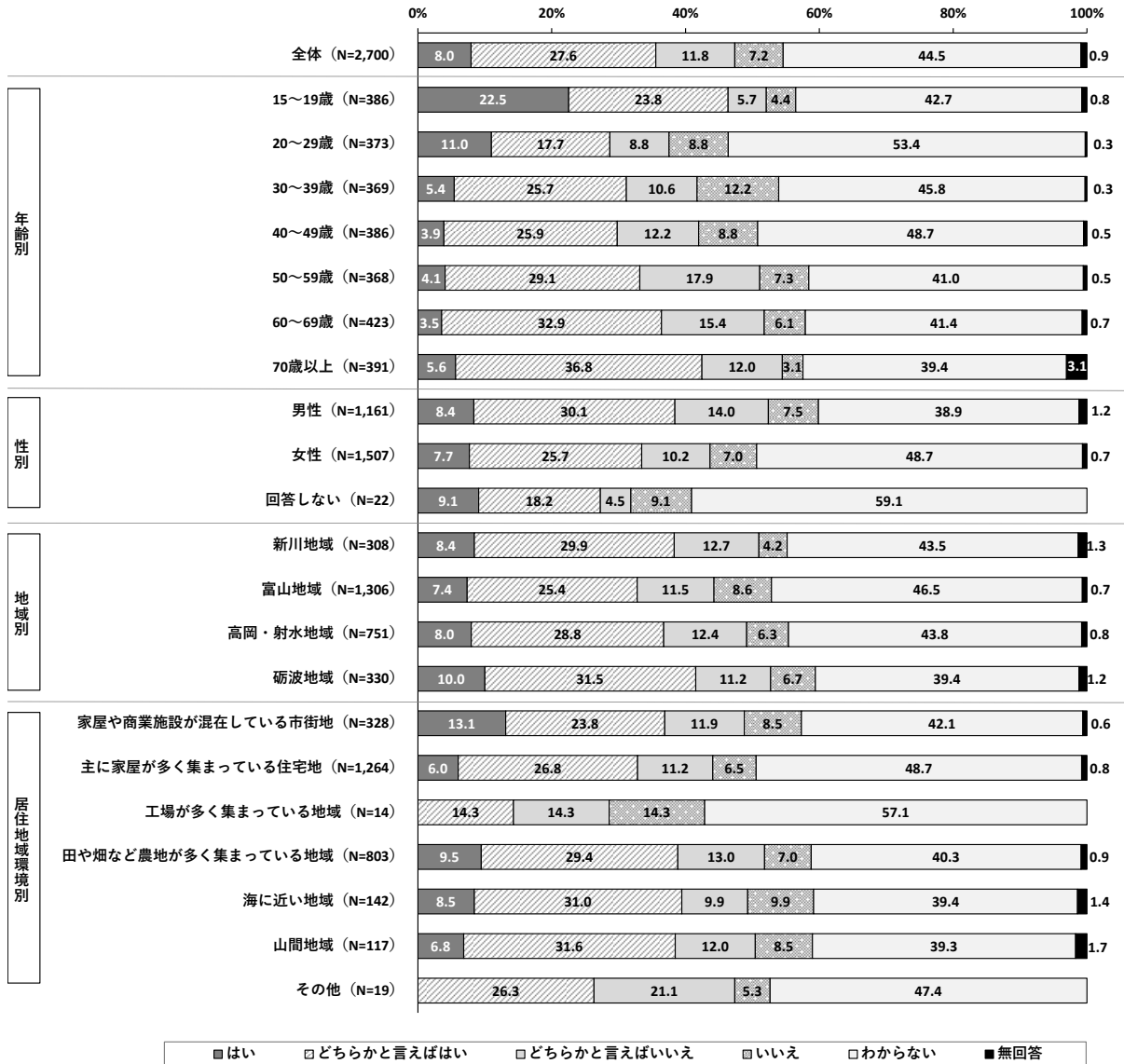
(4)－1 地域別

「砺波地域」で『はい』が 41.5%と、他の地域よりも高くなっている。

(4)－2 現在の居住地環境別

「主に家屋が多く集まっている住宅地」では『はい』が 32.8%と、他の居住地環境よりも若干低い。

図表 10-4 地域の方は、あなたの意見や価値観を理解・尊重してくれる。



問 11. 富山県での暮らしに対するあなたの実感について、お気持ちをお聞きします。  
 それぞれの設問について、あてはまる番号を1つ選んでください。

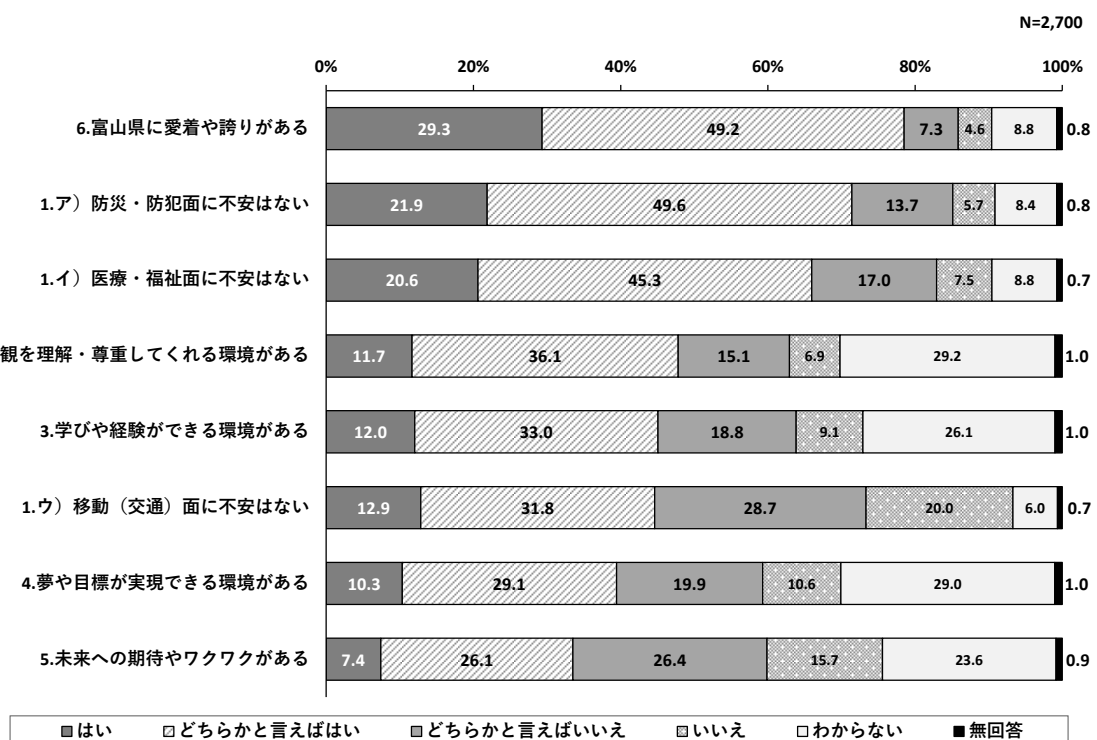
富山県での暮らしについて、『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が高かったのは、「6.富山県に愛着や誇りがある」が78.5%と最も高く、次いで「1.ア）防災・防犯面に不安はない」が71.4%、「1.イ）医療・福祉面に不安がない」が66.0%であった。

一方、『はい』が低かったのは、「5.未来への期待やワクワクがある」が33.5%と最も低く、次いで「4.夢や目標が実現できる環境がある」が39.4%、「1.ウ）移動（交通）面に不安はない」が44.6%であった。

また、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が高かったのは、「1.ウ）移動（交通）面に不安はない」が48.7%と最も高く、次いで「5.未来への期待やワクワクがある」が42.0%、「4.夢や目標が実現できる環境がある」が30.5%であった。

全体的に見て、富山県の暮らしは、自然環境・食や防災・防犯面について優れており、愛着や誇りを持つ人が多い一方で、未来に対する期待が持ちにくい環境になっていることがうかがえる。さらに、移動（交通面）で不安に感じている人が多いこともうかがえる。

図表 11 富山県での暮らしに対するあなたの実感について





問 11-1-ア 富山県での暮らしに不安はない。【防災・防犯面】

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 71.4% を占め、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は 19.4% であった。

(2) 年齢別

「15～19 歳」では『はい』が 81.3% と他の年代よりも高い。

(3) 性別

『はい』は男女間で大きな差は見られないが、「はい」は「男性」の方が 6.2 ポイント高い。

(4) - 1 地域別

すべての地域で『はい』が 7 割を超えており、「新川地域」では 74.7% と、他の地域よりも若干高くなっている。

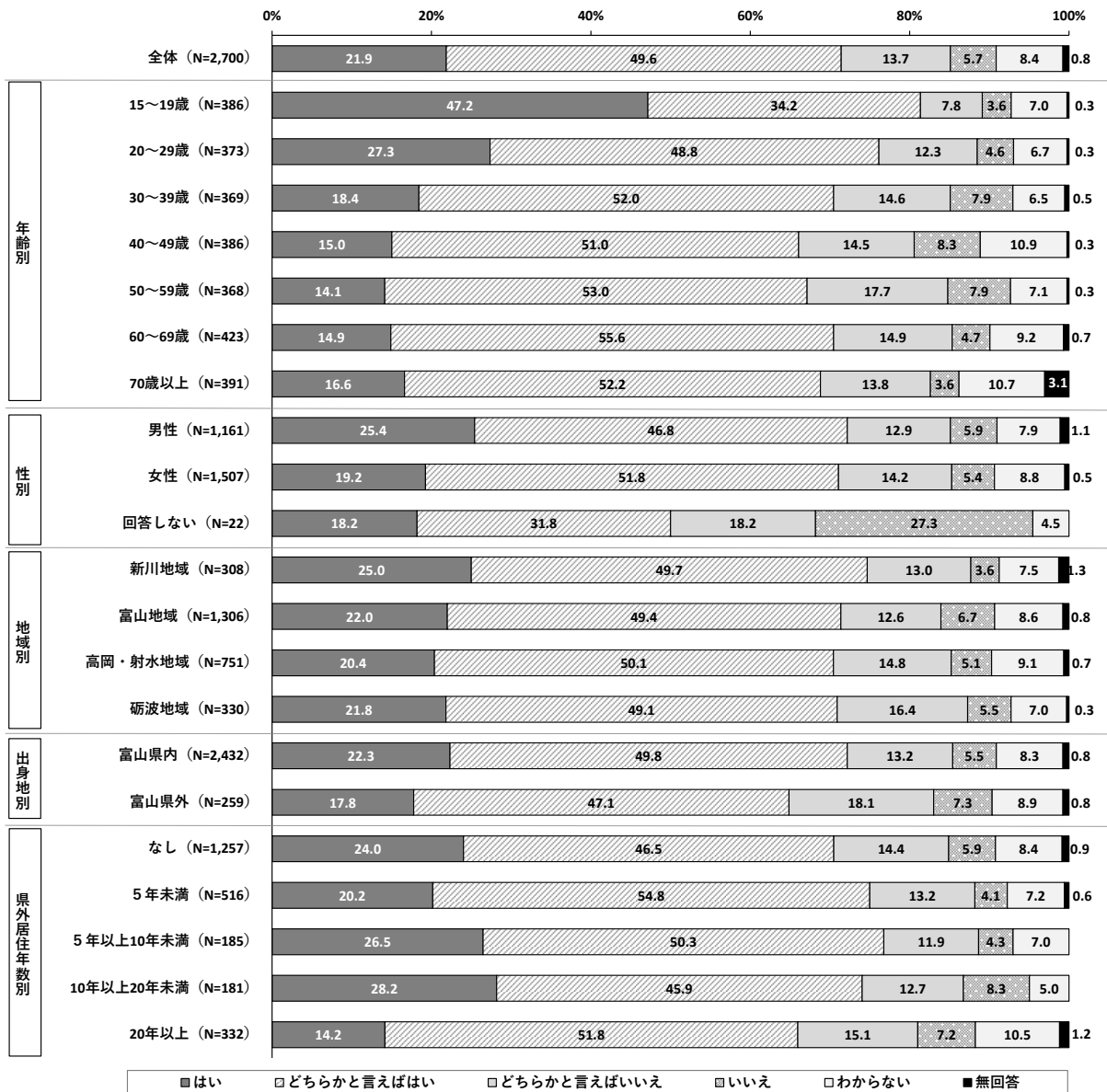
(4) - 2 出身地別

『はい』は「富山県内」の方が 7.3 ポイント高くなっている。

(4) - 3 県外での居住年数別

「20 歳以上」では『はい』が 66.0% と、他の居住年数よりも低くなっている。

図表 11-1 - ア 富山県での暮らしに不安はない。【防災・防犯面】



問 11-1-1 イ 富山県での暮らしに不安はない。【医療・福祉面】

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 66.0%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が 24.5%となっている。

(2) 年齢別

「15～19 歳」では『はい』が 80.8%と他の年代よりも高く、一方、「50～59 歳」では 57.3%と他の年代よりも低い。

(3) 性別

『はい』は「男性」の方が 3.4 ポイント高い。

(4) - 1 地域別

地域による大きな差は見られず、すべての地域で『はい』が 6 割を超えている。

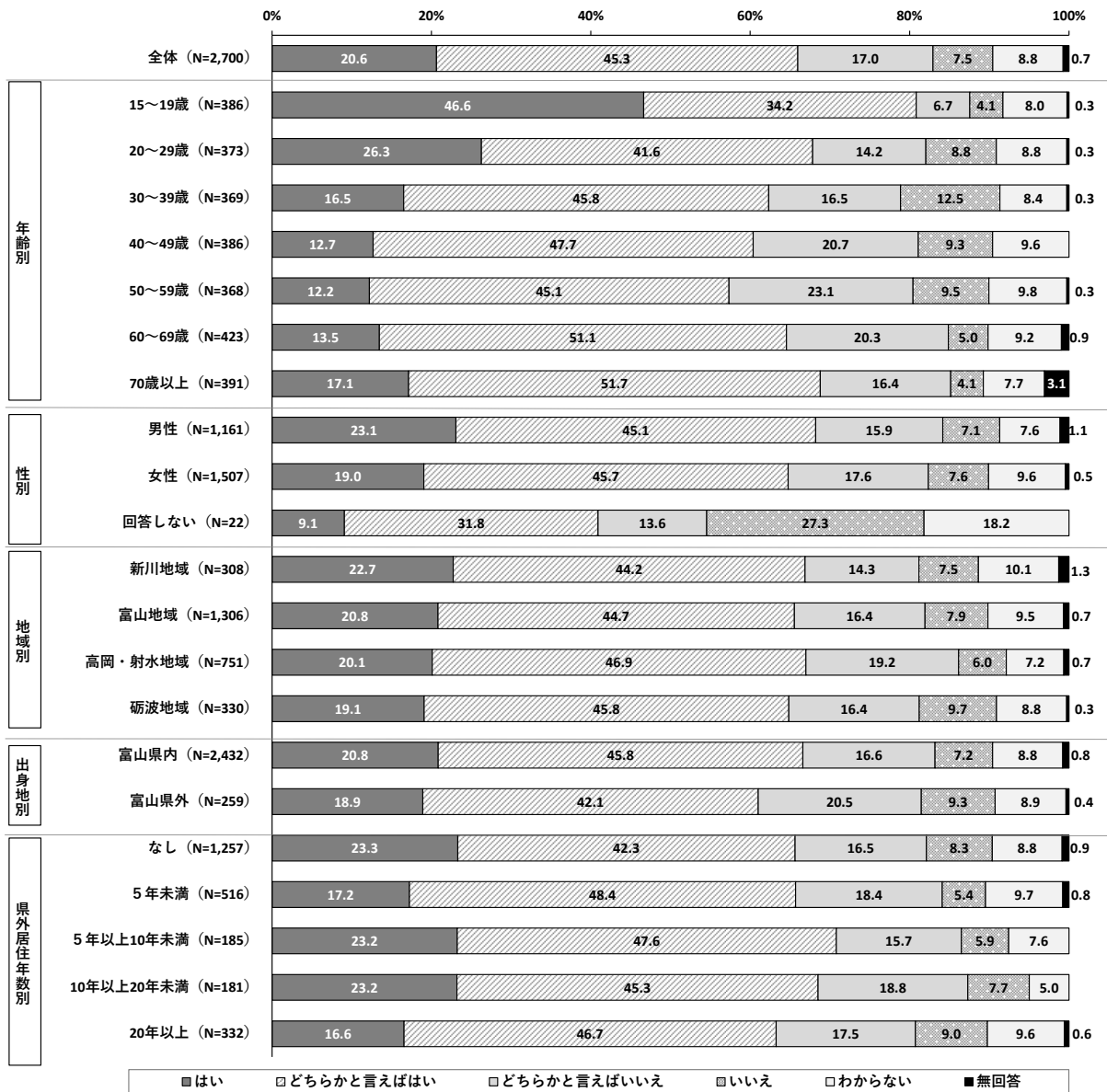
(4) - 2 出身地別

『はい』は「富山県内」の方が 5.6 ポイント高くなっている。

(4) - 3 県外での居住年数別

どの居住年数でも『はい』が 6 割を超えており、「5 年以上 10 年未満」では 70.8%と、他の居住年数よりも若干高くなっている。

図表 11-1-イ 富山県での暮らしに不安はない。【医療・福祉面】



問 11-1-U 富山県での暮らしに不安はない。【移動（交通）面】

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が44.6%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が48.7%となり、『いいえ』の方が4.1ポイント上回っている。

(2) 年齢別

「70歳以上」では『はい』が51.9%と他の年代よりも高く、『いいえ』を13.8ポイント上回っている。一方、20～59歳では『いいえ』の方が上回っている。

(3) 性別

男女間で大きな差は見られないが、『はい』は「男性」の方が2.5ポイント高い。

(4) - 1 地域別

すべての地域で『はい』より『いいえ』の方が上回っており、50%前後となっている。「高岡・射水地域」では『いいえ』が51.1%と、他の地域よりも若干高い。

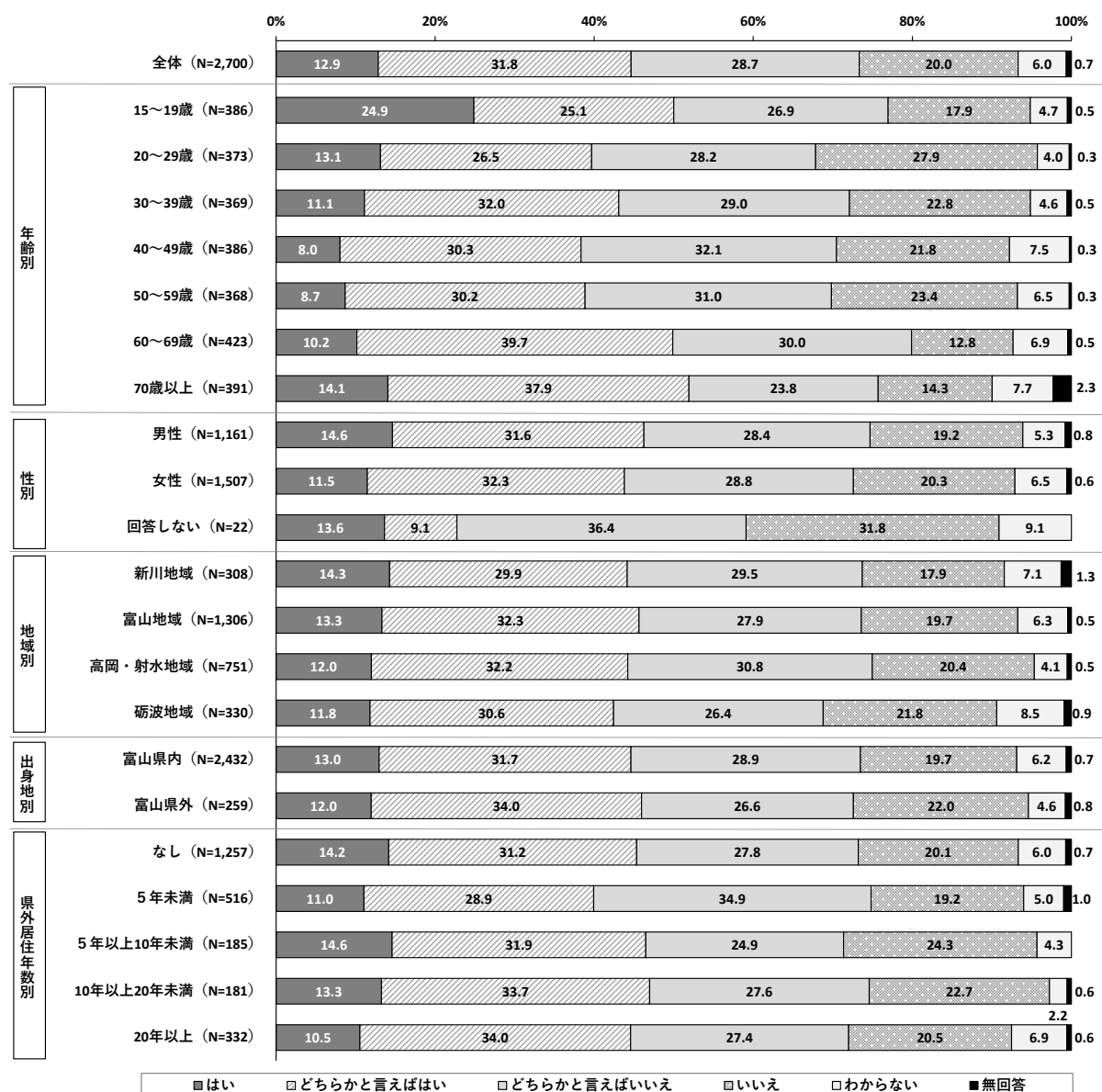
(4) - 2 出身地別

出身地による大きな差は見られず、「富山県内」「富山県外」とともに『いいえ』の方が上回っている。

(4) - 3 県外での居住年数別

すべての居住年数で『いいえ』の方が上回っている。

図表 11-1-ウ 富山県での暮らしに不安はない。【移動（交通）面】



問 11-2 全体として、あなたの意見や価値観を理解・尊重してくれる環境がある。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 47.8%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が 22.0%となっている。なお、「わからない」が 29.2%を占めている。

(2) 年齢別

「15～19 歳」では『はい』が 68.7%と、他の年代よりも高い。30 歳代以上では『はい』が 4割台と低くなっている。

(3) 性別

男女間で大きな差は見られない。

(4) - 1 地域別

「砺波地域」では『はい』が 53.0%と、他の地域よりも高くなっている。

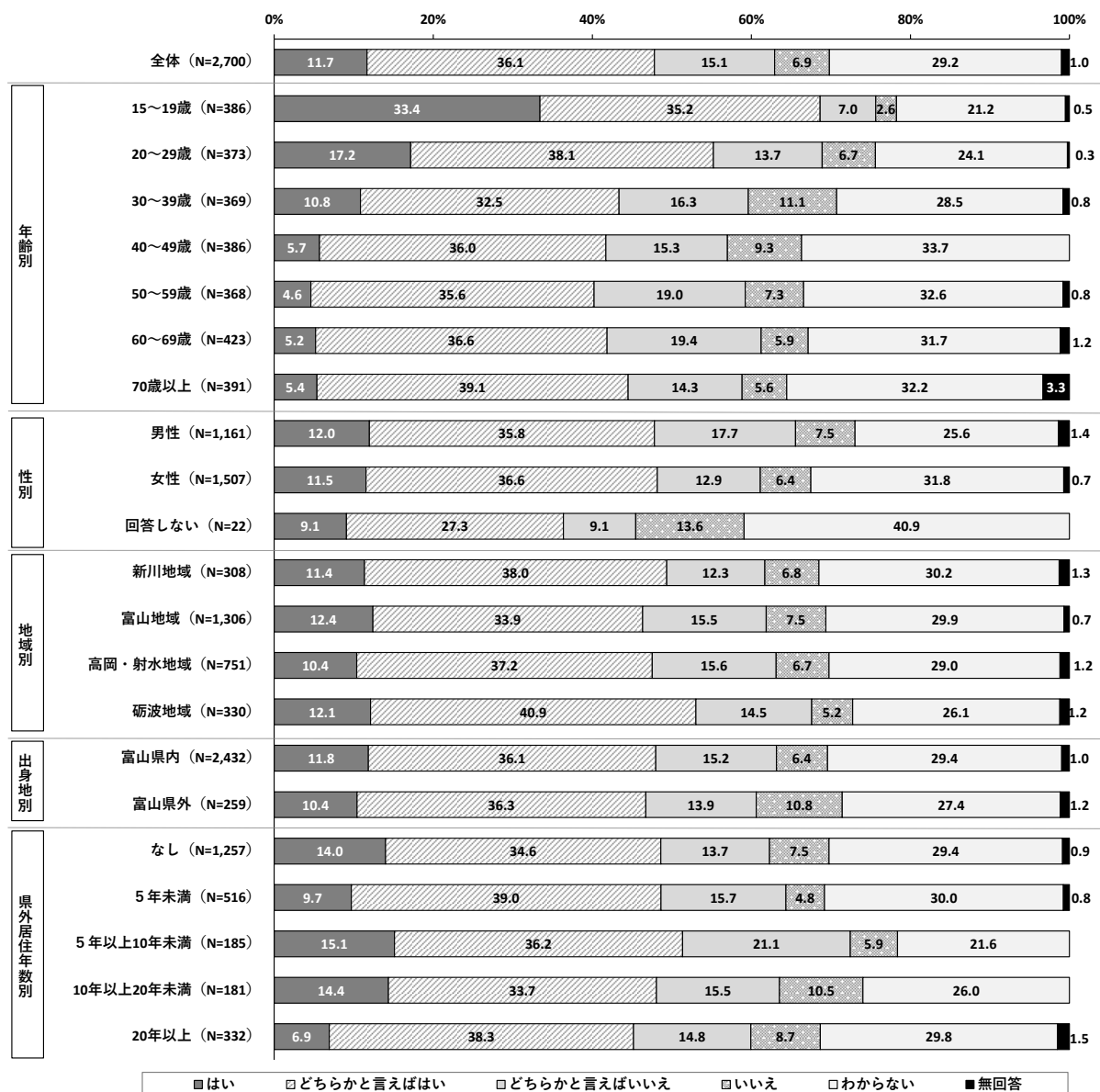
(4) - 2 出身地別

出身地による大きな差は見られない。

(4) - 3 県外での居住年数別

「5年以上10年未満」では『はい』が 51.4%と、他の居住年数よりも若干高くなっている。

図表 11-2 全体として、あなたの意見や価値観を理解・尊重してくれる環境がある。





問 11-3 全体として、あなたが成長するための学びや経験ができる環境がある。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 45.1%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が 27.9%となっている。

(2) 年齢別

「15～19 歳」では『はい』が 74.4 と、他の年代よりも高い。40 歳代以上では『はい』が 3 割台以下と低くなっている。

(3) 性別

男女間で大きな差は見られない。

(4) - 1 地域別

地域間の大きな差は見られず、どの地域も『はい』が 45%前後となっている。

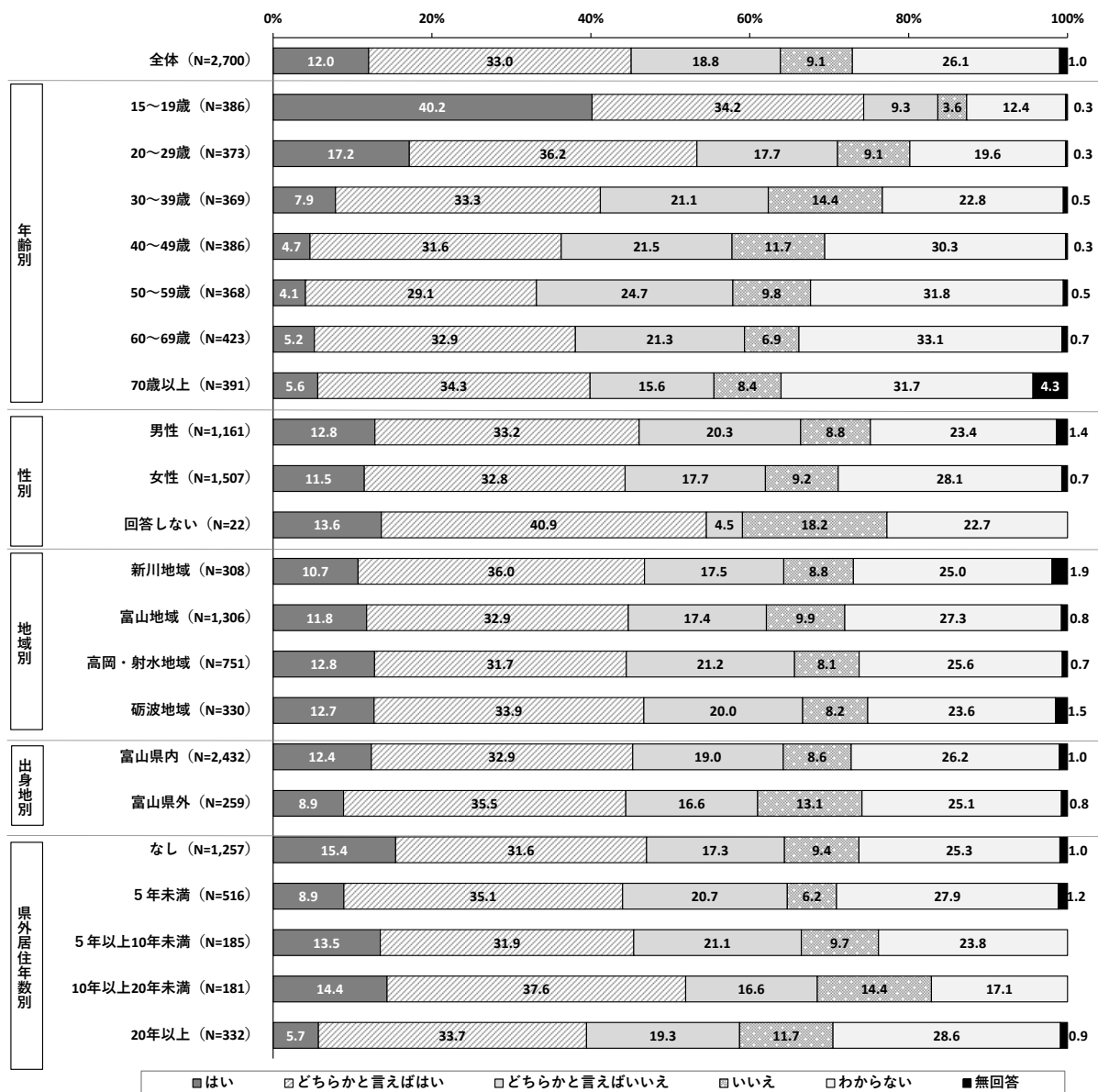
(4) - 2 出身地別

出身地で大きな差は見られない。

(4) - 3 県外での居住年数別

「10 年以上 20 年未満」では『はい』が 51.9%と、他の居住年数よりも若干高くなっている。一方、「20 年以上」では 39.5%と、他の居住年数よりも低い。

図表 11-3 全体として、あなたが成長するための学びや経験ができる環境がある。



問 11-4 全体として、あなたの夢や目標が実現できる環境がある。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 39.4%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が 30.5%となっている。なお、「わからない」も 29.0%を占めている。

(2) 年齢別

「15～19 歳」では『はい』が 66.8%と、他の年代よりも高い。30 歳代以上では『はい』が 3割台以下と低くなっており、「50～59 歳」では 29.1%となっている。

(3) 性別

男女間で大きな差は見られない。

(4) - 1 地域別

地域間の大きな差は見られないが、「新川地域」では『はい』が 42.9%と、他の地域よりも若干高い。

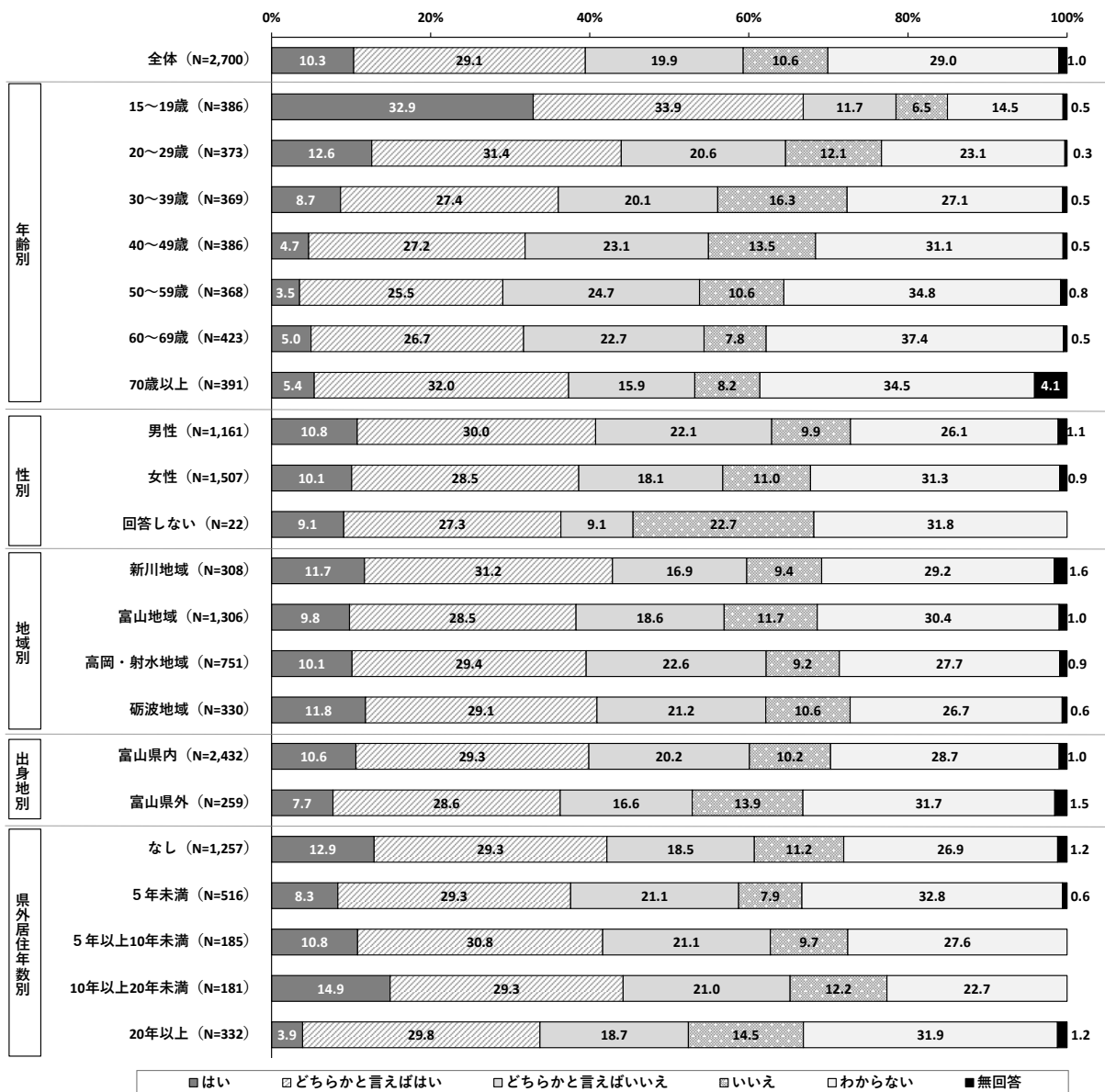
(4) - 2 出身地別

出身地で大きな差は見られないが、『はい』は「富山県内」の方が 3.6 ポイント高い。

(4) - 3 県外での居住年数別

「なし」「5 年以上 10 年未満」「10 年以上 20 年未満」で『はい』が 4 割を超えている。

図表 11-4 全体として、あなたの夢や目標が実現できる環境がある。



問 11-5 富山県の未来に、期待や楽しみ、ワクワクする気持ちがある。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が33.5%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が42.0%と、『いいえ』の方が8.5ポイント上回っている。

(2) 年齢別

「15～19歳」では『はい』が52.8%と、他の年代よりも高い。一方、20歳代以上では『いいえ』の方が上回っている。

(3) 性別

『いいえ』は「男性」の方が5.7ポイント高い。

(4) - 1 地域別

すべての地域で『いいえ』が4割を超え、『はい』より『いいえ』の方が上回っている。

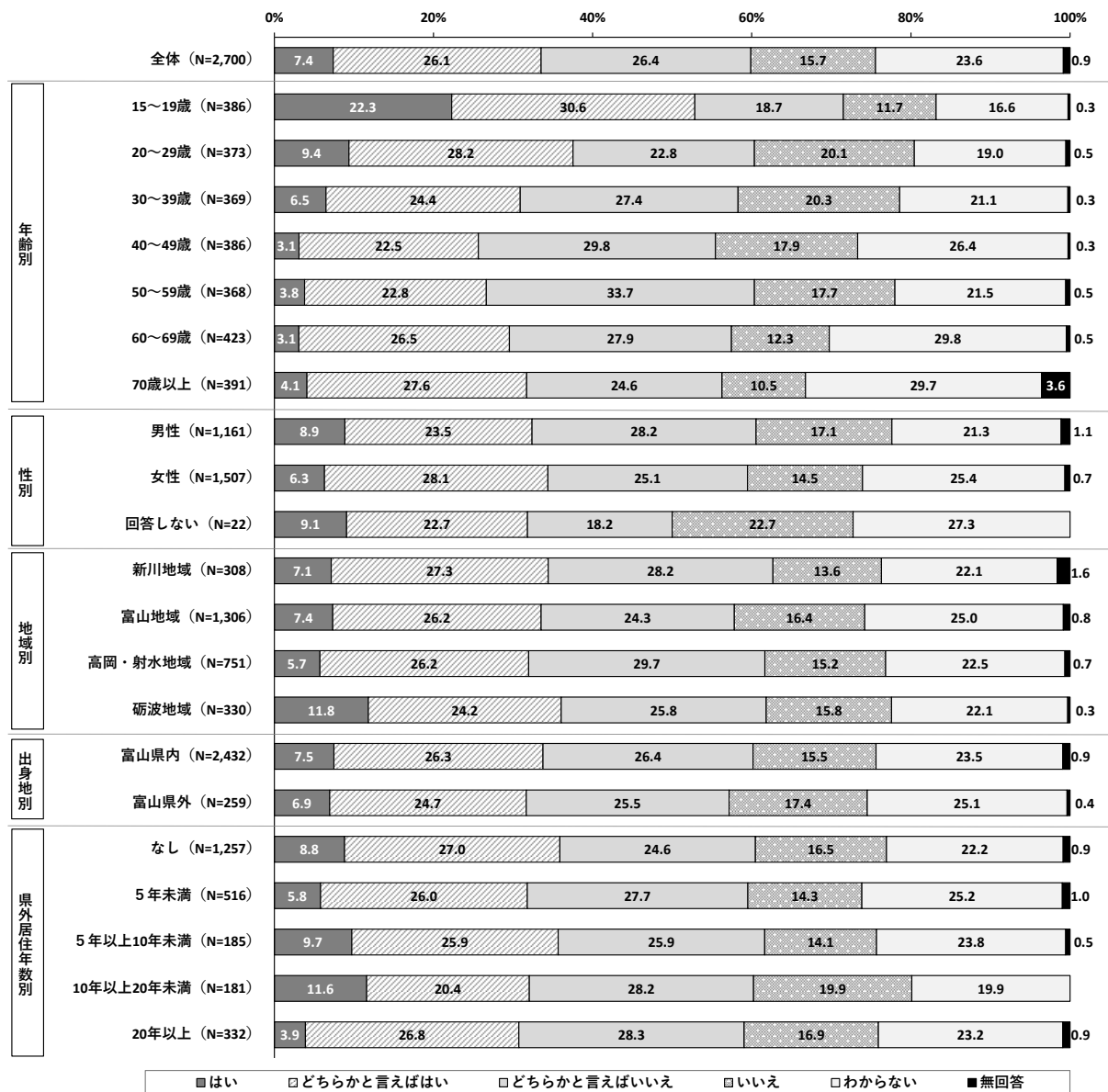
(4) - 2 出身地別

出身地による大きな差は見られず、「富山県内」「富山県外」とともに『いいえ』が40%程度になっている。

(4) - 3 県外での居住年数別

どの居住年数でも大きな差は見られず、『いいえ』の方が上回っている。「10年以上20年未満」では『いいえ』が48.1%と、他の居住年数よりも若干高い。

図表 11-5 富山県の未来に、期待や楽しみ、ワクワクする気持ちがある。



問 11－6 富山県ならではの自然や食、文化等に愛着や誇りがある。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 78.5% を占め、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は 11.9% となっている。

(2) 年齢別

「15～19 歳」では『はい』が 83.2%（うち「はい」が 46.6%）と、他の年代よりも高くなっている。

(3) 性別

『はい』は「女性」の方が 5.8 ポイント高い。

(4)－1 地域別

地域間の大きな差は見られない。

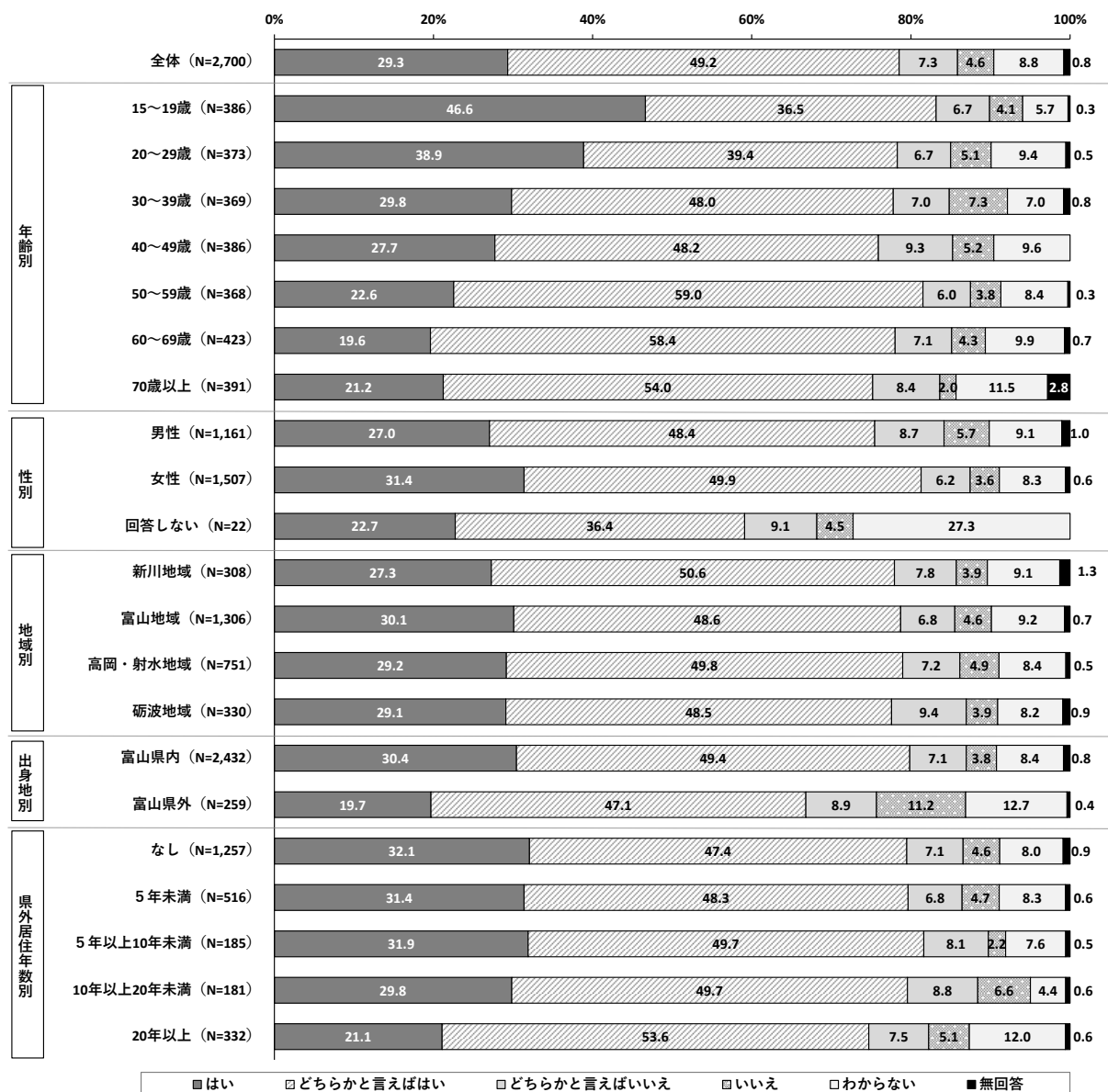
(4)－2 出身地別

『はい』は「富山県内」の方が 13.1 ポイント高い。

(4)－3 県外での居住年数別

「5 年以上 10 年未満」では『はい』が 81.6% と、他の居住年数よりも若干高くなっている。

図表 11-6 富山県ならではの自然や食、文化等に愛着や誇りがある。





問 12. あなたの生活全体に対する実感について、お気持ちをお聞きます。

総合的に、生活が整っている（仕事など社会活動や、余暇活動など、様々な面のバランスや調和がとれている）と感じている。

（１）全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 66.9%を占め、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は 23.7%となっている。

（２）年齢別

「15～19 歳」では『はい』が 80.1%（うち「はい」が 37.3%）と、他の年代よりも高くなっている。

（３）性別

男女間で大きな差は見られない。

（４）－１ 地域別

地域間の大きな差は見られない。

（４）－２ 現在の住居状況別

「一戸建て（自己・家族所有）」では『はい』が 67.4%を占めている。

（４）－３ 現在の居住地域環境別

「家屋や商業施設が混在している市街地」では『はい』が 71.0%と、他の居住地域環境よりも若干高い。一方、「山間地域」では『はい』が 55.6%と、他の居住地域環境よりも低い。

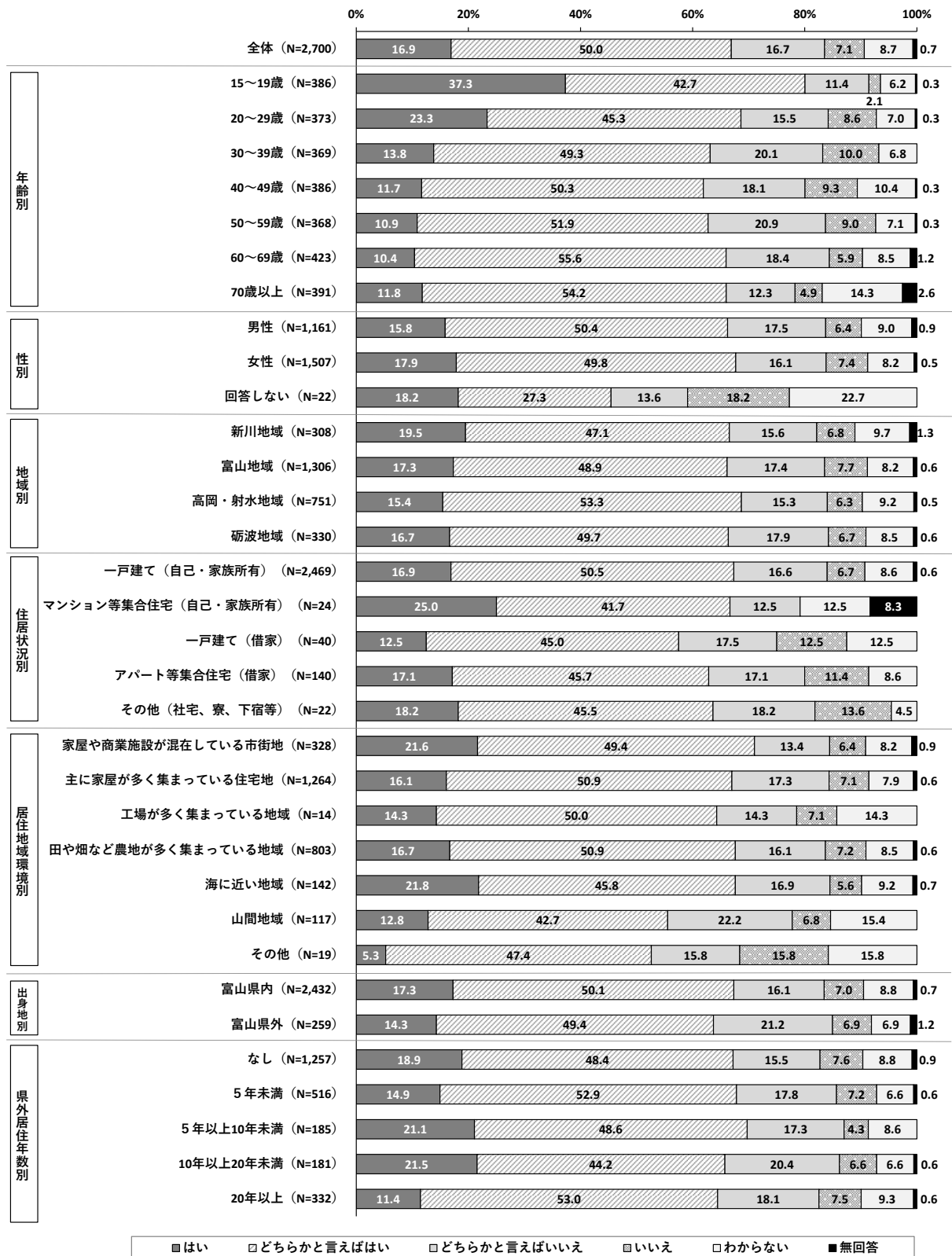
（４）－４ 出身地別

『はい』は「富山県内」の方が 3.7 ポイント高い。

（４）－５ 県外での居住年数別

「5年以上 10年未満」と「10年以上 20年未満」では「はい」が 21%台と、他の居住年数よりも若干高くなっている。

図表 12-1 総合的に、生活が整っている（仕事など社会活動や、余暇活動など、様々な面のバランスや調和がとれている）と感じている。



■はい □どちらかと言えばはい □どちらかと言えばいいえ □いいえ □わからない ■無回答

(5) - 1 結婚の有無別

「結婚していたが、死別・離別した」では『はい』が61.1%と、他と比較して若干低い。

(5) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では「はい」が23.5%と「いる」よりも11.4ポイント高い。

(5) - 3 ペットの有無別

ペットの有無で大きな差は見られないが、「暮らしている」では『はい』が69.5%と、「暮らしていない」よりも3.4ポイント高い。

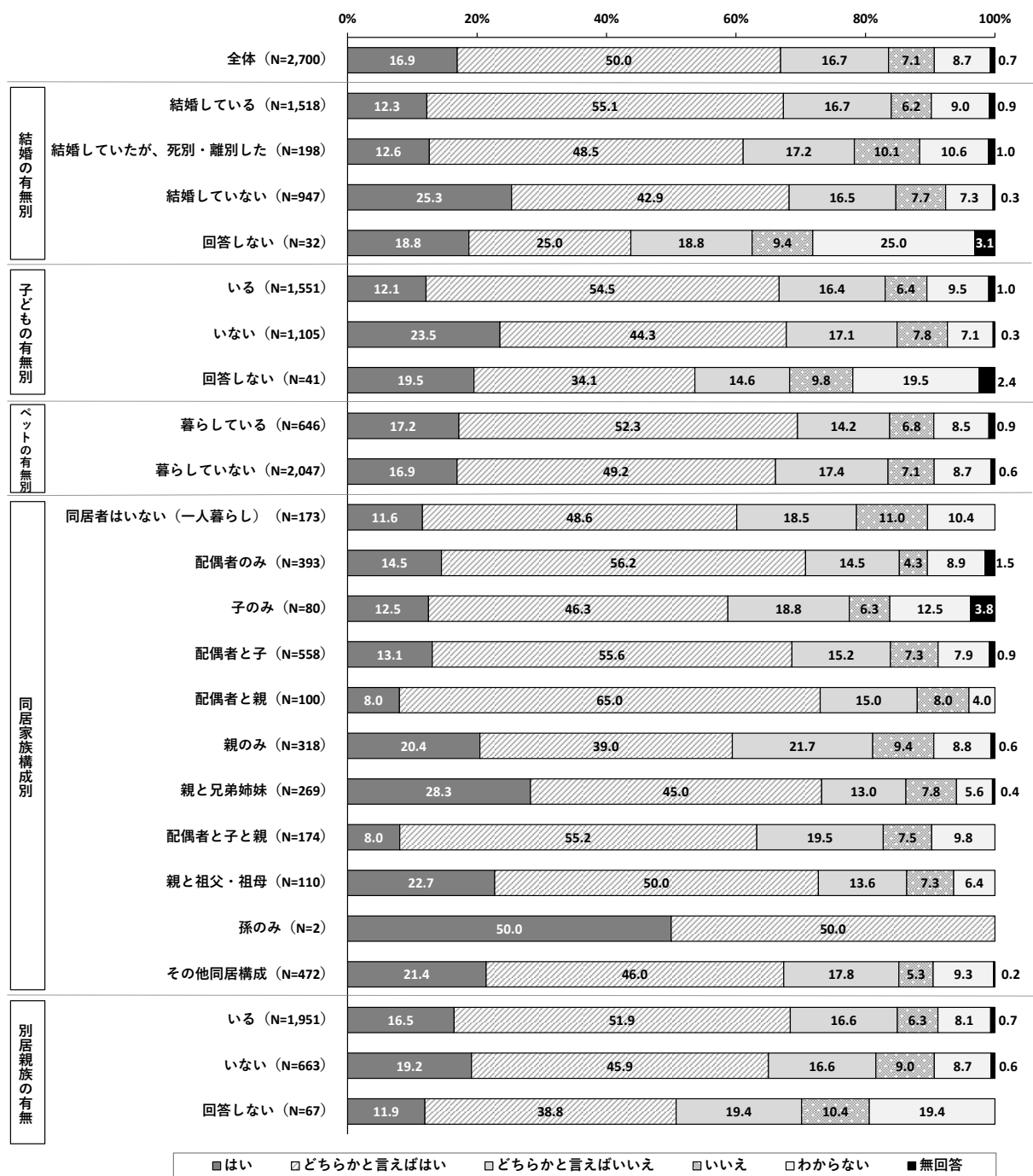
(5) - 4 同居家族の構成別

「配偶者のみ」「配偶者と親」「親と兄弟姉妹」「親と祖父・祖母」では『はい』が7割台となっており、他よりも若干高い。

(5) - 5 別居親族の有無別

別居親族の「いる」「いない」ともに『はい』が6割台となっており、「いる」の方が3.4ポイント高い。

図表 12-2 総合的に、生活が整っている（仕事など社会活動や、余暇活動など、様々な面のバランスや調和がとれている）と感じている。（家族状況別）



#### (6) - 1 職業別

「学生」では『はい』が79.3%（うち「はい」が35.6%）と他の職業と比べて高い。一方、「無職」では『はい』が53.7%、『いいえ』が29.1%となっている。

#### (6) - 2 職業分野別

「農林漁業」「金融業・保険業」「医療、福祉」「公務」では『はい』が7割台となっており、他の職業分野よりも若干高い。

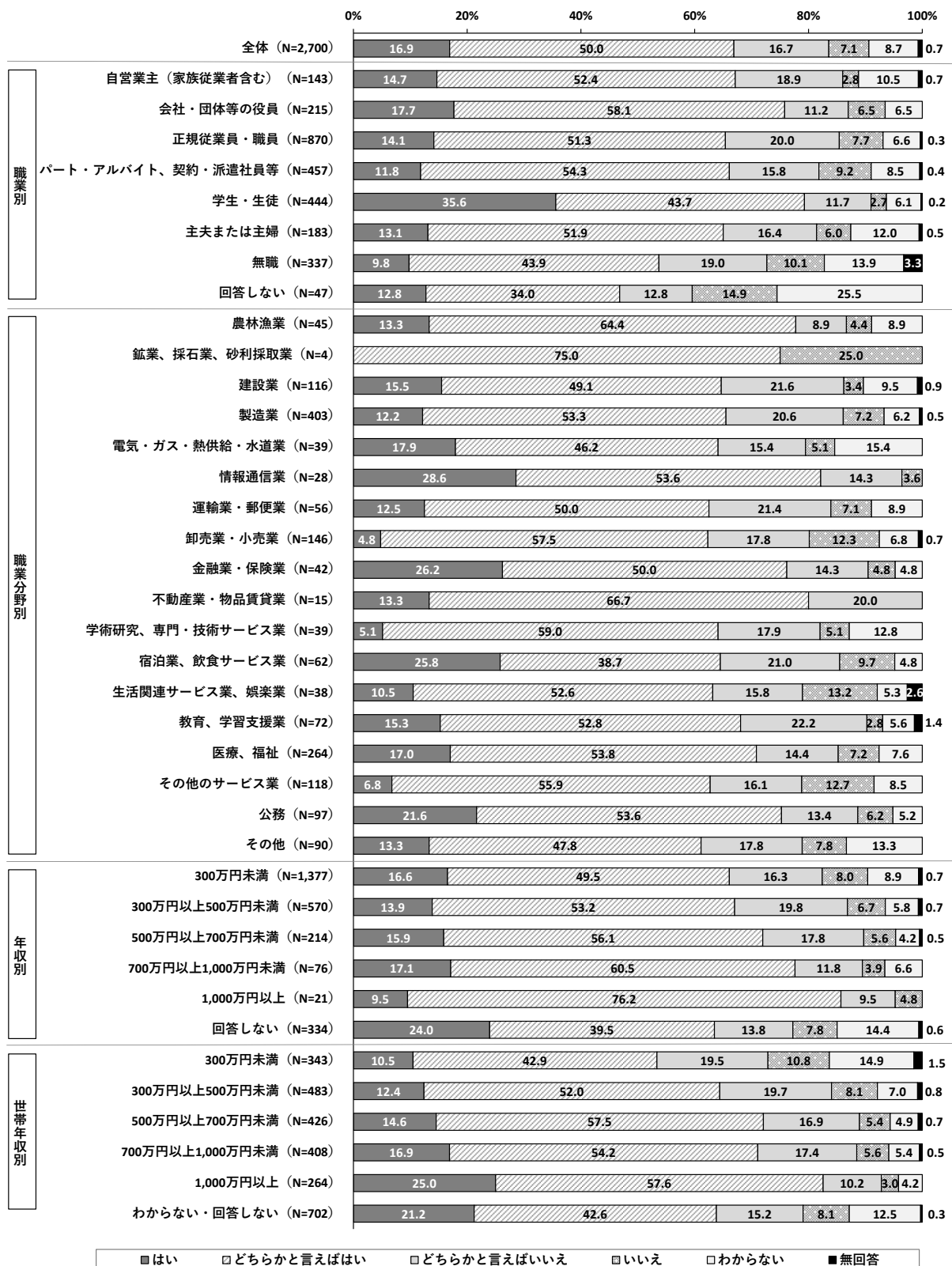
#### (6) - 3 年収別

年収が高くなるほど『はい』が高くなる傾向にあり、「700万円以上1,000万円未満」では『はい』が77.6%となっている。

#### (6) - 4 世帯年収別

世帯年収が高くなるほど『はい』が高くなる傾向にあり、「1,000万円以上」では82.6%を占めている。一方、「300万円未満」では『はい』が53.4%と、他と比較して低い。

図表 12-3 総合的に、生活が整っている（仕事など社会活動や、余暇活動など、様々な面のバランスや調和がとれている）と感じている。（職業・年収別）



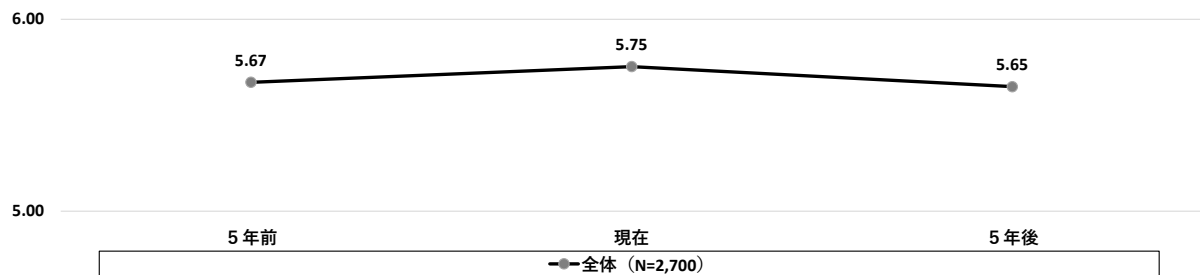
問 13. あなたにとって、最も理想的な生活であると思う状態を「10」、最悪であると思う状態を「0」として、「10」～「0」の11段階で表現すると、  
 ①現在、あなた自身は、どの程度の状態であると感じていますか。  
 また、②5年前は、どの程度の状態であったと思いますか。  
 そして、あなたの想像では、③5年後どういう状態になっていると思いますか。  
 それぞれの設問につき1つ、あてはまる段階を選んで○をつけてください。

(1) 全体

【平均】

「5年前」の5.67から「現在」は5.75と若干上向きになったが、「5年後」には5.65と「5年前」の水準に下がっている。

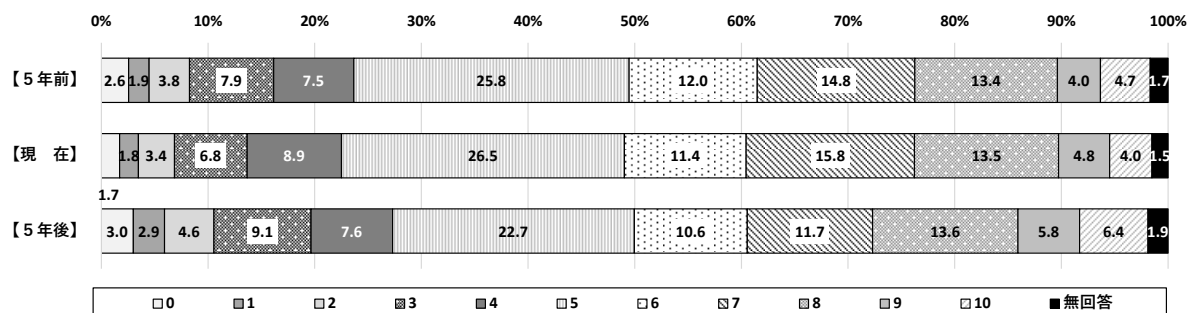
図表 13-1-1 最も理想的な生活に対する評価【平均】(全体)



【割合】

「5年前」「現在」「5年後」のいずれも中央値の「5」が最も高い。「6以上」の割合は、「5年前」から「現在」にかけて若干上向くが、「5年後」には下がり48.1%となっている。一方、「4以下」の割合は、「5年後」には27.3%と「現在」よりも4.8ポイント増加している。

図表 13-1-2 最も理想的な生活に対する評価【割合】(全体)

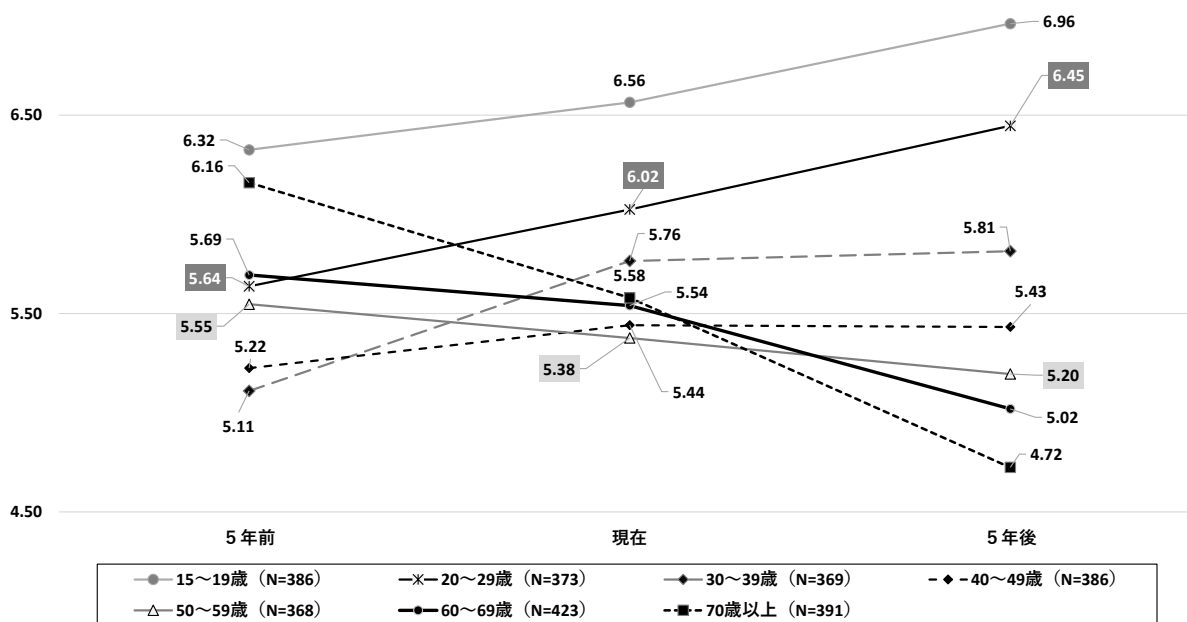


## (2) 年齢別

### 【平均】

「15～19歳」は「5年前」の6.32から上向き傾向にあり、「5年後」には6.96と、どの年代よりも高い。30歳代以下は、「5年前」から上向き傾向となっている。一方、50歳代以上は「5年前」よりも「5年後」の方が低い水準となっている。

図表 13-2-1 最も理想的な生活に対する評価【平均】（年齢別）



### 【割合】

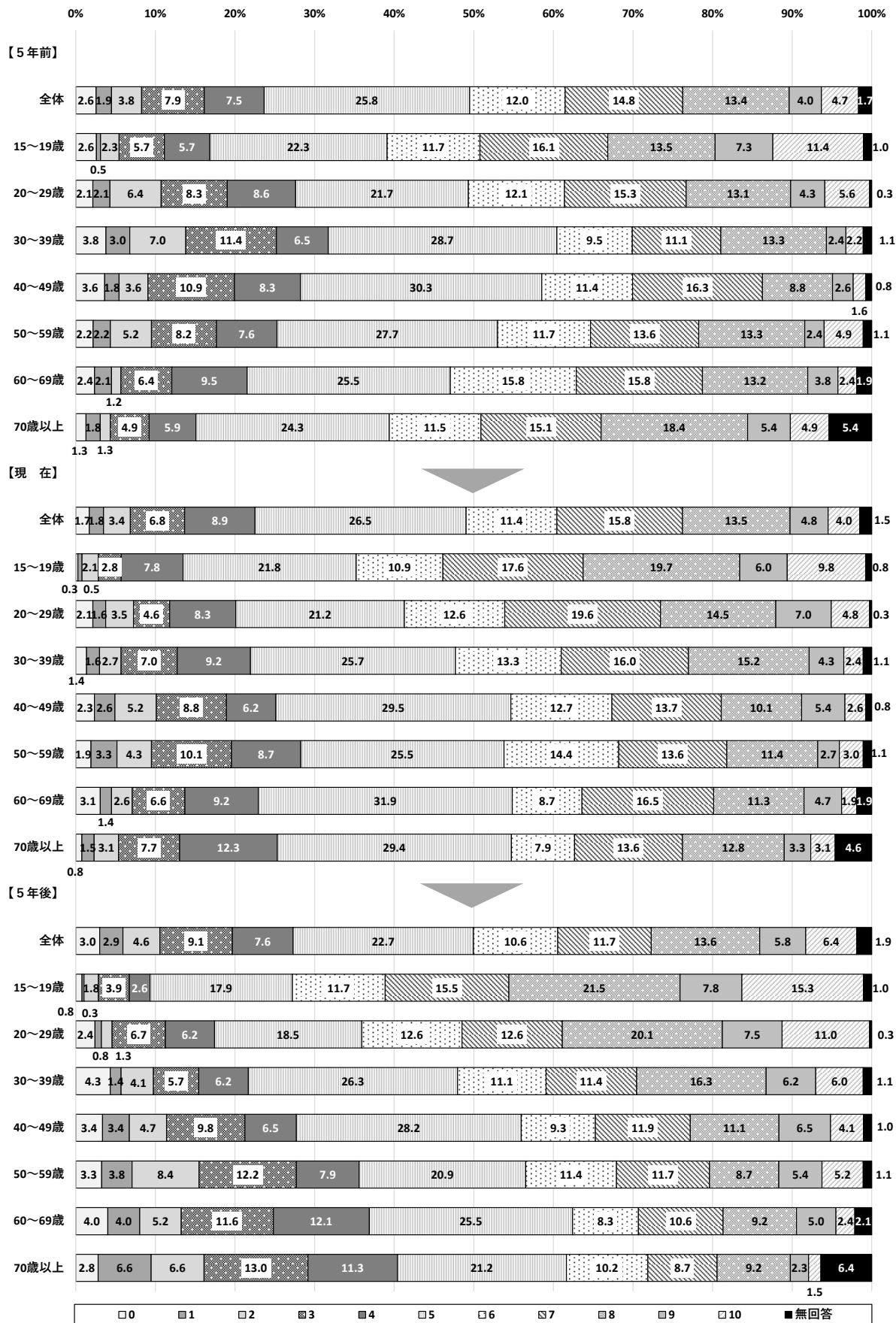
「15～19歳」と「20～29歳」では、「5年後」において「8」が最も高く、その他の年代では中央値の「5」が最も高くなっている。

「5年後」において、「15～19歳」では「6以上」が7割を超えている。

「5年後」を見ると、「6以上」は年齢が高くなるほど割合が低くなる傾向にあり、「70歳以上」では32.0%となっている。



図表 13-2-2 最も理想的な生活に対する評価【割合】（年齢別）

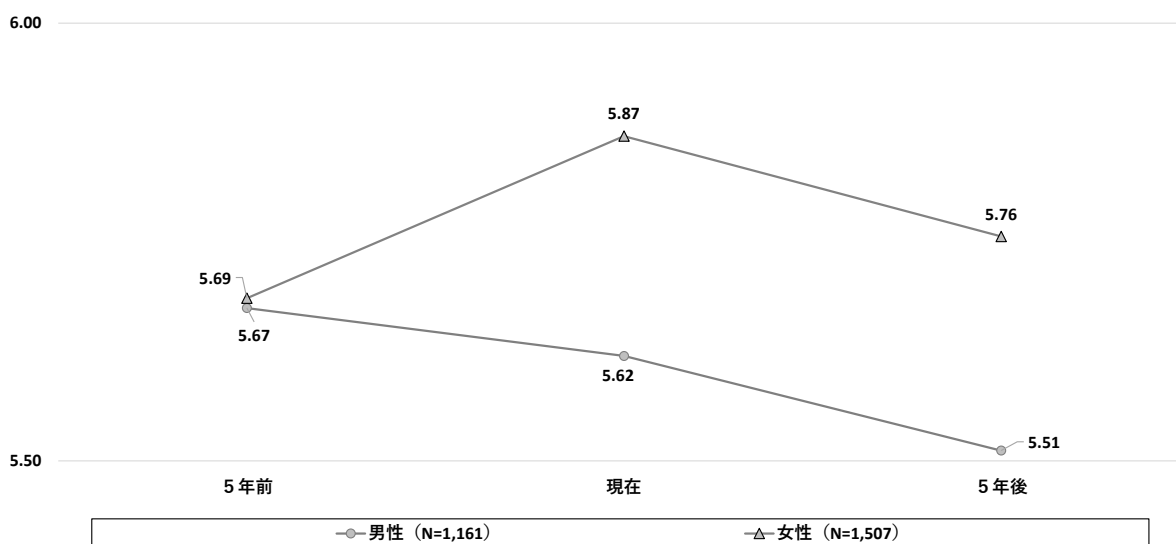


### (3) 性別

#### 【平均】

「男性」は「5年前」から下降傾向にある。「女性」は「現在」で一旦上がるものの、「5年後」には下がっている。また、「男性」より「女性」の方が高い傾向にある。

図表 13-3-1 最も理想的な生活に対する評価【平均】(性別)

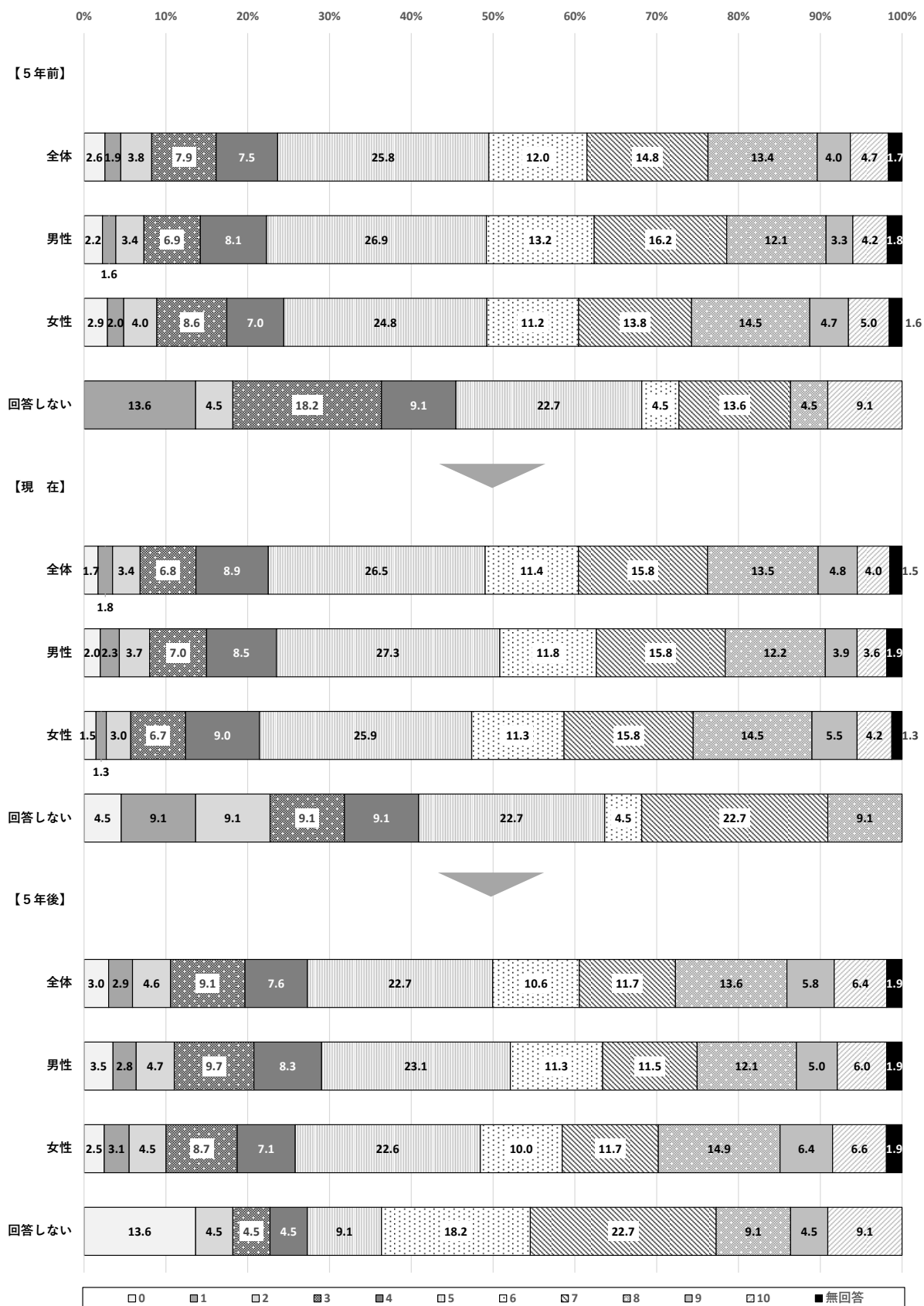


#### 【割合】

男女ともに、「5年前」「現在」「5年後」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」は、「5年前」は男女による差はないものの、「現在」からは「女性」の方が高くなり、「5年後」には「男性」の46.0%に対して「女性」が49.6%と3.6ポイント高い。

図表 13-3-2 最も理想的な生活に対する評価【割合】（性別）

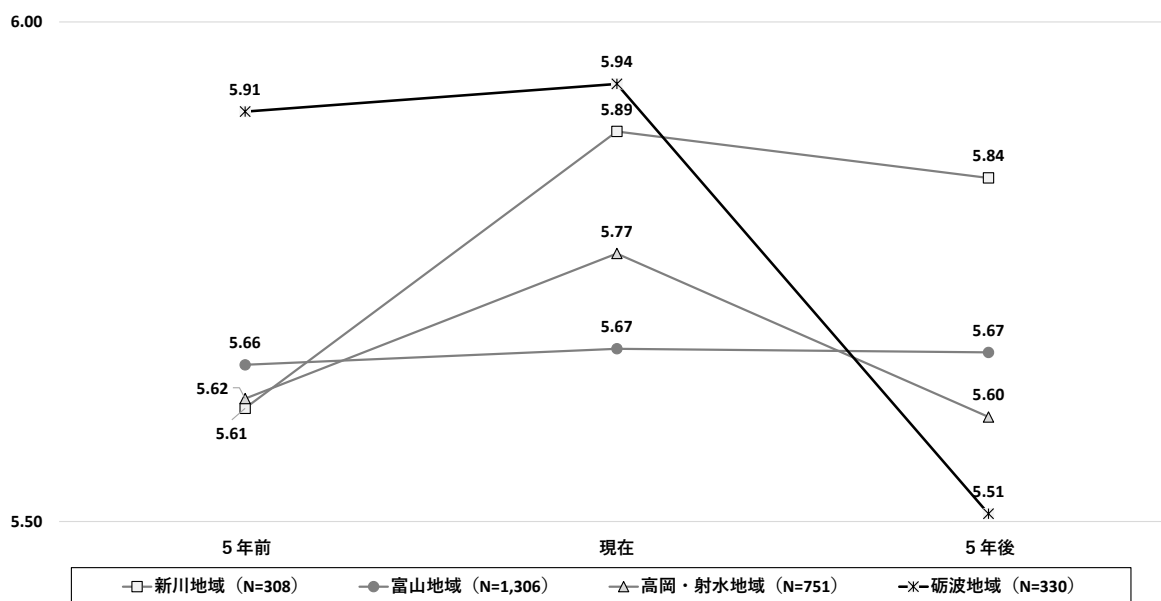


#### (4) - 1 地域別

##### 【平均】

「富山地域」はほぼ横ばいで推移している。その他の地域は「現在」に一旦上がり、「5年後」には下がっている。特に、「砺波地域」の下がり幅が大きい。

図表 13-4-1-1 最も理想的な生活に対する評価【平均】(地域別)

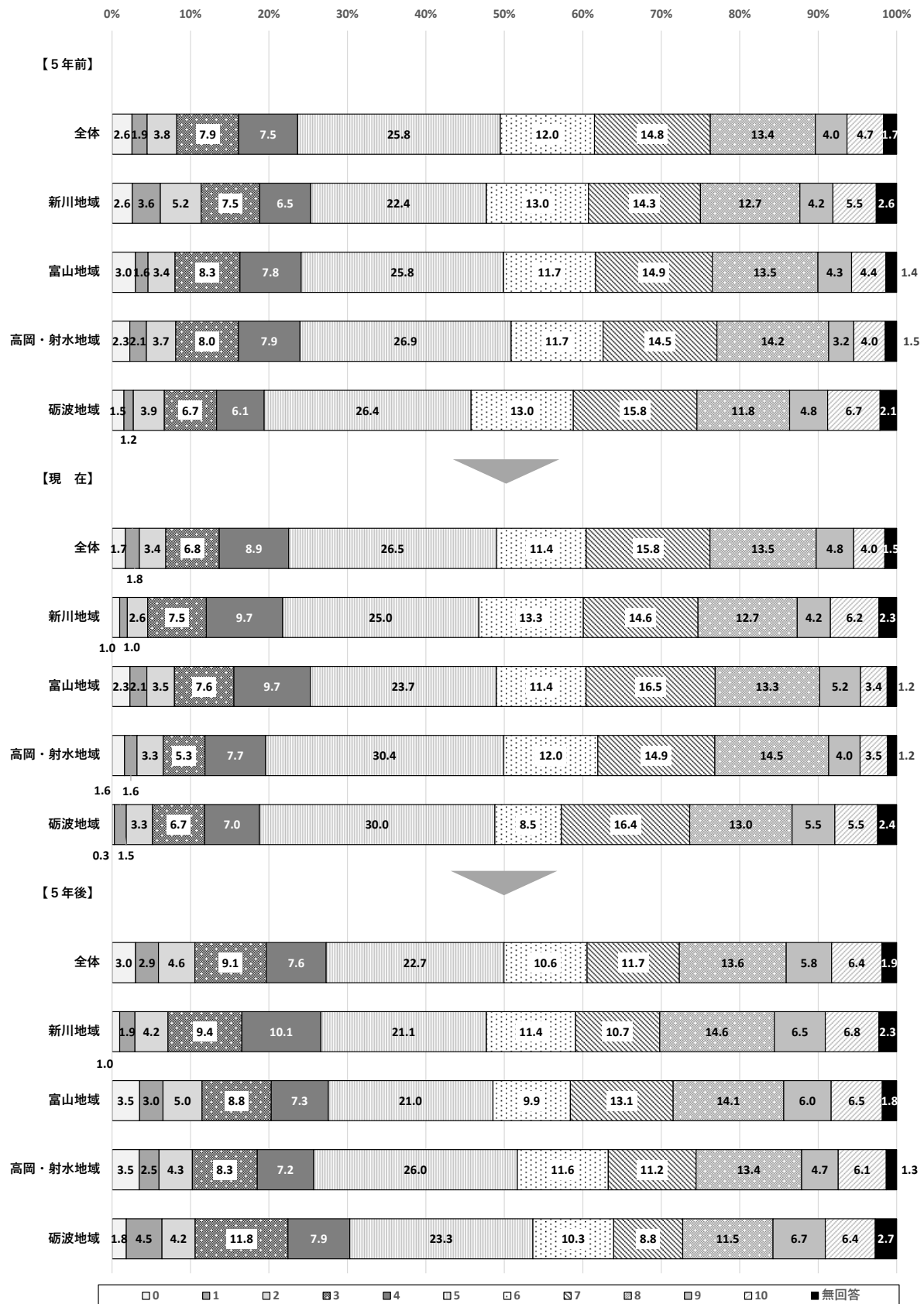


##### 【割合】

すべての地域で、「5年前」「現在」「5年後」のいずれも「5」が最も高い。

「5年後」の「6以上」を見ると、「砺波地域」で43.6%と、他の地域と比較して低くなっている。

図表 13-4-1-2 最も理想的な生活に対する評価【割合】(地域別)

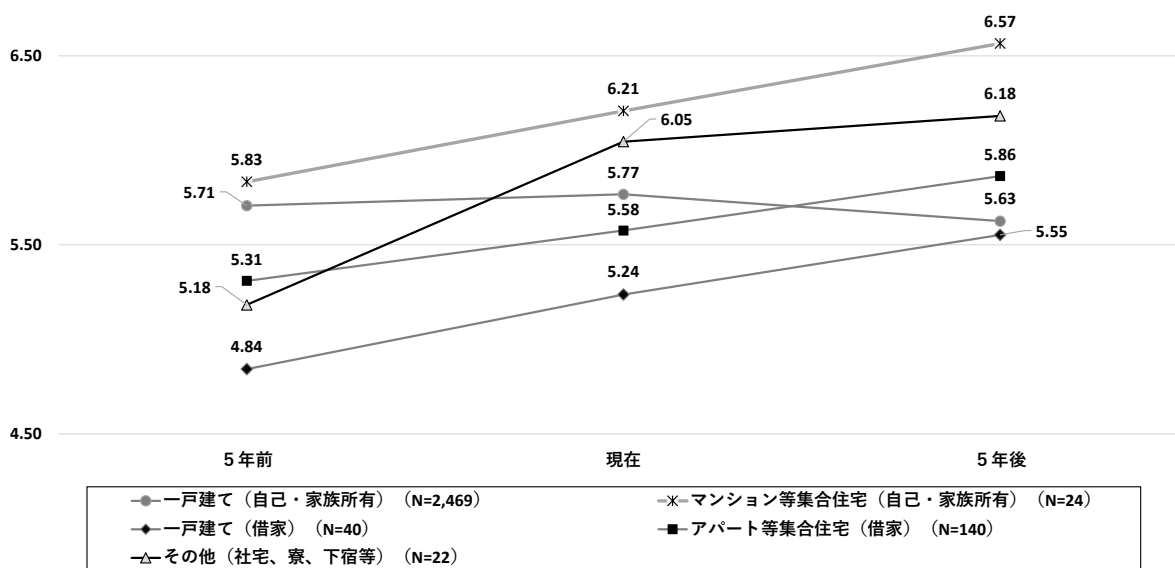


(4) - 2 現在の住居状況別

【平均】

「一戸建て（自己・家族所有）」では、「現在」に一旦上がり、「5年後」は5.63と若干下がっている。

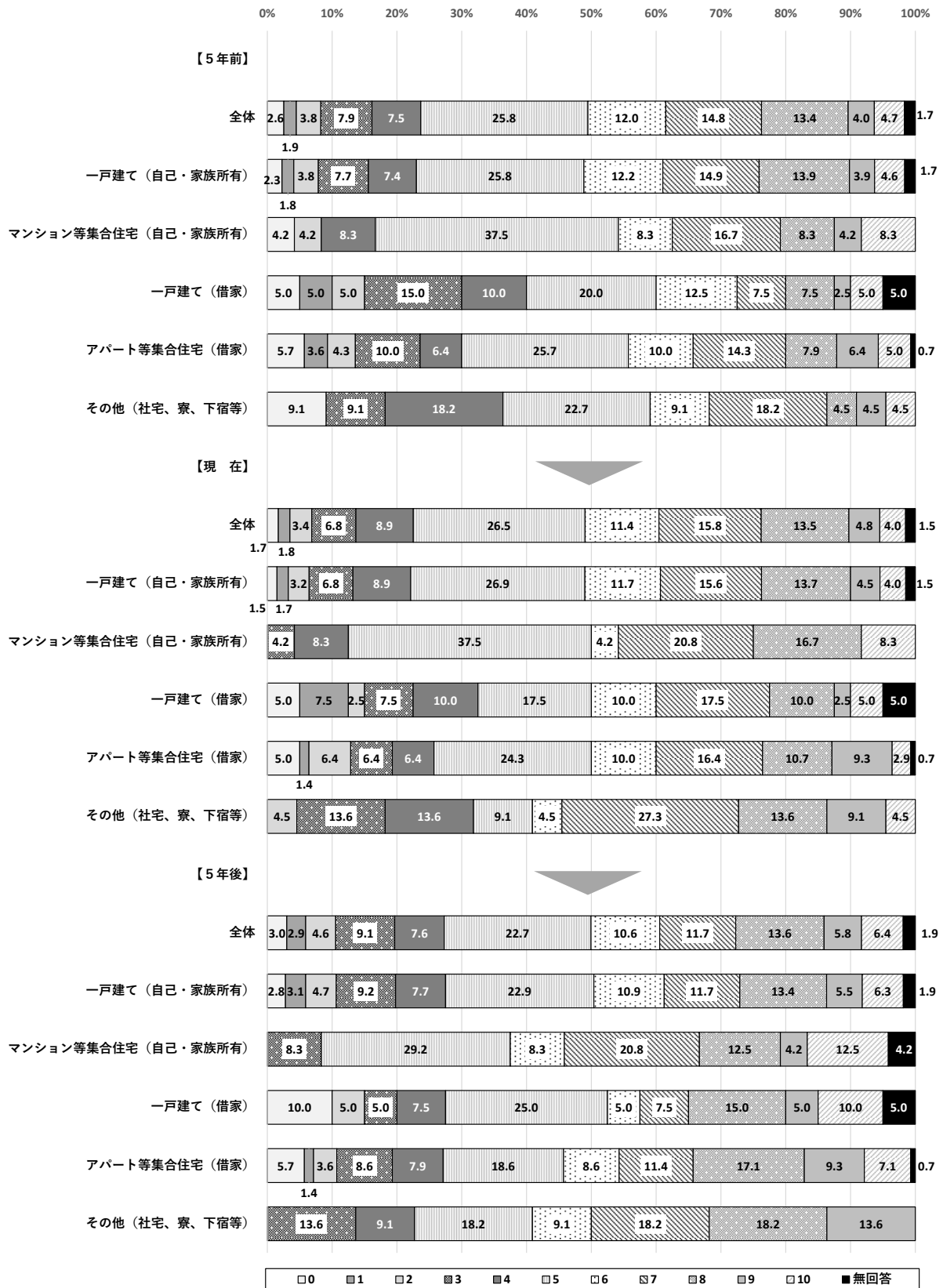
図表 13-4-2-1 最も理想的な生活に対する評価【平均】（現在の住居状況別）



【割合】

「一戸建て（自己・家族所有）」では、「5年前」「現在」「5年後」のいずれも「5」が最も高い。「6以上」を見ると、「現在」は49.5%だが、「5年後」には47.8%と若干下がっている。

図表 13-4-2-2 最も理想的な生活に対する評価【割合】（現在の住居状況別）

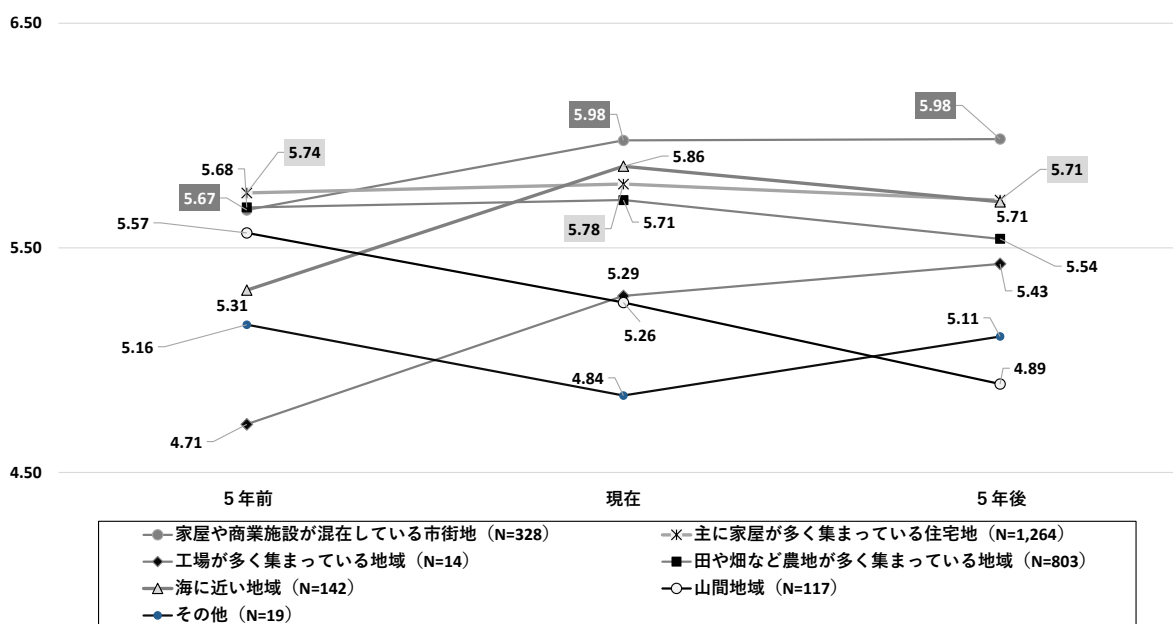


### (4) - 3 現在の居住地環境別

#### 【平均】

「家屋や商業施設が混在している市街地」では「現在」が 5.98 と、他の居住地環境よりも高くなっている。「山間地域」は「5年前」の 5.57 から下降し、「5年後」には 4.89 となっている。

図表 13-4-3-1 最も理想的な生活に対する評価【平均】(居住地環境別)



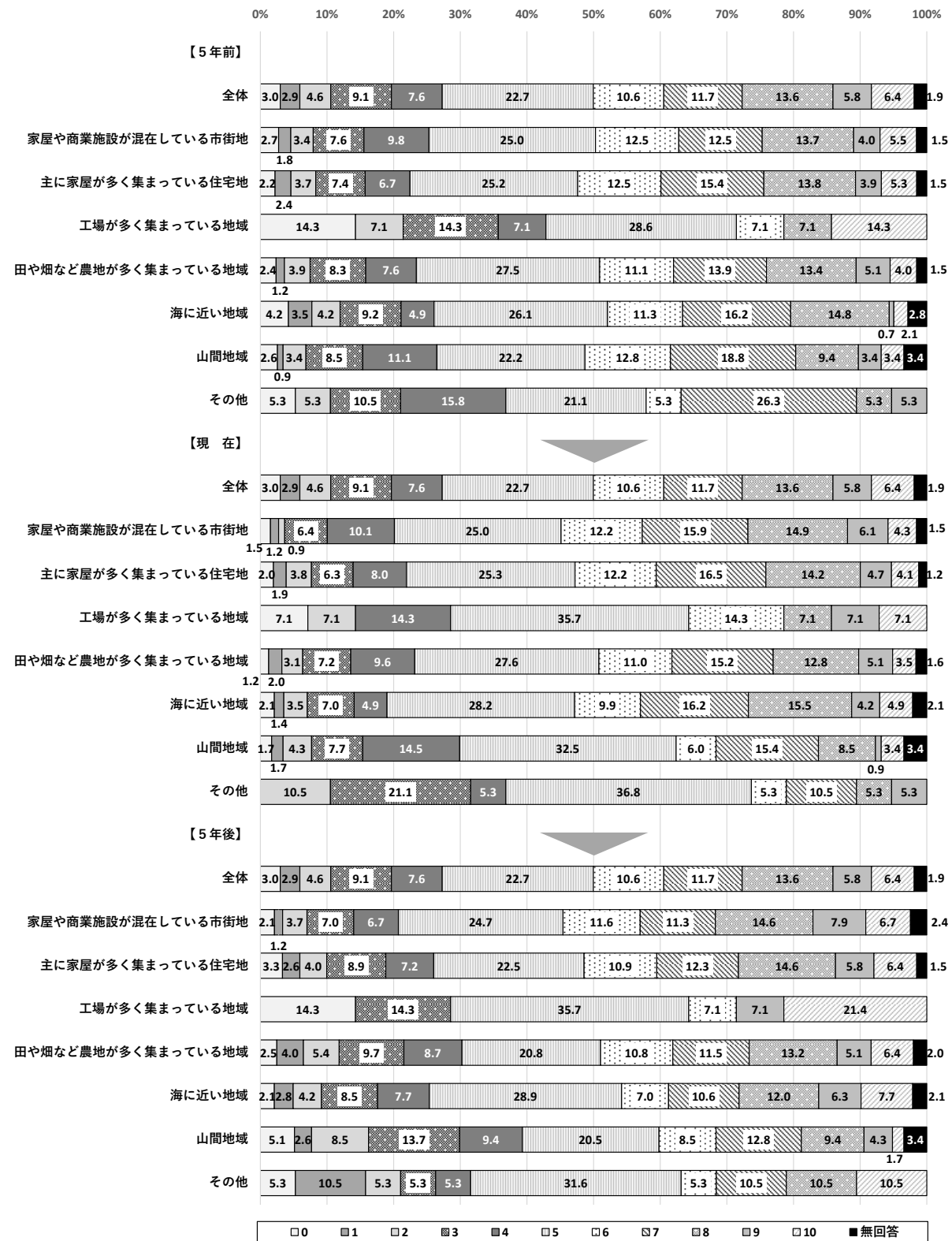
#### 【割合】

どの居住地環境でも、「5年前」「現在」「5年後」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、「海に近い地域」では「現在」は 50.7%だが、「5年後」には 43.7%と、7ポイント下がっている。また、「4以下」を見ると、「山間地域」では「現在」は 29.9%だが、「5年後」には 39.3%と、9.4ポイント高くなっている。



図表 13-4-3-2 最も理想的な生活に対する評価【割合】（居住地域環境別）

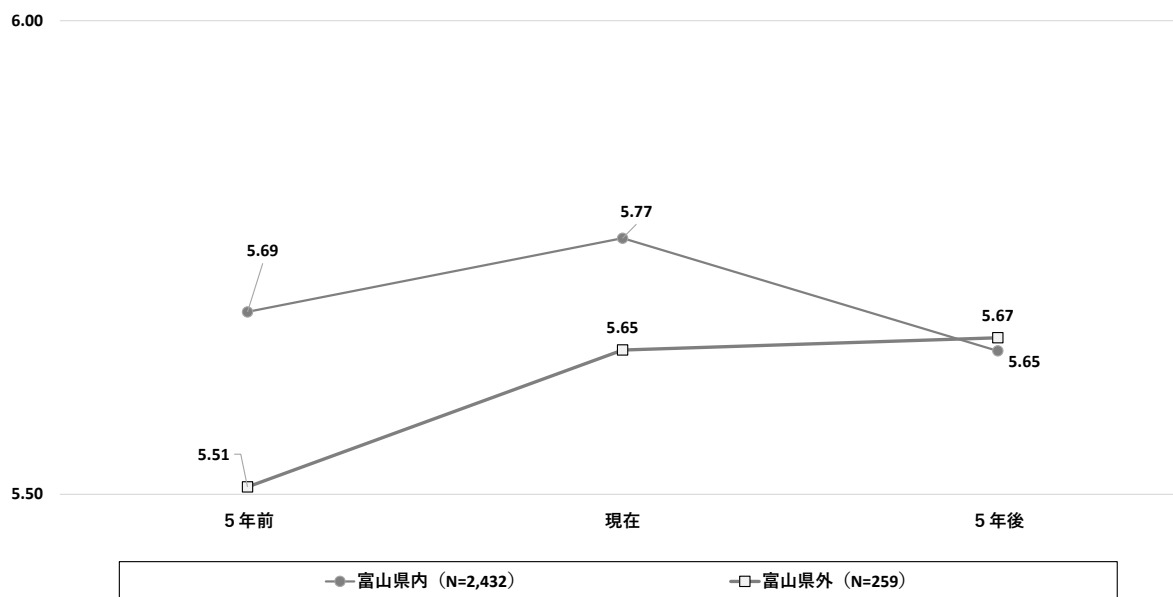


#### (4) - 4 出身地別

##### 【平均】

「富山県外」は上向き傾向となっており、「5年後」には5.67と「富山県内」(5.65)よりも若干上回っている。

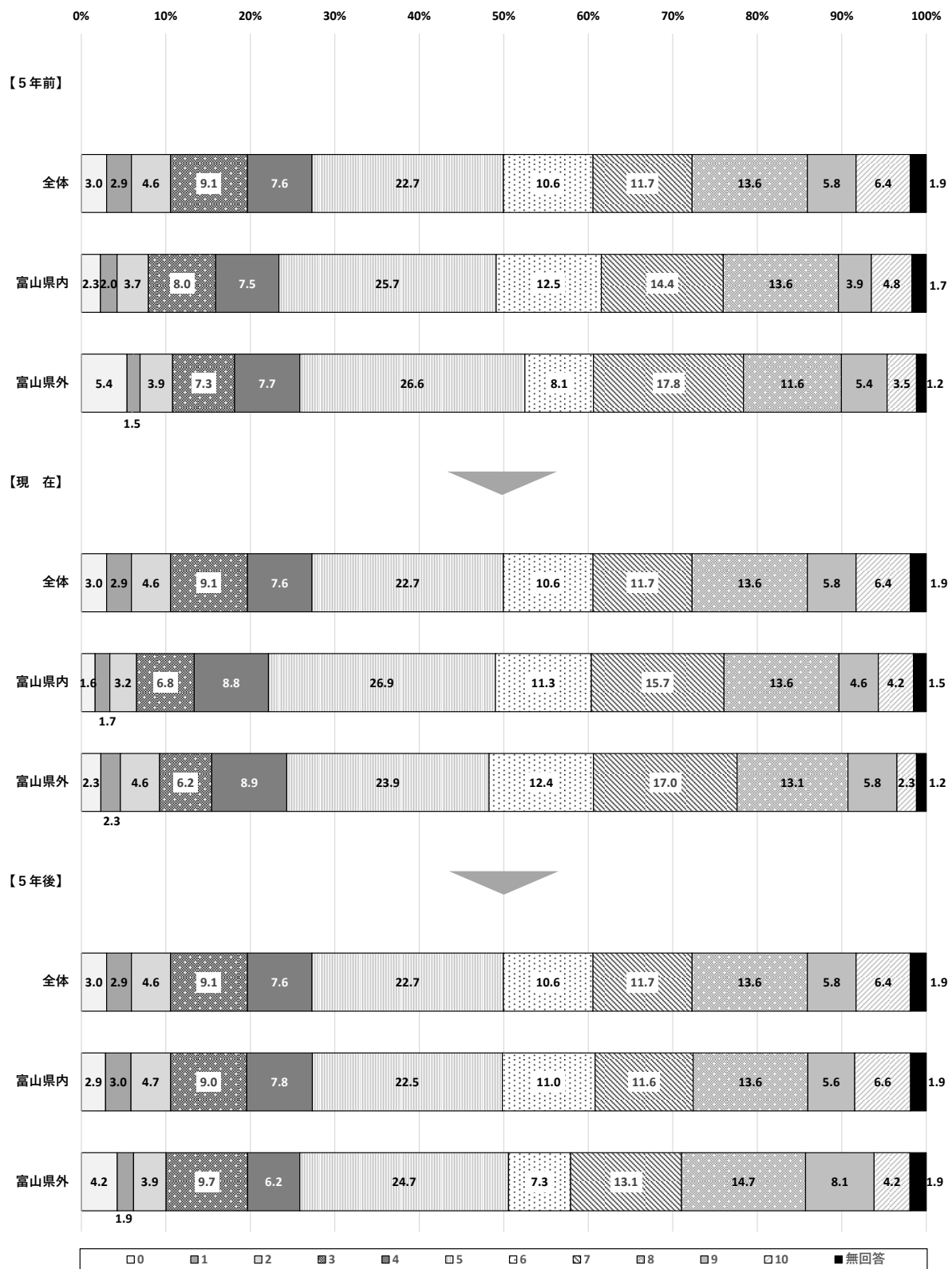
図表 13-4-4-1 最も理想的な生活に対する評価【平均】(出身地別)



##### 【割合】

「富山県内」「富山県外」ともに、「5年前」「現在」「5年後」のいずれも「5」が最も高い。「6以上」を見ると、「富山県外」では「現在」は50.6%だが、「5年後」には47.5%と、3.1ポイント下がっている。

図表 13-4-4-2 最も理想的な生活に対する評価【割合】（出身地別）

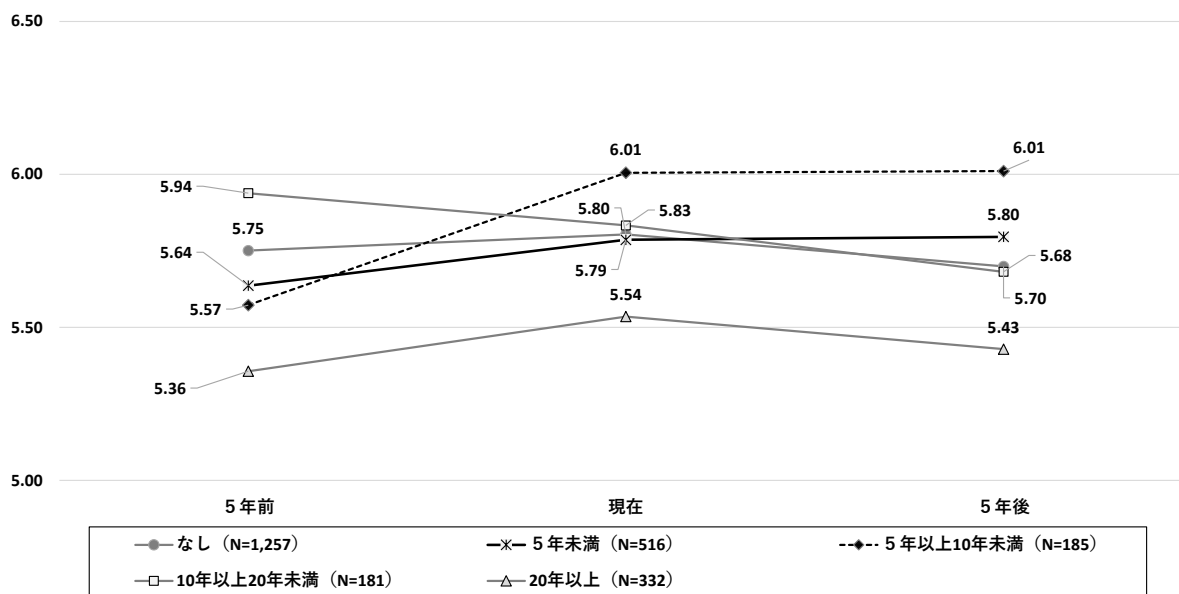


(4) - 5 県外での居住年数別

【平均】

「5年未満」と「5年以上10年未満」は若干の上向き、もしくは、横ばいとなっている。一方、「10年以上20年未満」は下降傾向にある。

図表 13-4-5 最も理想的な生活に対する評価【平均】(県外居住年数別)



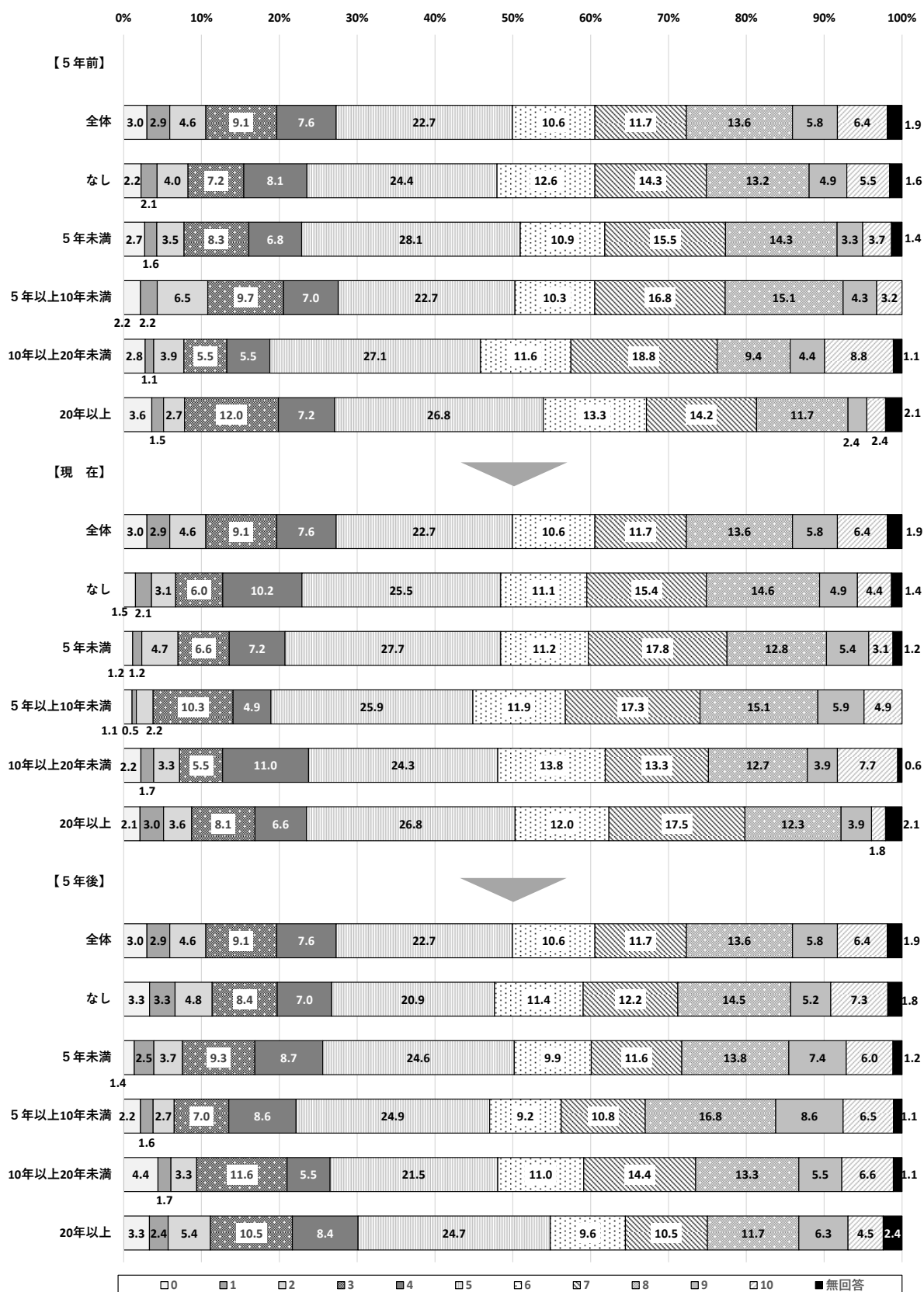
【割合】

どの居住年数でも、「5年前」「現在」「5年後」のいずれも「5」が最も高い。

「現在」の「6以上」を見ると、「5年以上10年未満」で55.1%と、他の居住年数と比較して高くなっている。

「5年後」では「20年以上」で42.8%と、他の居住年数よりも低くなっている。

図表 13-4-5 最も理想的な生活に対する評価【割合】（県外居住年数別）

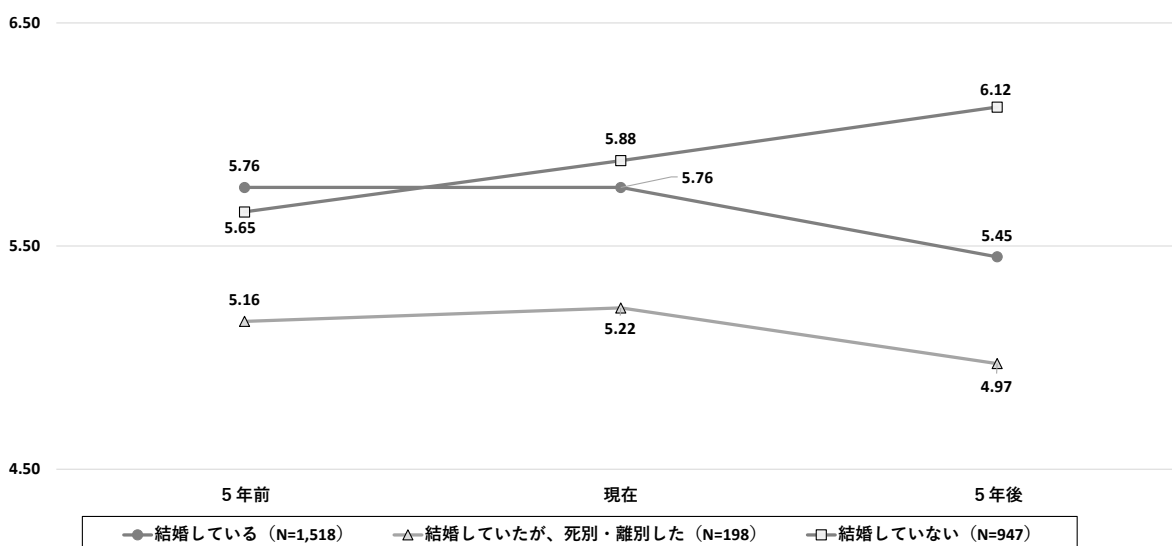


### (5) - 1 結婚の有無別

#### 【平均】

「結婚している」と「結婚していたが、死別・離別した」では、「現在」よりも「5年後」の方が下がっている。「結婚していない」は上向き傾向にあり、「5年後」には6.12となっている。

図表 13-5-1-1 最も理想的な生活に対する評価【平均】(結婚の有無別)

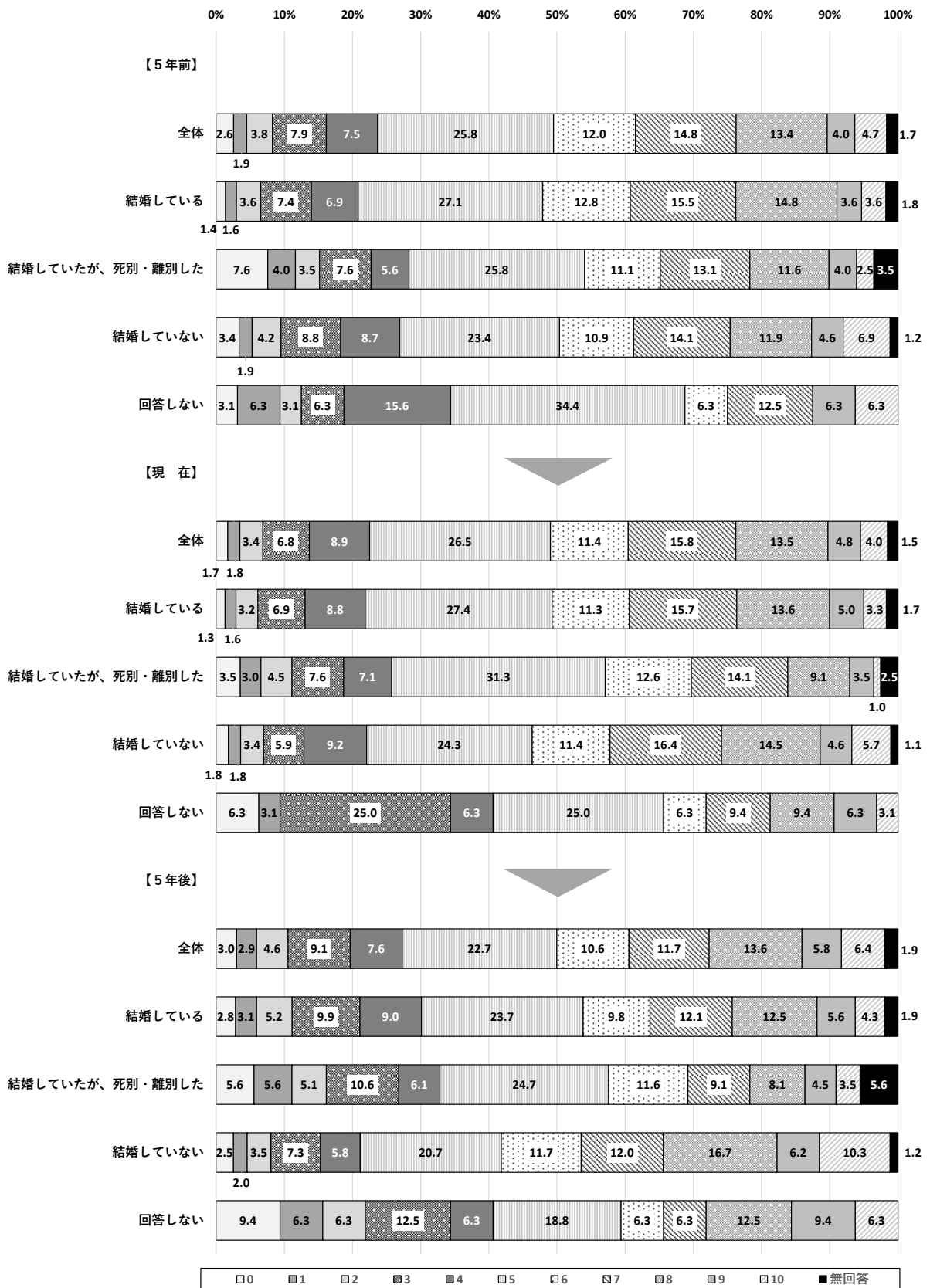


#### 【割合】

どの属性も、「5年前」「現在」「5年後」のいずれも「5」が最も高い。

「5年後」の「6以上」を見ると、「結婚していない」では57.0%を占めている。

図表 13-5-1-2 最も理想的な生活に対する評価【割合】（結婚の有無別）

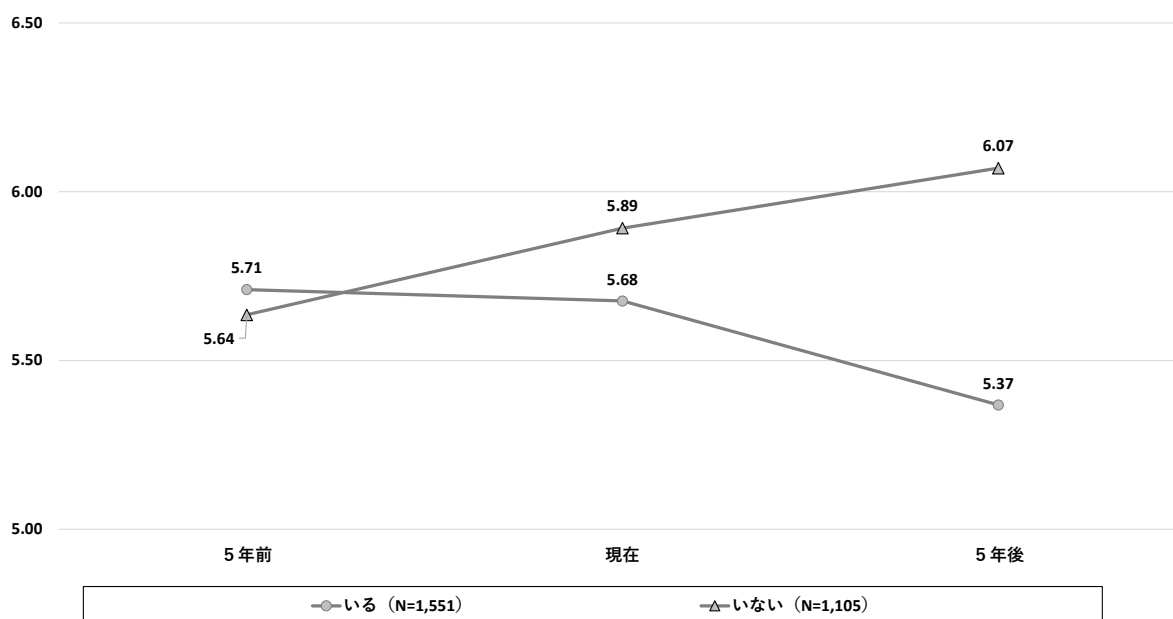


## (5) - 2 子どもの有無別

### 【平均】

子どもが「いる」では下降傾向にあるが、子どもが「いない」では上向き傾向となっており、「5年後」には6.07となっている。

図表 13-5-2-1 最も理想的な生活に対する評価【平均】(子どもの有無別)



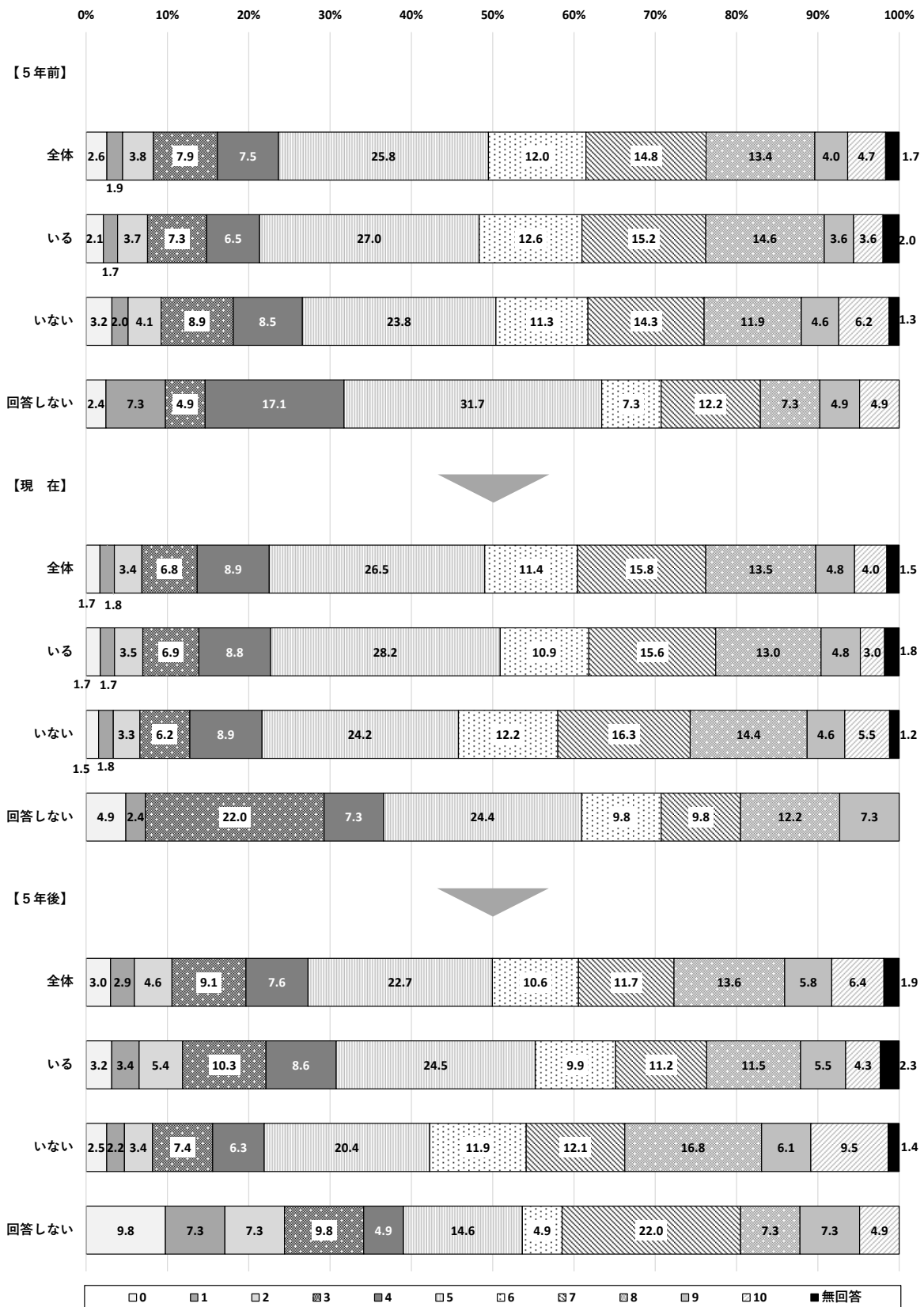
### 【割合】

子どもの有無に関わらず、「5年前」「現在」「5年後」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、子どもが「いない」では「現在」は53.0%だが、「5年後」には56.4%となり若干上向き傾向にある。



図表 13-5-2-2 最も理想的な生活に対する評価【割合】（子どもの有無別）

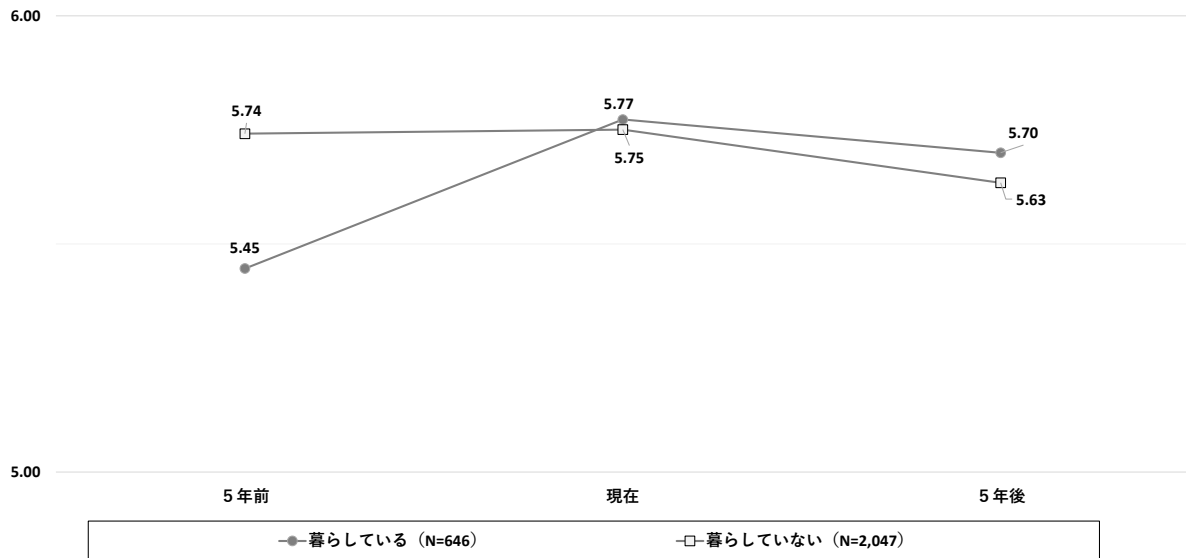


### (5) - 3 ペットの有無別

#### 【平均】

「5年後」には、ペットと「暮らしている」「暮らしていない」ともに「現在」よりも下がっている。

図表 13-5-3-1 最も理想的な生活に対する評価【平均】(ペットの有無別)

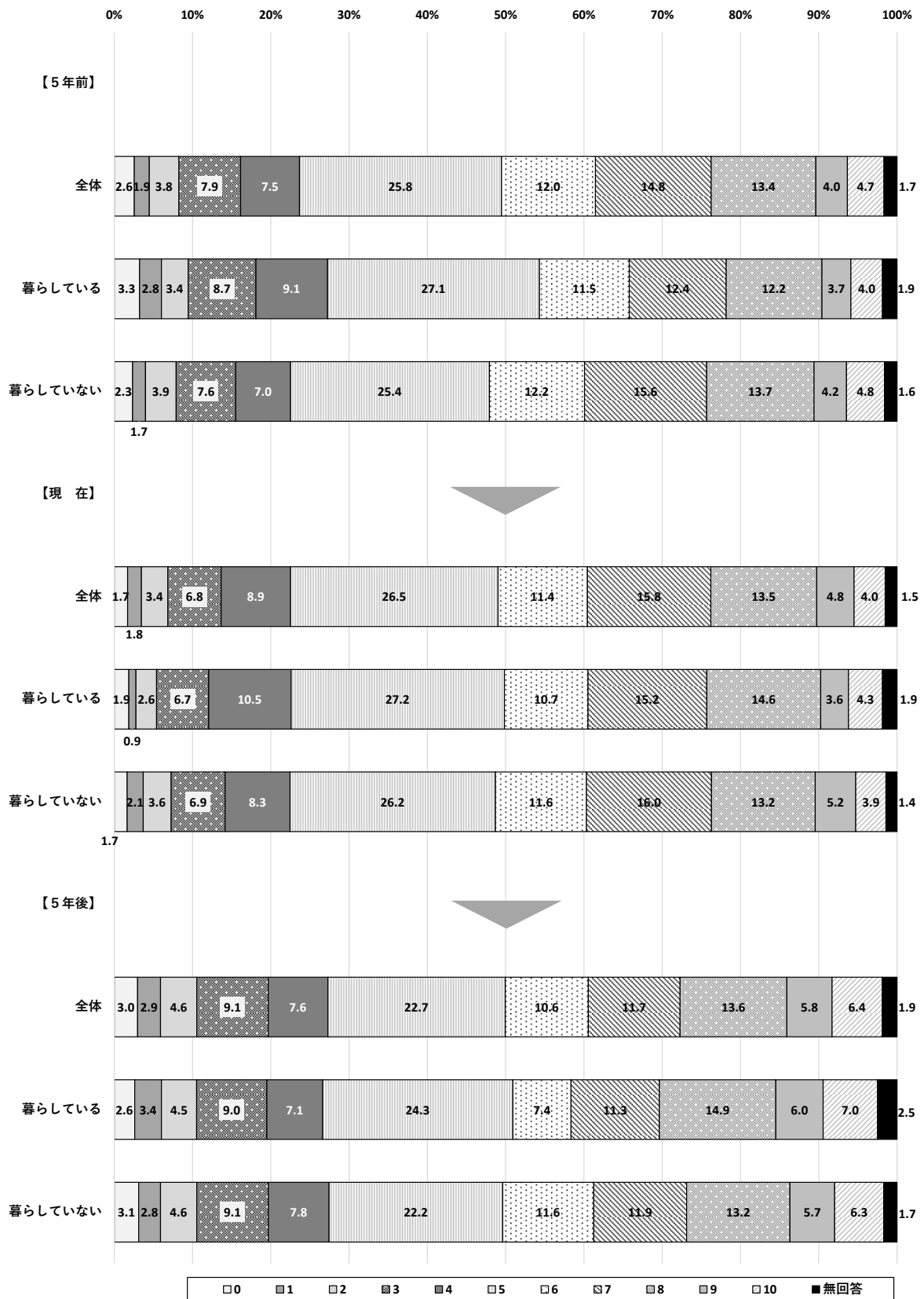


#### 【割合】

「暮らしている」「暮らしていない」ともに、「5年前」「現在」「5年後」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、「現在」「5年後」ともに、ペットの有無による大きな差は見られない。

図表 13-5-3-2 最も理想的な生活に対する評価【割合】（ペットの有無別）

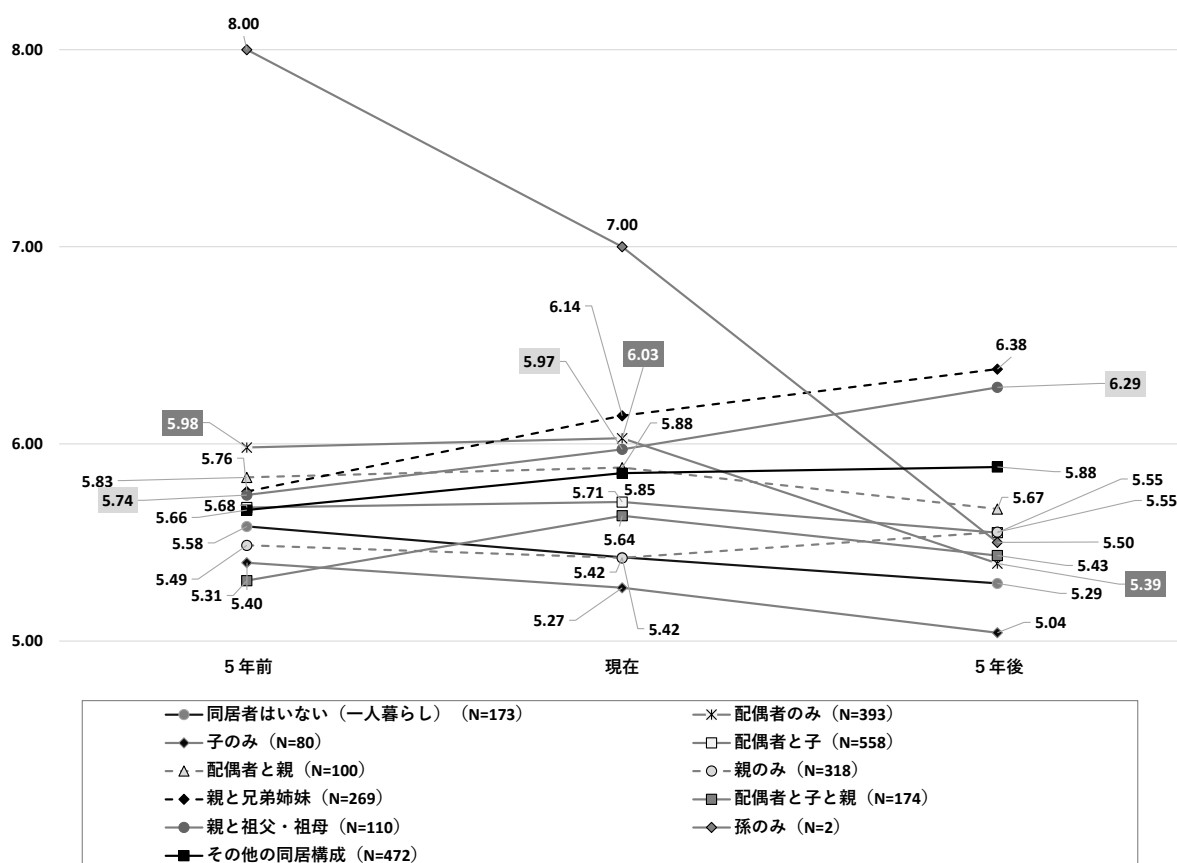


### (5) - 4 同居家族の構成別

#### 【平均】

「親と兄弟姉妹」「親と祖父・祖母」では「5年後」に6.00を超えている。「同居者はいない（一人暮らし）」「子のみ」では「5年前」から下降傾向となっている。

図表 13-5-4-1 最も理想的な生活に対する評価【平均】（同居家族構成別）

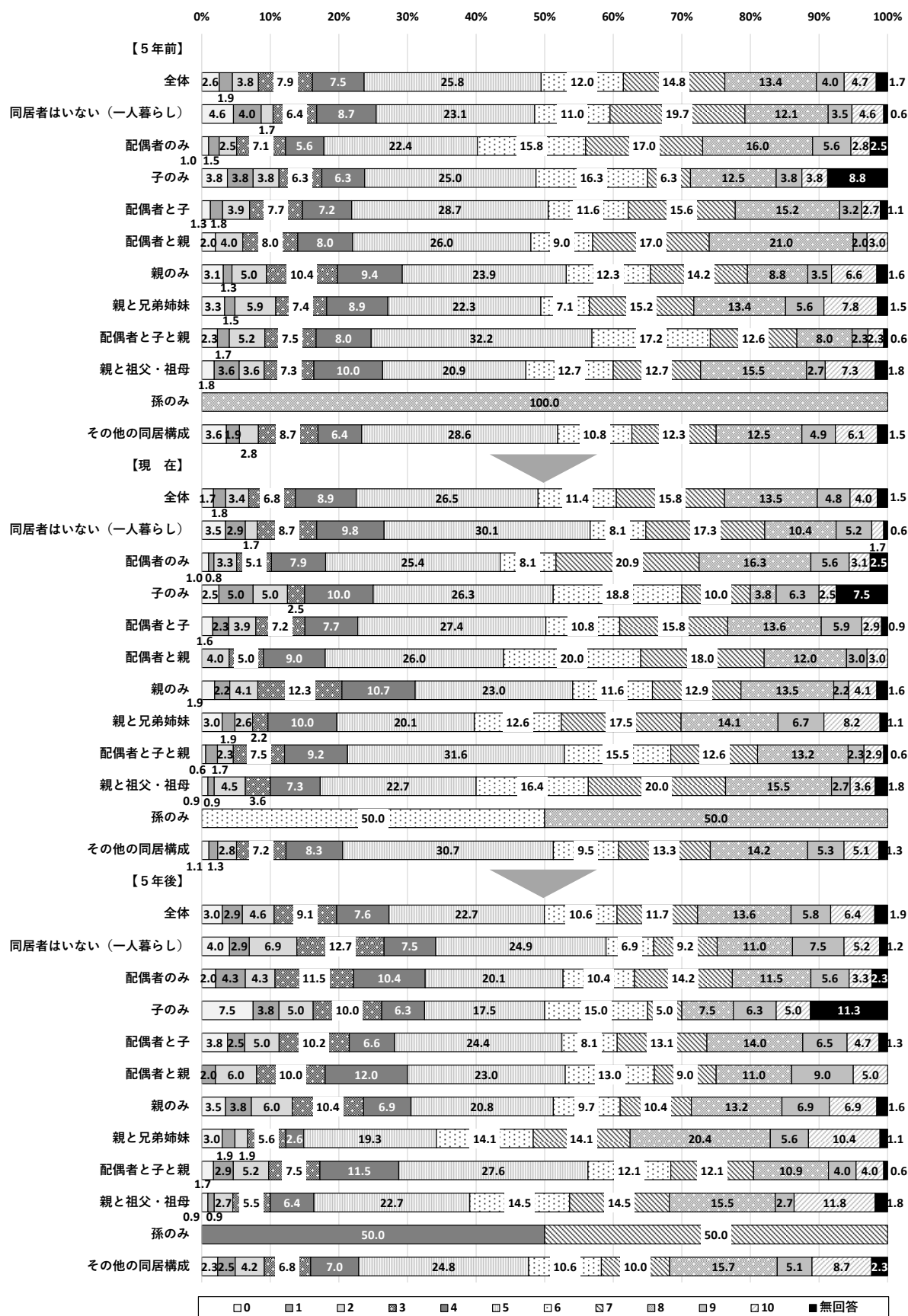


#### 【割合】

「親と兄弟姉妹」を除くすべての家族構成で、「5年前」「現在」「5年後」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、「現在」では「配偶者のみ」「配偶者と親」「親と兄弟姉妹」「親と祖父・祖母」で5割を超えている。「5年後」では「親と兄弟姉妹」「親と祖父・祖母」「その他の同居構成」で5割以上となっている。

図表 13-5-4-2 最も理想的な生活に対する評価【割合】（同居家族構成別）

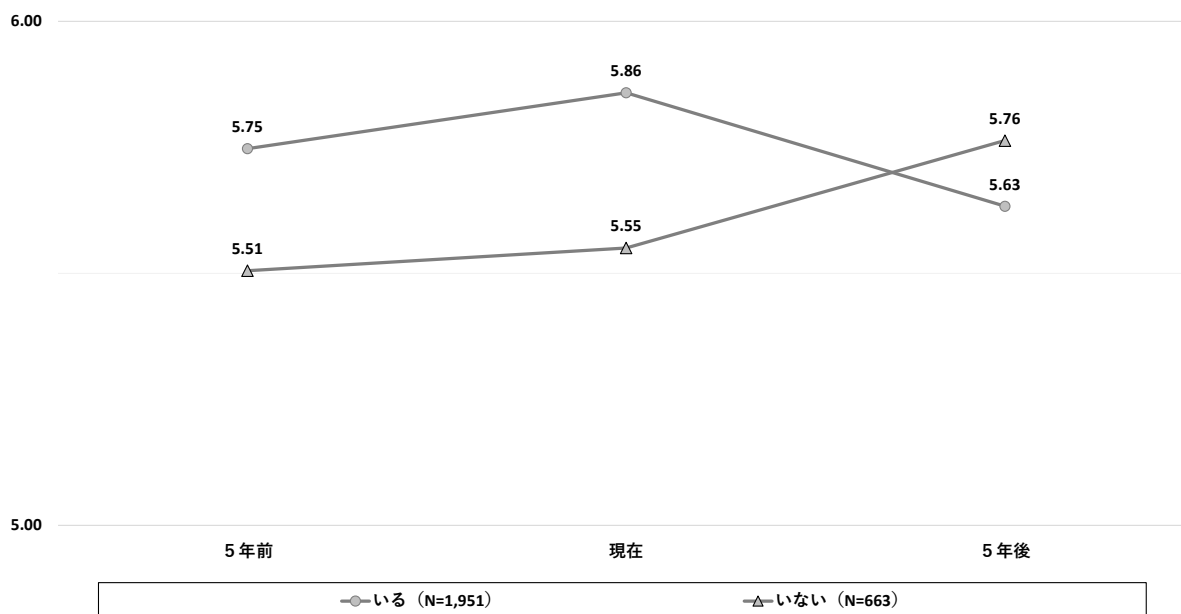


### (5) - 5 別居親族の有無

#### 【平均】

別居親族が「いる」では、「現在」(5.86)よりも「5年後」(5.63)の方が低い。一方、「いない」では上向き傾向にあり、「5年後」には5.76と、「いる」よりも上回っている。

図表 13-5-5-1 最も理想的な生活に対する評価【平均】(別居親族の有無別)

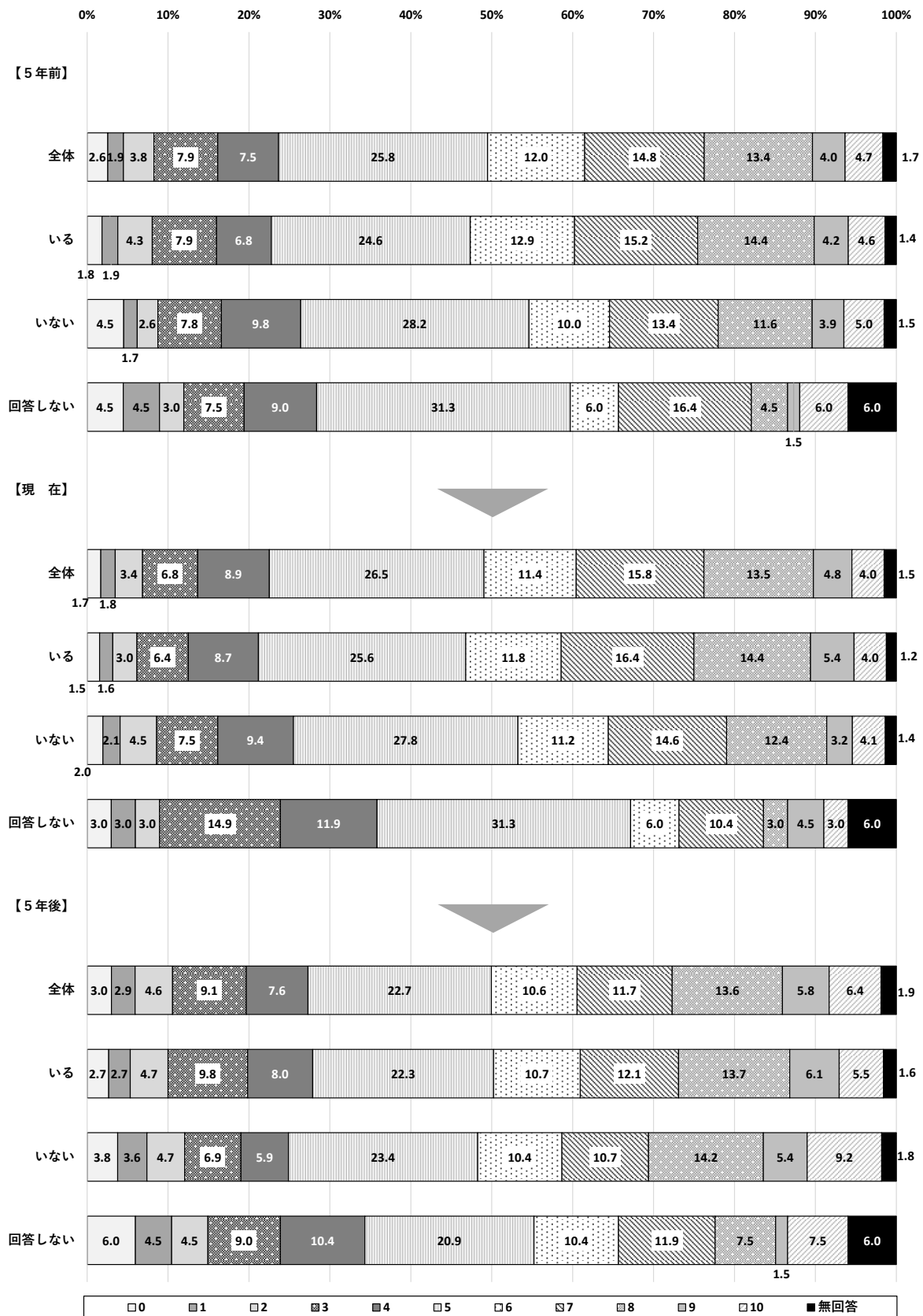


#### 【割合】

すべての属性で、「5年前」「現在」「5年後」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、「いない」では「現在」は45.4%だが、「5年後」には49.9%となり若干上向き傾向にある。

図表 13-5-5-2 最も理想的な生活に対する評価【割合】（別居親族の有無別）

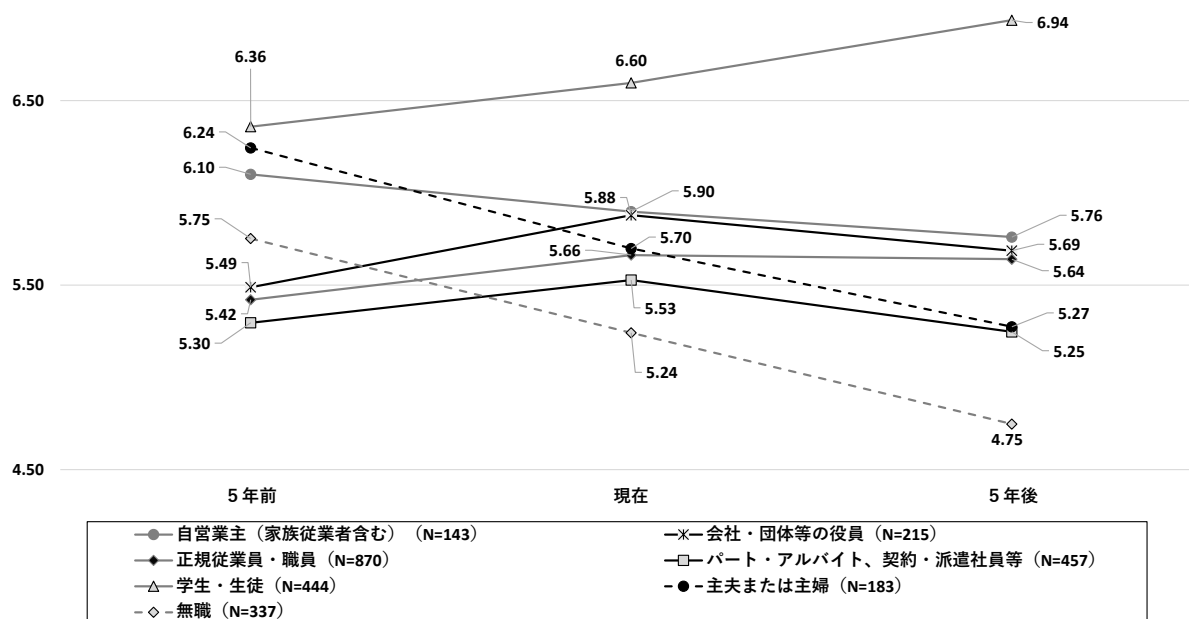


(6) - 1 職業別

【平均】

「学生」は上向き傾向となっており、「5年後」には6.94となっている。一方、「主夫または主婦」と「無職」は、「5年前」から下降傾向にあり、「無職」では「5年後」には4.75となっている。

図表 13-6-1-1 最も理想的な生活に対する評価【平均】(職業別)



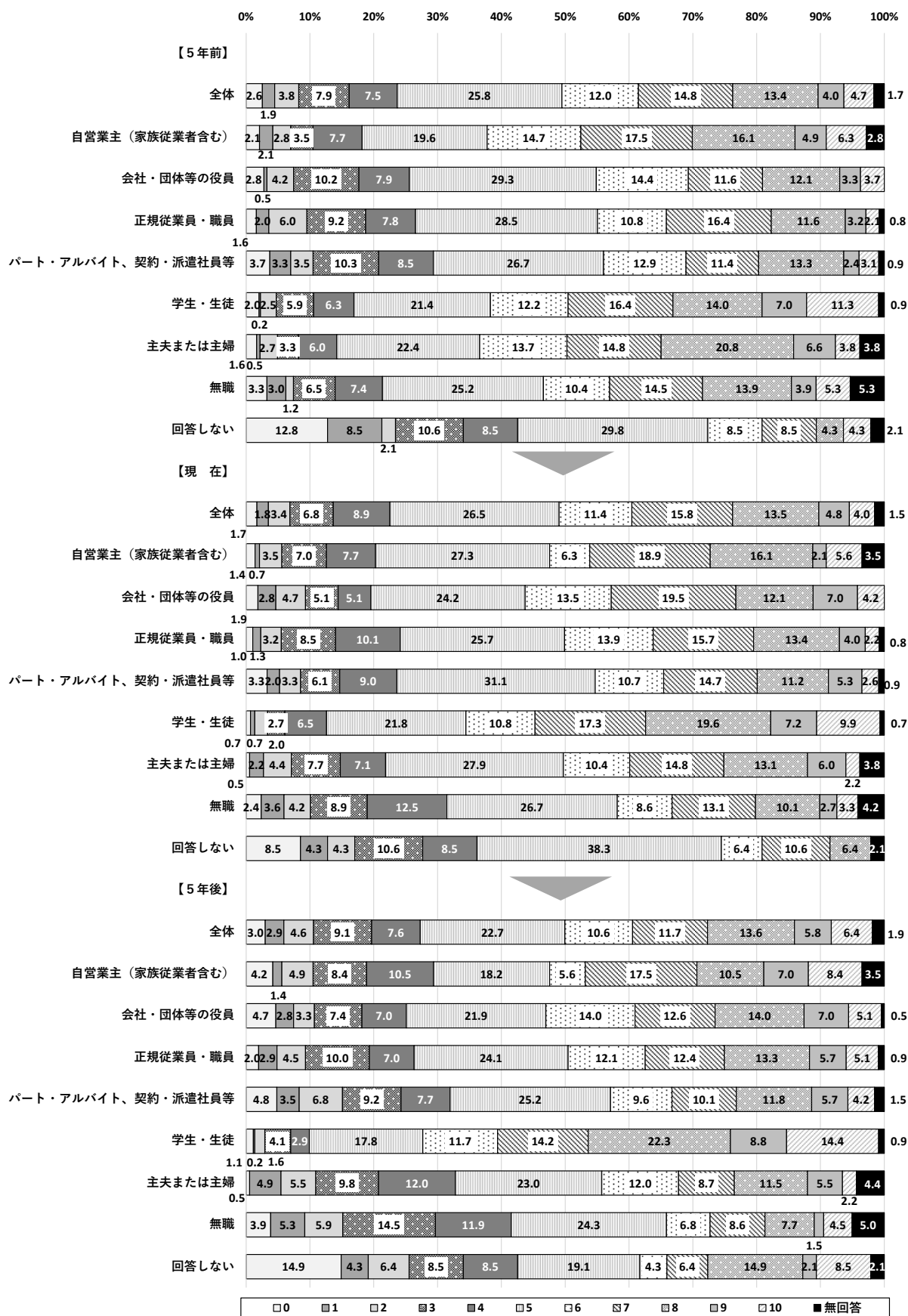
【割合】

「学生・生徒」では「5年後」において「8」が最も高くなっている。その他の職業では、「5年前」「現在」「5年後」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、「5年後」は「会社・団体等の役員」と「学生・生徒」で5割を超えており、特に「学生・生徒」は71.4%と高い割合を占めている。一方、「5年後」の「無職」は「4以下」が41.5%と「6以上」(29.1%)を12.4ポイント上回っている。



図表 13-6-1-2 最も理想的な生活に対する評価【割合】（職業別）

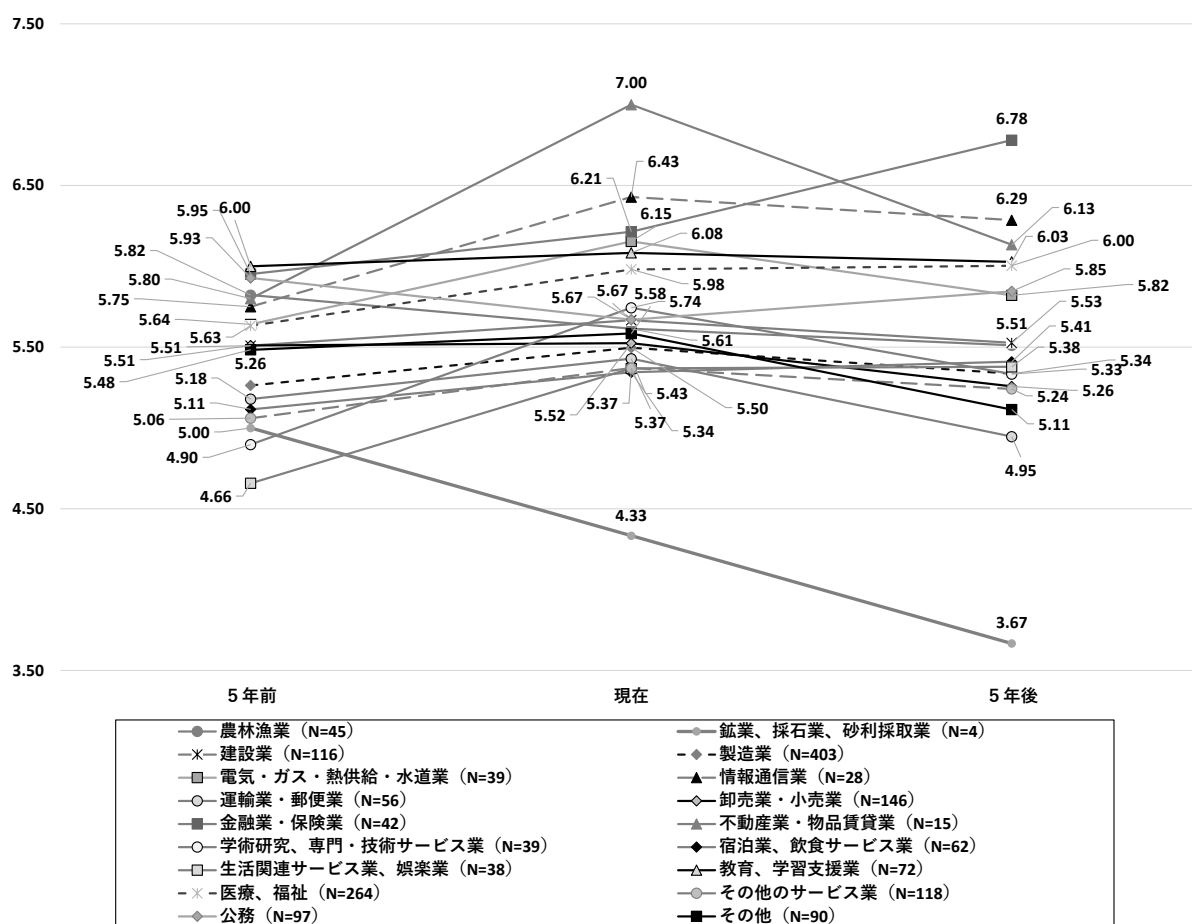


## (6) - 2 職業分野別

### 【平均】

「金融業・保険業」「宿泊業、飲食サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「医療、福祉」では「5年前」から上向き傾向となっている。一方、「農林漁業」では「5年前」から下降傾向にあり、「5年後」には5.51になっている。また、「運輸業・郵便業」は「5年後」には4.95になっており、他の職業分野よりも低くなっている。

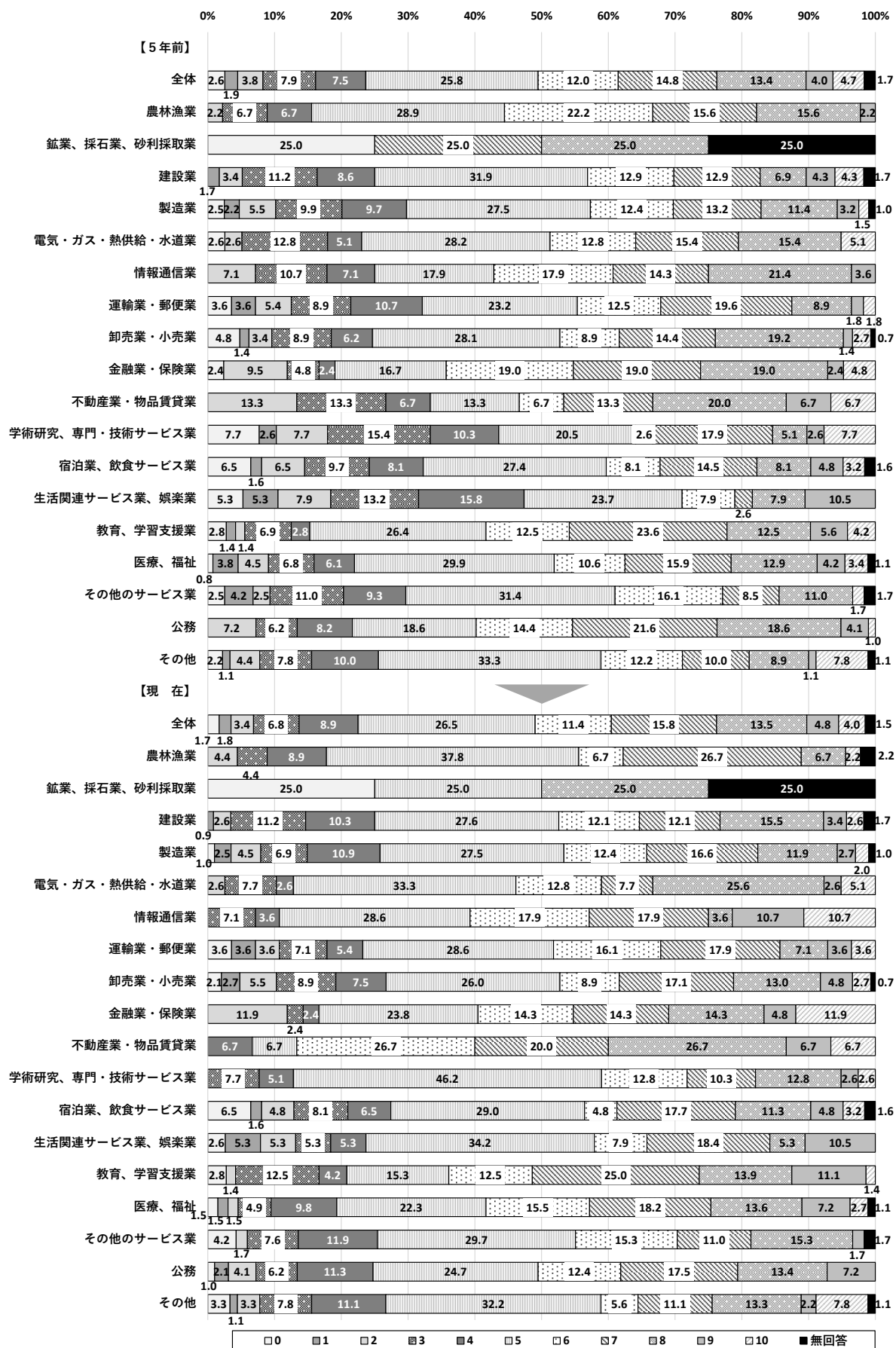
図表 13-6-2-1 最も理想的な生活に対する評価【平均】（職業分野別）

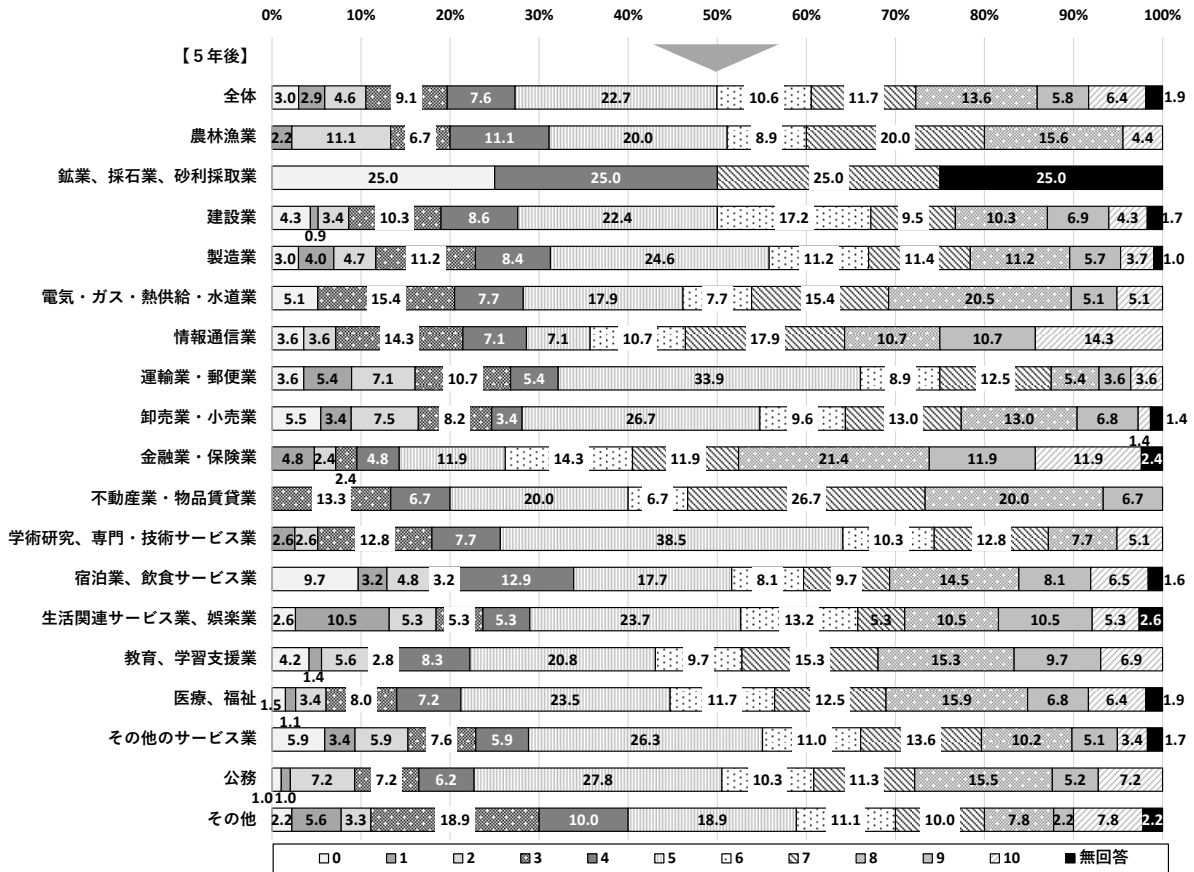


### 【割合】

「5年後」の「金融業・保険業」では「8」が21.4%と最も高く、そのため「6以上」も71.4%と高い割合を占めている。一方、「5年後」の「農林漁業」「製造業」「運輸業・郵便業」「宿泊業、飲食サービス業」では「4以下」が3割を超えている。

図表 13-6-2-2 最も理想的な生活に対する評価【割合】（職業分野別）



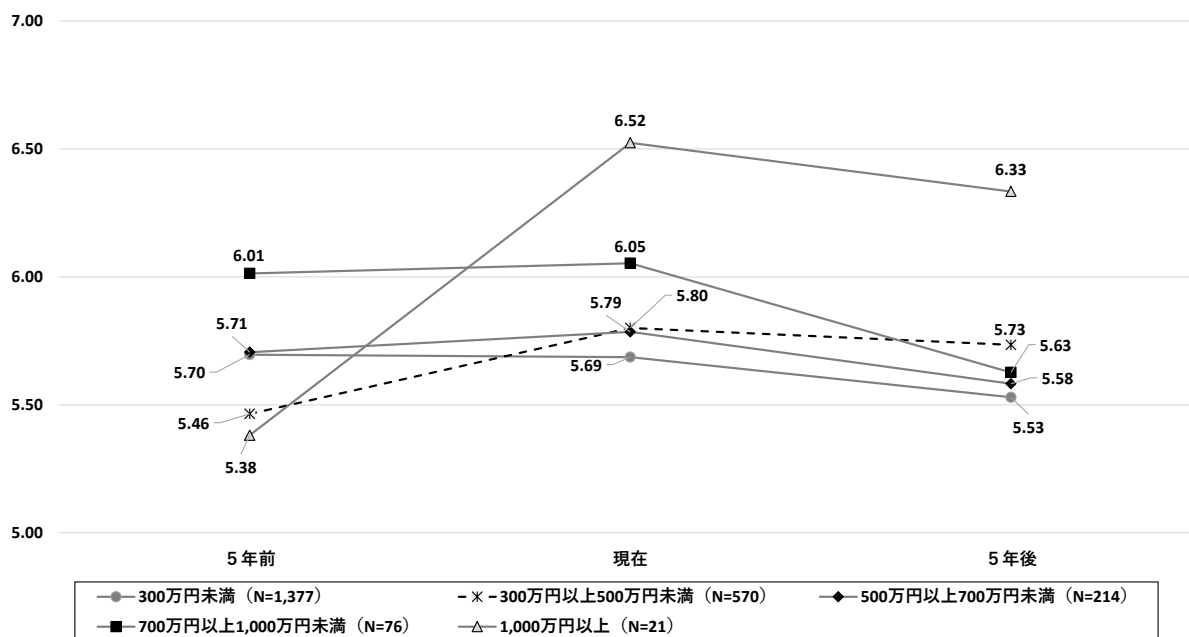


(6) - 3 年収別

【平均】

概ね「現在」よりも「5年後」の方が下がっている傾向がある。「300万円未満」では、「5年前」から下降傾向にあり、「5年後」は5.53となっている。

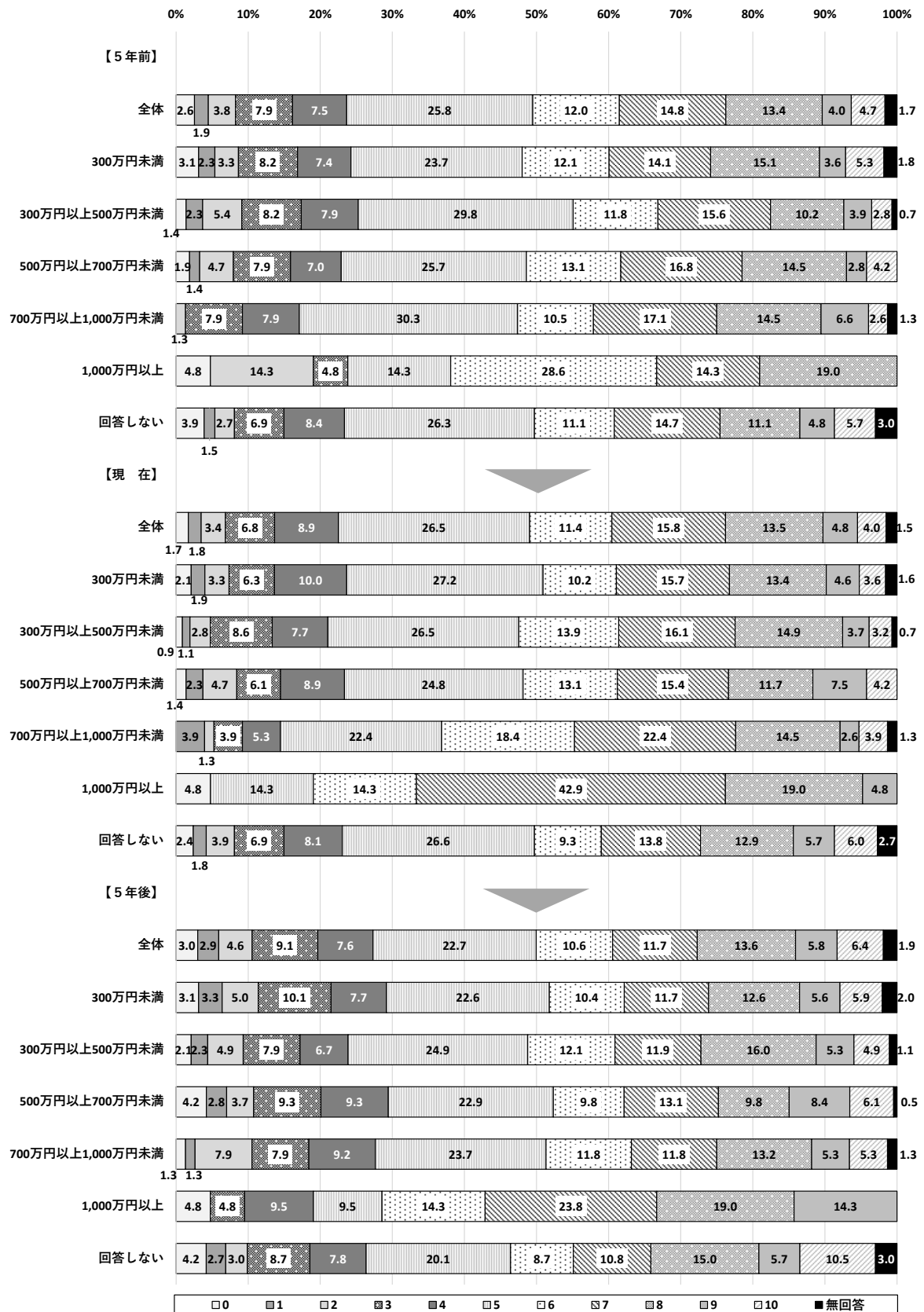
図表 13-6-3-1 最も理想的な生活に対する評価【平均】(年収別)



【割合】

「6以上」を見ると、「現在」では300万円以上で5割を超えているものの、「5年後」では5割を超えているのは「300万円以上500万円未満」だけとなっている。

図表 13-6-3-2 最も理想的な生活に対する評価【割合】(年収別)

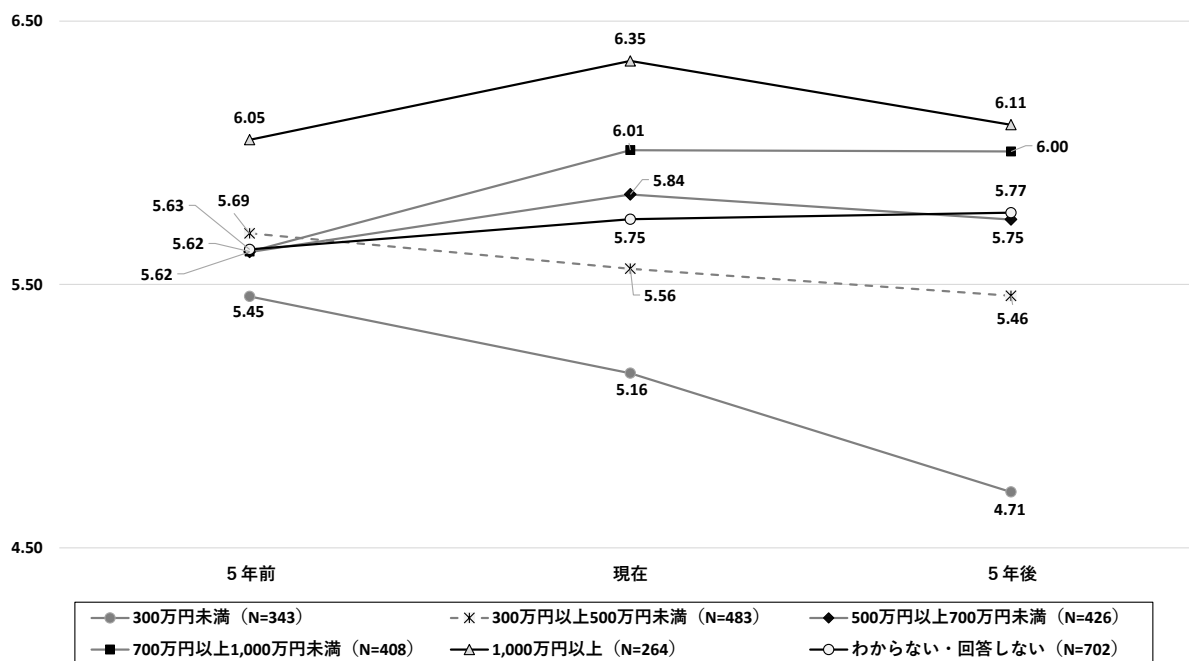


(6) - 4 世帯年収別

【平均】

「300万円未満」では「5年前」の5.45から下降傾向にあり、「5年後」には4.71となっている。また、「300万円以上500万円未満」でも「5年前」の5.69から緩やかに下降している。

図表 13-6-4-1 最も理想的な生活に対する評価【平均】(世帯年収別)

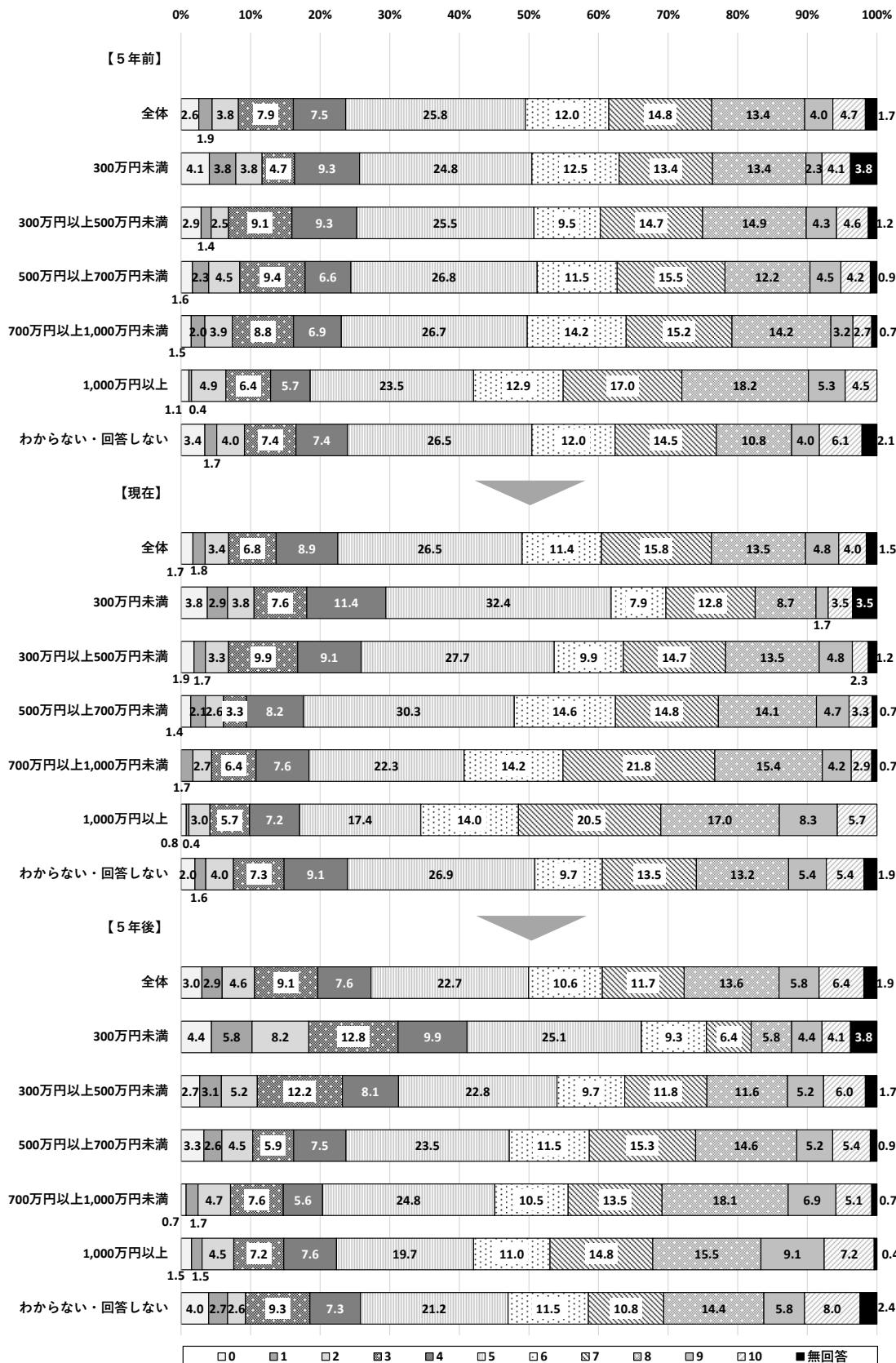


【割合】

すべての世帯年収で、「5年前」「現在」「5年後」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、「現在」では500万円以上で5割を超えており、「1,000万円以上」では65.5%を占めている。また、「5年後」でも500万円以上で5割を超え、「1,000万円以上」では57.6%を占めている。一方、「300万円未満」では「4以下」が41.1%を占め、「6以上」(30.0%)を11.1ポイント上回っている。

図表 13-6-4-2 最も理想的な生活に対する評価【割合】(世帯年収別)





## 2. その他の事項について

問 14. あなた自身の健康、余暇活動等について、お考えをお答えください。

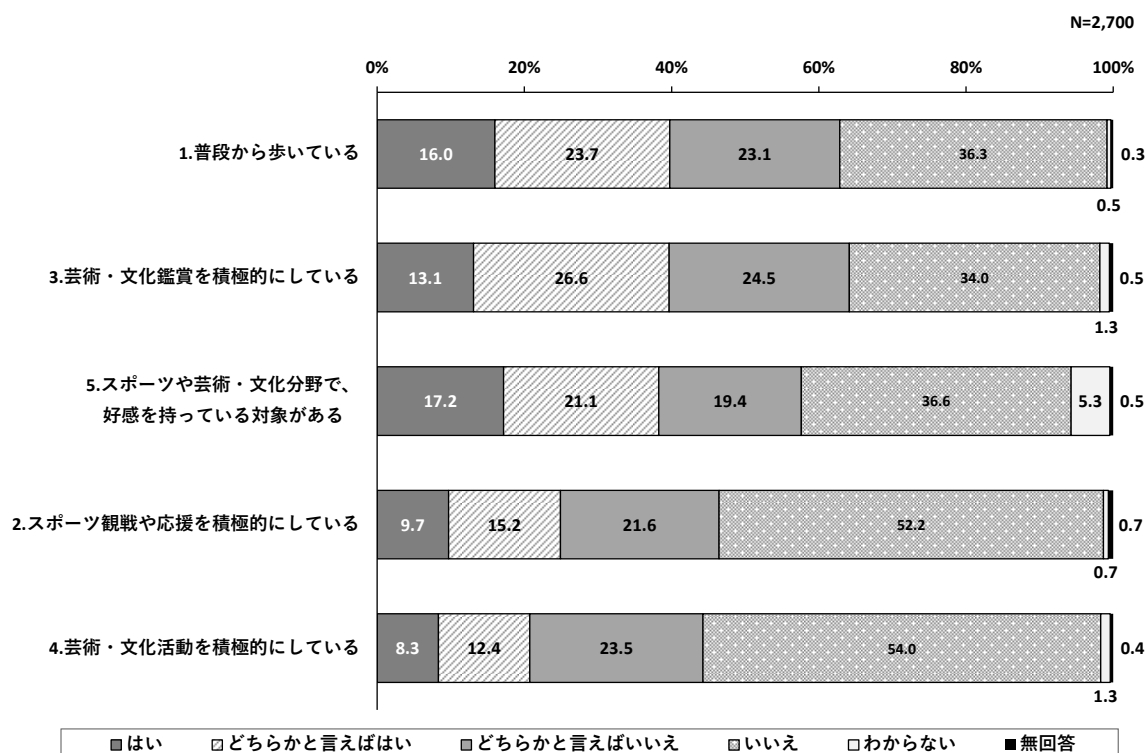
自身の健康、余暇活動等について、『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が高かったのは、「1.普段から歩いている」と「3.芸術・文化鑑賞を積極的にしている」が各39.7%と最も高く、次いで「5.スポーツや芸術・文化分野で、好感を持っている対象がある」が38.3%であった。「5.スポーツや芸術・文化分野で、好感を持っている対象がある」では「はい」が17.2%を占めている。

一方、『はい』が低かったのは、「4.芸術・文化活動を積極的にしている」が20.7%と最も低く、次いで「2.スポーツ観戦や応援を積極的にしている」が24.9%であった。

また、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が高かったのは、「4.芸術・文化活動を積極的にしている」が77.6%と最も高く、次いで「2.スポーツ観戦や応援を積極的にしている」が73.8%であった。

全体的に見て、スポーツ観戦や応援、芸術・文化活動などを積極的に行っている人はまだ少ないことがうかがえる。

図表 14 あなた自身の健康、余暇活動等について



問 14-① 普段から、歩くこと（ウォーキング）に取り組んでいますか。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 39.7%で、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は 59.4%と、『いいえ』の方が 19.7 ポイント高い。

(2) 年齢別

「15～19 歳」で『はい』が 53.4%を占めているものの、「30～39 歳」では 29.0%と、他の年代と比較して低くなっている。

(3) 性別

『はい』は「女性」よりも「男性」の方が 5.6 ポイント高い。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚していない」では『はい』が 44.1%と、他と比較して高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では『はい』が 43.1%と、「いる」よりも 5.3 ポイント高い。

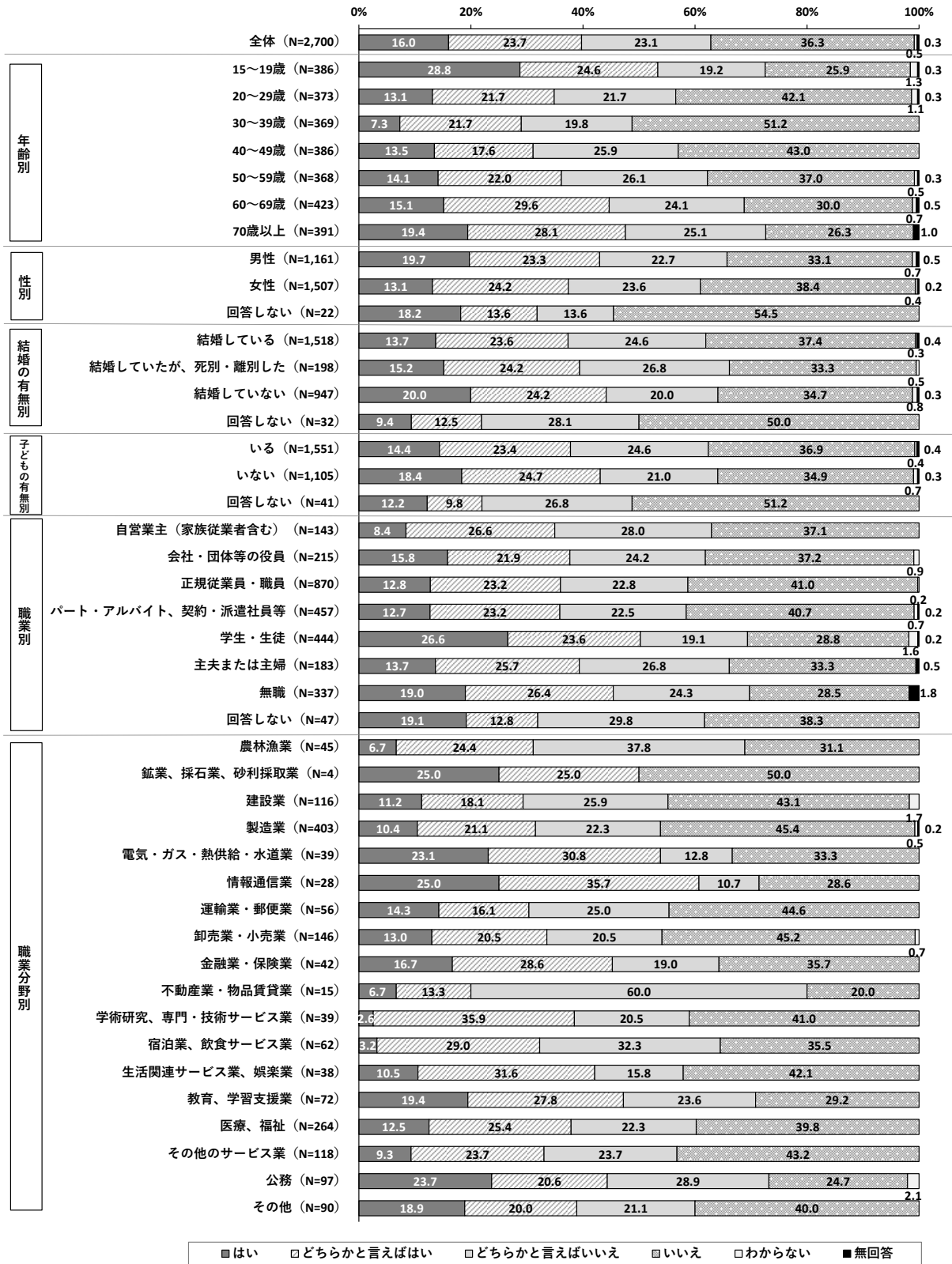
(5) - 1 職業別

「学生・生徒」では『はい』が 50.2%と、他の職業と比べて高い。

(5) - 2 職業分野別

「電気・ガス・熱供給・水道業」では『はい』が 53.8%と、他の職業分野と比較して高い。一方、「建設業」では『はい』が 29.3%と、他の職業分野と比較して若干低くなっている。

図表 14-1 普段から、歩くこと（ウォーキング）に取り組んでいますか。



問 14-② スポーツ観戦や応援を積極的に行っていますか。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 24.9%で、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は 73.8%と、『いいえ』の方が 48.9 ポイント高くなっている。

(2) 年齢別

「15～19 歳」で『はい』が 43.0%を占めているものの、他の年代では 2割台以下となっている。

(3) 性別

『はい』は「女性」よりも「男性」の方が 7.3 ポイント高い。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚していない」では『はい』が 29.9%と、他と比較して高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では『はい』が 28.9%と、「いる」よりも 6.6 ポイント高い。

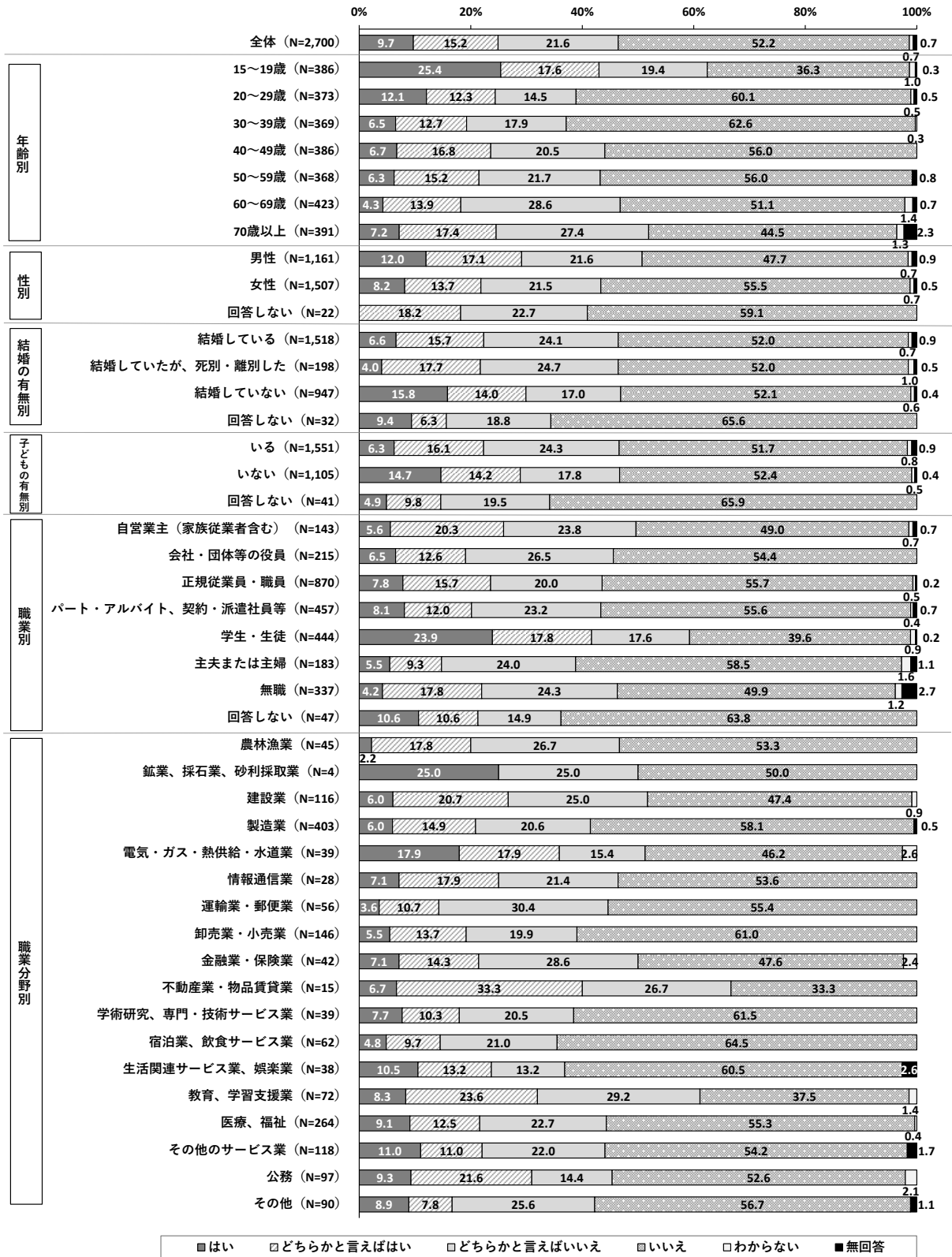
(5) - 1 職業別

「学生・生徒」では『はい』が 41.7%と、他の職業と比べて高い。一方、「主夫または主婦」では 14.8%と、他の職業と比べて低くなっている。

(5) - 2 職業分野別

「電気・ガス・熱供給・水道業」「教育、学習支援業」「公務」では『はい』が 3割を超えており、他の職業分野と比較して高い。一方、「運輸業・郵便業」「宿泊業、飲食サービス業」では『はい』が 14%台と、他の職業分野と比較して低くなっている。

図表 14-2 スポーツ観戦や応援を積極的に行っていますか。



■はい □どちらかと言えばはい □どちらかと言えはいえ □いいえ □わからない ■無回答

問14-③ 芸術・文化（美術、音楽、演劇・演芸、舞踊、生活文化、文芸、映画、メディア芸術、伝統芸能等）鑑賞を積極的に行っていますか。

（1）全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が39.7%で、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は58.5%と、『いいえ』の方が18.8ポイント高い。

（2）年齢別

20歳代以下で『はい』が5割を超えているが、他の年代では3割台となっている。

（3）性別

『はい』は「男性」よりも「女性」の方が10.1ポイント高い。

（4）-1 結婚の有無別

「結婚していない」では『はい』が52.1%と、他と比較して高い。

（4）-2 子どもの有無別

子どもが「いない」では『はい』が49.7%と、「いる」よりも16.8ポイント高い。

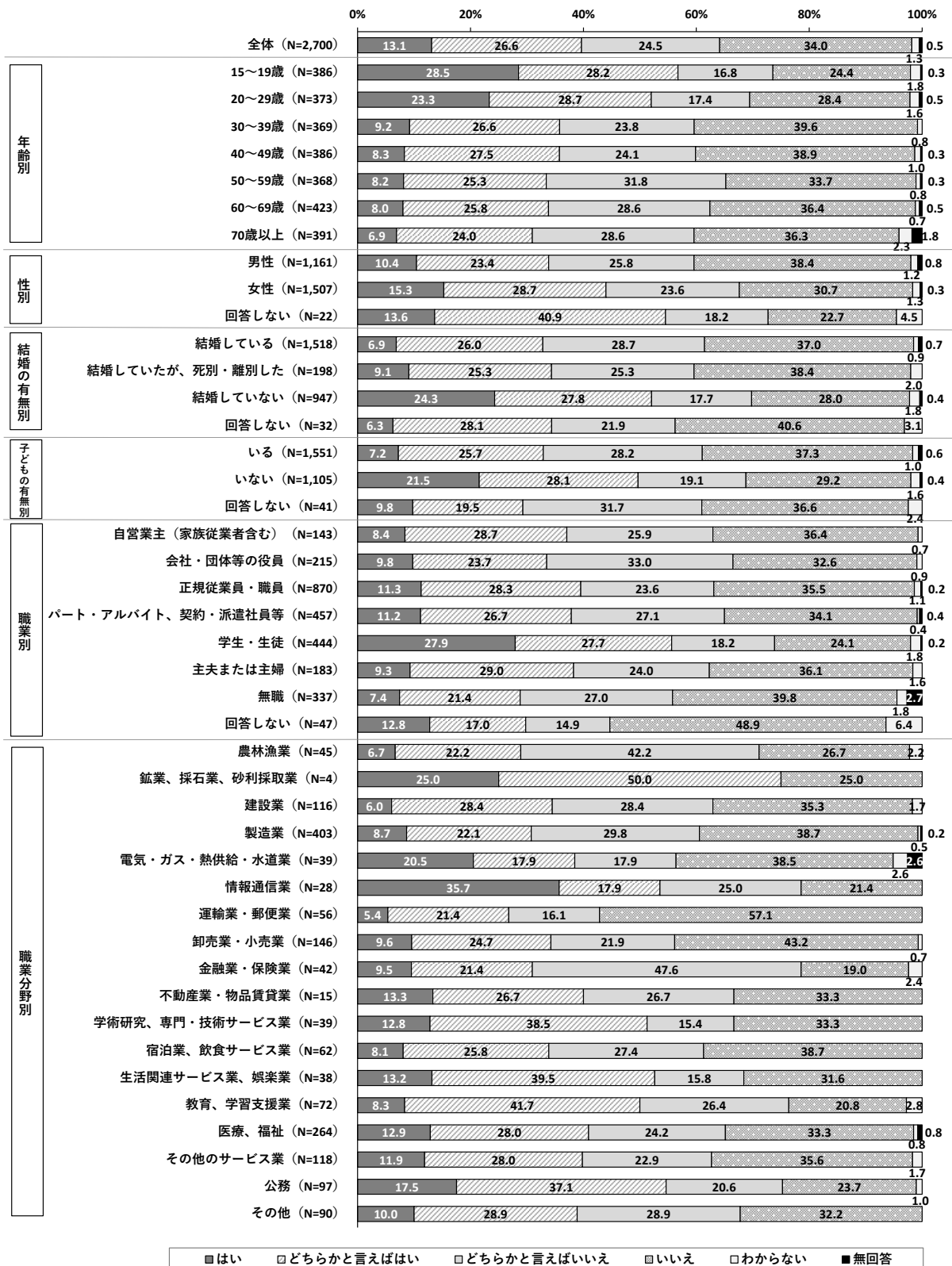
（5）-1 職業別

「学生・生徒」では『はい』が55.6%と、他の職業と比べて高く、一方、「無職」では28.8%と、他の職業と比べて低くなっている。

（5）-2 職業分野別

「学術研究、専門・技術サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援業」「公務」では『はい』が**5割**以上となっている。一方、「農林漁業」「運輸業・郵便業」では『はい』が**2割台**と、他の職業分野と比較して低くなっている。

図表 14-3 芸術・文化（美術、音楽、演劇・演芸、舞踊、生活文化、文芸、映画、メディア芸術、伝統芸能等）鑑賞を積極的に行っていますか。



問 14-④ 芸術・文化に関する活動（創作、演奏、出演、習い事、体験等）を積極的に行っていますか。

（１）全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 20.7%で、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は 77.6%と、『いいえ』の方が 56.9 ポイント高い。

（２）年齢別

「15～19 歳」で『はい』が 37.6%を占めているが、他の年代で低く、30 歳代以上では 1 割台となっている。

（３）性別

『はい』は「男性」よりも「女性」の方が 10.6 ポイント高い。

（４）－１ 結婚の有無別

「結婚していない」では『はい』が 28.5%と、他と比較して高い。

（４）－２ 子どもの有無別

子どもが「いない」では『はい』が 27.2%と、「いる」よりも 10.9 ポイント高い。

（５）－１ 職業別

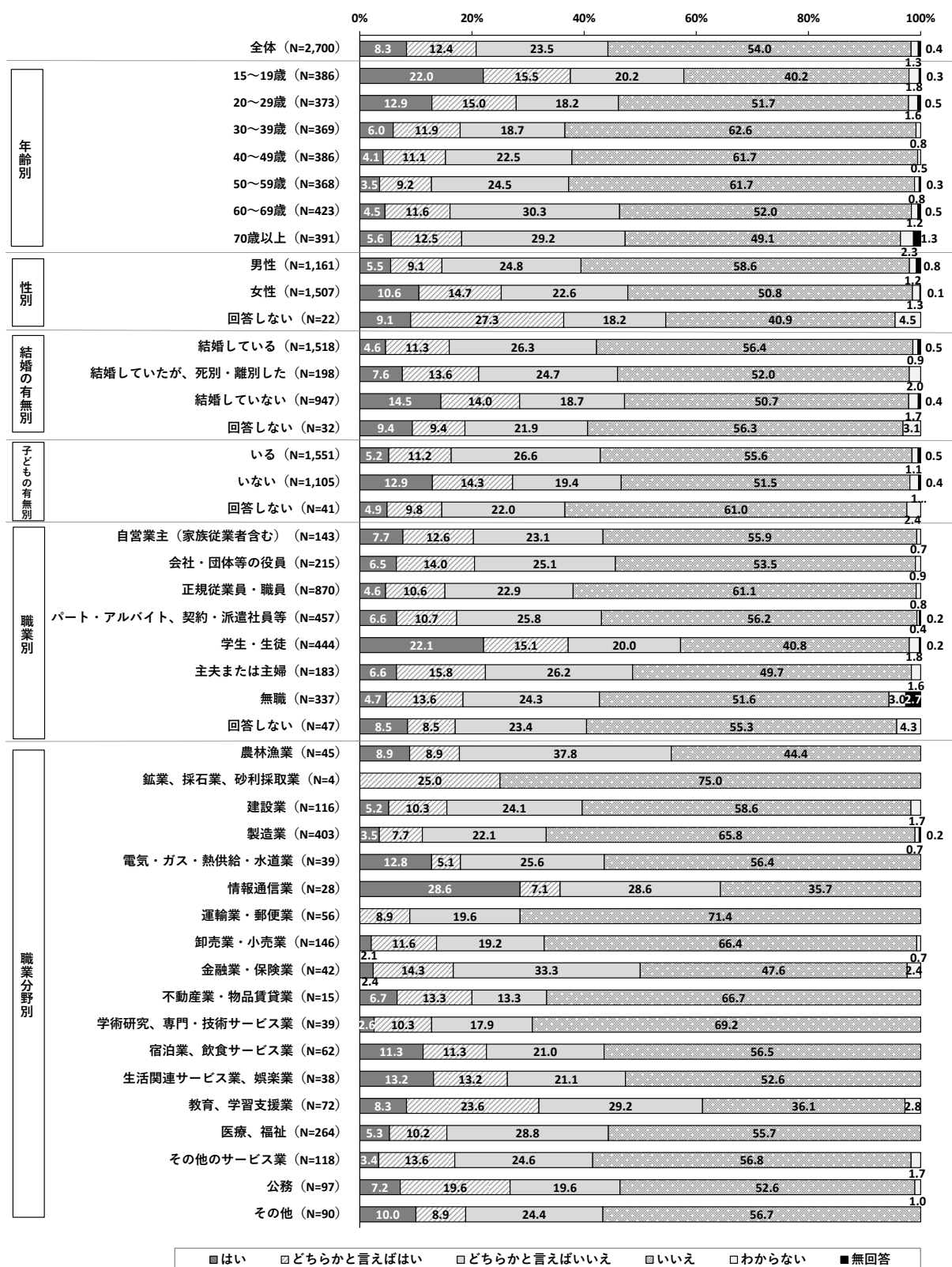
「学生・生徒」では『はい』が 37.2%と、他の職業と比べて高い。

（５）－２ 職業分野別

「教育、学習支援業」では『はい』が 31.9%と、他の職業分野よりも高くなっている。一方、「運輸業・郵便業」では『はい』が 8.9%と、他の職業分野と比較して低くなっている。



図表 14-4 芸術・文化に関する活動（創作、演奏、出演、習い事、体験等）を積極的に行っていますか。



問 14-⑤ スポーツや芸術・文化等の分野で、特に応援や支持している対象、人に薦めたいほど好感を持っている対象はありますか。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 38.3%で、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は 56.0%と、『いいえ』の方が 17.7 ポイント高い。

(2) 年齢別

20 歳代以下で『はい』が 4 割を超えており、「15～19 歳」では 58.5%と、他の年代よりも高くなっている。

(3) 性別

男女間であまり差は見られない。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚していない」では『はい』が 50.3%と、他と比較して高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では『はい』が 49.0%と、「いる」よりも 18.1 ポイント高い。

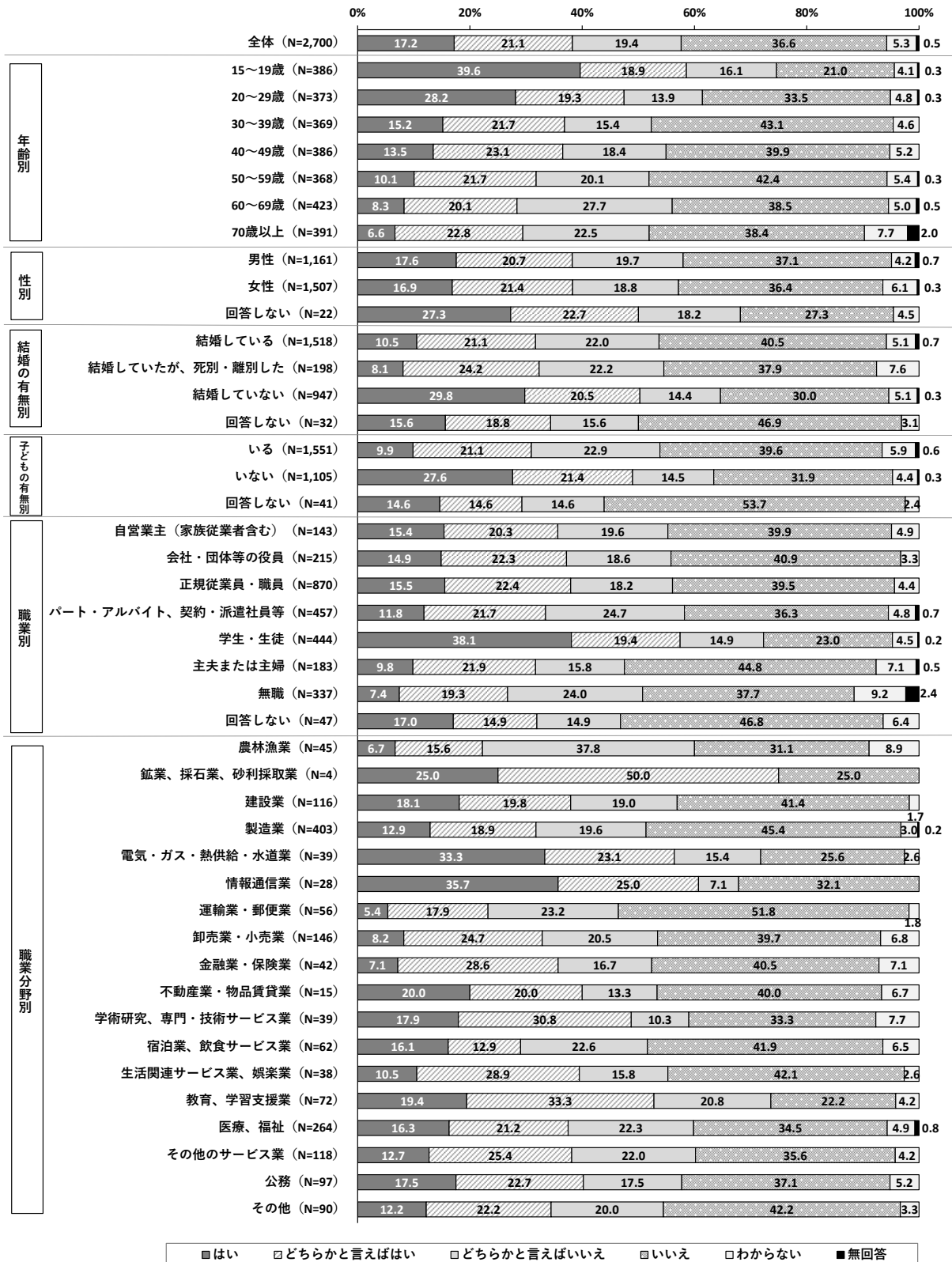
(5) - 1 職業別

「学生・生徒」では『はい』が 57.4%と、他の職業と比べて高く、一方、「無職」では 26.7%と、他の職業と比べて低くなっている。

(5) - 2 職業分野別

「電気・ガス・熱供給・水道業」「教育、学習支援業」では『はい』が 5 割を超えている。一方、「農林漁業」「運輸業・郵便業」「宿泊業、飲食サービス業」では『はい』が 2 割台と、他の職業分野と比較して低くなっている。

図表 14-5 スポーツや芸術・文化等の分野で、特に応援や支持している対象、人に薦めたいほど好感を持っている対象はありますか。



問 14-⑥ あなたは、日常生活の中で、意識的に取り組む運動やスポーツをどの程度行っていますか。あてはまるものを1つ選んでください。

(1) 全体

「全くしない」が31.4%と最も高く、次いで「週2～3日」が15.8%、「年に数日程度」が14.3%となっている。

(2) 年齢別

「15～19歳」では「週4日以上」が35.5%と最も高く、他の年代では「全くしない」が最も高くなっている。

(3) 性別

男女ともに「全くしない」が最も高いが、「男性」では25.7%と、「女性」よりも9.9ポイント低くなっている。

(4) - 1 結婚の有無別

すべてで「全くしない」が最も高いが、「結婚していない」では25.0%と、他よりも低くなっている。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いる」「いない」とともに「全くしない」が最も高いが、「いない」では25.2%と、「いる」よりも10.3ポイント低い。

(5) - 1 職業別

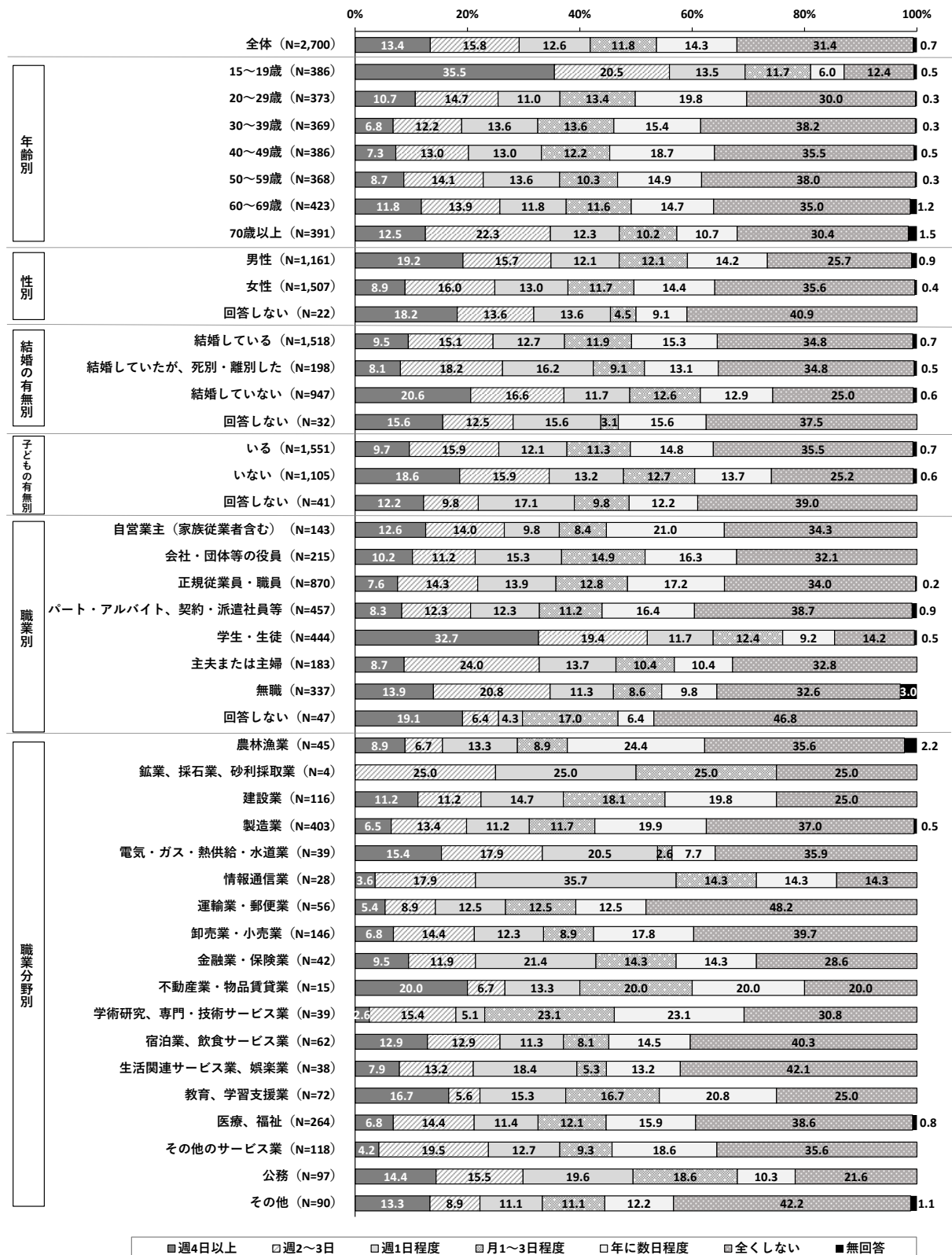
「学生・生徒」では「週4日以上」が32.7%と最も高く、他の職業では「全くしない」が最も高くなっている。

(5) - 2 職業分野別

「運輸業・郵便業」「宿泊業、飲食サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「その他」では「全くしない」が4割を超えている。

図表 14-6

あなたは、日常生活の中で、意識的に取り組む運動やスポーツをどの程度行っていますか。

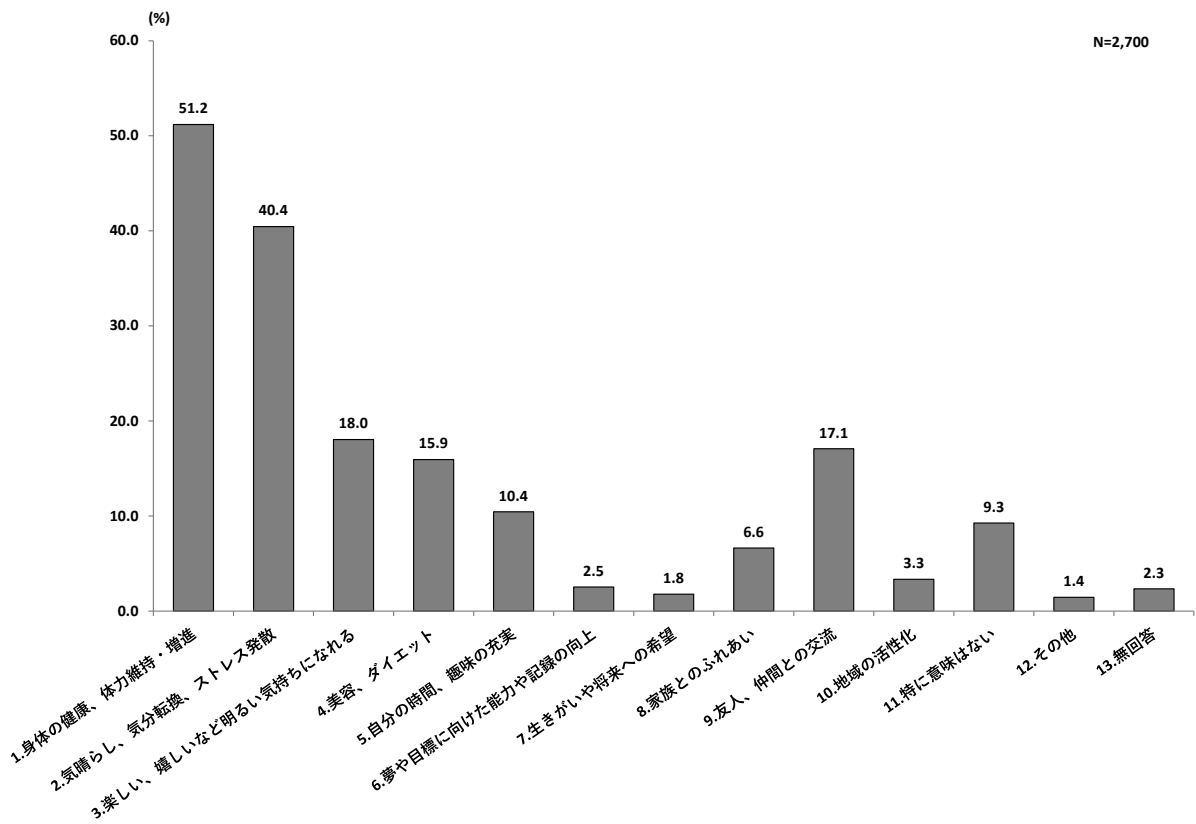


問 14-⑦ あなたにとって、運動やスポーツ（観戦や応援、大会等の運営への協力を含む）を行うことにどのような意味がありますか。次の中から2つまで選んでください。

(1) 全体

「身体の健康、体力維持・増進」が51.2%と最も高く、次いで「気晴らし、気分転換、ストレス発散」が40.4%、「楽しい、嬉しいなど明るい気持ちになれる」が18.0%となっている。

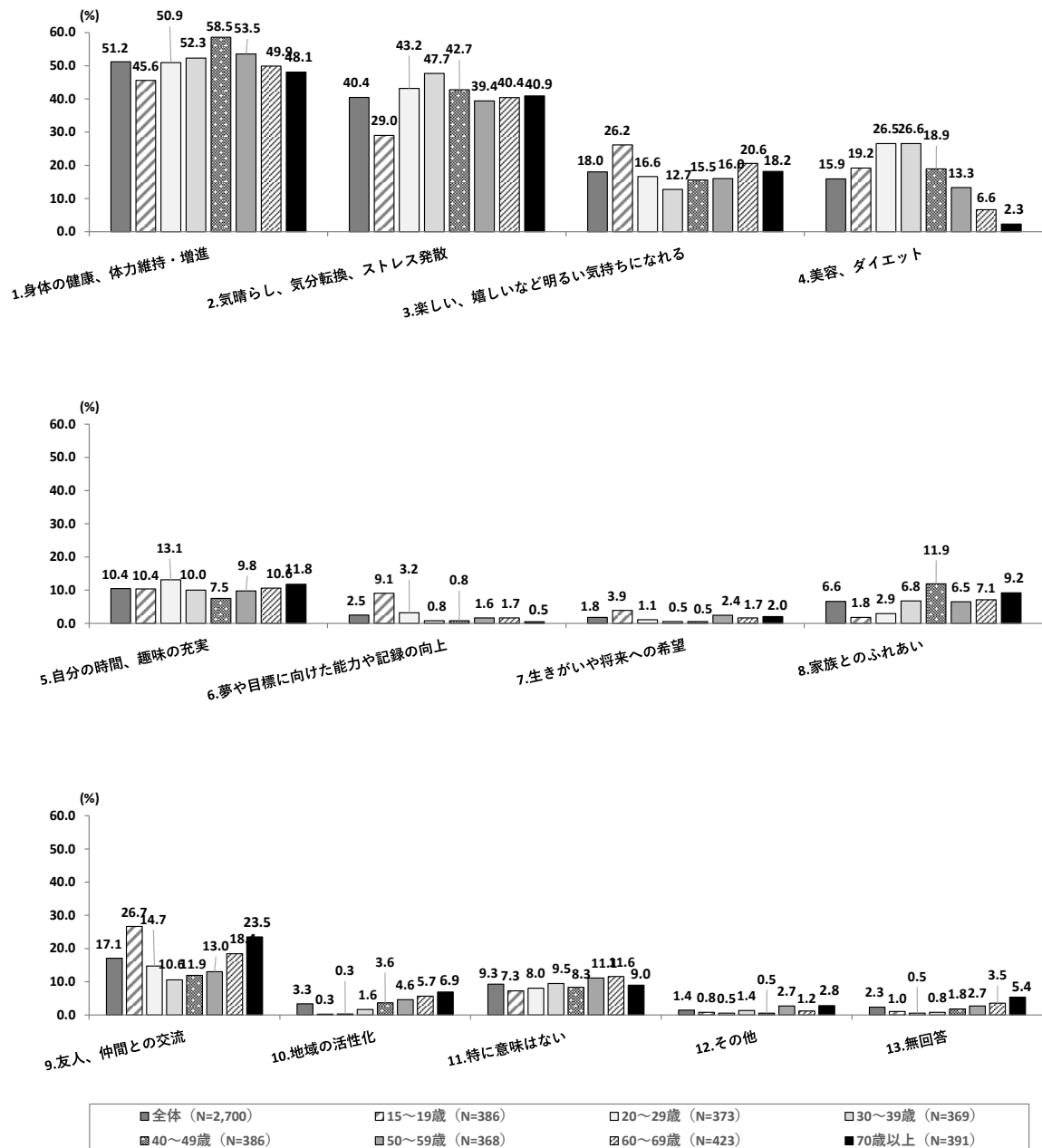
図表 14-7-1 あなたにとって、運動やスポーツ（観戦や応援、大会等の運営への協力を含む）を行うことにどのような意味がありますか。（全体）



## (2) 年齢別

すべての年代で「身体の健康、体力維持・増進」が最も高く、次いで「気晴らし、気分転換、ストレス発散」となっている。「15～19歳」と「70歳以上」では「友人、仲間との交流」が、「20～39歳」では「美容、ダイエット」が他の年代よりも高くなっている。

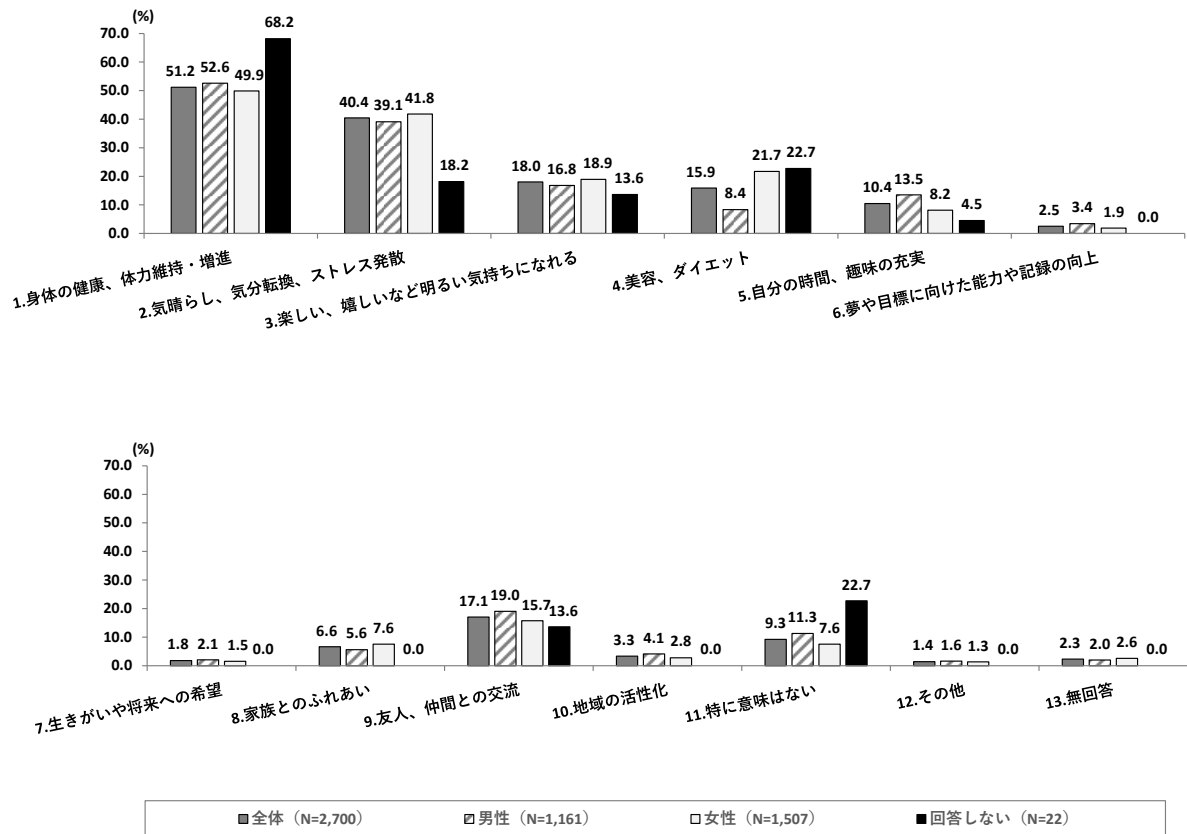
図表 14-7-2 あなたにとって、運動やスポーツ（観戦や応援、大会等の運営への協力を含む）を行うことにどのような意味がありますか。（年齢別）



### (3) 性別

男女ともに「身体の健康、体力維持・増進」が最も高く、次いで「気晴らし、気分転換、ストレス発散」が高くなっている。「女性」では「美容、ダイエット」が「男性」よりも13.3ポイント高い。

図表 14-7-3 あなたにとって、運動やスポーツ（観戦や応援、大会等の運営への協力を含む）を行うことにどのような意味がありますか。（性別）



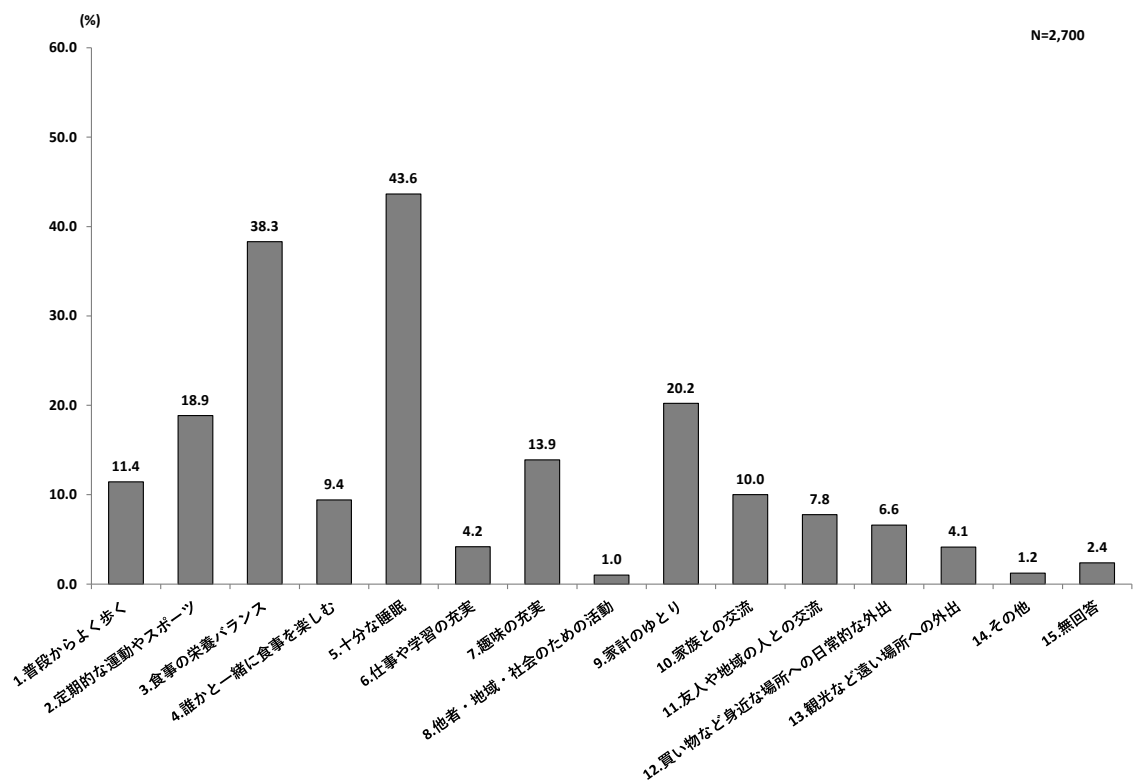


問 14-⑧ あなたが心身ともに健康であり続けるために、特に大切だと思うことを次の中から2つまで選んでください。

(1) 全体

「十分な睡眠」が43.6%と最も高く、次いで「食事の栄養バランス」が38.3%、「家計のゆとり」が20.2%となっている。

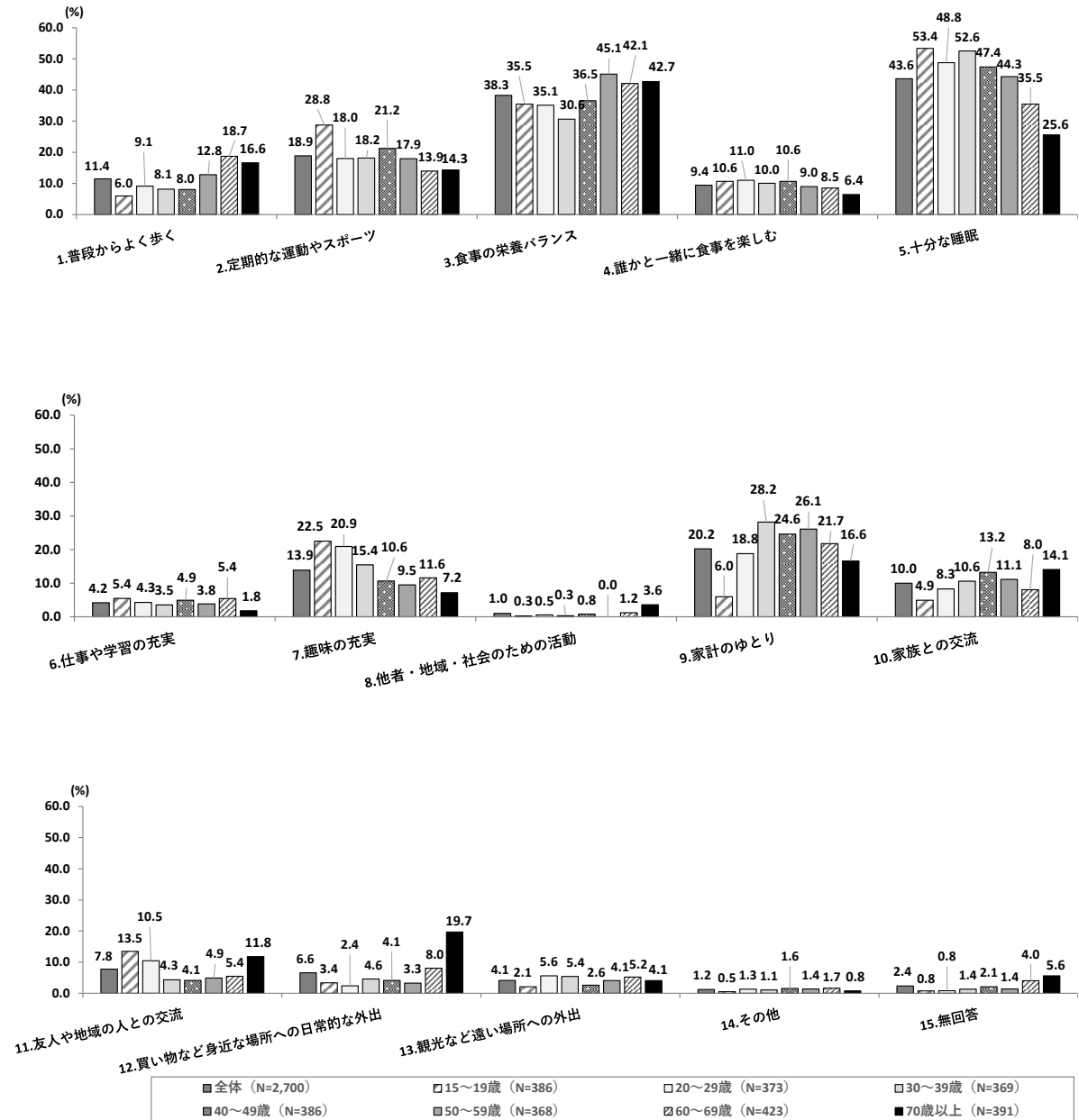
図表 14-8-1 あなたが心身ともに健康であり続けるために、特に大切だと思うこと。(全体)



## (2) 年齢別

40歳代以下では「十分な睡眠」が最も高く、50歳代以上では「食事の栄養バランス」が最も高くなっている。

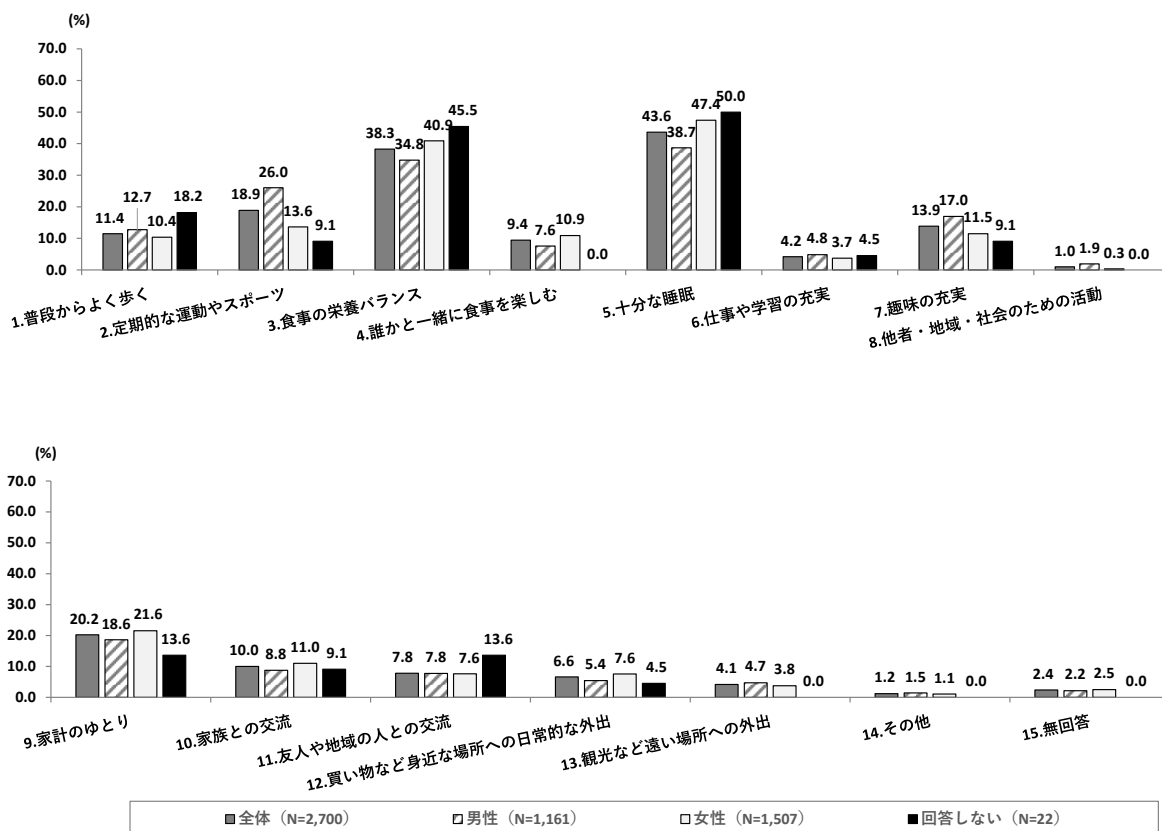
図表 14-8-2 あなたが心身ともに健康であり続けるために、特に大切だと思うこと。(年齢別)



### (3) 性別

男女ともに「十分な睡眠」が最も高く、次いで「食事の栄養バランス」となっている。「男性」では「定期的な運動やスポーツ」が「女性」よりも12.4%ポイント高い。

図表 14-8-3 あなたが心身ともに健康であり続けるために、特に大切だと思うこと。(性別)



問 14-⑨ 芸術・文化鑑賞のうち、コンサート（※）、美術館・博物館等の展覧会、舞台公演等の鑑賞は、あなたの余暇活動の充実のために大切なことだと思いますか。

※この設問ではポピュラー音楽や歌謡曲を除く、クラシック音楽、邦楽、声楽などを指します。

(1) 全体

『思う』（「とても思う」＋「やや思う」）が 57.5%で、一方、『思わない』（「あまり思わない」＋「全く思わない」）は 20.6%となっている。

(2) 年齢別

すべての年代で『思う』が5割を超えており、「15～19歳」と「60～69歳」では6割を超えている。

(3) 性別

『思う』は「男性」よりも「女性」の方が 16.4 ポイント高い。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚していない」では『思う』が 59.7%と、他と比較して若干高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では『思う』が 59.3%と、「いる」よりも 2.9 ポイント高い。

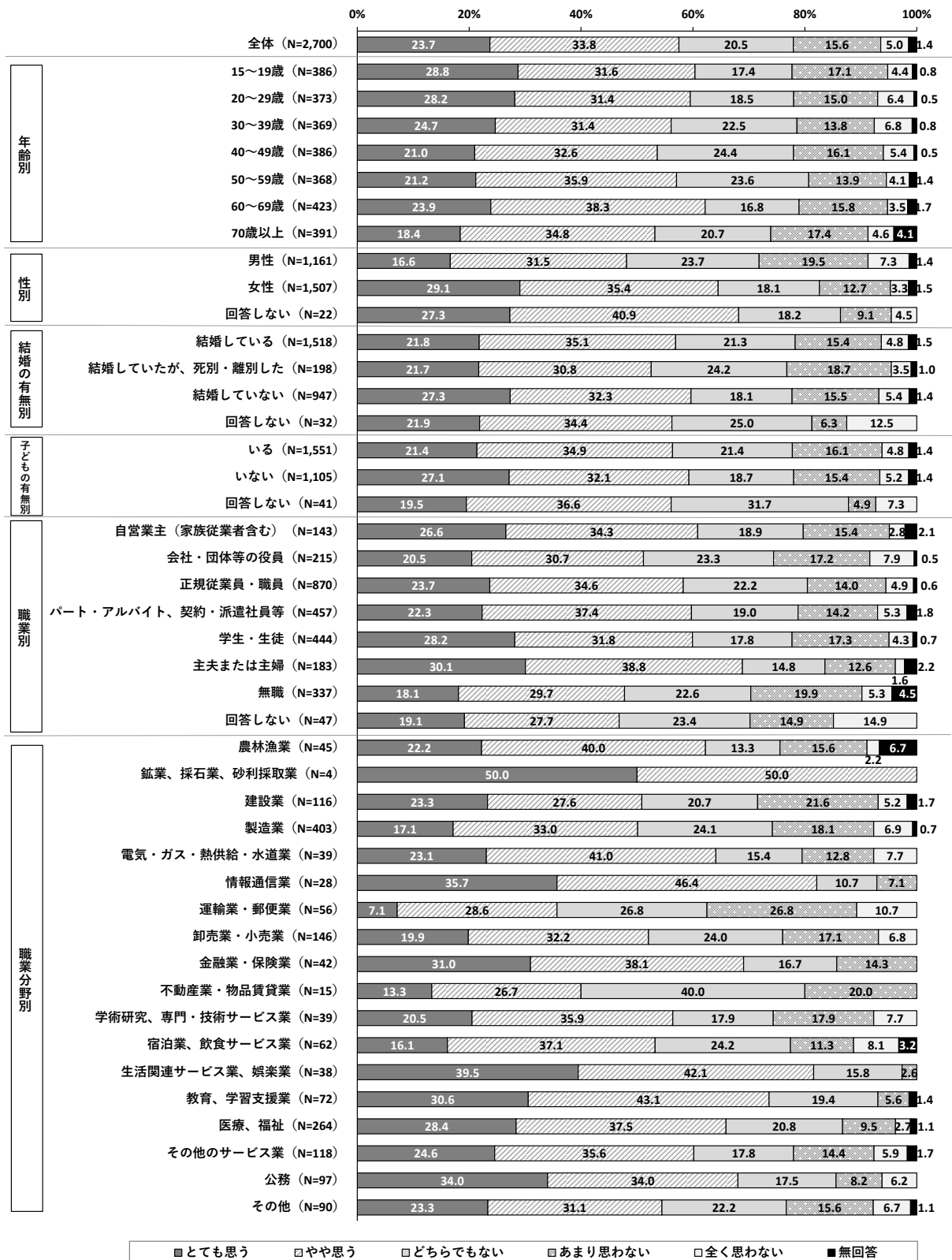
(5) - 1 職業別

「主夫または主婦」では『思う』が 68.9%と、他の職業と比べて高い。一方、「無職」は 47.8%と、他の職業と比べて低くなっている。

(5) - 2 職業分野別

「生活関連サービス業、娯楽業」では『思う』が 81.6%と、他の職業分野と比較して高い。一方、「運輸業・郵便業」では『思う』が 35.7%と、他の職業分野と比較して低い。

図表 14-9 芸術・文化鑑賞のうち、コンサート、美術館・博物館等の展覧会、舞台公演等の鑑賞は、あなたの余暇活動の充実のために大切なことだと思いますか。



問 15. 食について

① あなたは、普段、家族や友人等と一緒に食事をとることは週にどの程度ありますか。

(1) 全体

「毎日」が 67.7%と最も高く、次いで「週 5～6 日」が 9.6%となっている。

(2) 年齢別

すべての年代で「毎日」が最も高い。「15～19 歳」では 75.6%と他の年代よりも高く、「20～29 歳」では 54.2%と他の年代よりも低い。

(3) 性別

男女ともに「毎日」が最も高く、「女性」では 72.6%を占め、「男性」(61.8%)よりも 10.8 ポイント高い。

(4) - 1 結婚の有無別

すべての属性で「毎日」が最も高く、「結婚している」では 75.9%と他の属性よりも高い割合を占めている。一方、「結婚していたが、死別・離別した」では 43.4%と、他の属性よりも低い。

(4) - 2 子どもの有無別

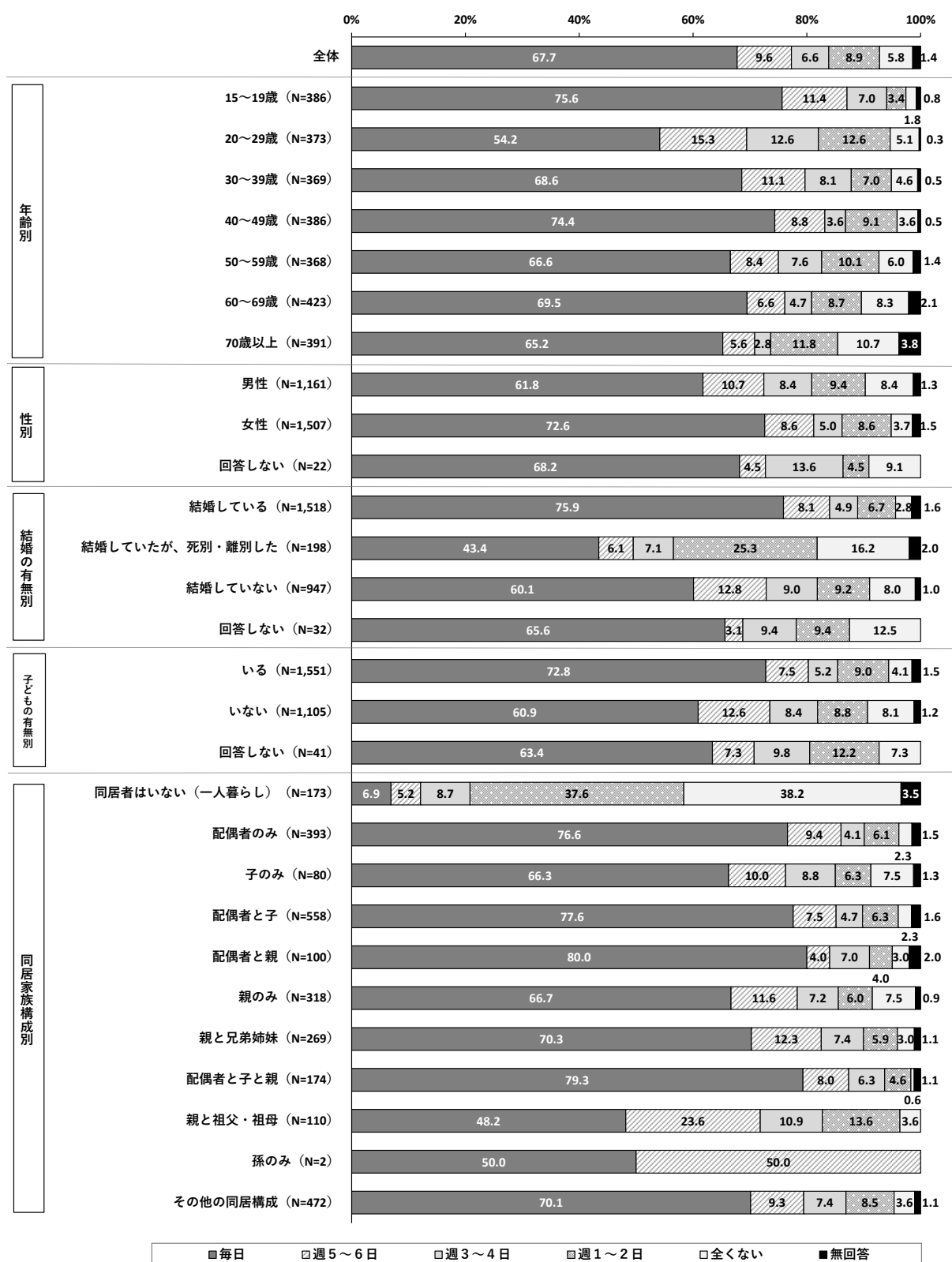
子どもの有無に関わらず「毎日」が最も高いが、「いる」では 72.8%を占め、「いない」(60.9%)よりも 11.9 ポイント高い。

(4) - 3 同居家族の構成別

「同居者はいない (一人暮らし)」を除くすべてで「毎日」が最も高いが、「親と祖父・祖母」では 48.2%と、他比較して低い。

図表 15-1

あなたは、普段、家族や友人等と一緒に食事をとることは週にどの程度ありますか。



■毎日 □週5~6日 □週3~4日 □週1~2日 □全くない ■無回答

問 15-② あなたは、普段、家で料理をすることは週にどの程度ありますか。

※この設問では、「料理」は、野菜や肉などの材料からご自身で作ることを指します。

(お店で買った総菜等を温め直すことは含みません。)

(1) 全体

「全くない」が32.7%と最も高く、次いで「毎日」が28.7%となっている。

(2) 年齢別

30歳代以下では「全くない」が最も高く、「15～19歳」では63.0%を占めている。40歳代以上では「毎日」が最も高くなっている。

(3) 性別

「男性」では「全くない」が54.2%と最も高く、女性では「毎日」が45.1%と最も高い。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚している」と「結婚していたが、死別・離別した」では「毎日」が最も高く、「結婚していない」では「全くない」が51.2%と最も高くなっている。

(4) - 2 子どもの有無別

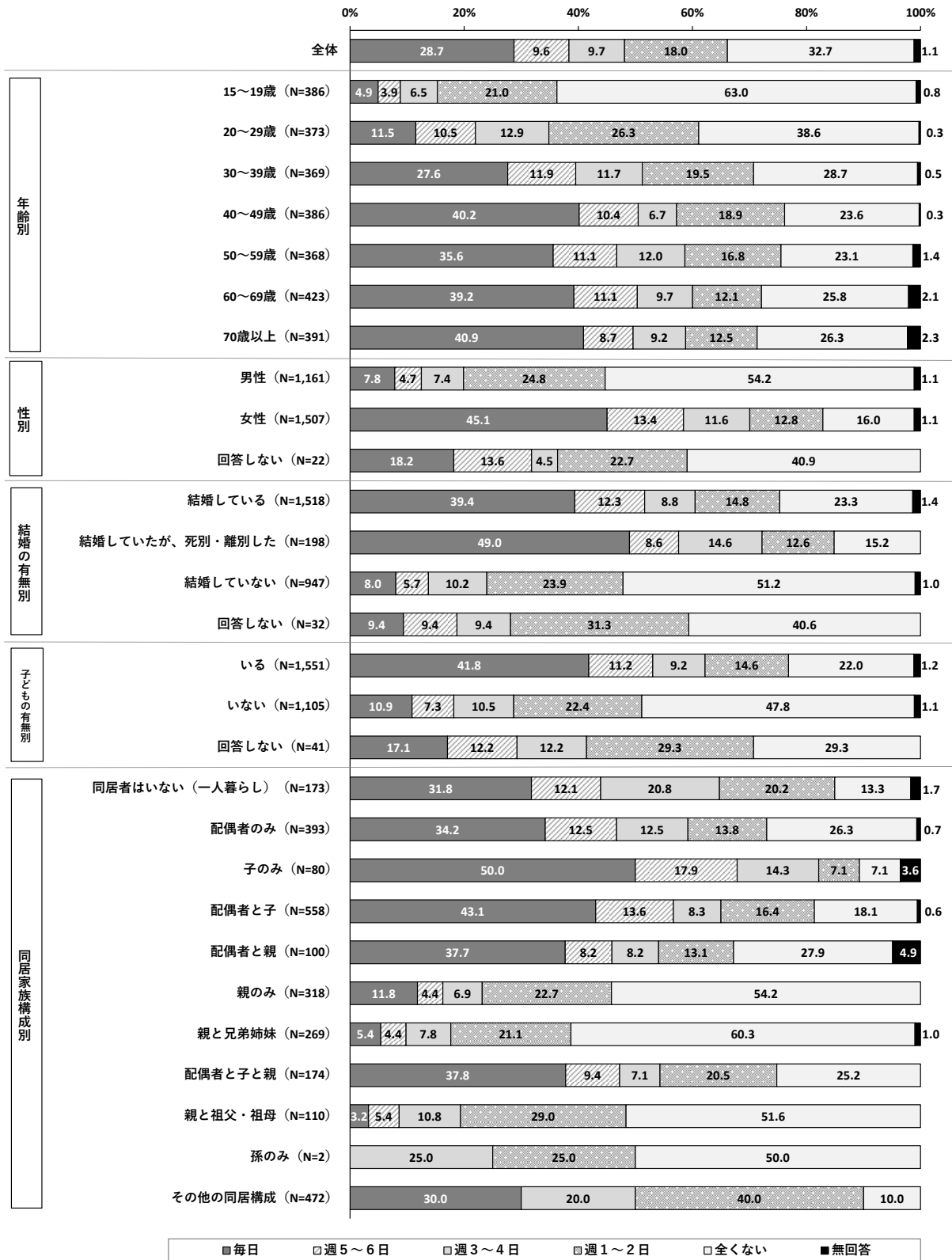
子どもが「いる」では「毎日」が41.8%と最も高く、「いない」では「全くない」が47.8%と最も高くなっている。

(4) - 3 同居家族の構成別

「同居者はいない(一人暮らし)」「配偶者のみ」「子のみ」「配偶者と子」「配偶者と親」「配偶者と子と親」では「毎日」が最も高い。一方、「親のみ」「親と兄弟姉妹」「親と祖父・祖母」では「全くない」が最も高い。



図表 15-2 あなたは、普段、家で料理をすることは週にどの程度ありますか。



問 16 地域とのつながり、交流について

① 家庭や職場・学校以外で自分と異なる世代の人と交流する機会がありますか。

(1) 全体

家庭や職場・学校以外で自分と異なる世代の人と交流する機会が『ある』(「とてもある」+「たまにある」)が44.7%で、一方、『ない』(「あまりない」+「全くない」)は52.0%となっている。

(2) 年齢別

「20～29歳」を除くすべての年代で『ある』が4割を超えている。「20～29歳」では39.9%と他の年代よりも若干低くなっている。

(3) 性別

男女間で大きな差は見られない。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚していない」では『ある』が39.5%と、他と比較して低い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いる」では『ある』が48.5%と、「いない」(40.0%)よりも8.5ポイント高い。

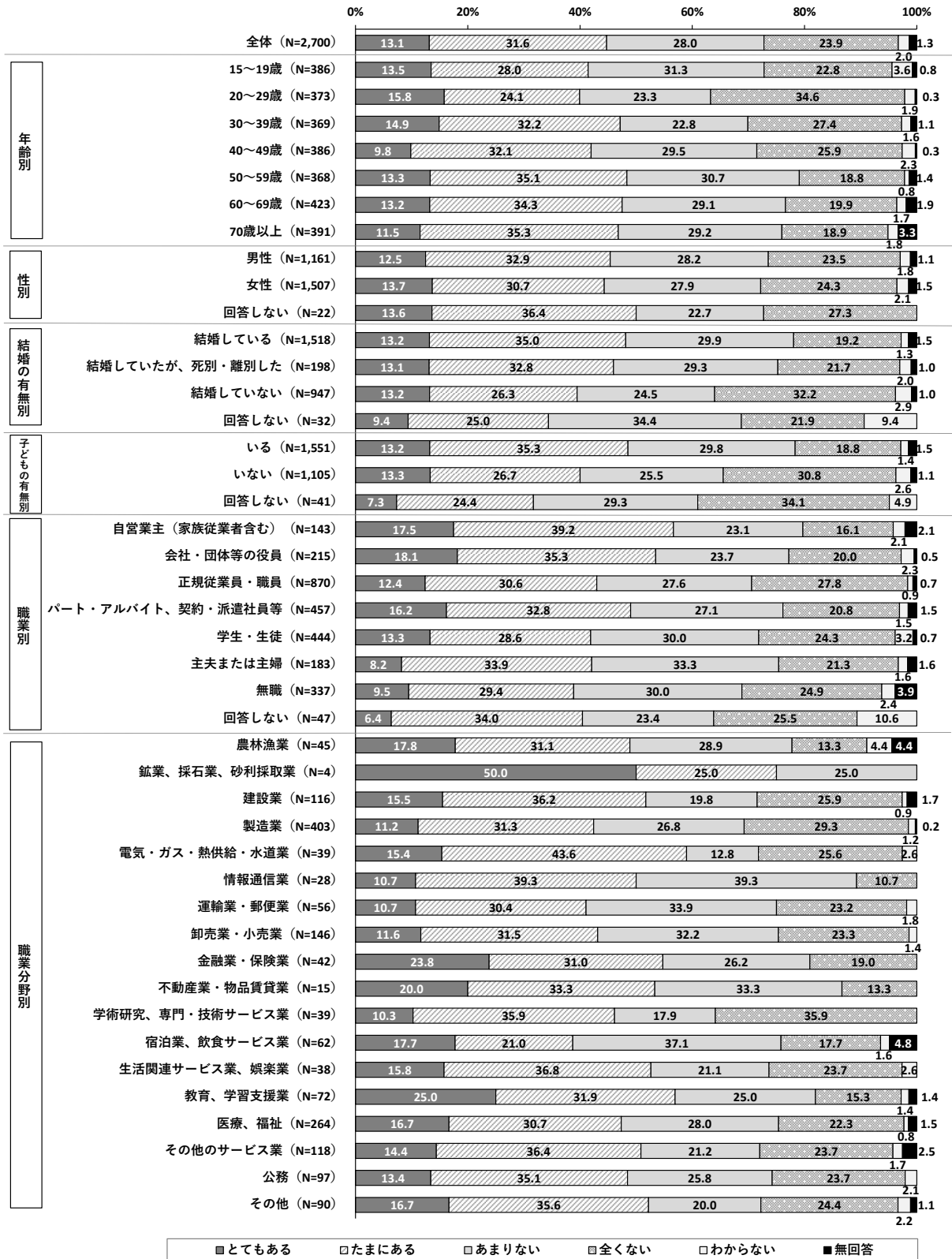
(5) - 1 職業別

「自営業主(家族従業者含む)」と「会社・団体等の役員」では『ある』が5割を超え、他の職業と比べて高い。一方、「無職」は38.9%と、他の職業と比べて若干低くなっている。

(5) - 2 職業分野別

「宿泊業、飲食サービス業」を除くすべての職業分野で『ある』が4割を超えている。「宿泊業、飲食サービス業」では『ある』が38.7%と、他の職業分野と比較して低い。

図表 16-1 家庭や職場・学校以外で自分と異なる世代の人と交流する機会がありますか。



問 16-②

家庭や職場・学校以外で自分と異なる世代の人と積極的に交流したいと思いますか。

(1) 全体

家庭や職場・学校以外で自分と異なる世代の人と積極的に交流したいと『思う』(「とても思う」+「やや思う」)が38.3%で、一方、『思わない』(「あまり思わない」+「全く思わない」)は29.8%となっている。

(2) 年齢別

20歳代以下で『思う』が4割を超えているが、30歳代以上では3割台となっている。

(3) 性別

男女間で大きな差は見られないが、『思う』は「女性」の方が「男性」よりも2.3ポイント高い。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚していない」では「とても思う」が11.2%と、他と比較して若干高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもの有無では大きな差は見られない。

(5) - 1 職業別

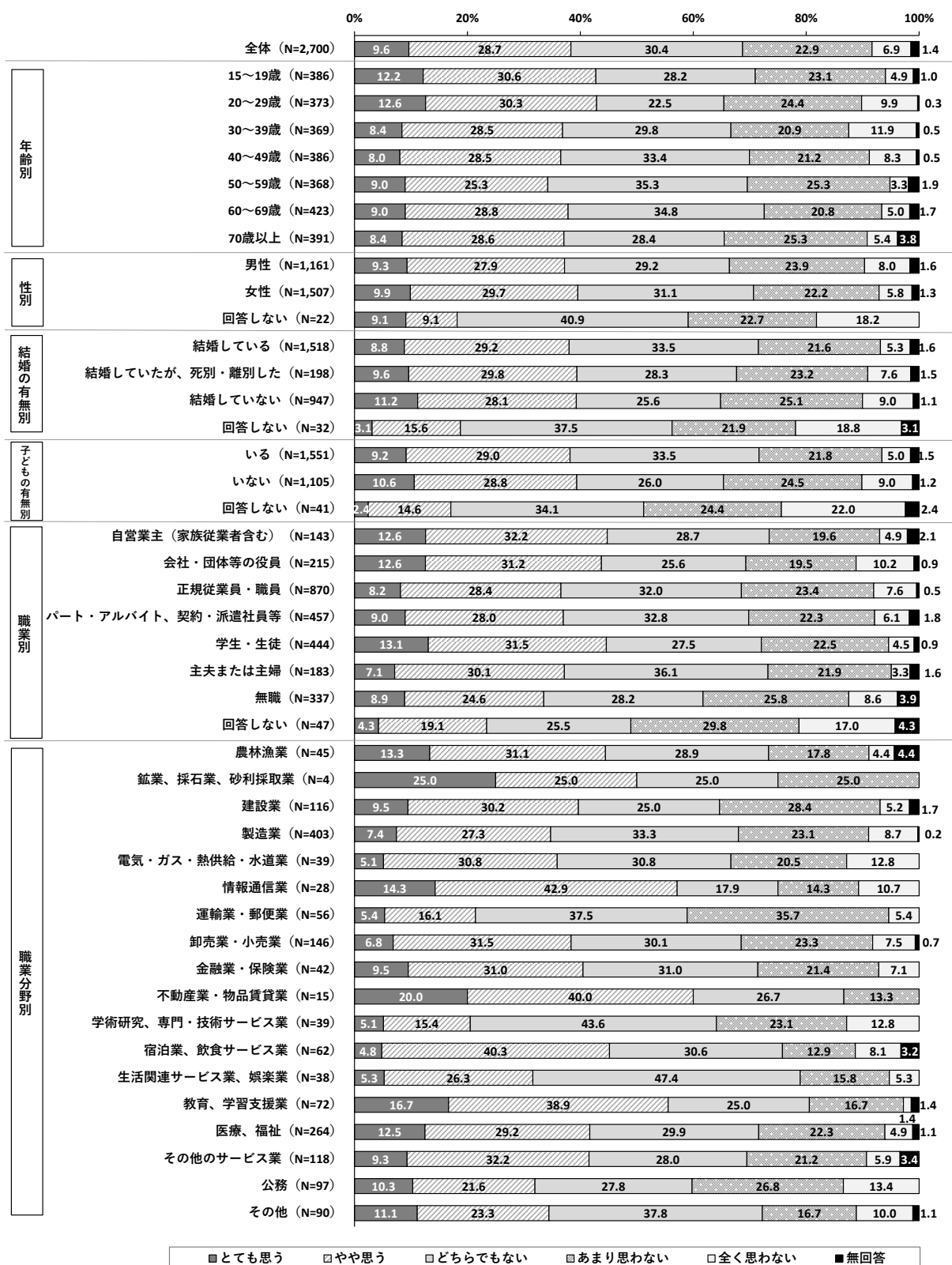
「自営業主(家族従業者含む)」「会社・団体等の役員」「学生・生徒」では『思う』が4割を超え、他の職業と比べて高い。一方、「無職」は33.5%と、他の職業と比べて若干低くなっている。

(5) - 2 職業分野別

「教育、学習支援業」では『思う』が55.6%と、他の職業分野と比較して高くなっている。一方、「運輸業・郵便業」と「学術研究、専門・技術サービス業」では『思う』が2割台と、他の職業分野と比較して低い。

図表 16-2

家庭や職場・学校以外で自分と異なる世代の人と積極的に交流したいと思いますか。



問 16-③

あなたは、農山漁村地域（※）で暮らしてみたい又は活動してみたいと思いますか。

※この設問で「農山漁村地域」は周辺に農地や森林が広がり農林漁業が盛んな地域を指します。

（１）全体

農山漁村地域で暮らしてみたい又は活動してみたいと『思う』（「とても思う」＋「やや思う」）が 14.2%で、一方、『思わない』（「あまり思わない」＋「全く思わない」）は 55.3%と、『思わない』の方が 41.1 ポイント高くなっている。

（２）年齢別

「15～19 歳」では『思う』が 21.8%と、他の年代よりも若干高くなっている。一方、「70 歳以上」では『思う』が 8.7%と、他の年代よりも低い。

（３）性別

『思う』は「女性」よりも「男性」の方が 5.9 ポイント高い。

（４）－１ 結婚の有無別

「結婚していない」では『思う』が 17.8%と、他と比較して若干高い。

（４）－２ 子どもの有無別

子どもが「いない」では『思う』が 18.3%と、「いる」（11.5%）よりも 6.8 ポイント高い。

（５）－１ 職業別

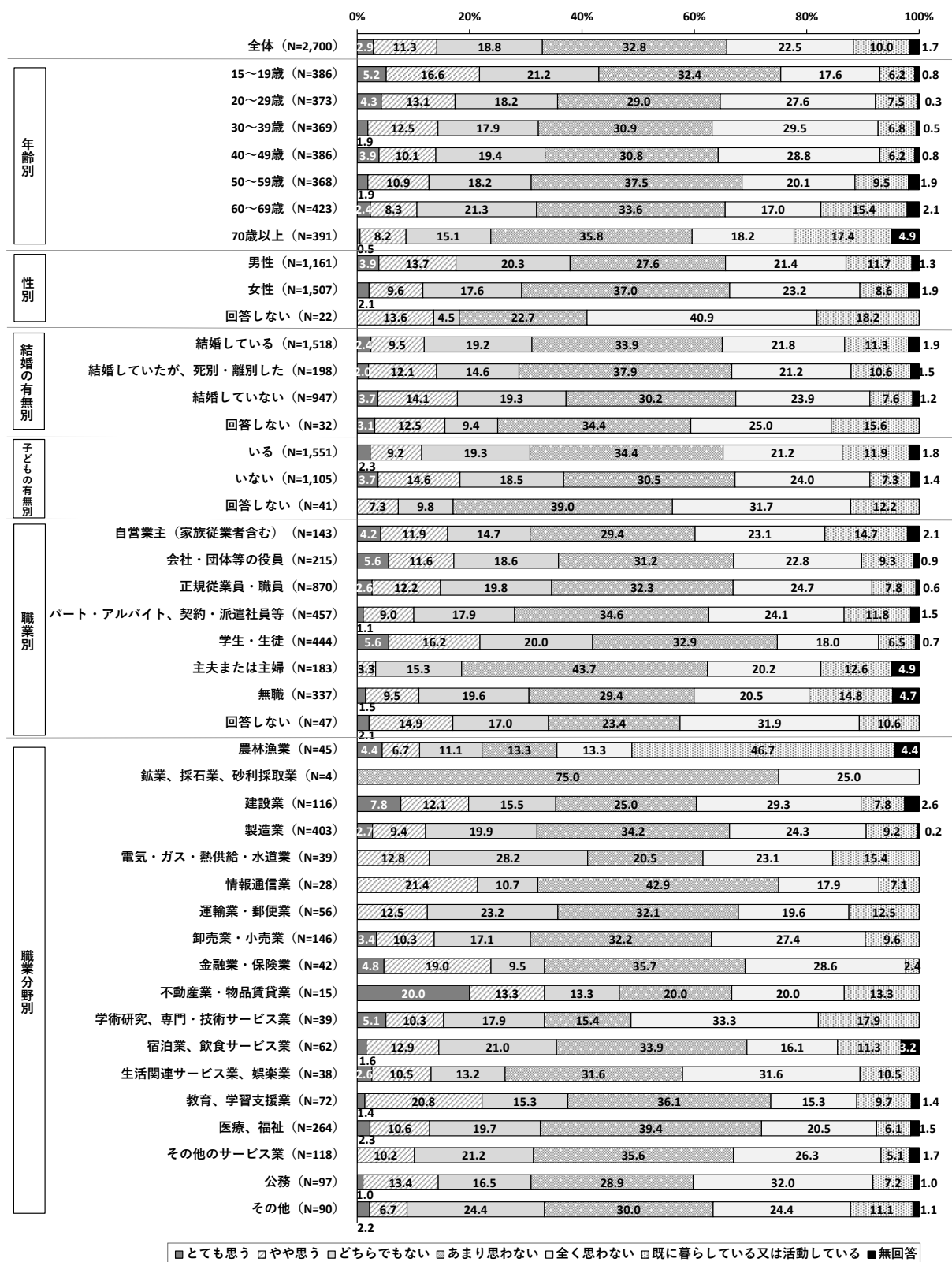
「学生・生徒」では『思う』が 21.8%と、他の職業と比べて若干高い。一方、「主夫または主婦」は 3.3%と、他の職業と比べて低い。

（５）－２ 職業分野別

「金融業・保険業」と「教育、学習支援業」では『思う』が 2 割台と、他の職業分野と比較して若干高い。

図表 16-3

あなたは、農山漁村地域で暮らしてみたい又は活動してみたいと思いますか。



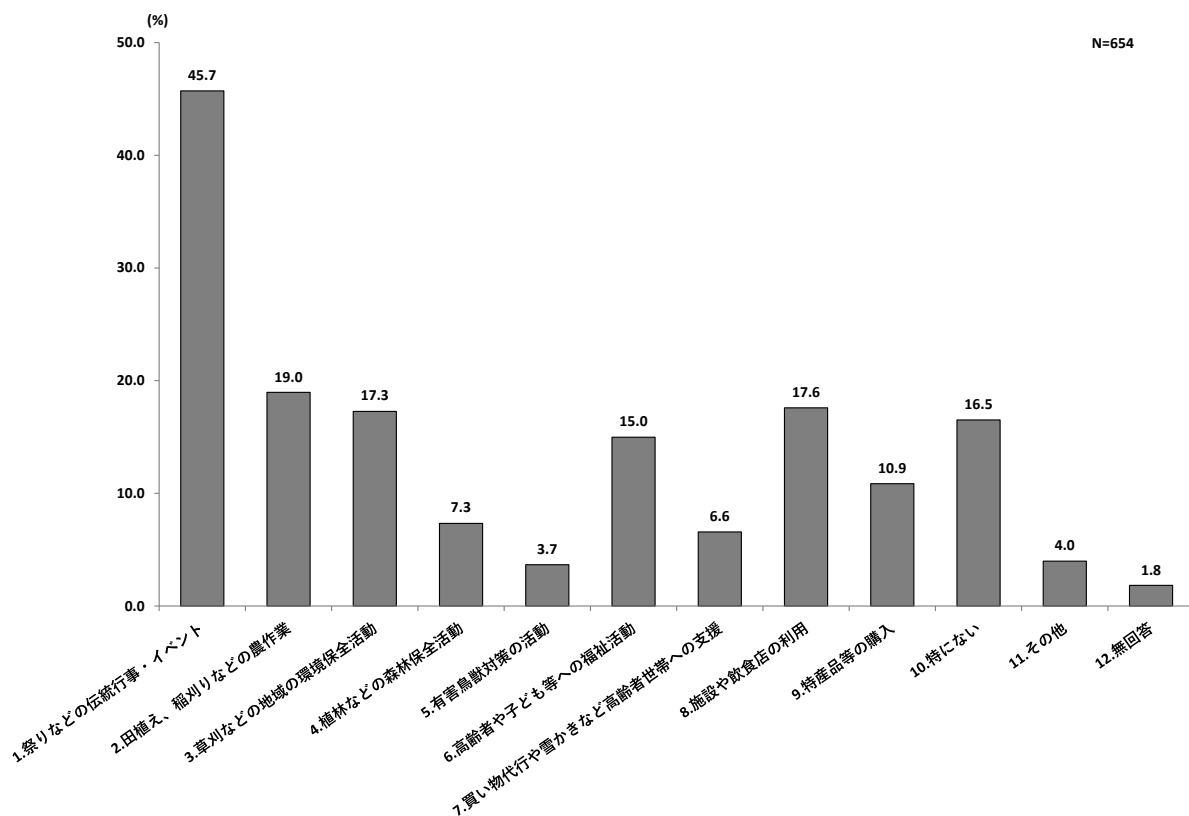
問 16-④ ③で1、2、6に○をつけられた方のみお答えください。

あなたが農山漁村地域で、生きがいや地域・人との繋がりを実感する（したい）活動はありますか。次の中から2つまで選んでください。

(1) 全体

「祭りなどの伝統行事・イベント」が45.7%と最も高く、次いで「田植え、稲刈りなどの農作業」(19.0%)、「施設や飲食店の利用」(17.6%)、「草刈などの地域の環境保全活動」(17.3%)の順となっている。

図表 16-4-1 あなたが農山漁村地域で、生きがいや地域・人との繋がりを実感する（したい）活動はありますか。(全体)

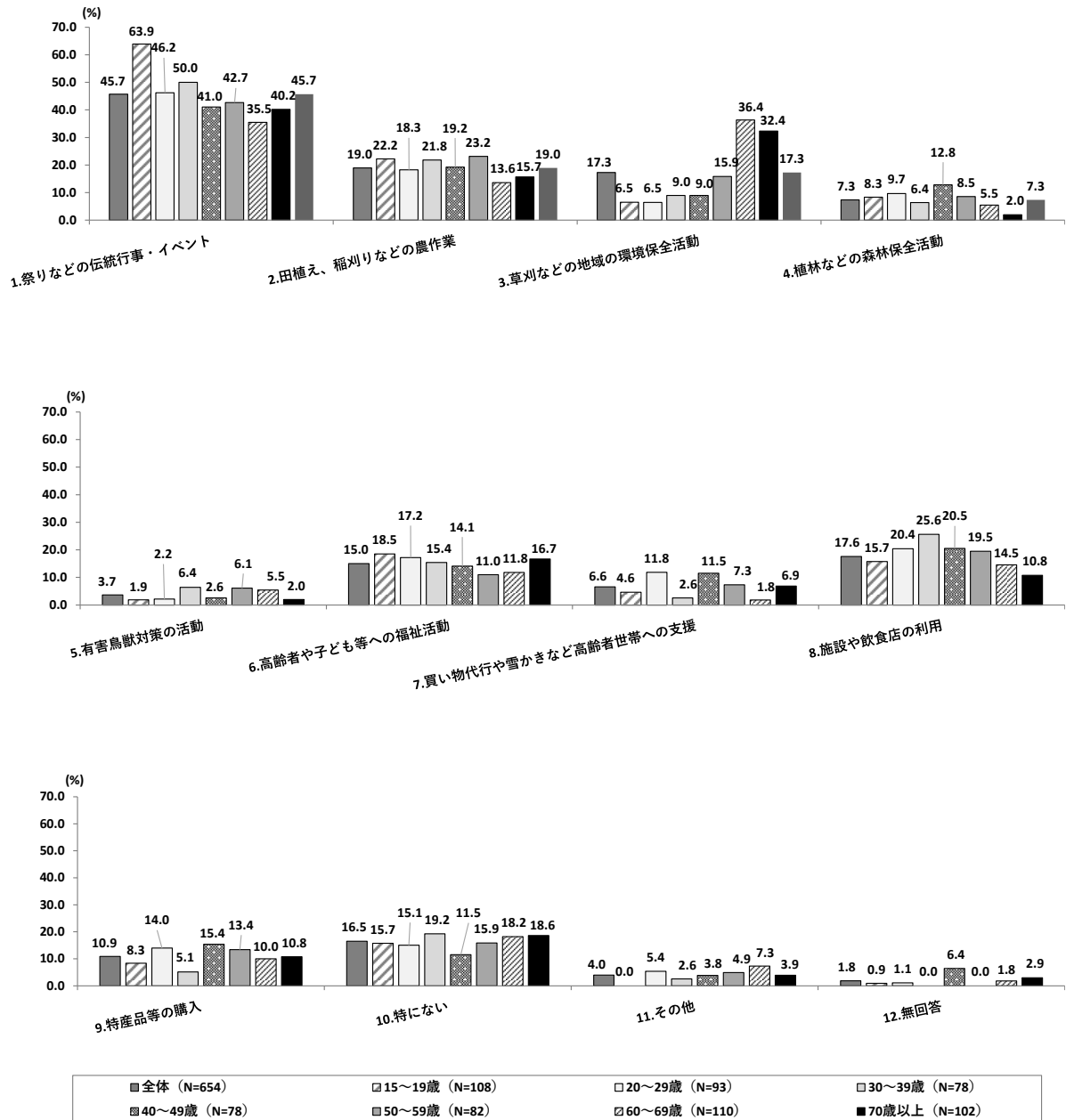




## (2) 年齢別

「60～69歳」を除くすべての年代で「祭りなどの伝統行事・イベント」が最も高く、「60～69歳」では「草刈などの地域の環境保全活動」が36.4%と最も高くなっている。「15～19歳」では「祭りなどの伝統行事・イベント」が63.9%と、他の年代よりも高い。

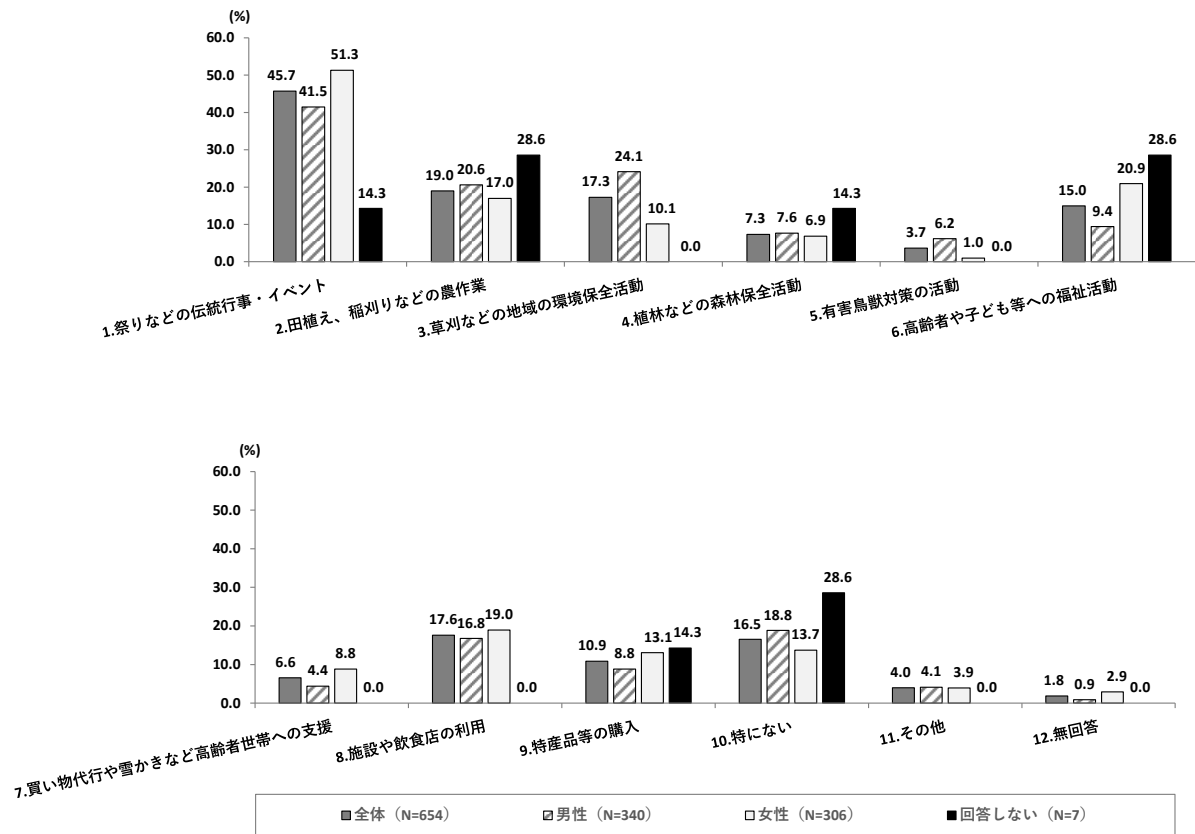
図表 16-4-2 あなたが農山漁村地域で、生きがいや地域・人との繋がりを実感する(したい)活動はありますか。(年齢別)



### (3) 性別

男女ともに「祭りなどの伝統行事・イベント」が最も高く、次いで、「男性」では「草刈などの地域の環境保全活動」(24.1%)、「女性」では「高齢者や子ども等への福祉活動」(20.9%)となっている。

図表 16-4-3 あなたが農山漁村地域で、生きがいや地域・人との繋がりを実感する(したい)活動はありますか。(性別)



問 17 地域や住まいの安全・安心について

①あなたが生活する地域に、防犯や防災、事故防止上不安な箇所があると感じていますか。

(1) 全体

生活する地域に、防犯や防災、事故防止上不安な箇所があると『感じる』（「とても感じる」＋「やや感じる」）が46.1%で、一方、『感じない』（「あまり感じない」＋「全く感じない」）は31.0%と、『感じる』の方が15.1ポイント高くなっている。

(2) 年齢別

「30～39歳」と「40～49歳」では『感じる』が5割を超え、他の年代よりも若干高くなっている。一方、「15～19歳」では『感じる』が36.8%と、他の年代よりも低い。

(3) 性別

男女間で大きな差は見られないが、「男性」では「とても感じる」が10.3%と「女性」よりも2.5ポイント高い。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚している」では『感じる』が49.2%と、他と比較して若干高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いる」では『感じる』が49.4%と、「いない」（41.4%）よりも8.0ポイント高い。

(5) - 1 職業別

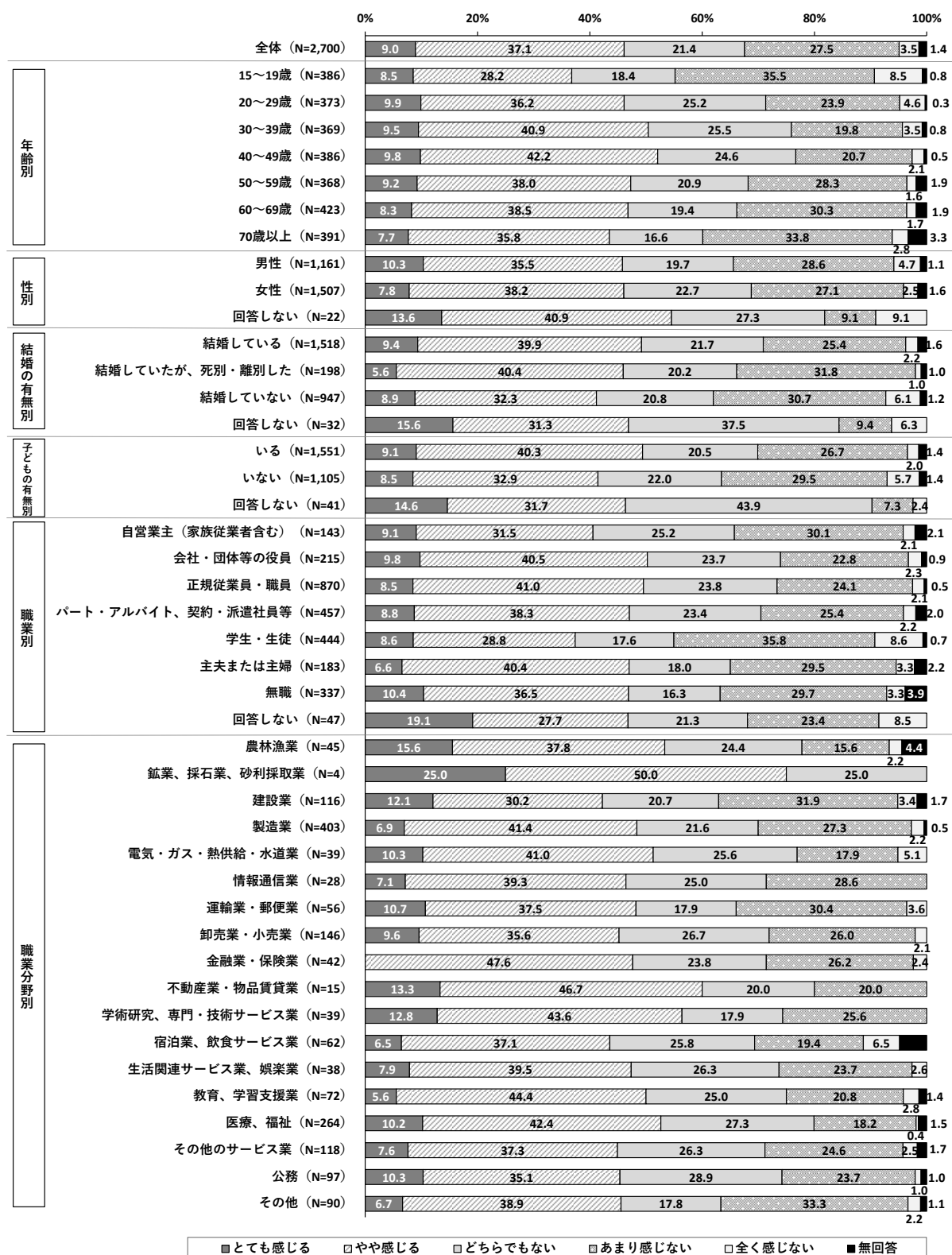
「会社・団体等の役員」では『感じる』が50.2%と、他の職業と比べて若干高い。一方、「学生・生徒」では37.4%と、他の職業と比べて低い。

(5) - 2 職業分野別

「農林漁業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「学術研究、専門・技術サービス業」「教育、学習支援業」「医療、福祉」では『感じる』が5割以上となっており、他の職業分野と比較して若干高い。

図表 17-1

あなたが生活する地域に、防犯や防災、事故防止上不安な箇所がありますか。



問 17-② あなた自身や周りの人の安全・安心の実感向上のため、地域での見守りや防犯・防災活動等の取組みを積極的に実施したいと思いますか。

(1) 全体

自身や周りの人の安全・安心の実感向上のため、地域での見守りや防犯・防災活動等の取組みを積極的に実施したいと『思う』(「とても思う」+「やや思う」)が35.4%で、一方、『思わない』(「あまり思わない」+「全く思わない」)は25.3%と、『思う』の方が10.1ポイント高くなっている。

(2) 年齢別

「15～19歳」と「70歳以上」では『思う』が4割を超え、他の年代よりも高い。

(3) 性別

男女間で大きな差は見られない。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚していたが、死別・離別した」では『思う』が39.9%と、他と比較して若干高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いる」では『思う』が36.9%と、「いない」(33.7%)よりも3.2ポイント高い。

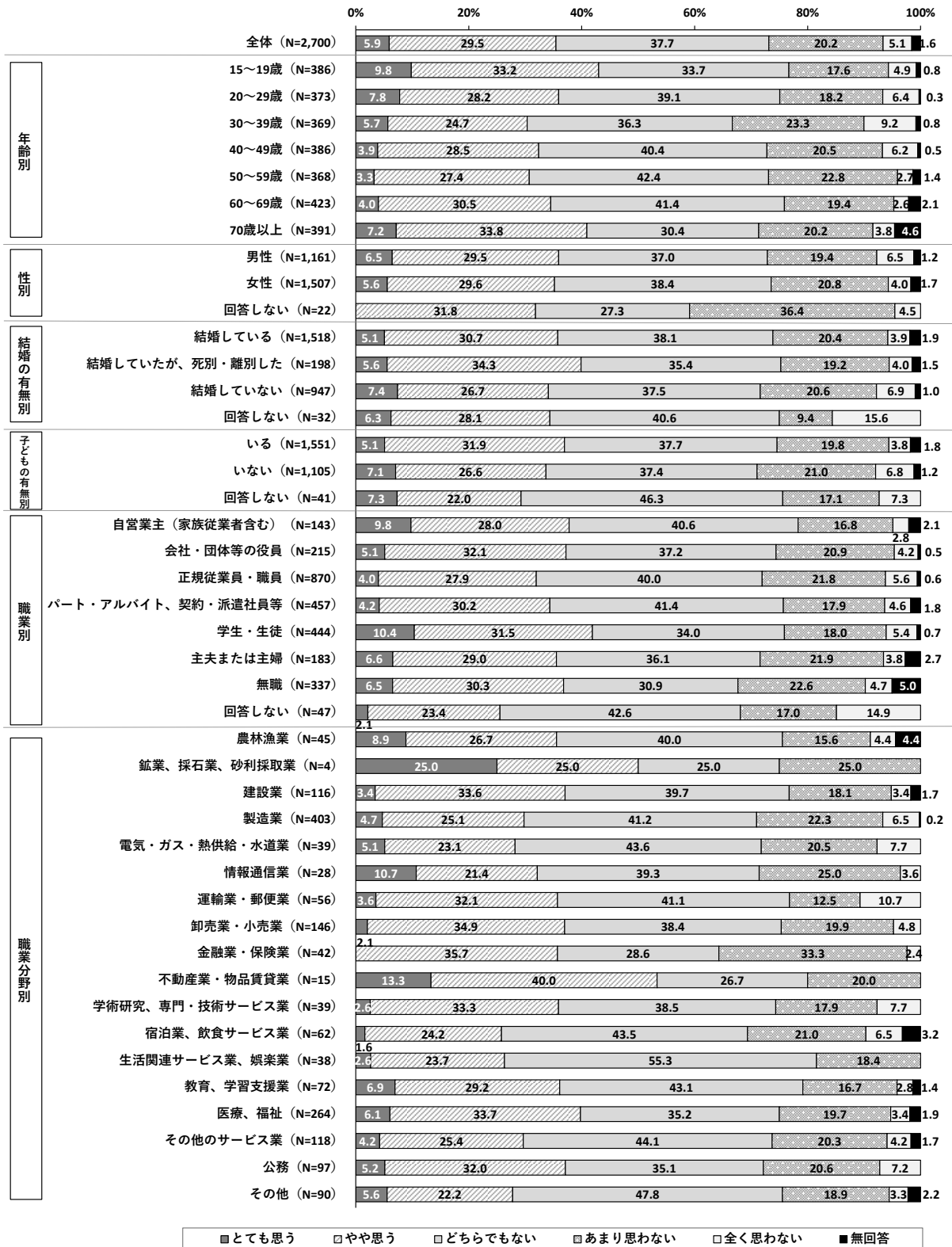
(5) - 1 職業別

「学生・生徒」では『思う』が41.9%と、他の職業と比べて若干高い。

(5) - 2 職業分野別

「農林漁業」「建設業」「運輸業・郵便業」「卸売業・小売業」「金融業・保険業」「学術研究、専門・技術サービス業」「教育、学習支援業」「医療、福祉」「公務」では『思う』が3割を超えており、他の職業分野よりも若干高くなっている。

図表 17-2 あなた自身や周りの人の安全・安心の実感向上のため、地域での見守りや防犯・防災活動等の取組みを積極的に実施したいと思いますか。



問 17-③

あなたの安全・安心の実感向上に、地域での防犯カメラ設置は役立つと思いますか。

(1) 全体

安全・安心の実感向上に、地域での防犯カメラ設置は役立つと『思う』(「とても思う」+「やや思う」)が80.3%で、一方、『思わない』(「あまり思わない」+「全く思わない」)は8.0%となっている。

(2) 年齢別

すべての年代で『思う』が80%前後となっている。「50～59歳」では『思う』が83.7%と、他の年代よりも若干高い。

(3) 性別

『思う』では、「男性」(78.8%)よりも「女性」(81.6%)の方が2.8ポイント高い。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚している」では『思う』が82.7%と、他と比較して若干高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いる」では『思う』が82.9%と、「いない」(77.2%)よりも5.7ポイント高い。

(5) - 1 職業別

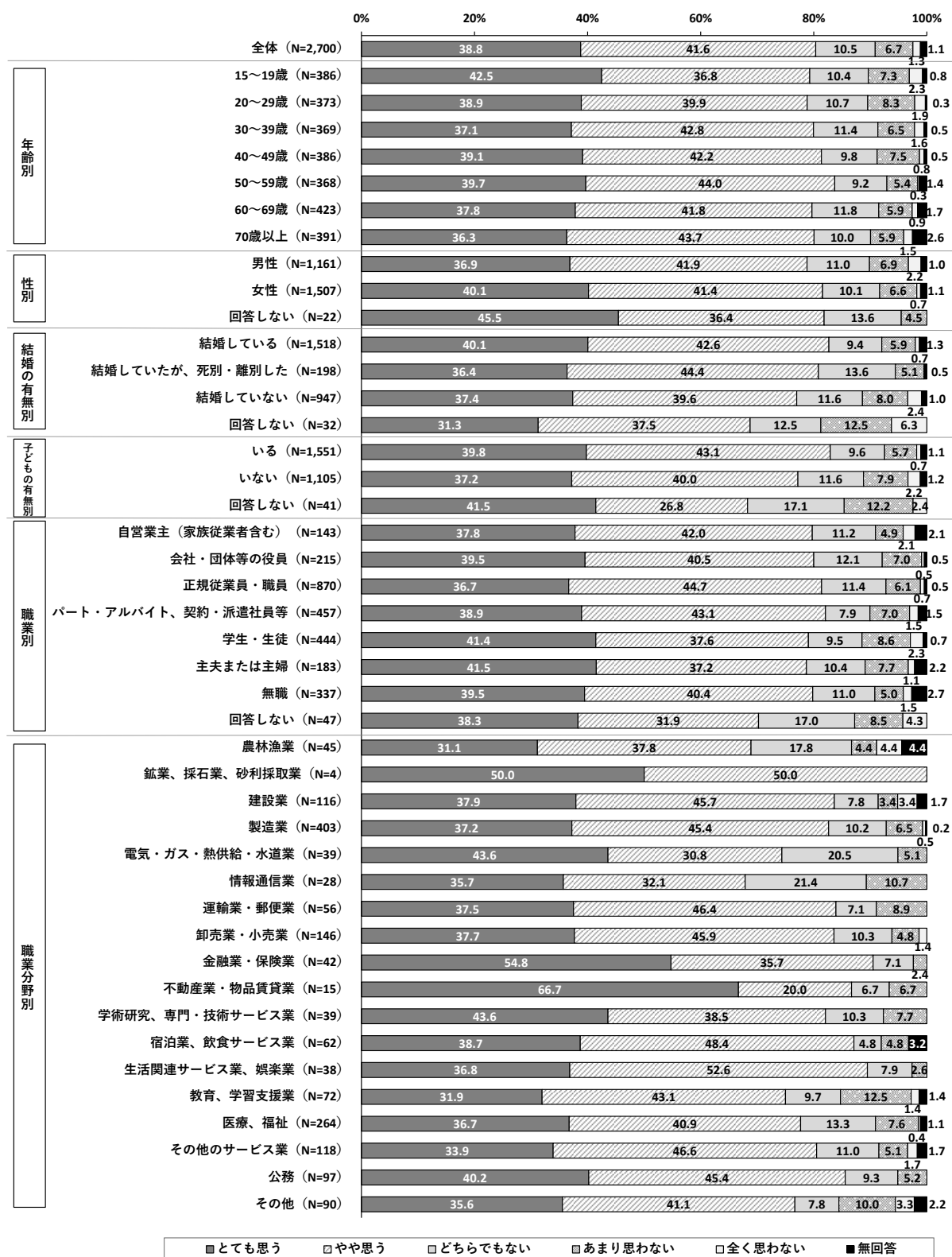
すべての職業で『思う』が80%前後となっている。

(5) - 2 職業分野別

「金融業・保険業」では『思う』が90.5%と、他の職業分野よりも若干高くなっている。一方、「農林漁業」では『思う』が68.9%と、他の職業分野よりも低い。

図表 17-3

あなたの安全・安心の実感向上に、地域での防犯カメラ設置は役立つと思いますか。



とても思う
  やや思う
  どちらでもない
  あまり思わない
  全く思わない
  無回答



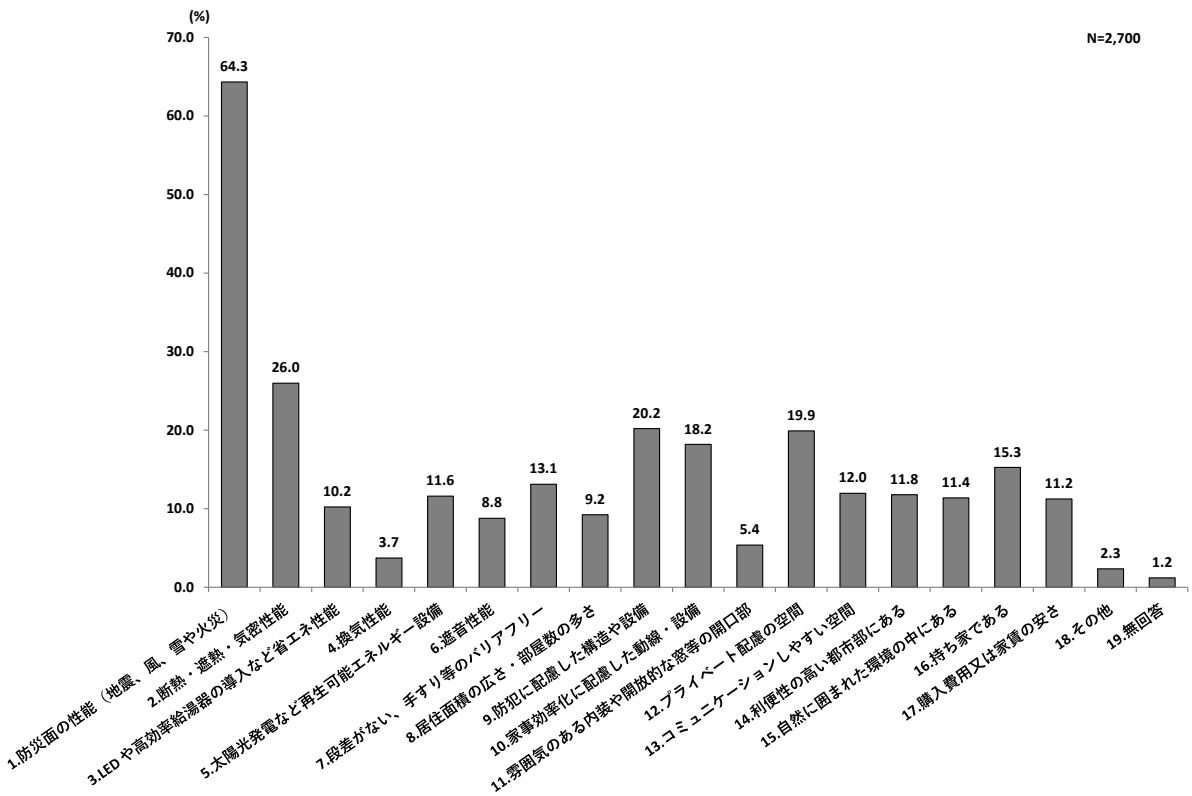
問 17-④ あなたにとって、理想的な生活を実現するために、住まいに特に求めることは何ですか。次の中から3つまで選んでください。

(1) 全体

「防災面の性能（地震、風、雪や火災）」が64.3%と最も高く、次いで「断熱・遮熱・気密性能」（26.0%）、「防犯に配慮した構造や設備」（20.2%）の順となっている。

図表 17-4-1

あなたにとって、理想的な生活を実現するために、住まいに特に求めることは何ですか。（全体）

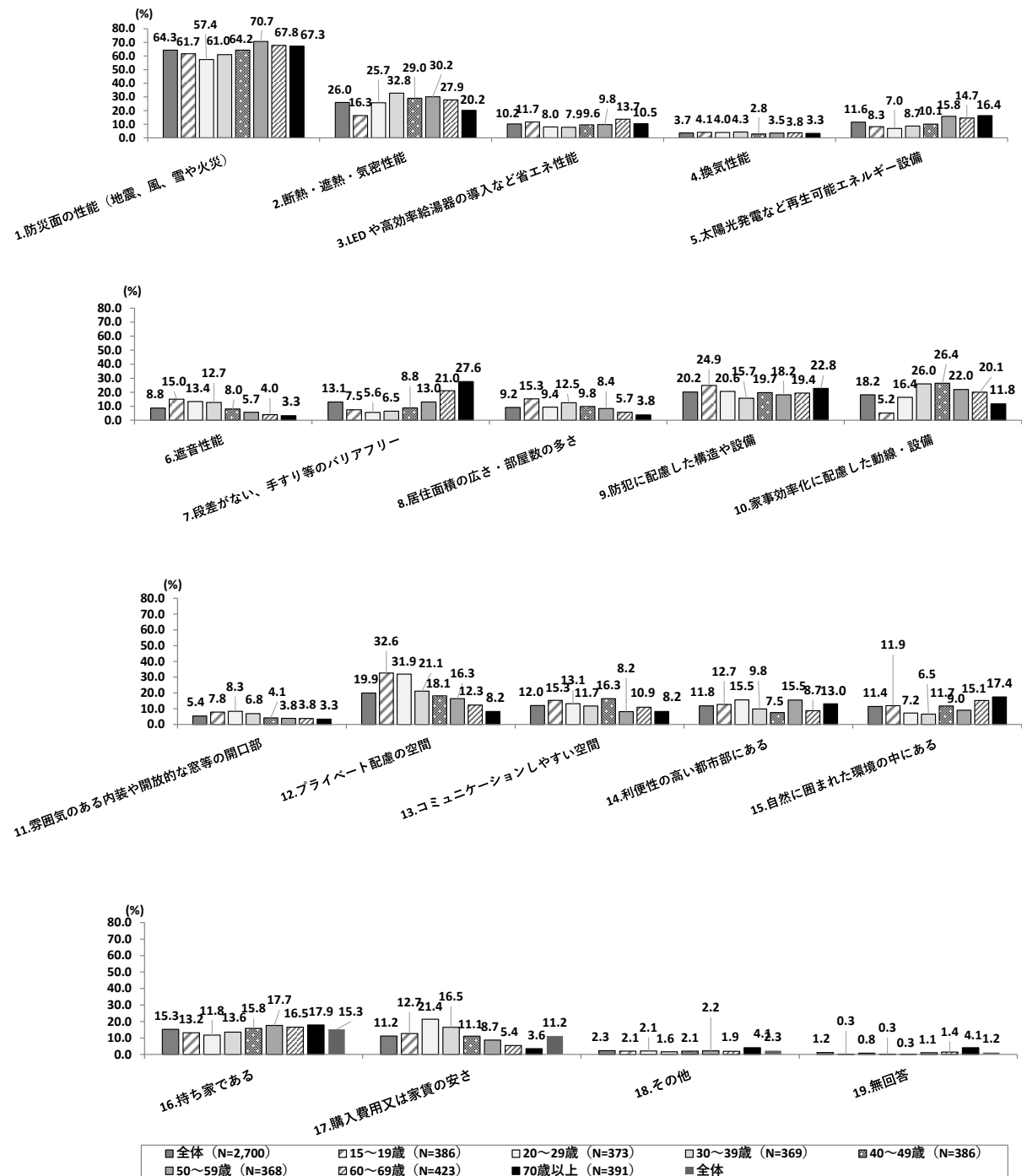


## (2) 年齢別

すべての年代で「防災面の性能（地震、風、雪や火災）」が最も高く、次いで、20歳代以下では「プライベート配慮の空間」が、40～60歳代では「断熱・遮熱・気密性能」が、「70歳以上」では「段差がない、手すり等のバリアフリー」となっている。「プライベート配慮の空間」は、年齢が若くなるほど高くなる傾向がある。

図表 17-4-2

あなたにとって、理想的な生活を実現するために、住まいに特に求めることは何ですか。（年齢別）

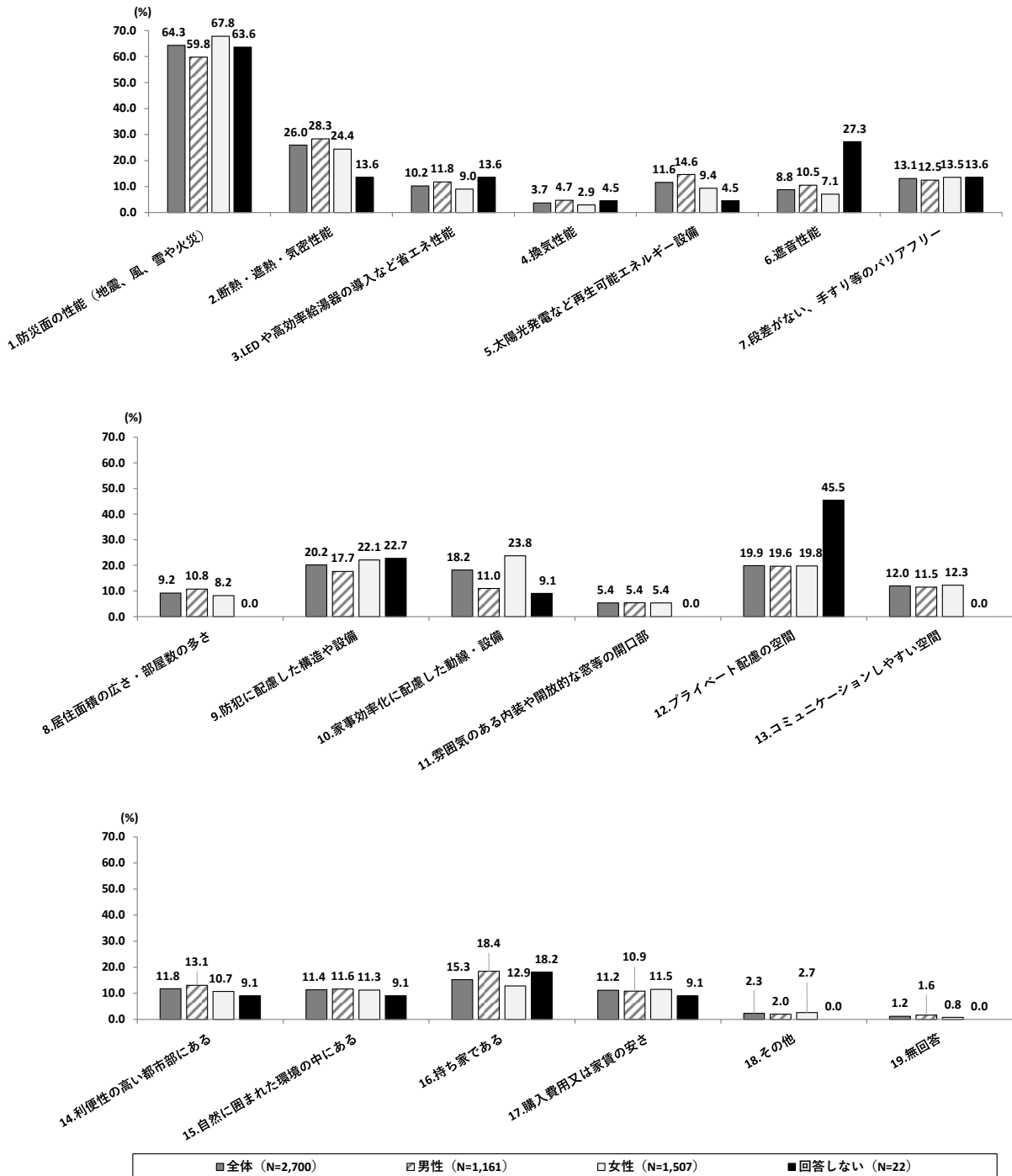


### (3) 性別

男女ともに「防災面の性能（地震、風、雪や火災）」が最も高く、次いで「断熱・遮熱・気密性能」となっている。「家事効率化に配慮した動線・設備」では、「女性」が23.8%と、「男性」（11.0%）よりも12.8ポイント高い。

図表 17-4-3

あなたにとって、理想的な生活を実現するために、住まいに特に求めることは何ですか。（性別）



## 問 18 仕事について

現在、仕事をされている方にお聞きします。

- ① あなたは、仕事をするうえで、働き方の選択肢、労働時間・休暇、福利厚生、職場の環境等の観点から「働きやすさ」を感じていますか。

### (1) 全体

仕事をするうえで、働き方の選択肢、労働時間・休暇、福利厚生、職場の環境等の観点から「働きやすさ」を『感じている』（「とても感じている」＋「やや感じている」）が 51.5%で、一方、『感じていない』（「あまり感じていない」＋「全く感じていない」）は 22.4%と、『感じている』の方が 29.1 ポイント高くなっている。

### (2) 年齢別

「40～49 歳」と「70 歳以上」では『感じている』が 4 割台だが、それ以外の年代は 5 割台となっている。

### (3) 性別

「男性」では『感じている』が 48.5%と「女性」（53.6%）よりも 5.1 ポイント低い。

### (4) - 1 結婚の有無別

「結婚していない」では『感じている』が 48.9%と、他と比較して若干低い。

### (4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いる」では『感じている』が 52.7%と、「いない」（49.6%）よりも 3.1 ポイント高い。

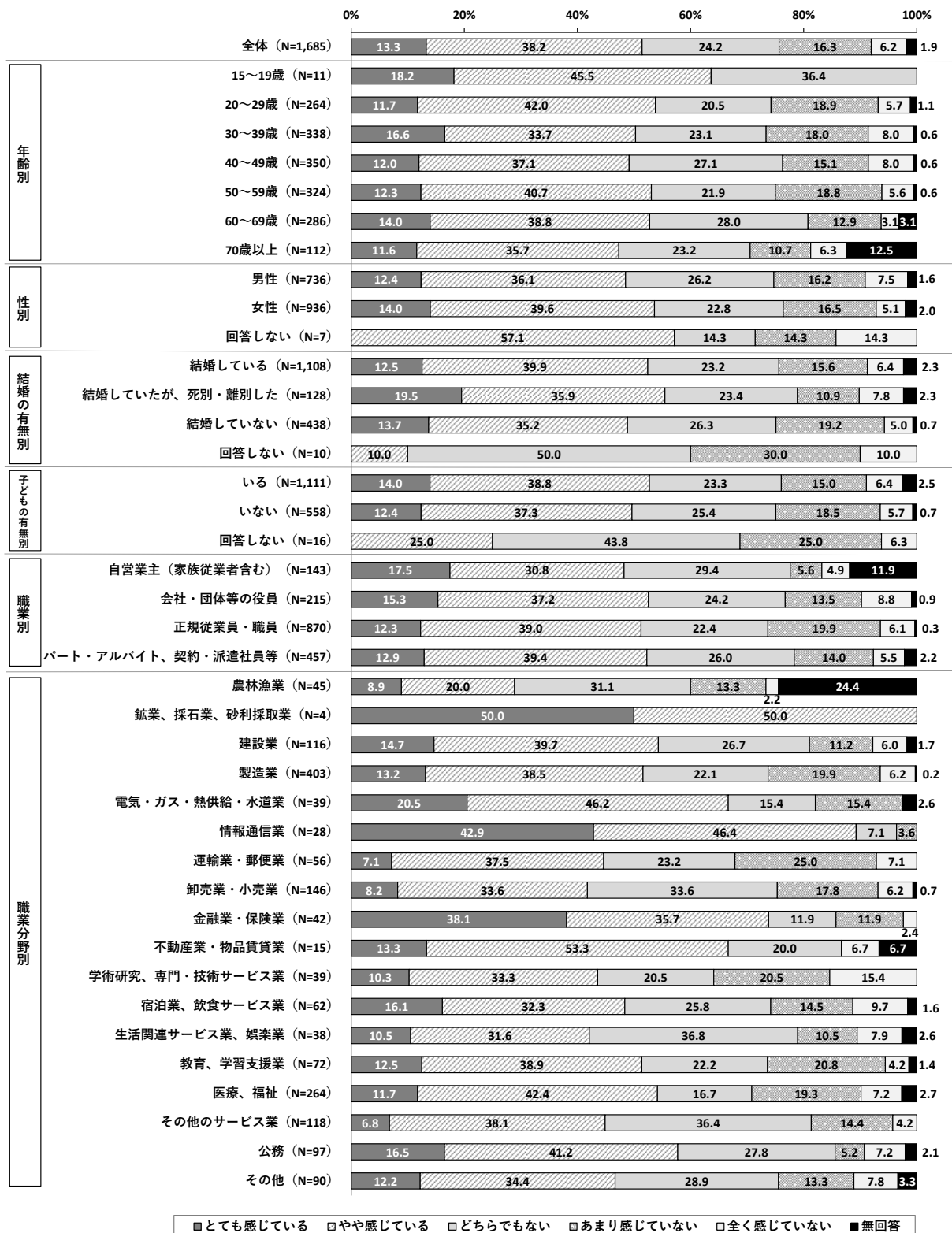
### (5) - 1 職業別

「自営業主（家族従業者含む）」では『感じている』が 48.3%と、他の職業と比べて若干低い。

### (5) - 2 職業分野別

「金融業・保険業」では『感じている』が 73.8%と、他の職業分野と比較して高い。一方、「農林漁業」では『感じている』が 28.9%と、他の職業分野と比較して低くなっている。

図表 18-1 あなたは、仕事をするうえで、働き方の選択肢、労働時間・休暇、福利厚生、職場の環境等の観点から「働きやすさ」を感じていますか。



問 18-② あなたを含め、あなたの職場で働く人は、「働きがい」を持って、自らの仕事にいきいきと積極的に取り組んでいると感じますか。

(1) 全体

職場で働く人は、「働きがい」を持って、自らの仕事にいきいきと積極的に取り組んでいると『感じている』(「とても感じている」+「やや感じている」)が42.7%で、一方、『感じていない』(「あまり感じていない」+「全く感じていない」)は25.6%と、『感じている』の方が17.1ポイント高くなっている。

(2) 年齢別

「40～49歳」では『感じている』が36.9%と、他の年代よりも若干低くなっている。

(3) 性別

「男性」では『感じている』が39.5%と「女性」(45.2%)よりも5.7ポイント低い。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚していない」では『感じている』が40.2%と、他と比較して若干低い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いる」では『感じている』が44.8%と、「いない」(38.9%)よりも5.9ポイント高い。

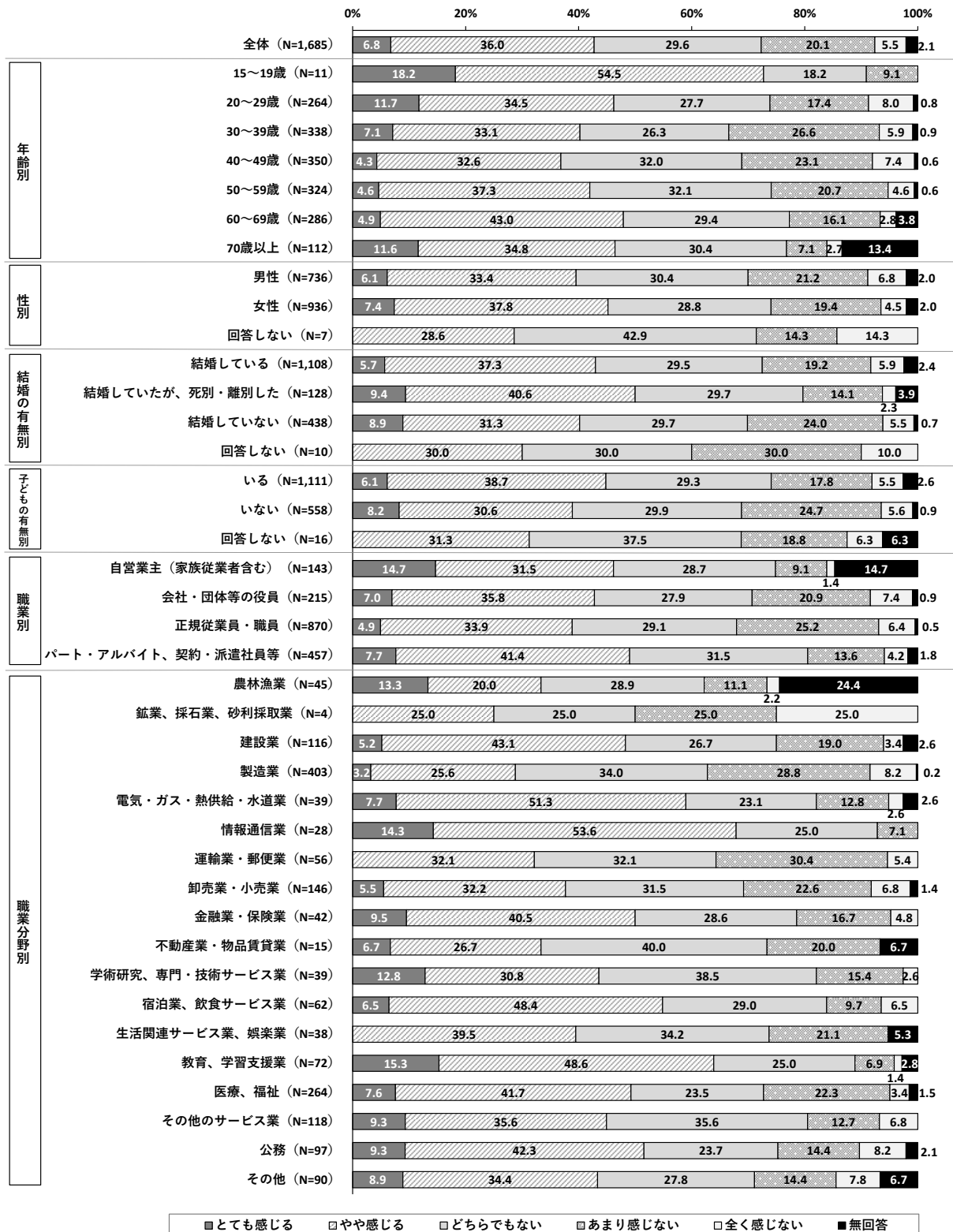
(5) - 1 職業別

「正規従業員・職員」では『感じている』が38.9%と、他の職業と比べて若干低い。

(5) - 2 職業分野別

「教育、学習支援業」では『感じている』が63.9%と、他の職業分野と比較して高い。一方、「製造業」では『感じている』が28.8%と、他の職業分野と比較して低くなっている。

図表 18-2 あなたを含め、あなたの職場で働く人は、「働きがい」を持って、自らの仕事にいきいきと積極的に取り組んでいると感じますか。



問 19 次のことについて、家族や親しい友人等にどの程度、おすすめしたいと思いますか。

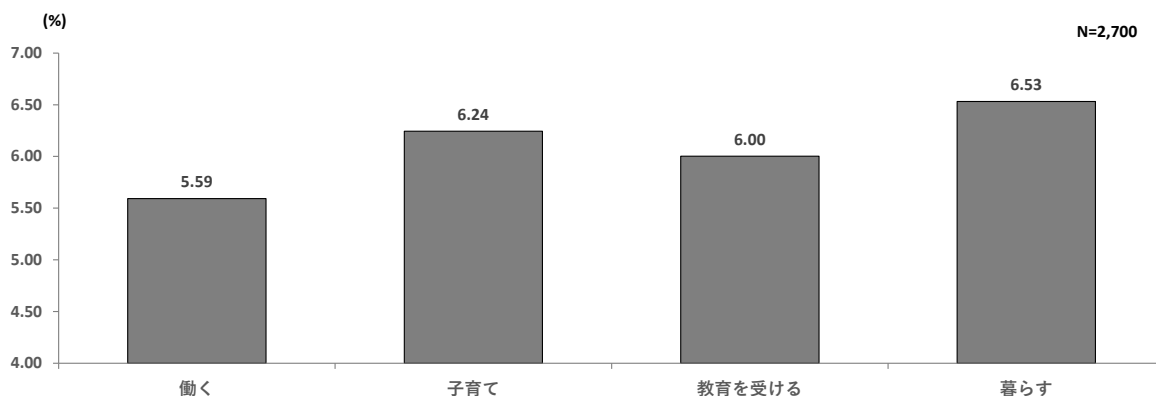
- ① 富山県で働くこと
- ② 富山県で子育てすること
- ③ 富山県で教育を受けること
- ④ 富山県で暮らすこと

(1) 全体

【平均】

「暮らす」が 6.53 と最も高く、次いで「子育て」(6.24)、「教育を受ける」(6.00)、「働く」(5.59)の順となっている。

図表 19-1-1 家族や親しい友人等への推薦度【平均】(全体)

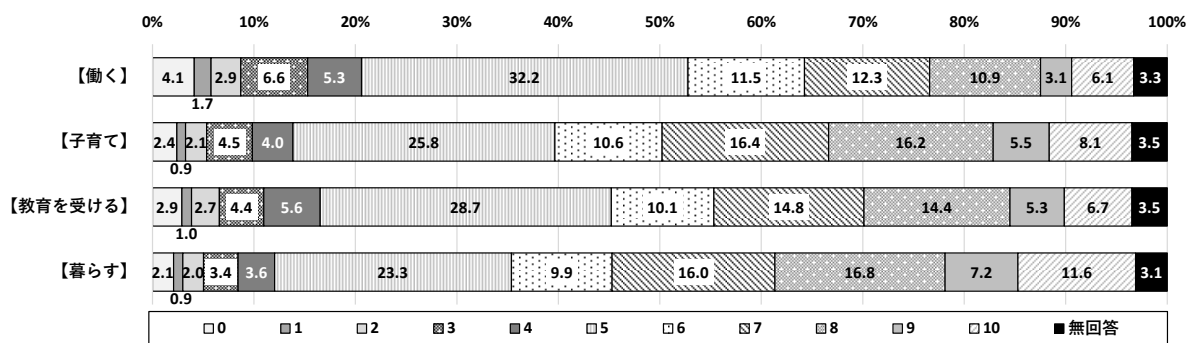


【割合】

「働く」「子育て」「教育を受ける」「暮らす」のいずれも中央値の「5」が最も高い。

「6以上」の割合は、「暮らす」が 61.5%で他よりも高く、一方「働く」が 43.9%と他よりも低い。

図表 19-1-1 家族や親しい友人等への推薦度【割合】(全体)



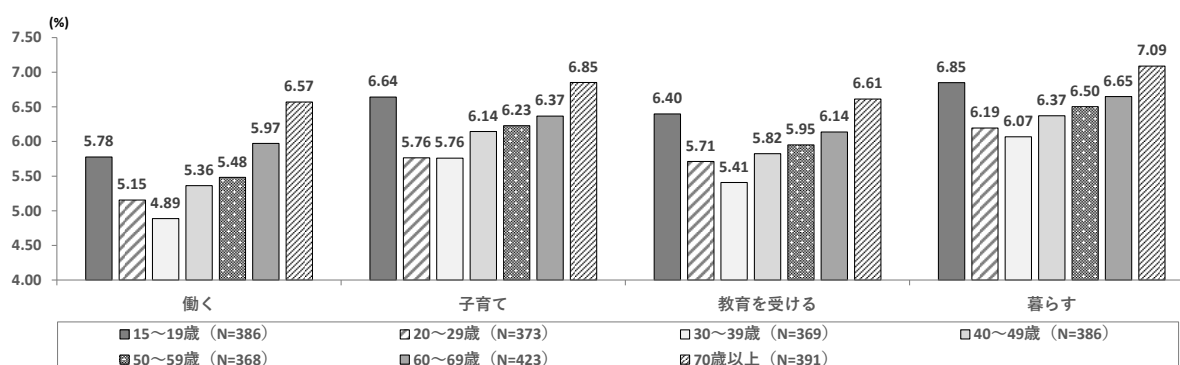


## (2) 年齢別

### 【平均】

すべての設問項目で「70歳以上」が最も高く、次いで「働く」では「60～69歳」、「子育て」「教育を受ける」「暮らし」では「15～19歳」となっている。「暮らし」では、すべての年代で平均が6を超えており、「70歳以上」が7.09と高い値を示している。一方、「働く」では「30～39歳」が4.89と他の年代よりも低い値となっている。

図表 19-2-1 家族や親しい友人等への推薦度【平均】（年齢別）



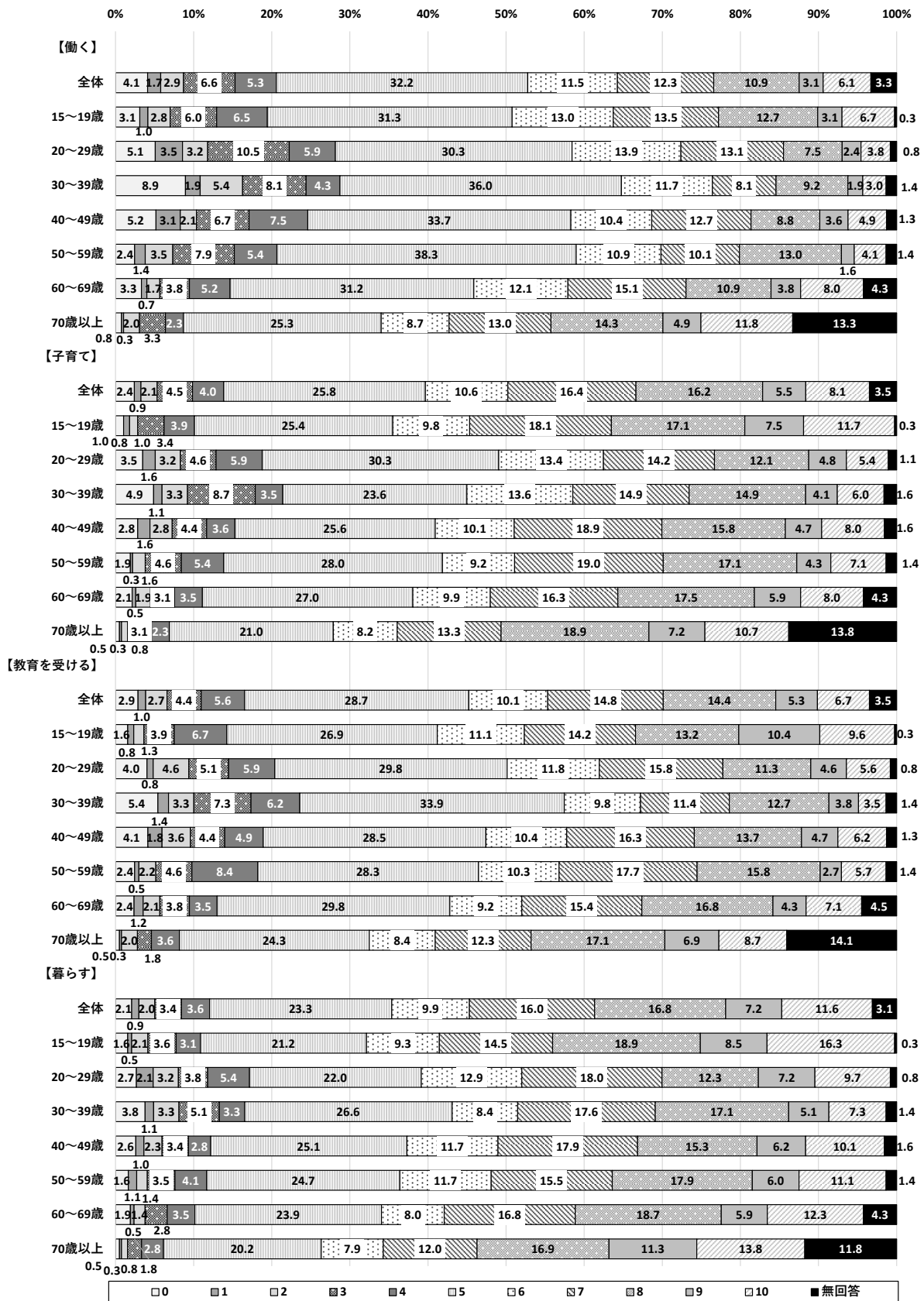
### 【割合】

すべての年代で「働く」「子育て」「教育を受ける」「暮らし」のいずれも「5」が最も高い。

「働く」において、「70歳以上」では「6以上」が52.7%と、他の年代よりも若干高い。

「子育て」「教育を受ける」「暮らし」において、「15～19歳」では「6以上」が他の年代よりも高い。

図表 19-2-2 家族や親しい友人等への推薦度【割合】（年齢別）

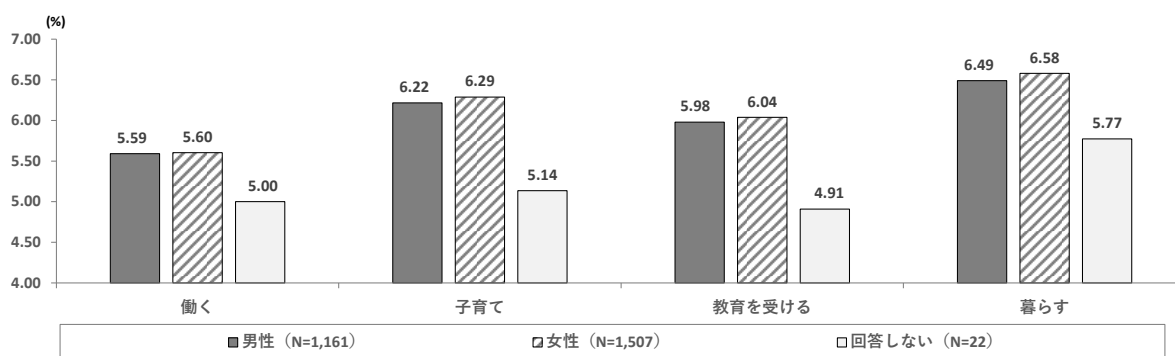


### (3) 性別

#### 【平均】

すべての設問項目で、「男性」よりも「女性」の方が高い。「子育て」と「暮らす」では、男女ともに平均が6.00を超えている。

図表 19-3-1 家族や親しい友人等へのおすすめ度【平均】(性別)

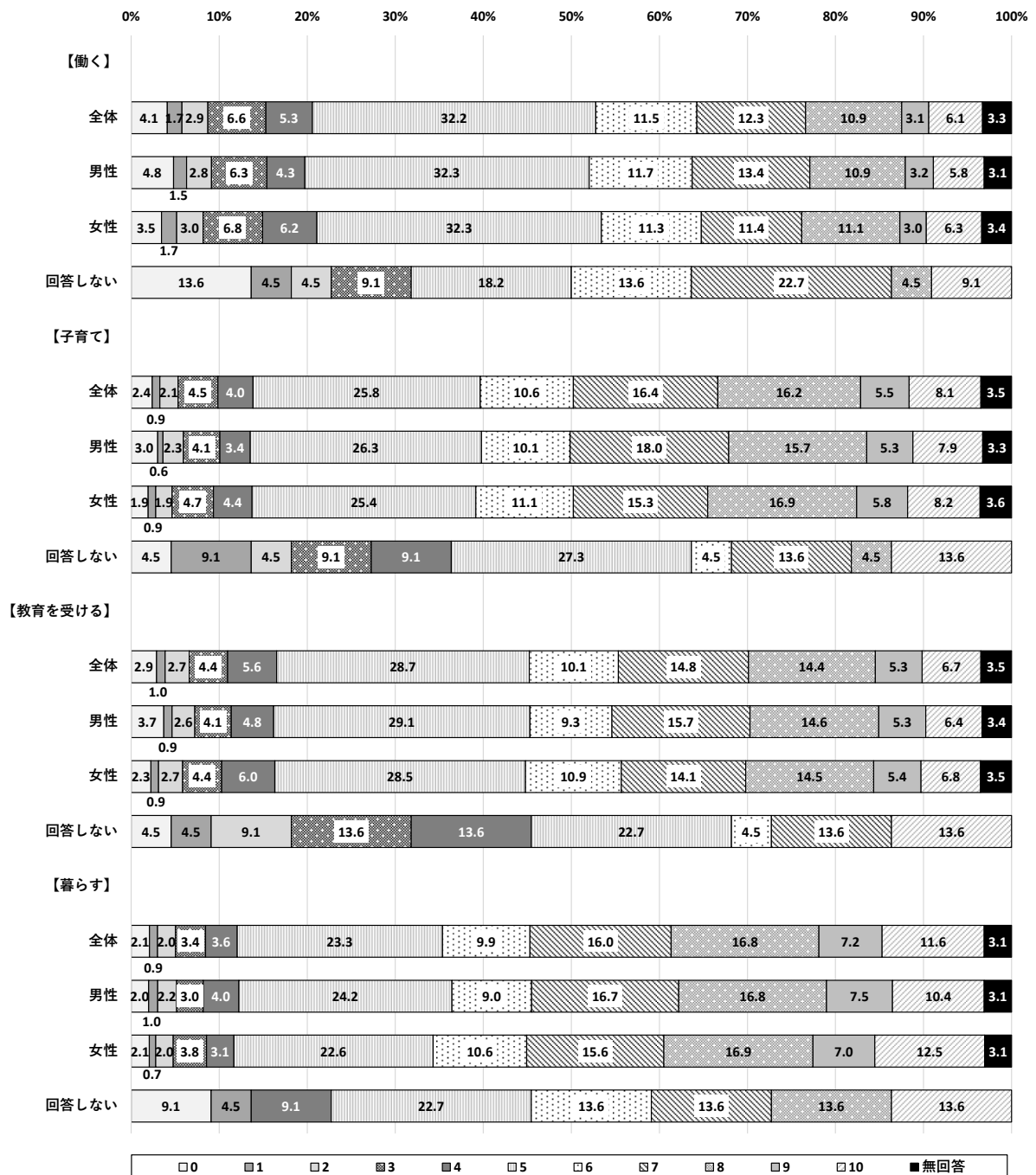


#### 【割合】

男女ともに、「働く」「子育て」「教育を受ける」「暮らす」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、すべての設問において、男女間で大きな差は見られない。

図表 19-3-2 家族や親しい友人等への推薦度【割合】（性別）

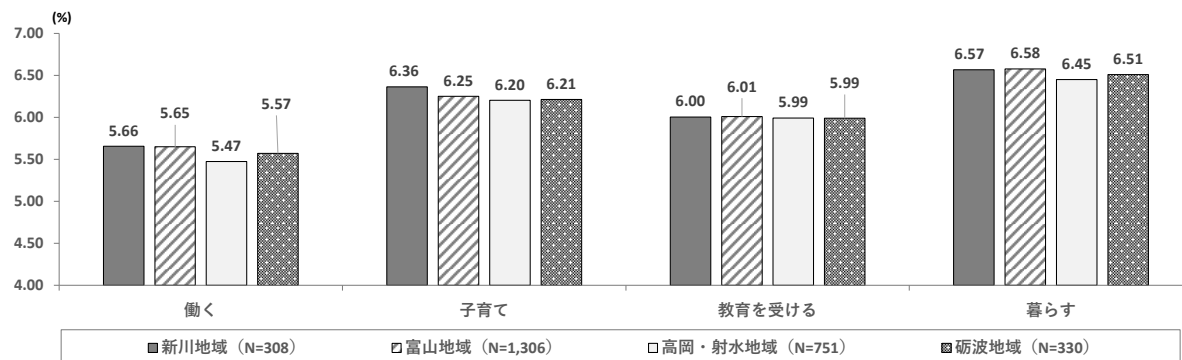


#### (4) - 1 地域別

##### 【平均】

「子育て」と「暮らす」では、すべての地域で平均が6.00を超えている。

図表 19-4-1-1 家族や親しい友人等への推薦度【平均】(地域別)

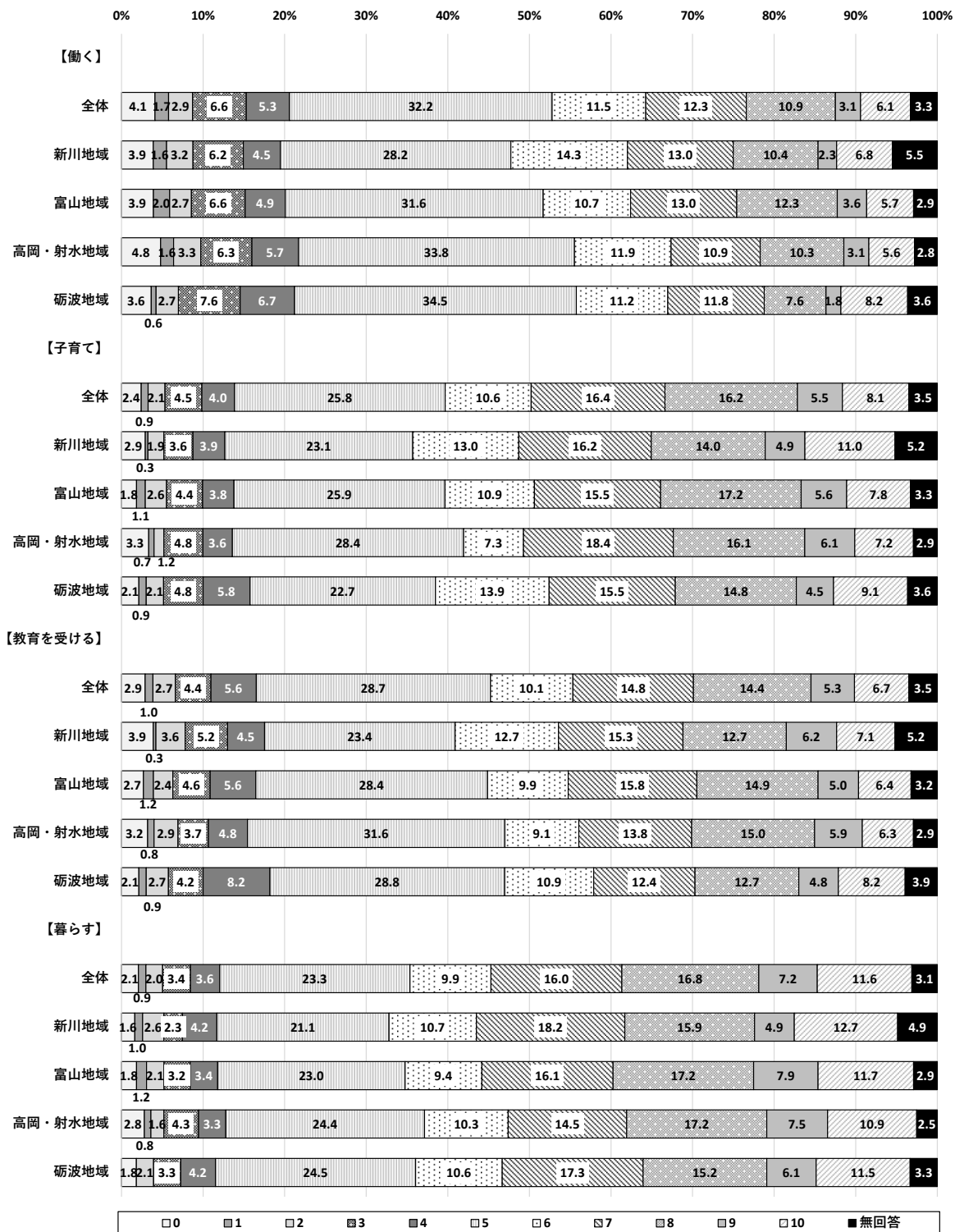


##### 【割合】

すべての地域で、「働く」「子育て」「教育を受ける」「暮らす」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、すべての設問において、「新川地域」が他の地域よりも若干高い（「暮らす」では「富山地域」と同割合）。

図表 19-4-1-2 家族や親しい友人等への推薦度【割合】(地域別)

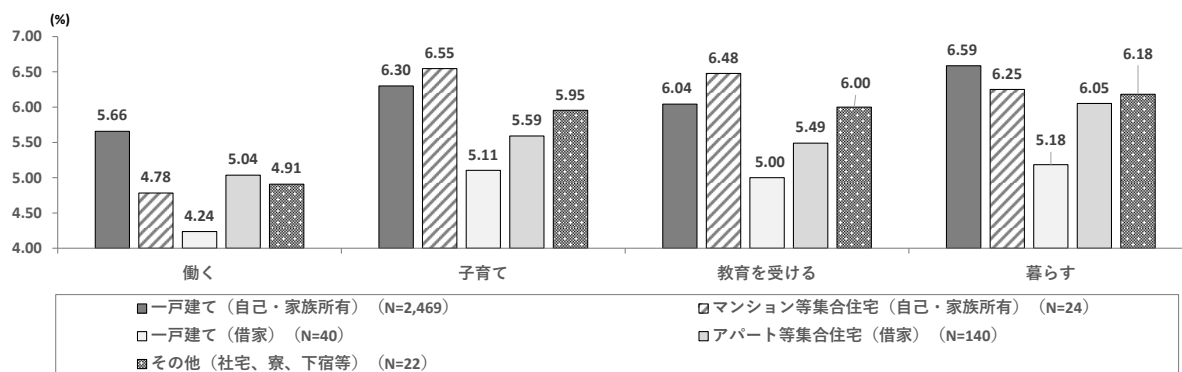


(4) - 2 現在の住居状況別

【平均】

「一戸建て（自己・家族所有）」では、「子育て」「教育を受ける」「暮らす」において平均が6.00を超えている。

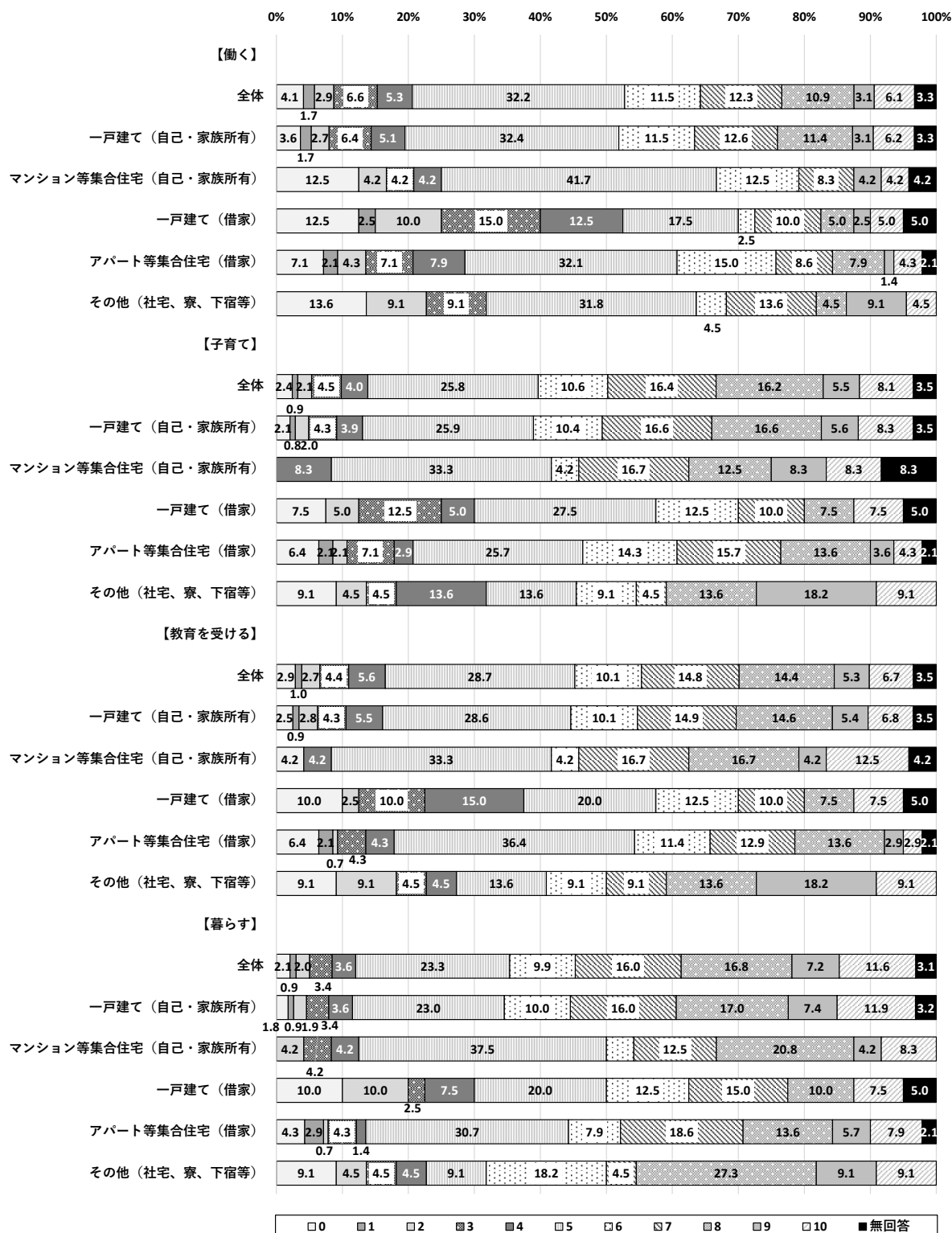
図表 19-4-2-1 家族や親しい友人等への推薦度【平均】（住居状況別）



【割合】

「一戸建て（自己・家族所有）」では、「働く」「子育て」「教育を受ける」「暮らす」のいずれも「5」が最も高い。「6以上」を見ると、「暮らす」が62.3%、一方、「働く」が44.8%となっている。

図表 19-4-2-2 家族や親しい友人等への推薦度【割合】（住居状況別）



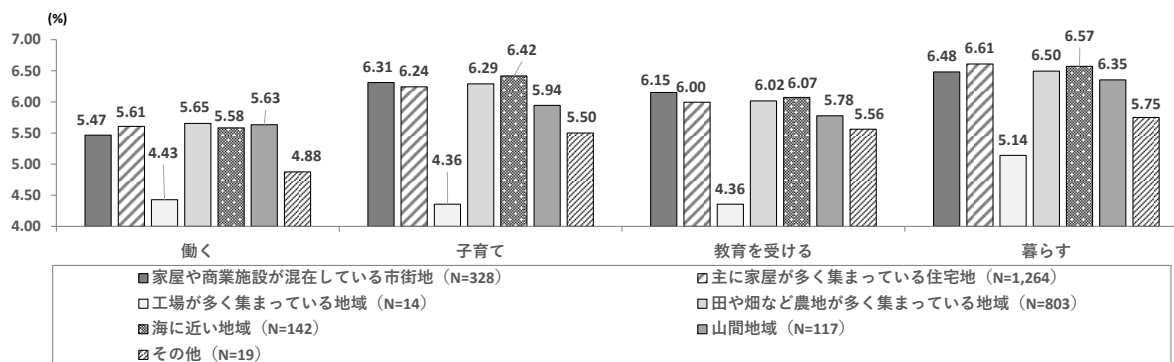


#### (4) - 3 現在の居住地環境別

##### 【平均】

「暮らす」において、すべての居住地環境で平均が 6.00 を超えている。

図表 19-4-3-1 家族や親しい友人等への推薦度【平均】(居住地環境別)

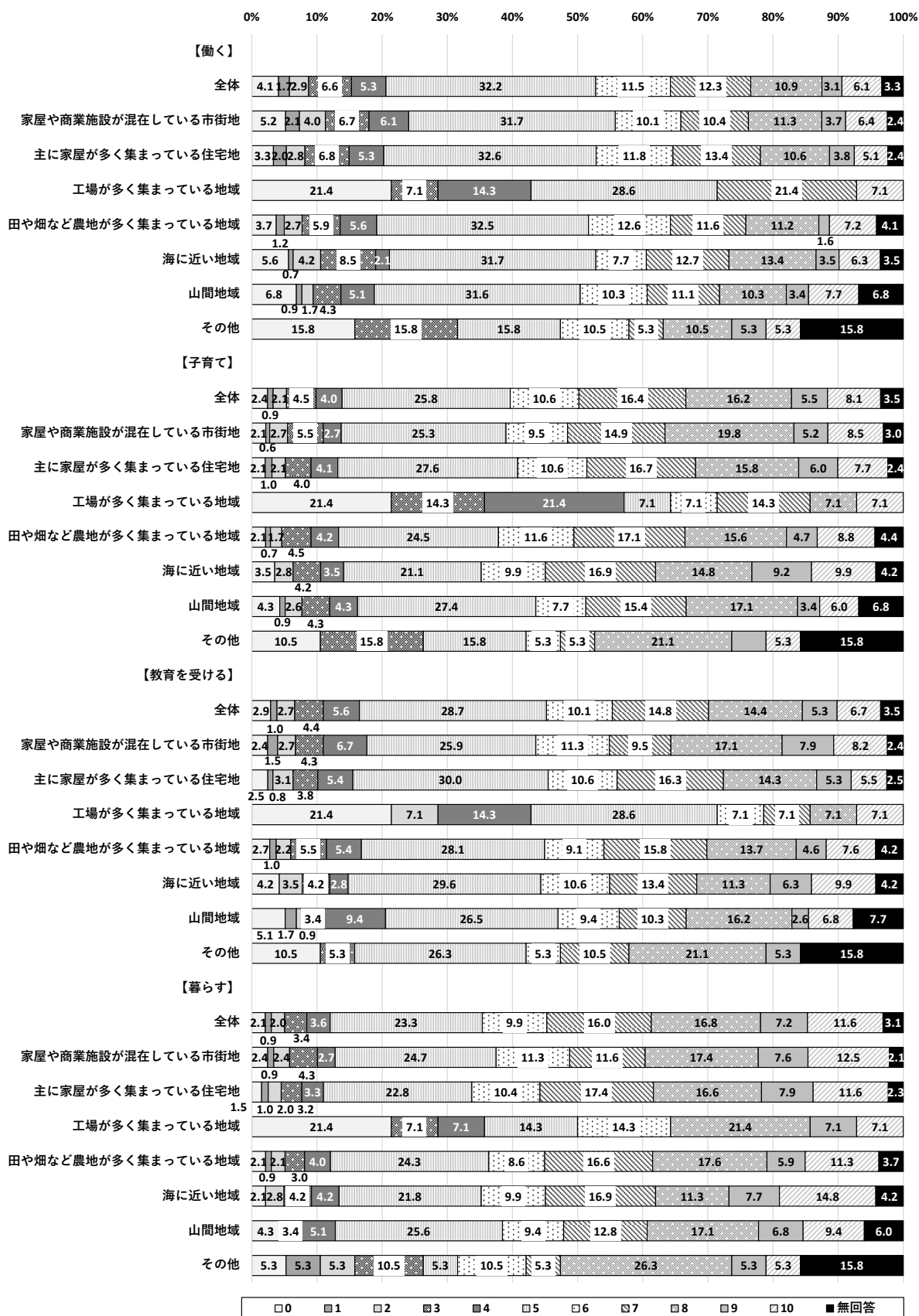


##### 【割合】

どの居住地環境でも、「働く」「子育て」「教育を受ける」「暮らす」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、「働く」では、居住地環境による大きな差は見られない。「子育て」「教育を受ける」「暮らす」において、「山間地域」では「6以上」が他の居住地環境よりも若干低い。

図表 19-4-3-2 家族や親しい友人等への推薦度【割合】（居住地域環境別）

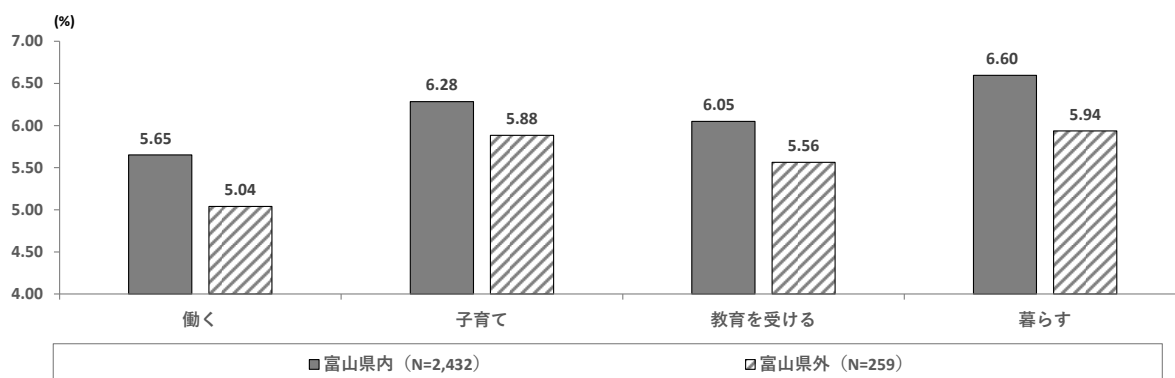


#### (4) - 4 出身地別

##### 【平均】

すべての設問項目において、「富山県外」よりも「富山県内」の方が高くなっている。「富山県内」では「子育て」「教育を受ける」「暮らし」において6.00を超えている。

図表 19-4-4-1 家族や親しい友人等への推薦度【平均】(出身地別)

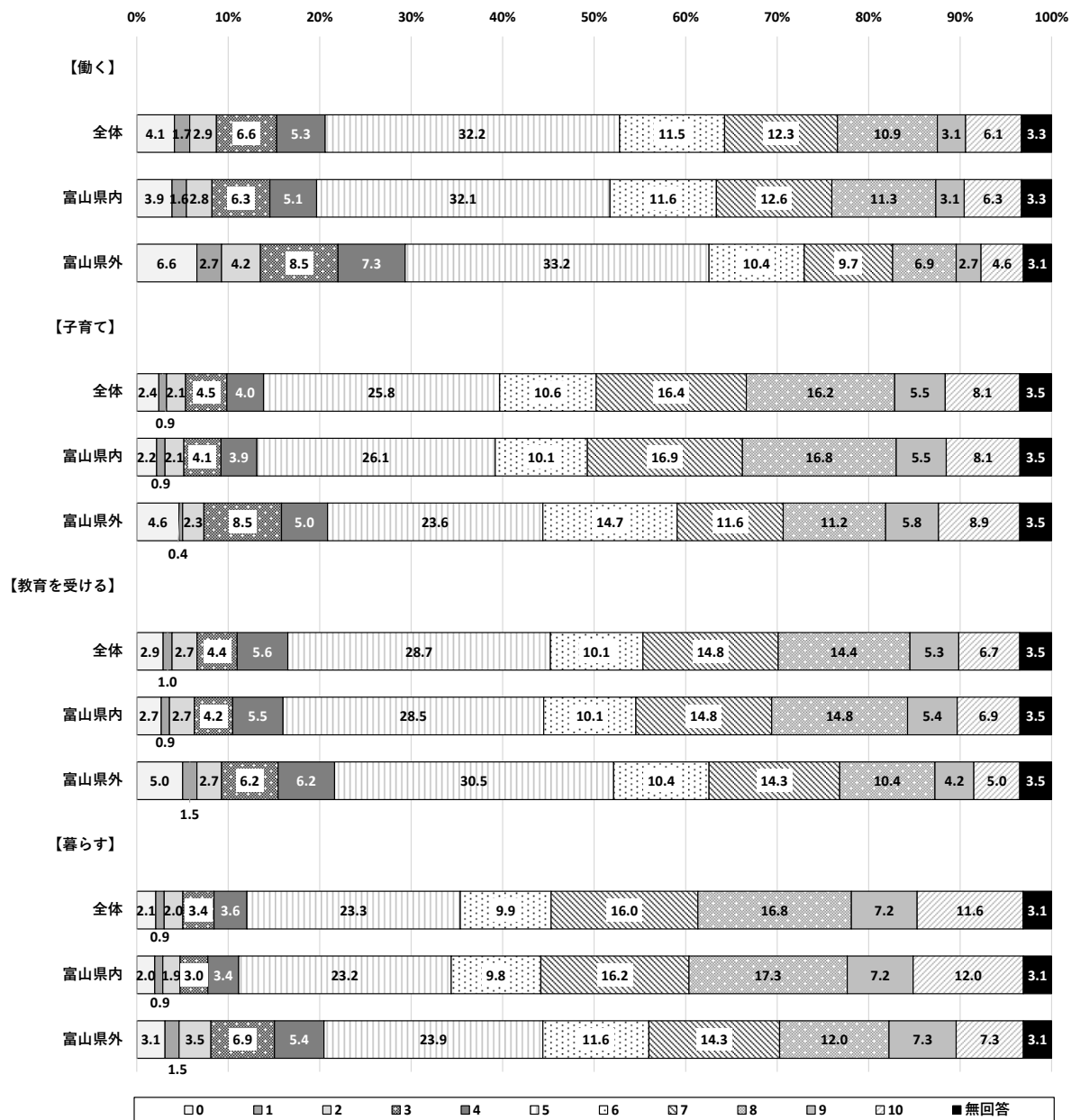


##### 【割合】

「富山県内」「富山県外」ともに、「働く」「子育て」「教育を受ける」「暮らす」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、すべての設問において、「富山県外」よりも「富山県内」の方が高い。

図表 19-4-4-2 家族や親しい友人等への推薦度【割合】（出身地別）

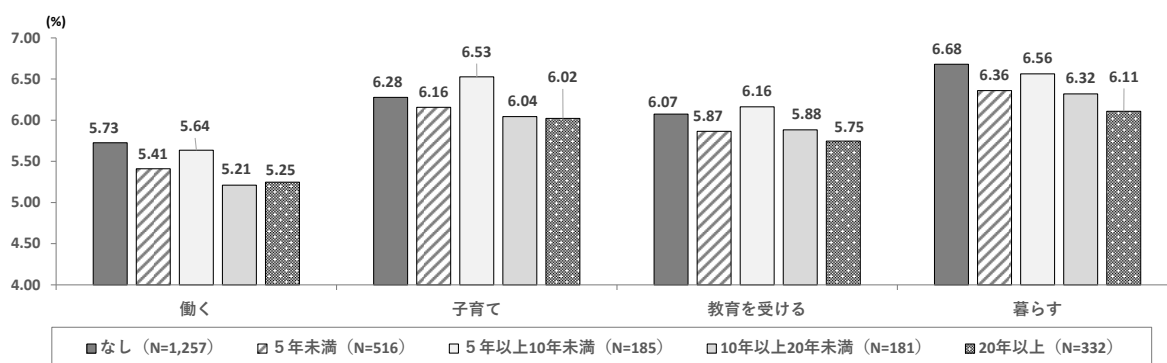


(4) - 5 県外での居住年数別

【平均】

「子育て」と「暮らす」ではすべてで6.00を超えている。「子育て」では「5年以上10年未満」(6.53)が、「暮らす」では県外での居住が「なし」(6.68)が最も高い。

図表 19-5-1-1 家族や親しい友人等への推薦度【平均】(県外居住年数別)

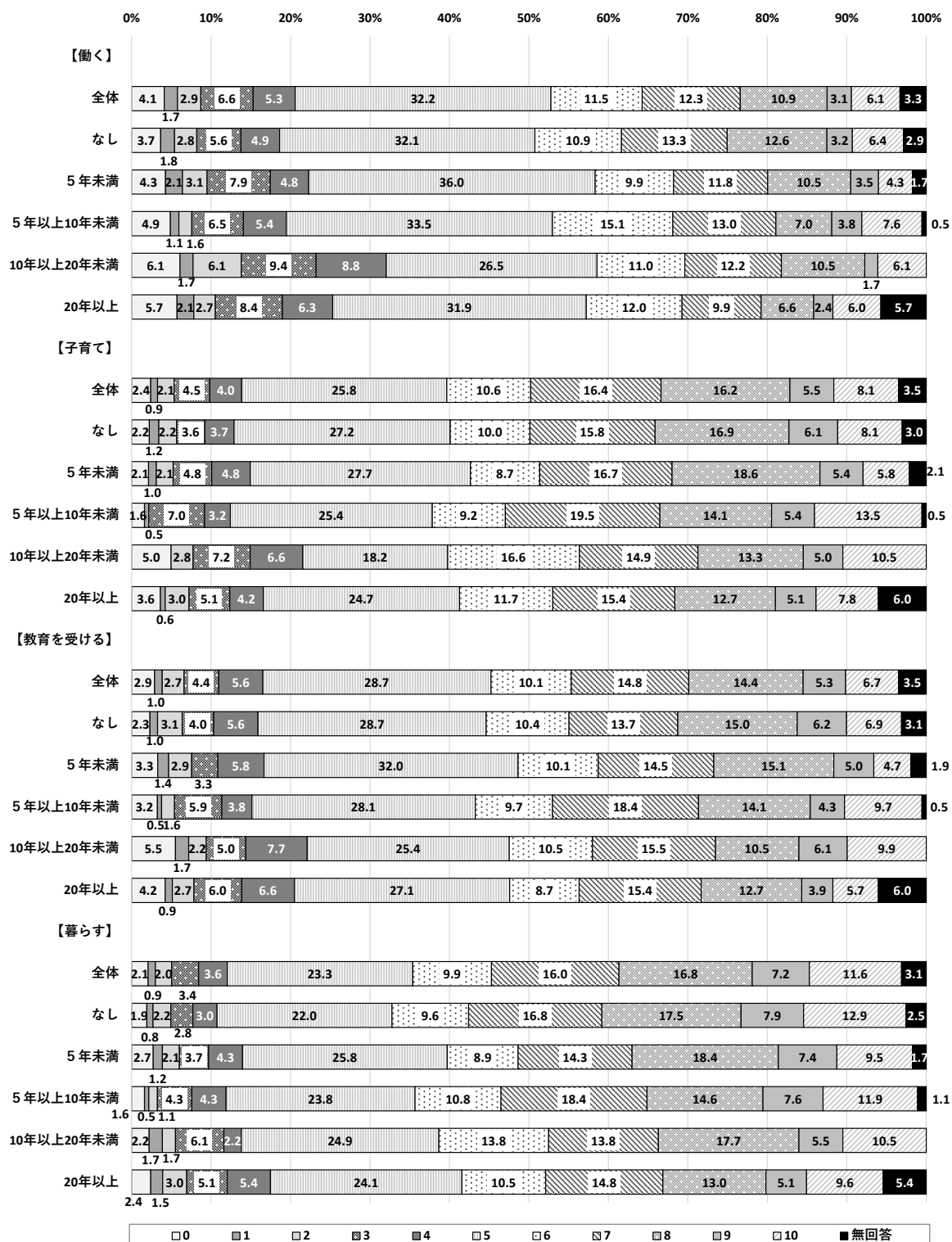


【割合】

どの居住年数でも、「働く」「子育て」「教育を受ける」「暮らす」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、すべての設問において、「5年以上10年未満」で他の居住年数と比較して若干高い。

図表 19-5-1-2 家族や親しい友人等への推薦度【割合】（県外居住年数別）

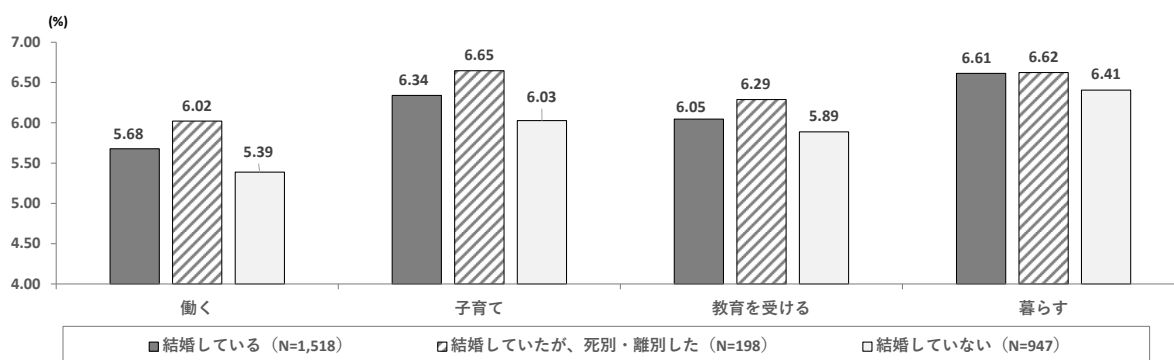


### (5) - 1 結婚の有無別

#### 【平均】

すべての設問項目で「結婚していたが、死別・離別した」が最も高くなっている。また、「子育て」と「暮らす」ではすべて6.00を超えている。

図表 19-5-1-1 家族や親しい友人等への推薦度【平均】（結婚の有無別）

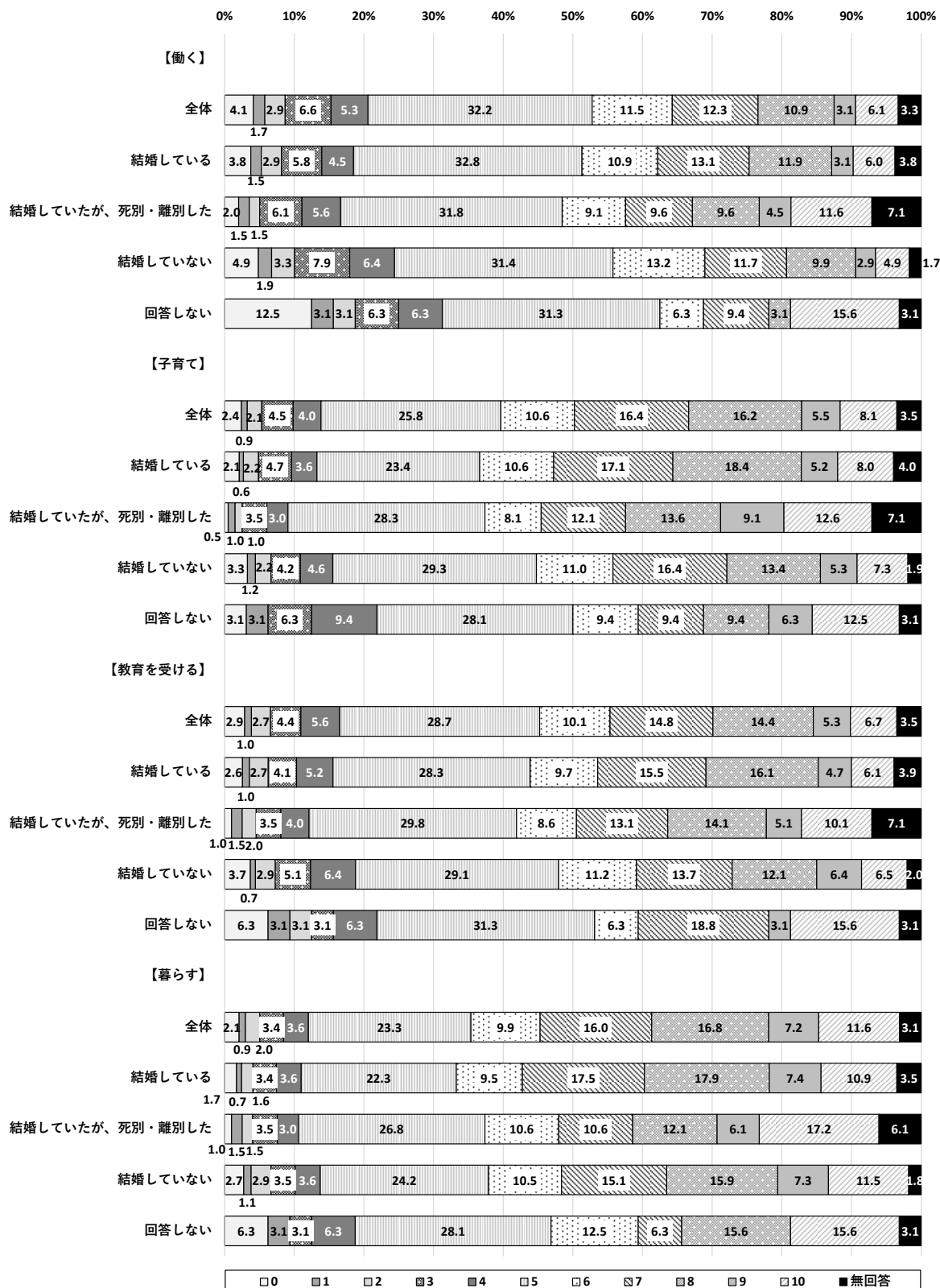


#### 【割合】

どの属性も、「働く」「子育て」「教育を受ける」「暮らす」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、「子育て」において「結婚している」では59.4%と、他よりも若干高い。「働く」「教育を受ける」において、属性での大きな差は見られない。「暮らす」において、「結婚していたが、死別・離別した」が56.6%と、他よりも若干低い。

図表 19-5-1-2 家族や親しい友人等への推薦度【割合】（結婚の有無別）



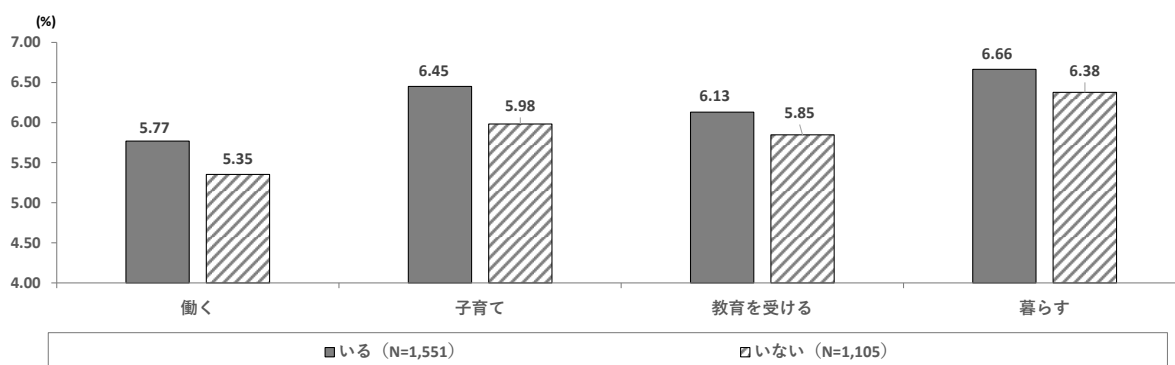


## (5) - 2 子どもの有無別

### 【平均】

すべての設問項目において、子どもが「いない」よりも「いる」の方が高くなっている。子どもが「いる」では「子育て」「教育を受ける」「暮らし」において6.00を超えている。

図表 19-5-2-1 家族や親しい友人等への推薦度【平均】(子どもの有無別)

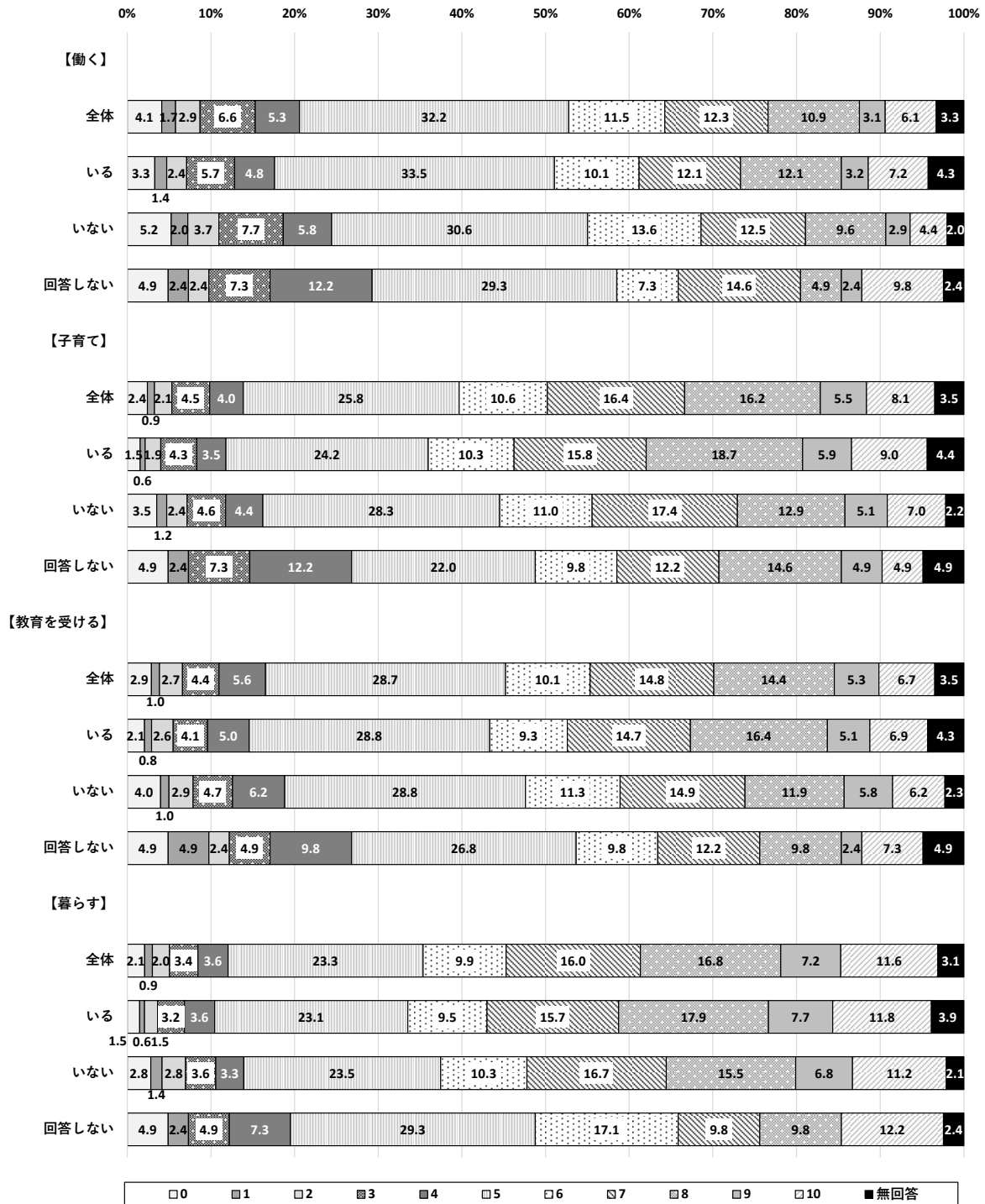


### 【割合】

子どもの有無に関わらず、「働く」「子育て」「教育を受ける」「暮らす」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、すべての設問において、子どもが「いる」の方が、「いない」よりも若干高くなっている。「子育て」においては、「いる」の方が6.3ポイント高い。

図表 19-5-2-2 家族や親しい友人等への推薦度（子どもの有無別）

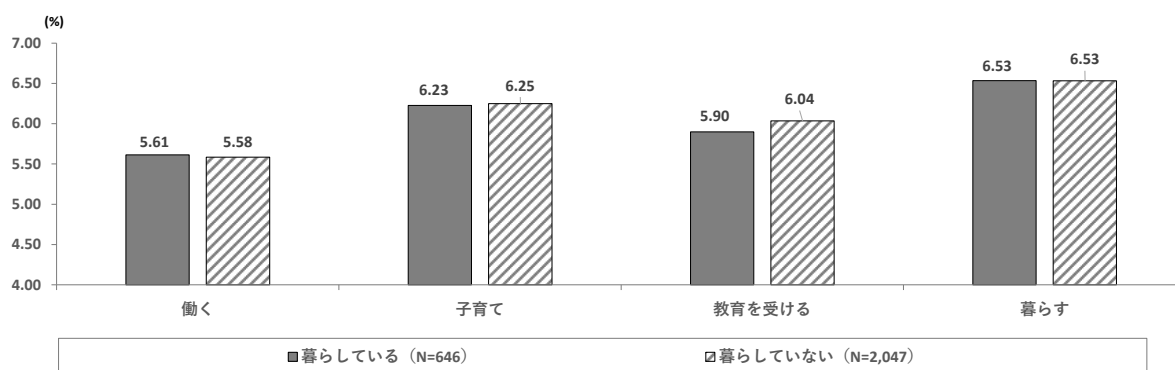


### (5) - 3 ペットの有無別

#### 【平均】

すべての設問項目において、大きな差は見られないが、「教育を受ける」においてペットと「暮らしていない」の方が若干高い。

図表 19-5-3-1 家族や親しい友人等への推薦度【平均】(ペットの有無別)

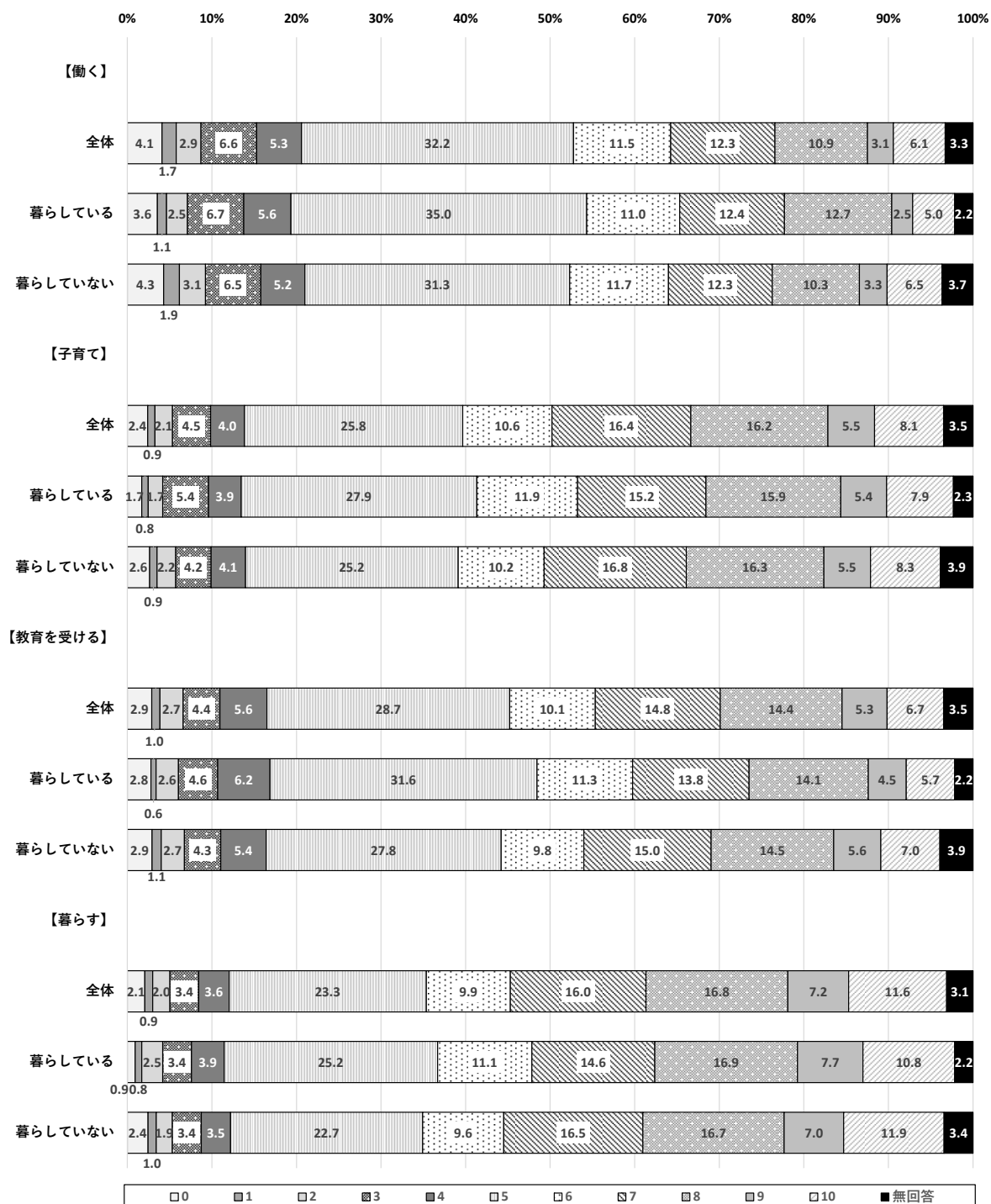


#### 【割合】

「暮らしている」「暮らしていない」ともに、「働く」「子育て」「教育を受ける」「暮らす」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、すべての設問において、ペットの有無による大きな差は見られない。

図表 19-5-3-2 家族や親しい友人等への推薦度【割合】（ペットの有無別）

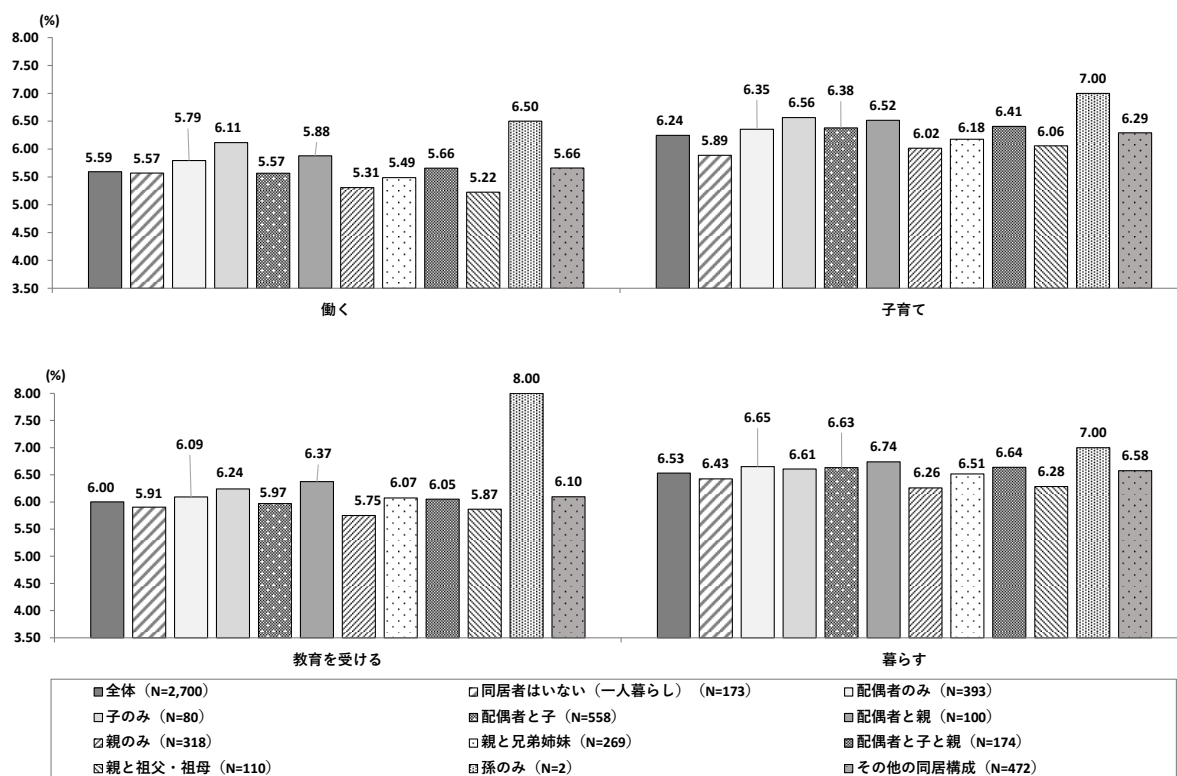


## (5) - 4 同居家族の構成別

### 【平均】

「働く」では、「子のみ」だけが6.00を超えている。「子育て」では、「同居者はいない（一人暮らし）」を除くすべてで6.00を超えている。「教育を受ける」では、「配偶者と親」が6.37と最も高い。「暮らす」では、すべてで6.00を超えており、「配偶者と親」が6.74と最も高い。

図表 19-5-4-1 家族や親しい友人等への推薦度【平均】（同居家族構成別）

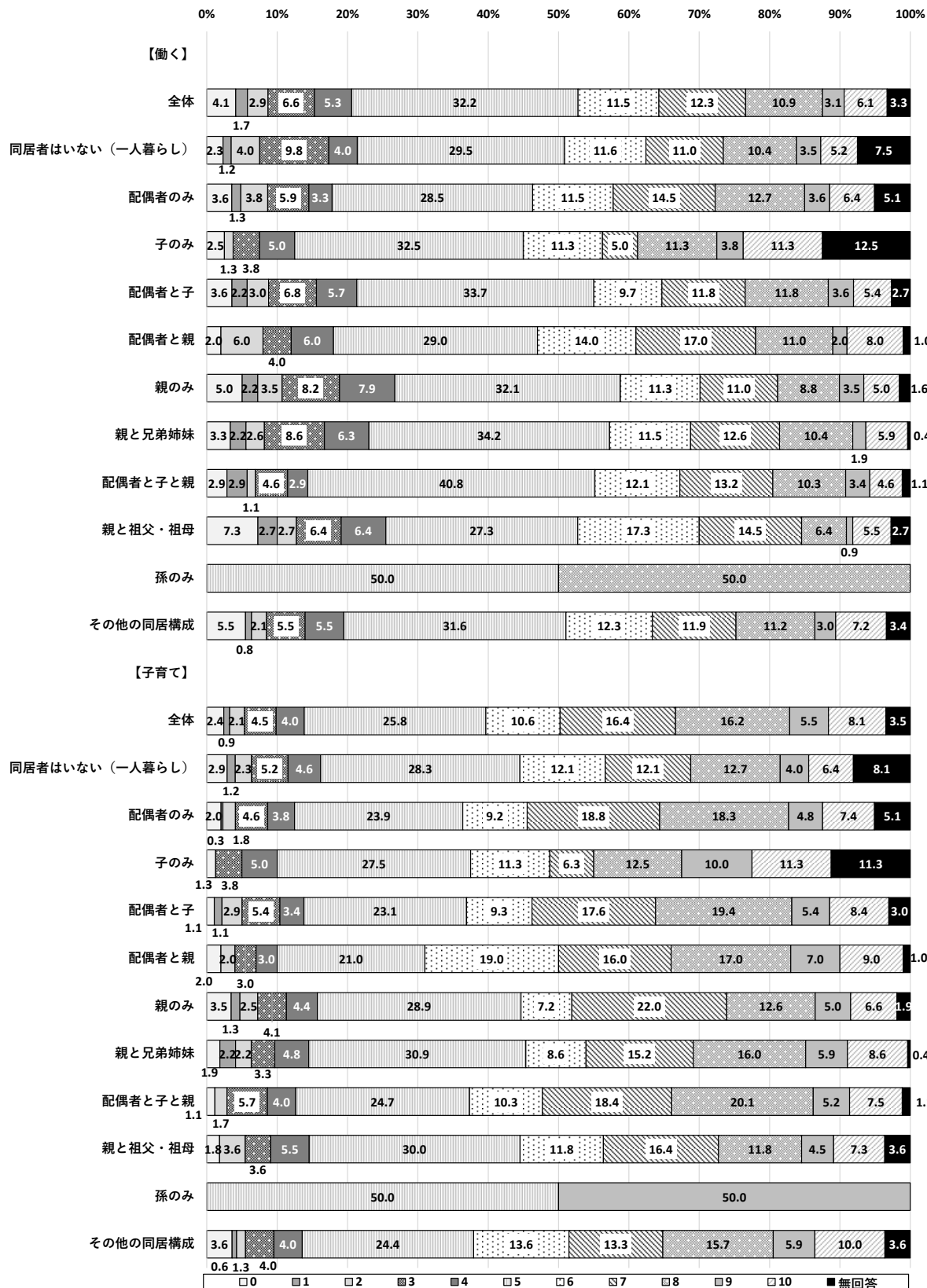


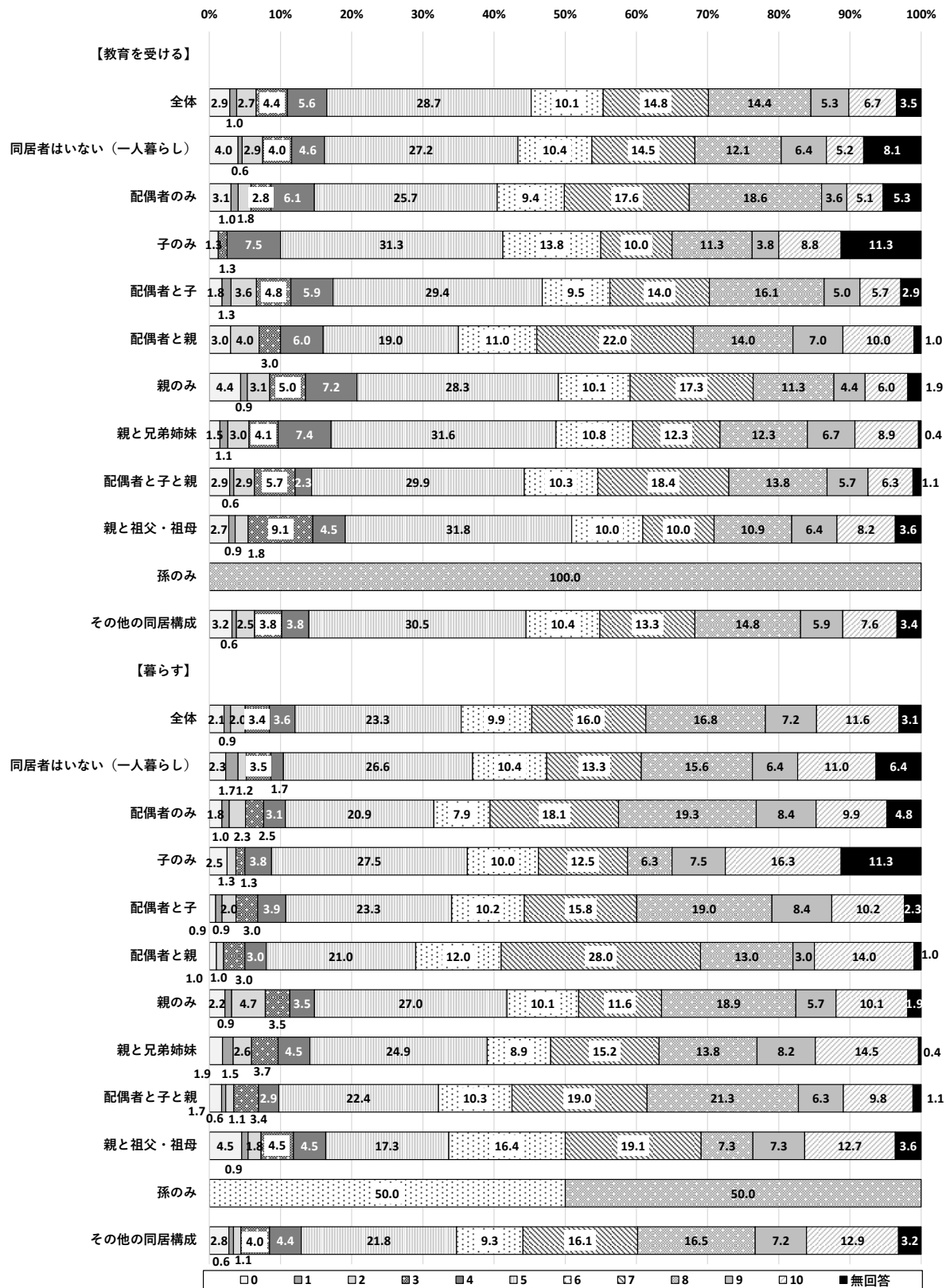
### 【割合】

「教育」において、「配偶者と親」では、「7」が最も高くなっている。また、「暮らす」において、「配偶者と親」と「親と祖父・祖母」では、「7」が最も高くなっている。その他では、「働く」「子育て」「教育を受ける」「暮らす」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、「働く」においては、「配偶者と親」が52.0%と他よりも若干高い。「子育て」においては、「配偶者と子」と「配偶者と親」で6割以上となっている。「教育を受ける」と「暮らす」においては、「配偶者と親」が他よりも高い。

図表 19-5-4-2 家族や親しい友人等への推薦度【割合】（同居家族構成別）



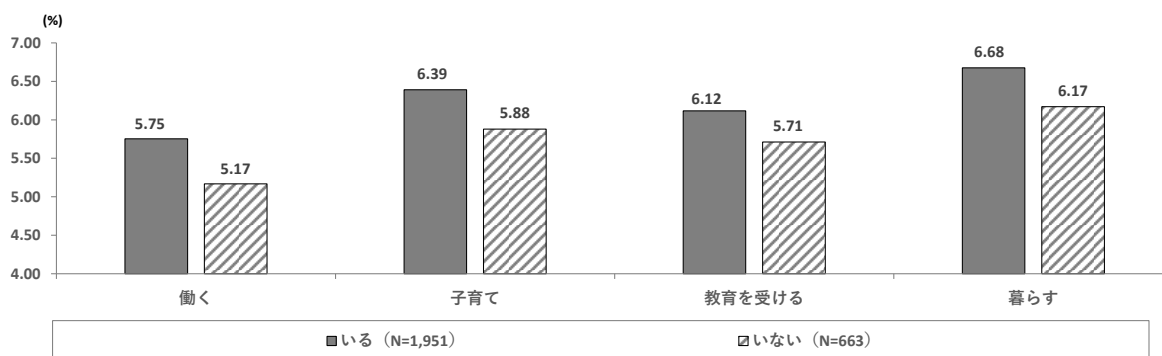


### (5) - 5 別居親族の有無

#### 【平均】

すべての設問項目において、別居親族が「いない」よりも「いる」の方が高くなっている。別居親族が「いる」では「子育て」「教育を受ける」「暮らし」において6.00を超えている。

図表 19-5-5-1 家族や親しい友人等への推薦度【平均】(別居親族の有無別)



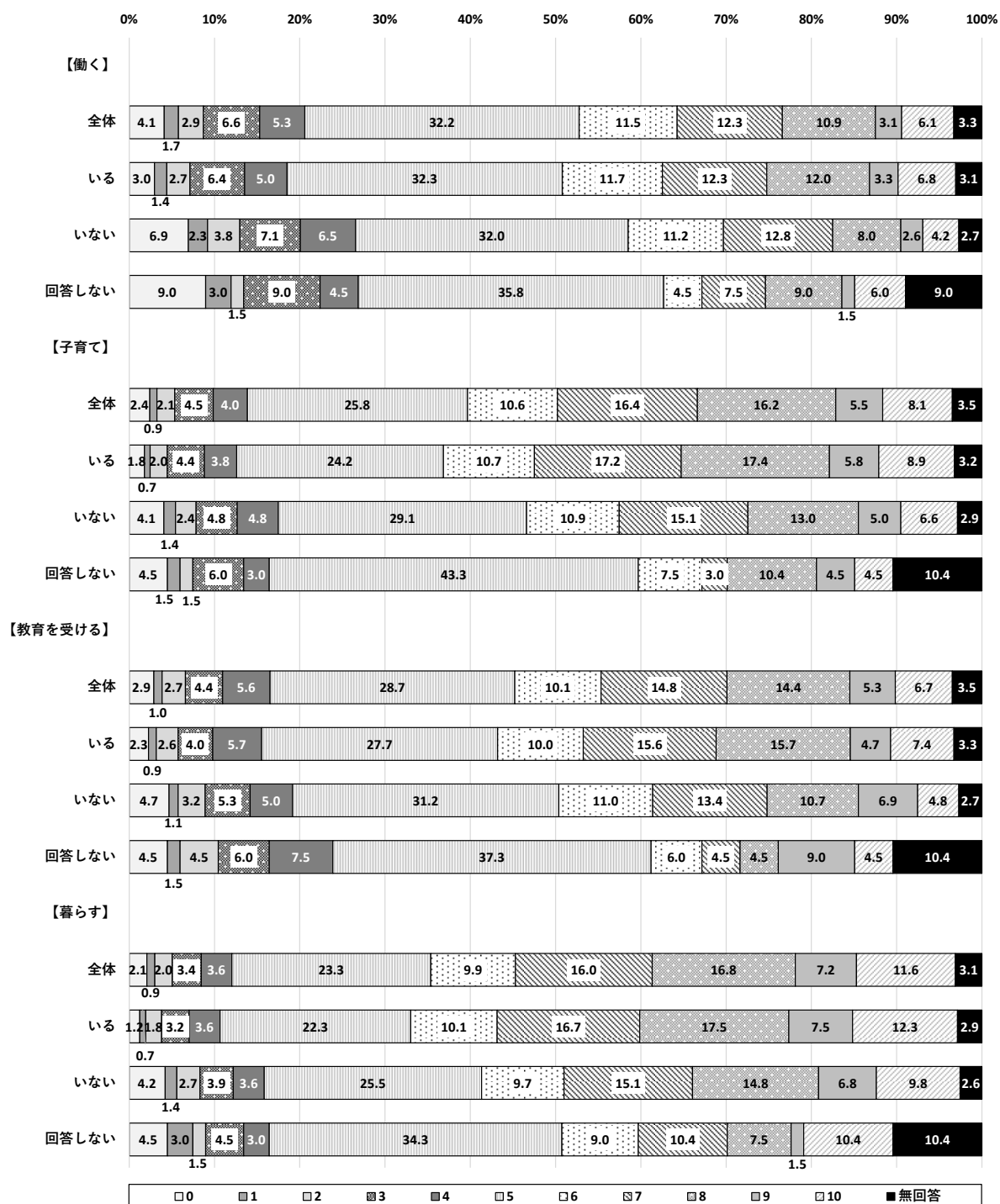
#### 【割合】

別居の親族が「いる」「いない」ともに、「働く」「子育て」「教育を受ける」「暮らす」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、すべての設問において、別居の親族が「いる」の方が、「いない」よりも高くなっている。「子育て」においては、「いる」の方が9.4ポイント高い。



図表 19-5-5-2 家族や親しい友人等への推薦度【割合】（別居親族の有無別）

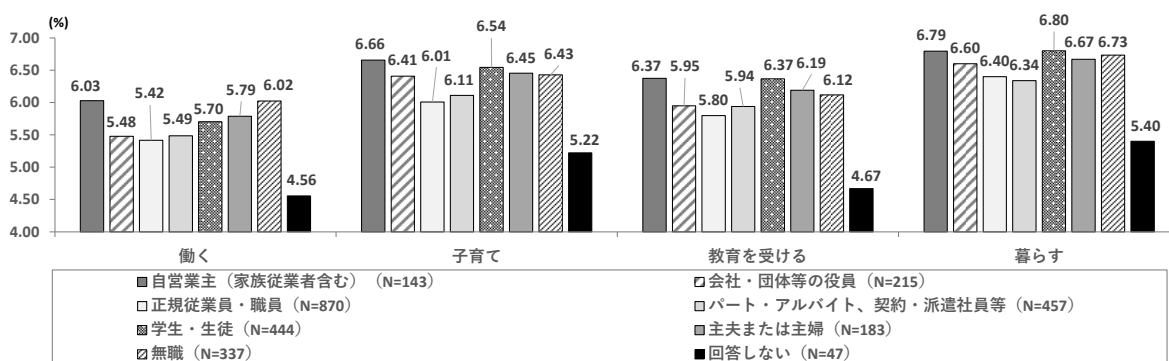


## (6) - 1 職業別

### 【平均】

「子育て」と「暮らす」では、「回答しない」を除くすべてで6.00を超えている。「子育て」では「自営業主（家族従業者含む）」(6.66)が、「暮らす」では「学生・生徒」(6.80)が最も高い。

図表 19-6-1-1 家族や親しい友人等への推薦度【平均】(職業別)

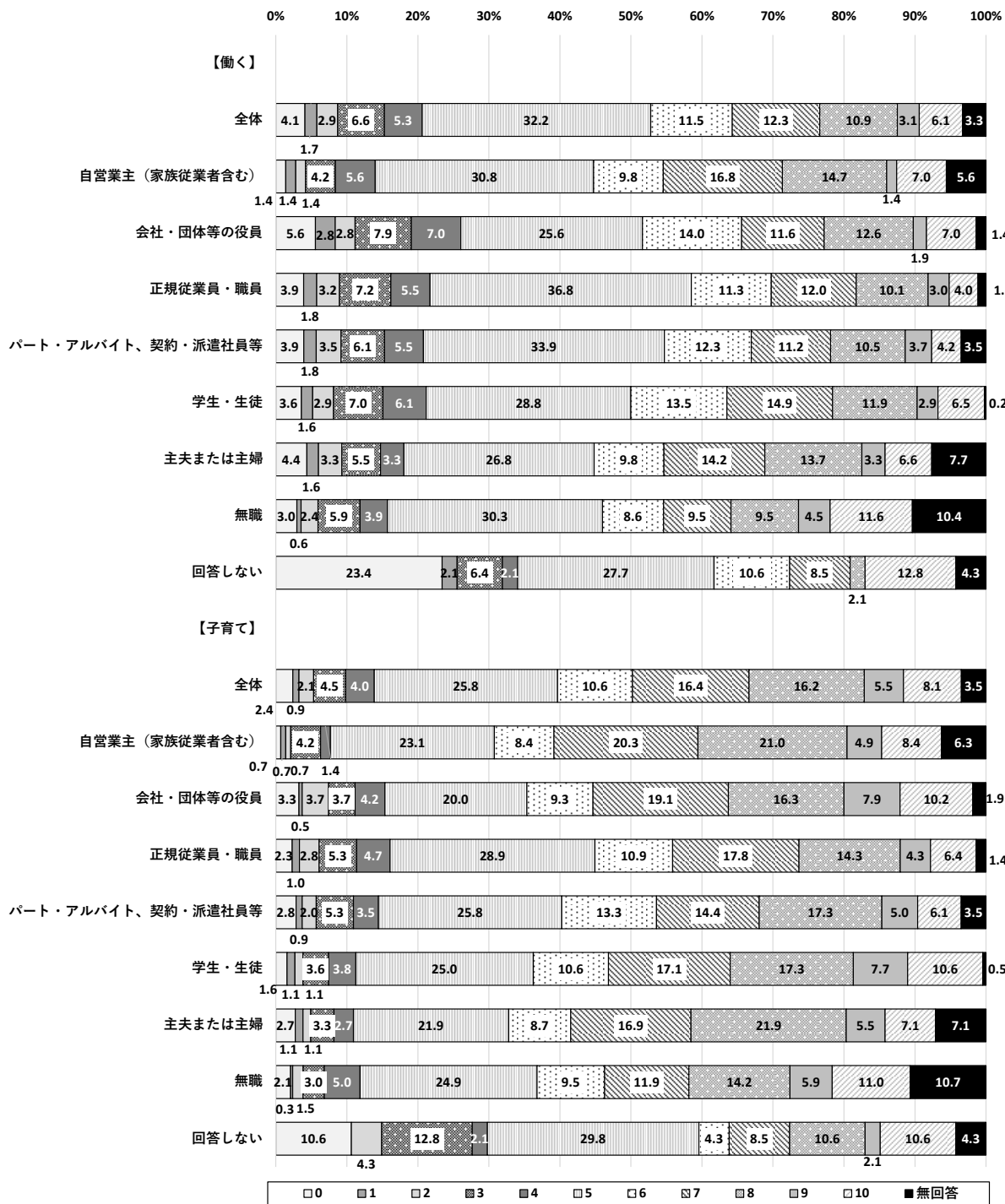


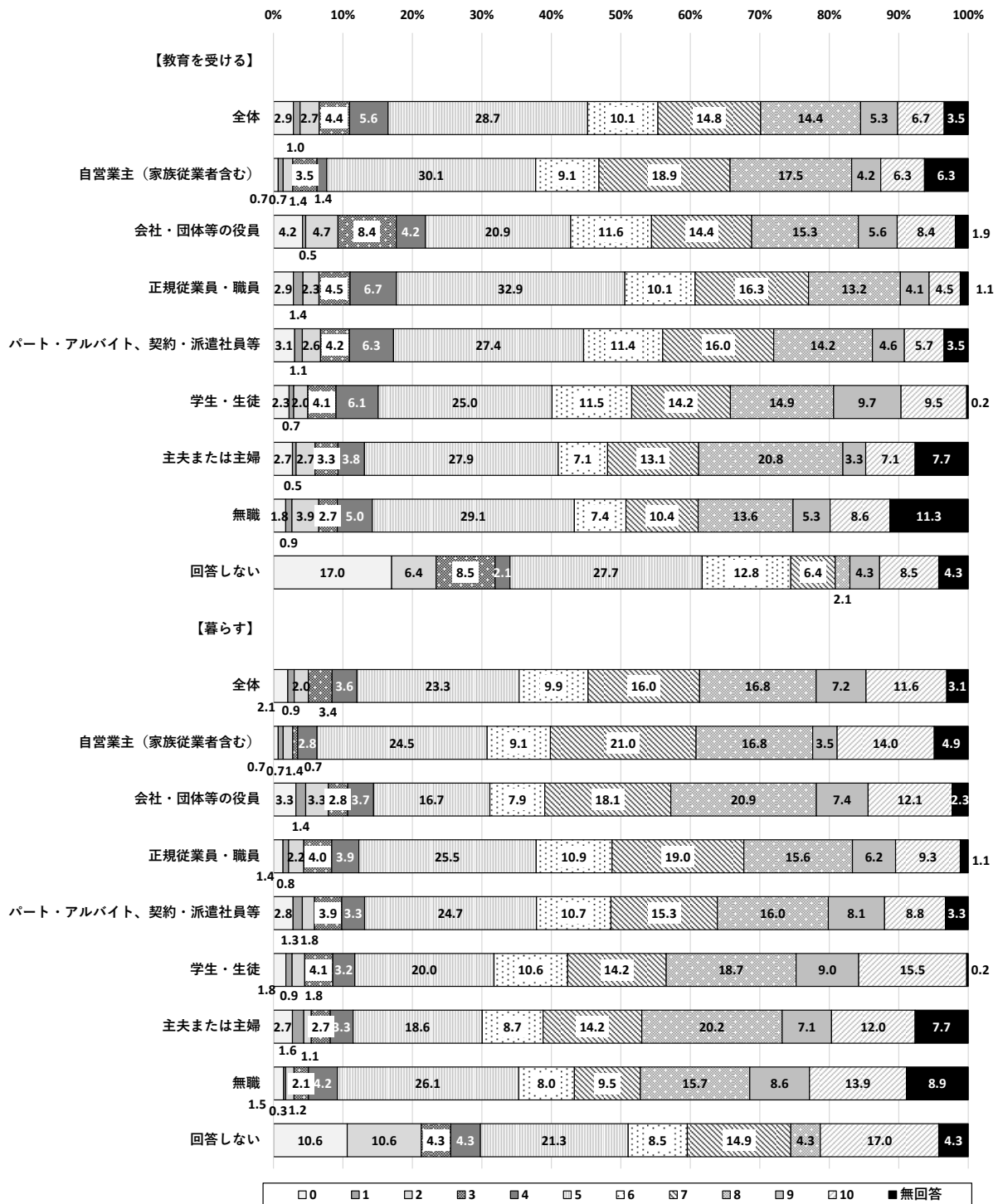
### 【割合】

「子育て」において、「主夫または主婦」では、「8」が最も高くなっている（「5」と同割合）。また、「暮らす」において、「会社・団体等の役員」と「主夫または主婦」では、「8」が最も高くなっている。その他の職業では、「働く」「子育て」「教育を受ける」「暮らす」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、「働く」においては、「自営業主（家族従業者含む）」と「学生・生徒」が他の職業よりも若干高い。「子育て」においては、「自営業主（家族従業者含む）」「会社・団体等の役員」「学生・生徒」「主夫または主婦」で6割を超えている。「教育を受ける」と「暮らす」においては、「学生・生徒」が他の職業よりも若干高い。

図表 19-6-1-2 家族や親しい友人等への推薦度【割合】（職業別）



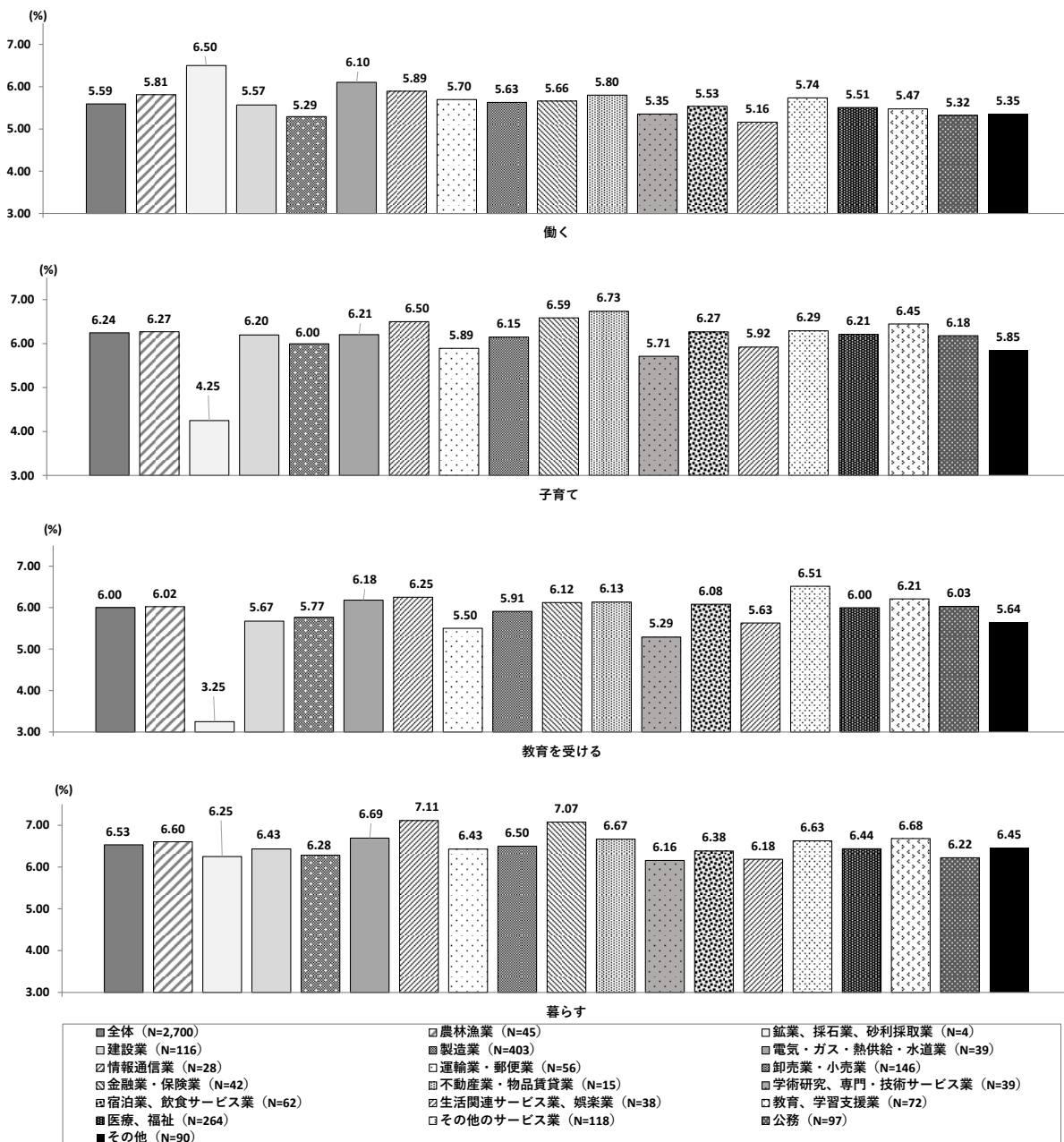


(6) - 2 職業分野別

【平均】

「働く」では「電気・ガス・熱供給・水道業」(6.10)が、「子育て」では「金融業・保険業」(6.59)が、「教育を受ける」では「教育、学習支援業」(6.51)、「暮らす」では「金融業・保険業」(7.07)が最も高い。

図表 19-6-2-1 家族や親しい友人等への推薦度【平均】(職業分野別)

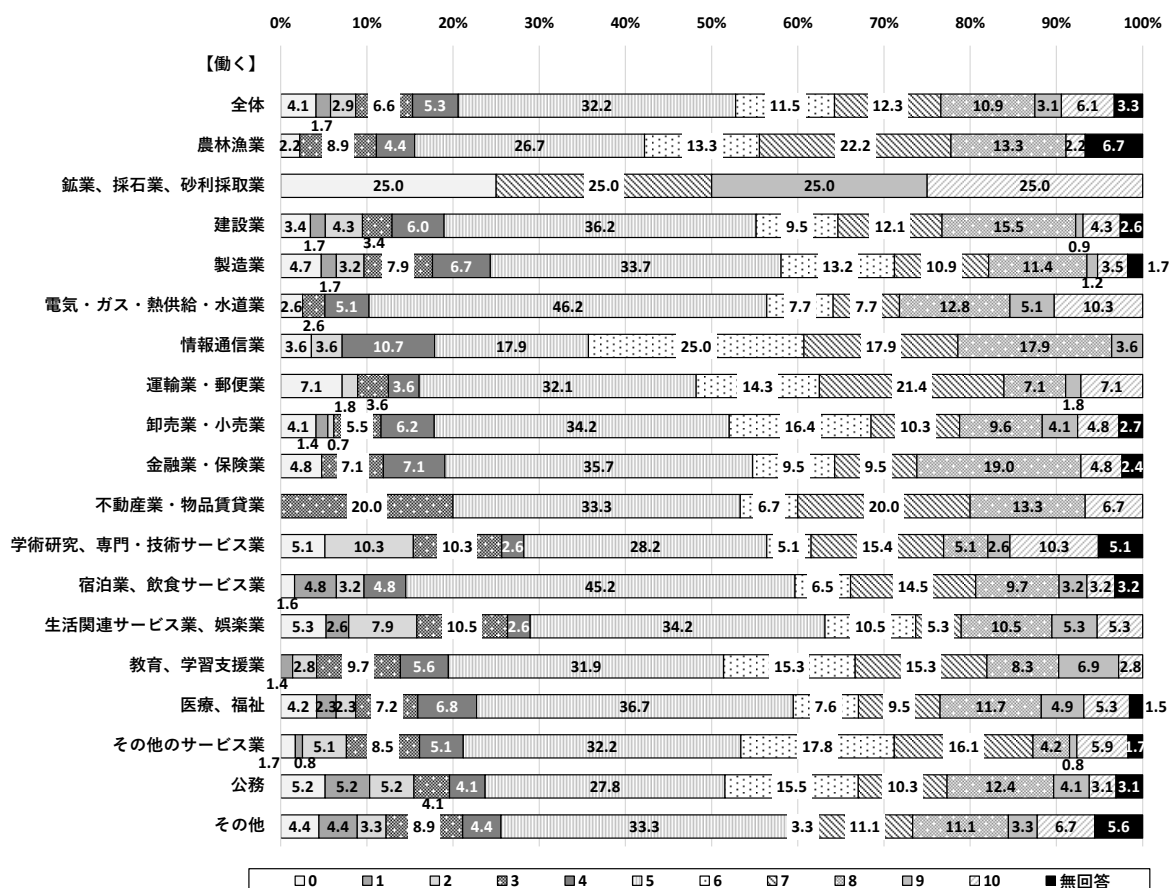


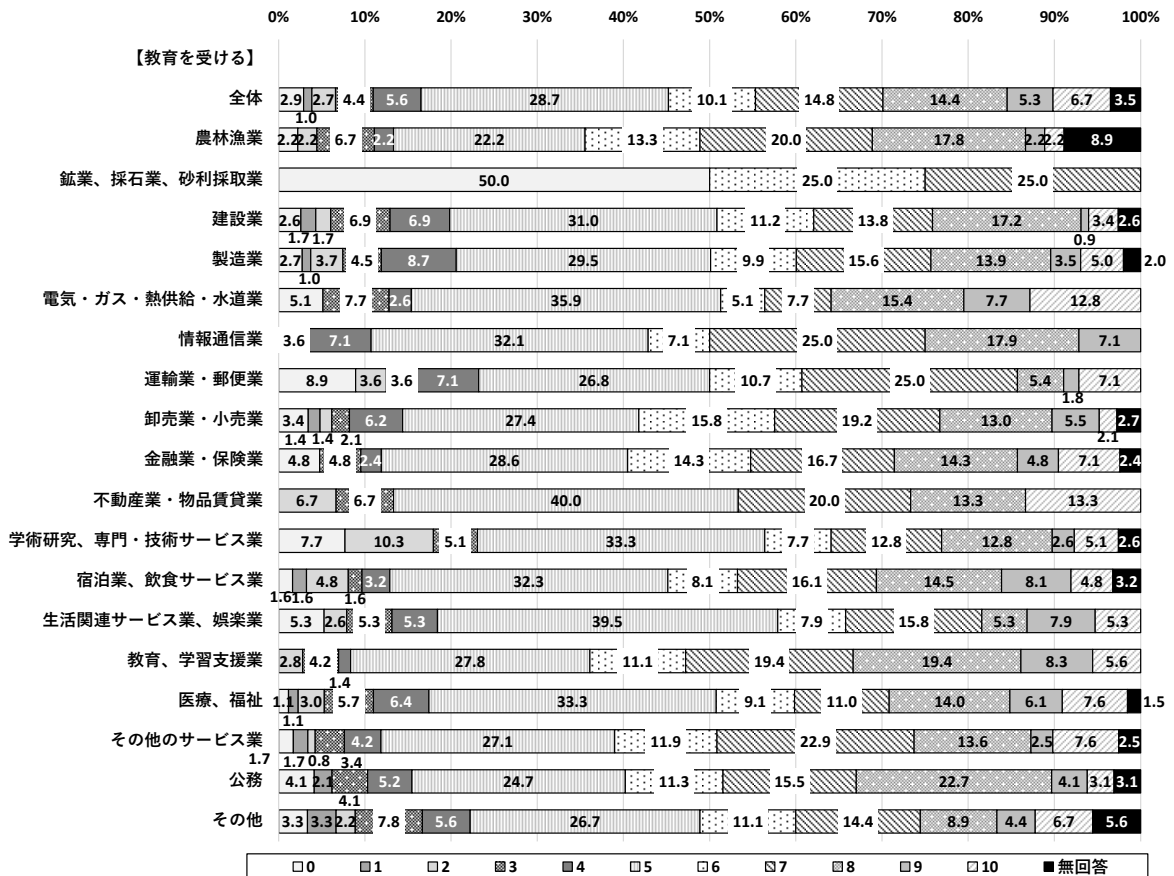
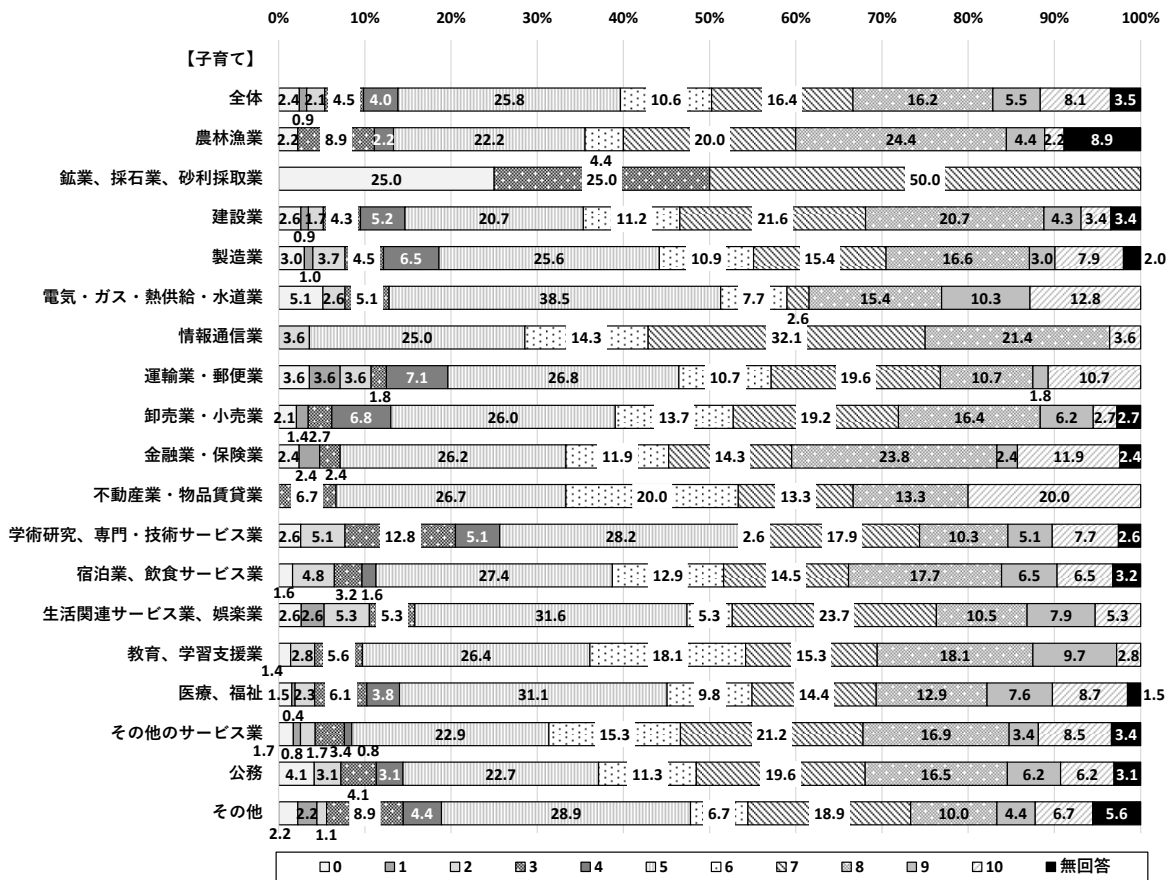
## 【割合】

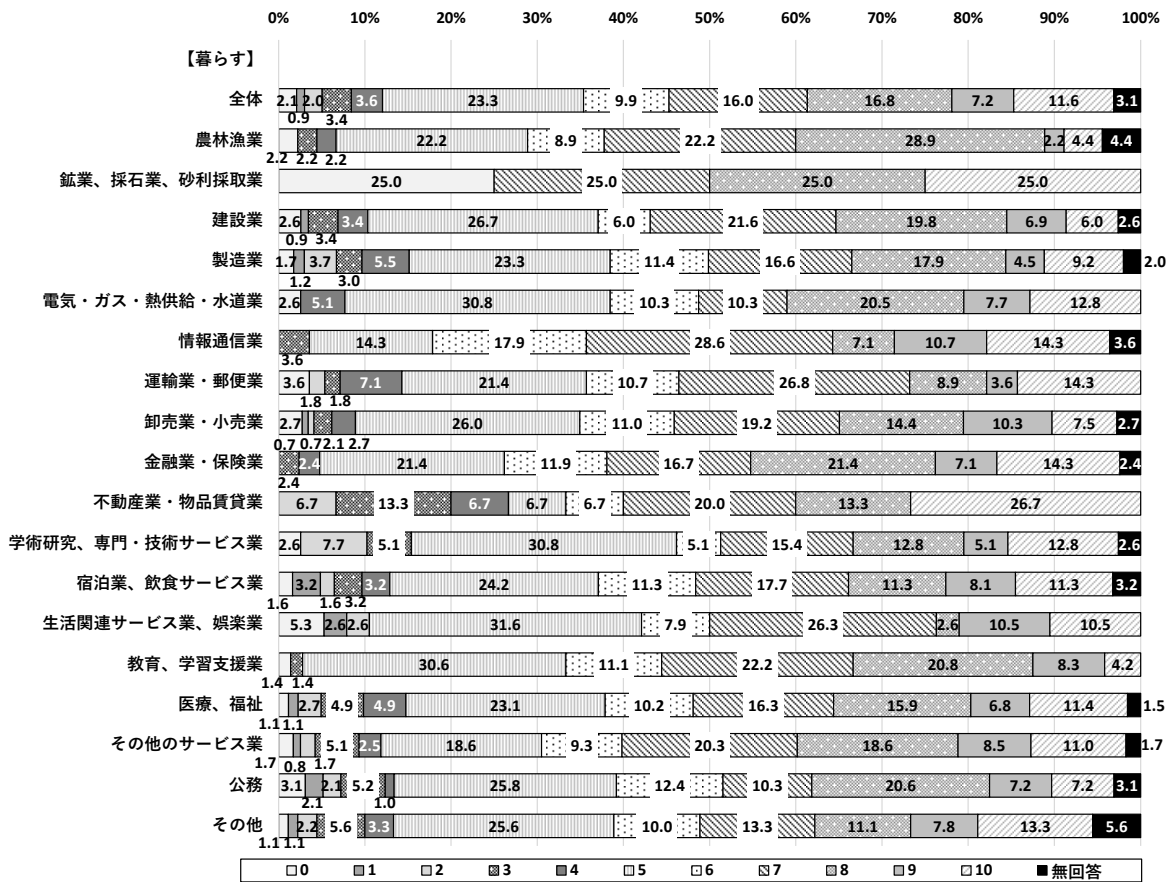
「子育て」の「農林漁業」では「8」が、「建設業」では「7」が最も高い。「暮らす」の「農林漁業」と「金融業・保険業」では「8」が、「運輸業・郵便業」と「その他サービス業」では「7」が最も高い。その他の職業は「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、「働く」においては、「農林漁業」と「運輸業・郵便業」が他の職業分野よりも若干高い。「子育て」においては、「建設業」「金融業・保険業」「教育、学習支援業」「その他サービス業」で6割を超えている。「教育を受ける」においては、「教育、学習支援業」で63.9%と、他の職業分野よりも高い。「暮らす」においては、「金融業・保険業」が71.4%と、他の職業分野よりも高い。

図表 19-6-2-2 家族や親しい友人等への推薦度【割合】（職業分野別）







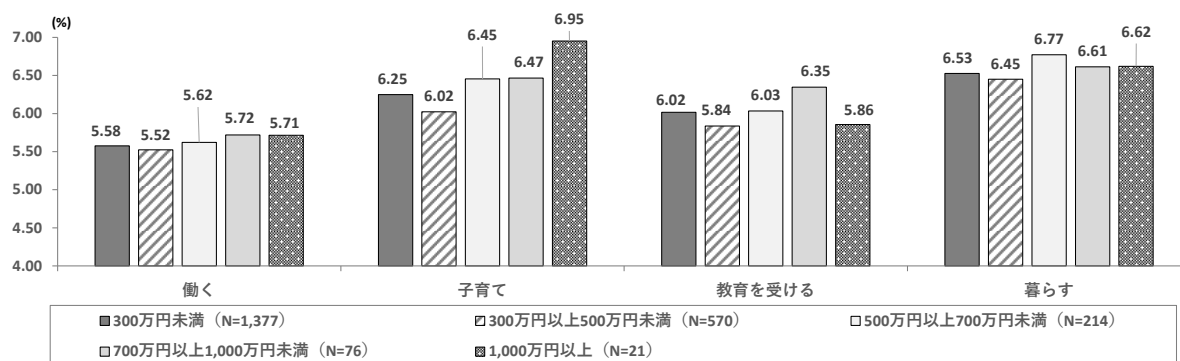


(6) - 3 年収別

【平均】

「子育て」と「暮らす」では、すべてで6.00を超えている。「子育て」では「700万円以上1,000万円未満」(6.47)が、「暮らす」では「1,000万円以上」(6.62)が最も高い。

図表 19-6-3-1 家族や親しい友人等への推薦度【平均】(年収別)

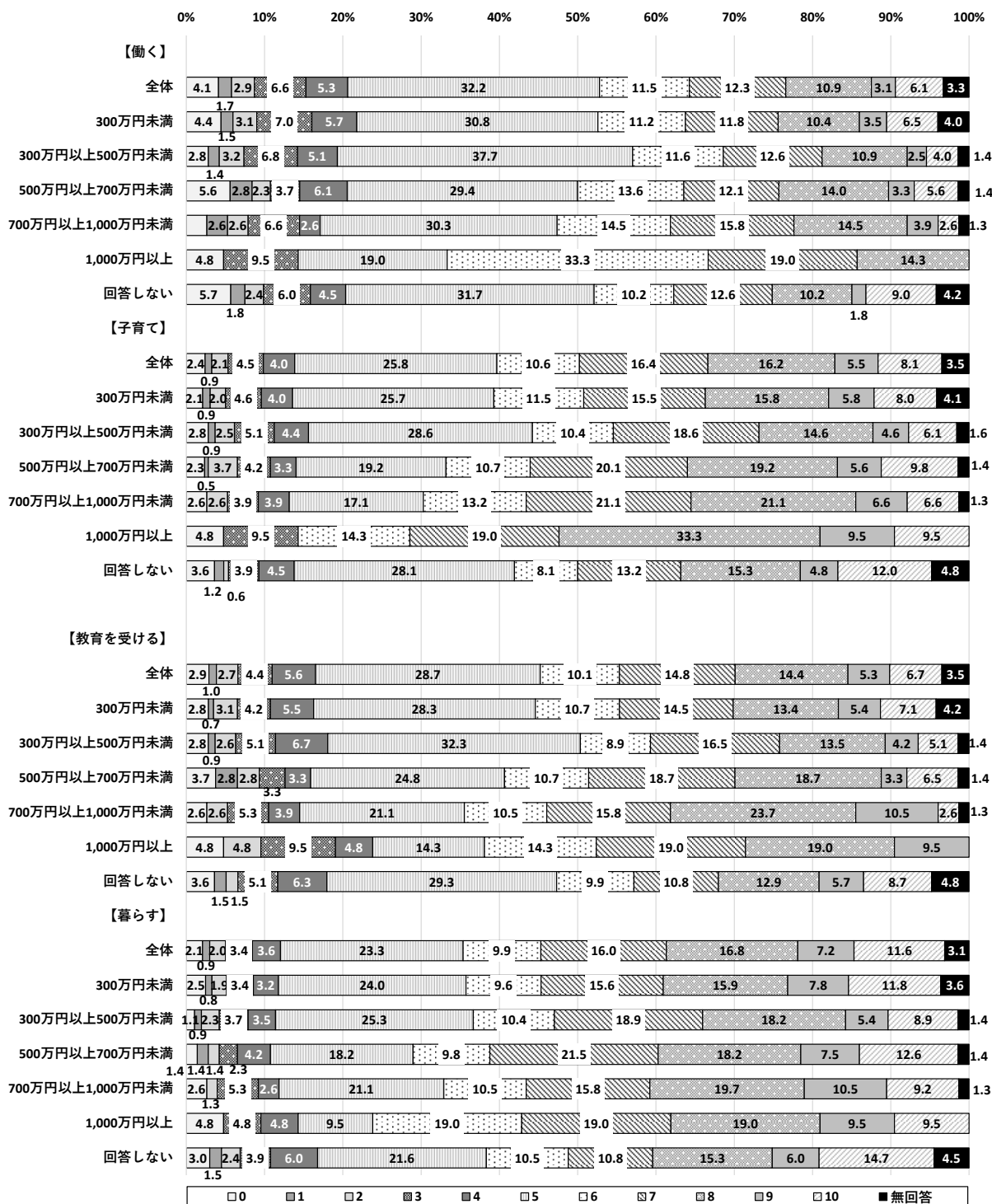


【割合】

「子育て」の「700万円以上1,000万円未満」では「8」(「7」と同割合)が、「500万円以上700万円未満」では「7」が最も高い。また、「教育を受ける」の「700万円以上1,000万円未満」では「8」が、「暮らす」の「500万円以上700万円未満」では「7」が最も高い。その他の属性では「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、「働く」「子育て」「教育を受ける」においては、「700万円以上1,000万円未満」が他よりも高くなっている。「暮らす」においては、「500万円以上700万円未満」が63.2%と、他よりも高い。

図表 19-6-3-2 家族や親しい友人等への推薦度【割合】(年収別)

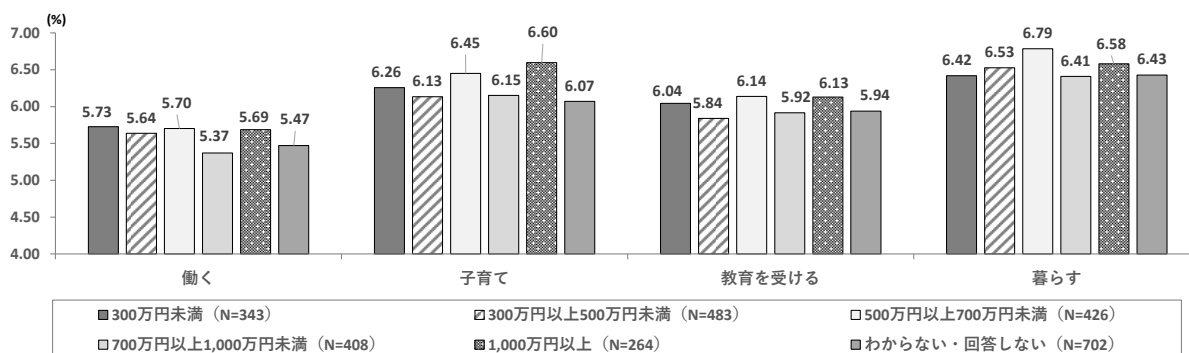


#### (6) - 4 世帯年収別

##### 【平均】

「子育て」と「暮らす」では、すべてで6.00を超えている。「子育て」では「1,000万円以上」(6.60)が、「暮らす」では「500万円以上700万円未満」(6.79)が最も高い。

図表 19-6-4-1 家族や親しい友人等への推薦度【平均】(世帯年収別)

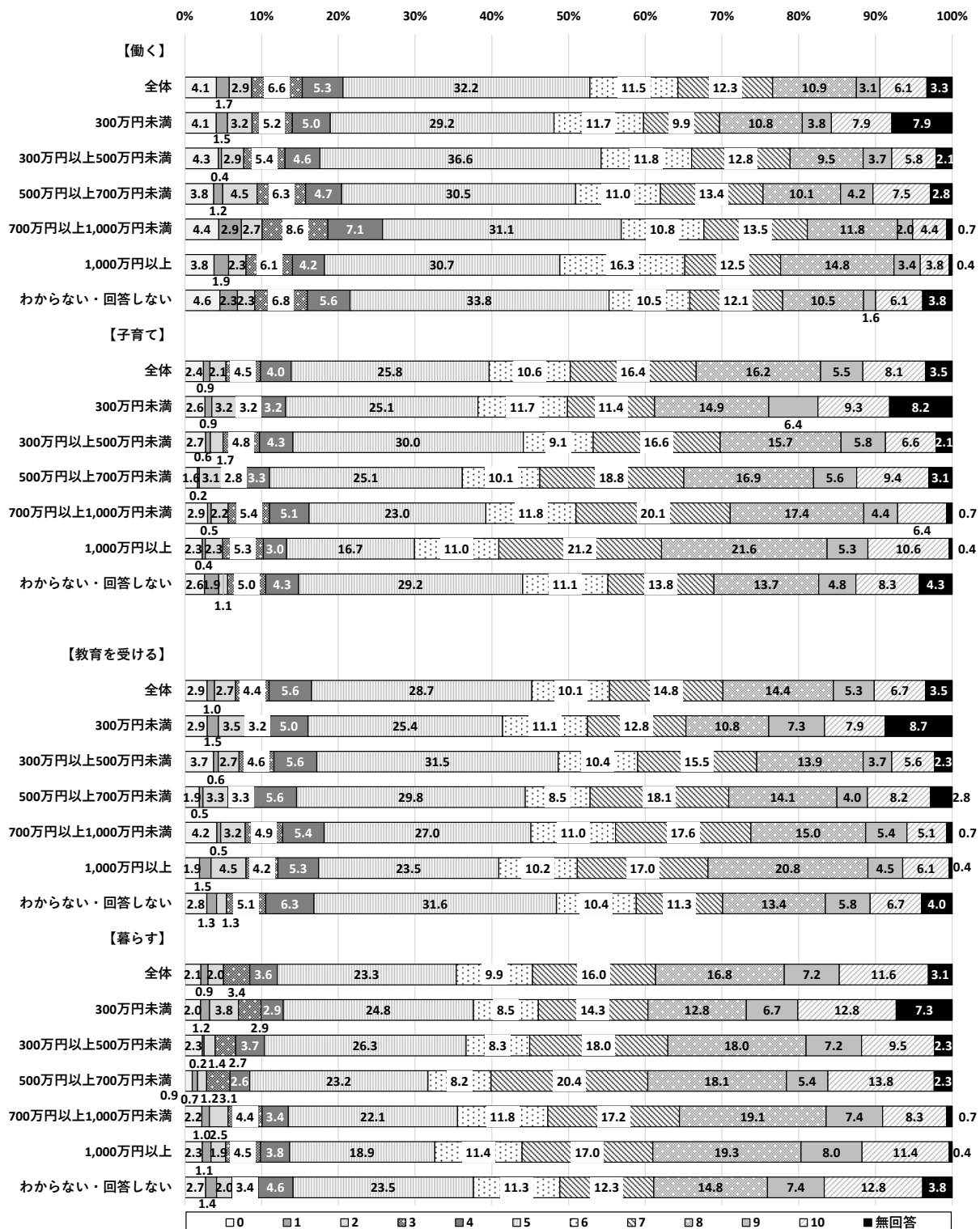


##### 【割合】

すべての属性において、「働く」「子育て」「教育を受ける」「暮らす」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、「働く」「子育て」「暮らす」においては、「500万円以上700万円未満」が他よりも若干高くなっている。「教育を受ける」においては、「1,000万円以上」が58.7%と他よりも高く、世帯年収が高まるほど割合が高まる傾向にある。

図表 19-6-4-2 家族や親しい友人等への推薦度【割合】(世帯年収別)



## IV. 調査票（設問部分）

【1 あなたご自身やご家族のことについて】

問1から問5は、回答を統計的に分析するために、あなたご自身やご家族のことについてお聞きいたします。

問1. あなたの年齢（満年齢）をお答えください。（※記入日現在）

- |            |            |            |
|------------|------------|------------|
| 1. 15～17歳  | 2. 18、19歳  | 3. 20～24歳  |
| 4. 25～29歳  | 5. 30～34歳  | 6. 35～39歳  |
| 7. 40～44歳  | 8. 45～49歳  | 9. 50～54歳  |
| 10. 55～59歳 | 11. 60～64歳 | 12. 65～69歳 |
| 13. 70～74歳 | 14. 75～79歳 | 15. 80歳以上  |

問2. あなたの性別をお答えください。（※記入は任意です）

- |       |       |          |
|-------|-------|----------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. 回答しない |
|-------|-------|----------|

問3. お住まい等について

(1) 現在お住まいの市町村は、どちらですか。

- |         |          |         |        |        |
|---------|----------|---------|--------|--------|
| 1. 魚津市  | 2. 黒部市   | 3. 入善町  | 4. 朝日町 |        |
| 5. 富山市  | 6. 滑川市   | 7. 舟橋村  | 8. 上市町 | 9. 立山町 |
| 10. 高岡市 | 11. 氷見市  | 12. 射水市 |        |        |
| 13. 砺波市 | 14. 小矢部市 | 15. 南砺市 |        |        |

(2) 現在の住居の状況は、次のどれにあたりますか。

- |                    |                          |
|--------------------|--------------------------|
| 1. 一戸建て（自己または家族所有） | 2. マンション等集合住宅（自己または家族所有） |
| 3. 一戸建て（借家）        | 4. アパート等集合住宅（借家）         |
| 5. その他（社宅、寮、下宿等）   |                          |

(3) 現在お住まいの地域の環境は、次のどれにあたりますか。

（ご自身の判断で、最もあてはまると思うものを1つ選択してください。）

- |                      |                       |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 家屋や商業施設が混在している市街地 | 2. 主に家屋が多く集まっている住宅地   |
| 3. 工場が多く集まっている地域     | 4. 田や畑など農地が多く集まっている地域 |
| 5. 海に近い地域            | 6. 山間地域               |
| 7. その他（いずれにもあてはまらない） |                       |

(4) あなたの出身地をお答えください。

※この設問では、出身地は「生まれてから18歳までの間で、最も長く暮らした地域」を目安としますが、ご自身の判断で構いません。あてはまると思うものをお選びください。

1. 富山県内      2. 富山県外

(5) 富山県外での居住年数(通算)について、1つ選んでください。

1. なし(生まれてからずっと富山県に住んでいる)  
2. 5年未満  
3. 5年以上10年未満  
4. 10年以上20年未満  
5. 20年以上

問4. ご家族等について

(1) あなたは、現在結婚していらっしゃいますか。(※事実婚を含みます。)

1. 結婚している  
2. 結婚していたが、死別・離別した  
3. 結婚していない  
4. 回答しない

(2) あなたに、お子さんはいらっしゃいますか。

(※成人しているお子さんや別居しているお子さんも含めてお答えください。)

1. いる → 年齢ごとの人数もお答えください。

0歳～小学校入学前	人
小学生	人
中学生	人
15歳以上(中学生除く)～18歳未満	人
18歳以上	人

2. いない  
3. 回答しない

(3) あなたは、ペットと一緒に暮らしていますか。

1. 暮らしている      2. 暮らしていない

(4) あなたには、同居されている方はいますか。また、「いる」の場合は、同居されている方の構成もお答えください。

1. いる                      2. いない（一人暮らし）                      3. 回答しない



あなたとの関係	同居の有無		
① 親 (配偶者の親を含む)	1. していない	2. している (両親)	3. している (父親または母親)
② 兄弟姉妹	1. していない	2. している	
③ 祖父母 (配偶者の祖父母を含む)	1. していない	2. している (祖父と祖母)	3. している (祖父または祖母)
④ 配偶者（事実婚含む）	1. していない	2. している	
⑤ 子	1. していない	2. している	
⑥ 孫	1. していない	2. している	
⑦ その他	1. していない	2. している	

(5) あなたが普段行き来する、別居の親族（※）はいますか。次の中からあてはまるものを1つお答えください。

〔 ※祖父母（配偶者の祖父母含む）、父母（配偶者の父母含む）、兄弟姉妹、子、孫など 〕

1. いる    2. いない    3. 回答しない

問5. ご職業・年収等について

(1) あなたの主なご職業等について、次の中から1つ選んでください。

1. 自営業主（自営業を手伝う家族従業者含む）
2. 会社・団体等の役員
3. 正規（雇用期間の定めなく雇われている）従業員・職員
4. パート・アルバイト、契約・派遣社員、家庭内の賃仕事（内職）
5. 学生・生徒
6. 主夫または主婦
7. 無職
8. 回答しない



(2) (1) で 1～4 に○をつけられた方のみお答えください。

該当する職業分野について、あてはまる番号を1つ選んでください。

- |                     |                 |
|---------------------|-----------------|
| 1. 農林漁業             | 2. 鉱業、採石業、砂利採取業 |
| 3. 建設業              | 4. 製造業          |
| 5. 電気・ガス・熱供給・水道業    | 6. 情報通信業        |
| 7. 運輸業・郵便業          | 8. 卸売業・小売業      |
| 9. 金融業・保険業          | 10. 不動産業・物品賃貸業  |
| 11. 学術研究、専門・技術サービス業 | 12. 宿泊業、飲食サービス業 |
| 13. 生活関連サービス業、娯楽業   | 14. 教育、学習支援業    |
| 15. 医療、福祉           | 16. その他のサービス業   |
| 17. 公務              | 18. その他         |

(3) あなた自身のおおよその年収（税・社会保険料込み）について、次の中から1つ選んでください。

- |                      |                        |
|----------------------|------------------------|
| 1. 100万円未満           | 2. 100万円以上 300万円未満     |
| 3. 300万円以上 500万円未満   | 4. 500万円以上 700万円未満     |
| 5. 700万円以上 1,000万円未満 | 6. 1,000万円以上 2,000万円未満 |
| 7. 2,000万円以上         | 8. 回答しない               |

(4) あなたの世帯全体のおおよその年収（税・社会保険料込み）の合計額について、次の中から1つ選んでください。

- |                      |                        |
|----------------------|------------------------|
| 1. 100万円未満           | 2. 100万円以上 300万円未満     |
| 3. 300万円以上 500万円未満   | 4. 500万円以上 700万円未満     |
| 5. 700万円以上 1,000万円未満 | 6. 1,000万円以上 2,000万円未満 |
| 7. 2,000万円以上         | 8. わからない・回答しない         |

【2 生活での実感について】

次に、問6から問12は、あなたの生活での実感や普段のお気持ちをお聞きします。

それぞれの設問について、あてはまる番号を1つ選んでください。

問6. 普段のあなた自身の実感について

		はい	どちらかといえばはい	どちらかといえばいい	いい	わからない
1	身体の状態は健康だと感じている。	4	3	2	1	0
2	心の状態は健康だと感じている。	4	3	2	1	0
3	生活に必要な所得や資産がある。	4	3	2	1	0
4	自分のしたいことをする、または欲しい物が買える経済的なゆとりがある。	4	3	2	1	0
5	住まいは快適・安全・安心であると感じている。	4	3	2	1	0
6	自分を受け入れてくれて、心から安らげる場所がある。	4	3	2	1	0
7	現在置かれている立場・地位に満足を感じている。	4	3	2	1	0
8	楽しい、嬉しい、面白いなど（ポジティブな）明るい気持ちになることが多い。	4	3	2	1	0
9	自分の選択や行動は、自らの意思で自由に決めている。	4	3	2	1	0
10	自分らしく、ありのままにいられている。	4	3	2	1	0
11	娯楽や趣味、学びを行うための、自分の自由な時間がある。	4	3	2	1	0
12	時間を忘れて夢中になることや没頭することがある。	4	3	2	1	0
13	自分が行っていることに、やりがい・生きがいを感じている。	4	3	2	1	0
14	様々な困難があっても、乗り越えていくことができると感じている。	4	3	2	1	0
15	夢や目標に向かって、チャレンジや努力をしている。	4	3	2	1	0
16	将来に、期待や楽しみ、ワクワクする気持ちを感じている。	4	3	2	1	0
17	他の人に対して感謝の心を持ち、「ありがとう」と言葉で伝えている。	4	3	2	1	0
18	他の人を喜ばせたい、楽しませたいという気持ちを持って行動している。	4	3	2	1	0
19	他の人のために、親切な対応や手助けをするよう心がけている。	4	3	2	1	0
20	他の人が自分と異なる価値観や意見を持っていても、それを尊重している。	4	3	2	1	0

問7. 家族との関係について

		はい	どちらかと言え ばはい	どちらかと言え ばいいえ	いいえ	わからない
1	家族との関係は良好である。	4	3	2	1	0
2	家族と一緒にいることで、嬉しい、楽しいなど（ポジティブな）明るい気持ちになることが多くある。	4	3	2	1	0
3	困った時や苦しい時に、家族は力になってくれると感じている。	4	3	2	1	0
4	家族は、あなたの意見や価値観を理解・尊重してくれている。	4	3	2	1	0
5	家族はあなたの夢や目標達成のため、応援・協力してくれている。（または、応援・協力してくれると感じている。）	4	3	2	1	0

問8. 友人との関係について

		はい	どちらかと言え ばはい	どちらかと言え ばいいえ	いいえ	わからない
1	友人との関係は良好である。	4	3	2	1	0
2	友人と一緒にいることで、楽しい、嬉しいなど（ポジティブな）明るい気持ちになることが多くある。	4	3	2	1	0
3	困った時や苦しい時に、友人は力になってくれると感じている。	4	3	2	1	0
4	友人は、あなたの夢や目標達成のため、応援・協力してくれている。（または、応援・協力してくれると感じている。）	4	3	2	1	0

問9. 在籍・参加している職場や学校、各種団体・グループ等（「職場・学校等」）について

		はい	どちらかと言え ばはい	どちらかと言え ばいいえ	いいえ	わからない
1	職場・学校等での人間関係は良好である。	4	3	2	1	0
2	職場・学校等で楽しい、嬉しいなど（ポジティブな）明るい気持ちになることが多くある。	4	3	2	1	0
3	職場・学校等に愛着や誇りがある。	4	3	2	1	0
4	職場・学校等は、自分の夢や目標を実現できる場である。	4	3	2	1	0

問 10. お住まいの場所の近所や町内（「地域」）について

		はい	どちらかと言え ばはい	どちらかと言え ばいいえ	いいえ	わからない
1	地域での人間関係は良好である。	4	3	2	1	0
2	困った時や苦しい時に、地域の方は助けてくれると感じている。	4	3	2	1	0
3	地域には、楽しい、嬉しいなど（ポジティブな）明るい気持ちになることができる場所や機会が多くある。	4	3	2	1	0
4	地域の方は、あなたの意見や価値観を理解・尊重してくれる。	4	3	2	1	0

問 11. 富山県での暮らしに対するあなたの実感について

		はい	どちらかと言え ばはい	どちらかと言え ばいいえ	いいえ	わからない	
1	富山県での暮らしに不安はない。	ア) 防災・防犯 面	4	3	2	1	0
		イ) 医療・福祉 面	4	3	2	1	0
		ウ) 移動（交通）面	4	3	2	1	0
2	全体として、あなたの意見や価値観を理解・尊重してくれる環境がある。	4	3	2	1	0	
3	全体として、あなたが成長するための学びや経験ができる環境がある。	4	3	2	1	0	
4	全体として、あなたの夢や目標が実現できる環境がある。	4	3	2	1	0	
5	富山県の未来に、期待や楽しみ、ワクワクする気持ちがある。	4	3	2	1	0	
6	富山県ならではの自然や食、文化等に愛着や誇りがある。	4	3	2	1	0	

問 12. あなたの生活全体に対する実感について

		はい	どちらかと言え ばはい	どちらかと言え ばいいえ	いいえ	わからない
	総合的に、生活が整っている（仕事など社会活動や、余暇活動など、様々な面のバランスや調和がとれている）と感じている。	4	3	2	1	0

- 問 13. あなたにとって、最も理想的な生活であると思う状態を「10」、最悪であると思う状態を「0」として、「10」～「0」の11段階で表現すると、  
 ①現在、あなた自身は、どの程度の状態であると感じていますか。  
 また、②5年前は、どの程度の状態であったと思いますか。  
 そして、あなたの想像では、③5年後どういう状態になっていると思いますか。  
それぞれの設問につき1つ、あてはまる段階を選んで○をつけてください。

		← 最悪な状態					→ 最も理想的な状態					
(過去) ↑	② 5年前	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
(現在)	① 現在	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
↓ (未来)	③ 5年後	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

### 【3 その他の事項】

最後に、以下の各項目について、あなた自身の状況や意識、お考えをお答えください。

#### 問 14. 健康、余暇活動等について

	はい	どちらか 言えばはい	どちらか いいえ	いいえ	わからない
① 普段から、歩くこと（ウォーキング）に取り組んでいますか。	4	3	2	1	0
② スポーツ観戦や応援を積極的に行っていますか。	4	3	2	1	0
③ 芸術・文化（美術、音楽、演劇・演芸、舞踊、生活文化、文芸、映画、メディア芸術、伝統芸能等）鑑賞を積極的に行っていますか。	4	3	2	1	0
④ 芸術・文化に関する活動（創作、演奏、出演、習い事、体験等）を積極的に行っていますか。	4	3	2	1	0
⑤ スポーツや芸術・文化等の分野で、特に応援や支持している対象、人に薦めたいほど好感を持っている対象はありますか。	4	3	2	1	0

- ⑥ あなたは、日常生活の中で、意識的に取り組む運動やスポーツをどの程度行っていますか。あてはまるものを1つ選んでください。

1. 週4日以上      2. 週2～3日      3. 週1日程度      4. 月1～3日程度  
 5. 年に数日程度      6. 全くしない

ここまでで、約8割終わりました。あと少し、よろしくお願いいたします。



問 16. 地域とのつながり、交流について

① 家庭や職場・学校以外で自分と異なる世代の人と交流する機会がありますか。

1. とてもある 2. たまにある 3. あまりない 4. 全くない 5. わからない

② 家庭や職場・学校以外で自分と異なる世代の人と積極的に交流したいと思いますか。

1. とても思う 2. やや思う 3. どちらでもない 4. あまり思わない 5. 全く思わない

③ あなたは、農山漁村地域（※）で暮らしてみたい又は活動してみたいと思いますか。

〔※この設問で「農山漁村地域」は周辺に農地や森林が広がり農林漁業が盛んな地域を指します。〕

1. とても思う 2. やや思う 3. どちらでもない 4. あまり思わない 5. 全く思わない

6. 既に暮らしている又は活動している

④ ③で1、2、6に○をつけられた方のみお答えください。

あなたが農山漁村地域で、生きがいや地域・人との繋がりを実感する（したい）活動はありますか。次の中から2つまで選んでください。

- |                         |                   |
|-------------------------|-------------------|
| 1. 祭りなどの伝統行事・イベント       | 2. 田植え、稲刈りなどの農作業  |
| 3. 草刈などの地域の環境保全活動       | 4. 植林などの森林保全活動    |
| 5. 有害鳥獣対策の活動            | 6. 高齢者や子ども等への福祉活動 |
| 7. 買い物代行や雪かきなど高齢者世帯への支援 | 8. 施設や飲食店の利用      |
| 9. 特産品等の購入              | 10. 特にない          |
| 11. その他（                | ）                 |

問 17. 地域や住まいの安全・安心について

① あなたが生活する地域に、防犯や防災、事故防止上不安な箇所があると感じていますか。

1. とても感じる 2. やや感じる 3. どちらでもない 4. あまり感じない 5. 全く感じない

② あなた自身や周りの人の安全・安心の実感向上のため、地域での見守りや防犯・防災活動等の取組みを積極的に実施したいと思いますか。

1. とても思う 2. やや思う 3. どちらでもない 4. あまり思わない 5. 全く思わない

③ あなたの安全・安心の実感向上に、地域での防犯カメラ設置は役立つと思いますか。

1. とても思う 2. やや思う 3. どちらでもない 4. あまり思わない 5. 全く思わない

あと1ページあります。最後までよろしく願いいたします。







令和5年度  
ウェルビーイング県民意識調査  
結果報告書

---

令和5年12月発行

富 山 県

富山市新総曲輪1番7号

TEL：076-431-4111

担当 知事政策局成長戦略室ウェルビーイング推進課

TEL：076-444-8493

FAX：076-444-3473

集計・分析 株式会社ジェック経営コンサルタント

富山市湊入船町3番30号

TEL：076-444-0035

---